

# 行橋市高齢者実態調査 報告書

令和8年3月

行 橋 市



# 目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計と回収状況	1
3. 調査結果利用上の注意	2
第2章 調査結果の概要	3
1. 回答者の基本属性	3
2. 健康状態や健康づくり・介護予防等について	7
3. 社会参加や生きがいづくりについて	8
4. 日常生活等、地域での支え合いについて	8
5. 住まいについて	10
6. 介護保険サービス、施設サービス等について	10
7. 在宅医療や在宅介護について	11
8. 介護保険制度や高齢者福祉制度全般について	12
9. 家族等介護者について（在宅要介護認定者用調査）	14
第3章 一般高齢者用調査	16
1. 回答者の基本属性	16
2. 健康について	19
3. 介護予防について	24
4. 認知症について	29
5. 社会参加や生きがいづくりについて	32
6. 日常生活上の不安や困りごとについて	44
7. 地域での支えあいについて	48
8. 住まいについて	52
9. 在宅医療や介護等について	56
10. 高齢者福祉制度全般について	61

第4章 在宅要介護認定者用調査	66
1. 回答者の基本属性	66
2. 介護保険サービスについて	74
3. 介護保険制度について	84
4. 在宅医療について	89
5. 日常生活等について	91
6. 住まいについて	99
7. 高齢者福祉施策全般について	103
8. 主な介護者の基本属性	107
9. 主な介護者の勤務形態について	111
10. 介護について	116
第5章 施設・居住系サービス利用者用調査	131
1. 回答者の基本属性	131
2. 今後の介護希望について	135
3. 施設等でのサービスについて	137
4. 介護保険制度について	142
5. 高齢者福祉施策全般について	146
参考資料	148
1. 一般高齢者用調査票	148
2. 在宅要介護認定者用調査票	160
3. 施設・居住系サービス利用者用調査票	176

## 第1章 調査の概要

### 1. 調査の目的

本調査は、令和8年度に実施する「行橋市老人保健福祉計画・介護保険事業計画」の見直しのための基礎資料として、高齢者の健康状態や福祉・介護に対する考え方等を把握するために実施した。

### 2. 調査の設計と回収状況

	一般高齢者用 調査	在宅要介護認定者用 調査	施設・居住系サービス 利用者用調査
調査対象者	要介護認定を受けていない第1号被保険者 (65歳以上)	在宅で生活している 要介護認定者	介護保険施設や居住系 サービスを利用している 要介護認定者
抽出方法	無作為抽出	無作為抽出	無作為抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収	郵送配布・郵送回収	郵送配布・郵送回収
対象抽出数	1,900人	2,500人	600人
送付数	1,900人	2,500人	600人
回収数 (回収率)	1,106人 (58.2%)	1,346人 (53.8%)	258人 (43.0%)
有効回収数 (有効回収率)※	1,070人 (56.3%)	1,054人 (42.2%)	164人 (27.3%)
調査期間	令和7年12月26日～令和8年1月16日		

※ 有効回収率は、回収数から調査不能者数（調査時に病院へ入院中、施設へ入所中、転居・転出、死亡等の理由により実質的な回答ができなかった者）を除いた数。

### 3. 調査結果利用上の注意

- 各調査結果については、原則として、各質問の調査数を基数（N）とした百分率（%）で表している。なお、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100.0%にならない場合がある。また、2つ以上の選択肢を選択できる複数回答の質問では、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- 本文または図表中に引用した質問文や選択肢は省略して表記している場合があるため、詳細は巻末「参考資料」中の「調査票」参照。
- クロス集計の表側に使用する「性別」「圏域別」「居住地区別」等の基本属性では、副問（サブクエスチョン）等の回答者が限定される質問もあるため、図表中の表側項目の調査数を合計しても、必ずしも調査の有効回収数にならない場合がある。
- クロス集計結果等において、基数（N）となる調査数が概ね30人未満と少数のものについては、参考までに数値を見るにとどめ、結果の利用には注意を要する。

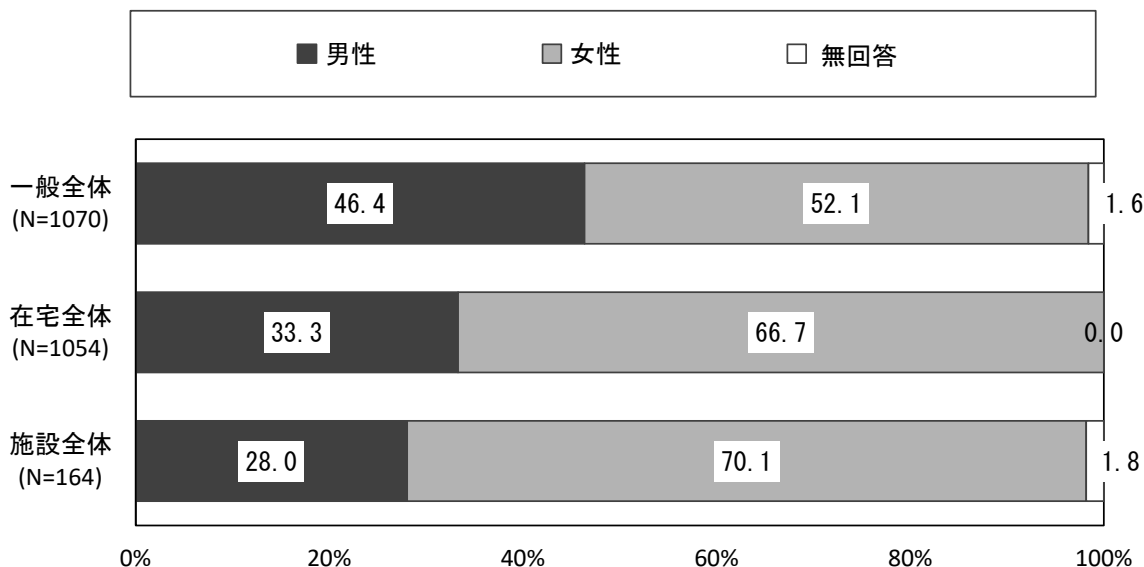
## 第2章 調査結果の概要

### 1. 回答者の基本属性

#### (1) 性別

- 一般高齢者、在宅要介護認定者、施設・居住系サービス利用者のいずれにおいても「女性」が過半数を占め、男性を上回っている。特に、施設・居住系サービス利用者の70.1%が「女性」と高くなっている。

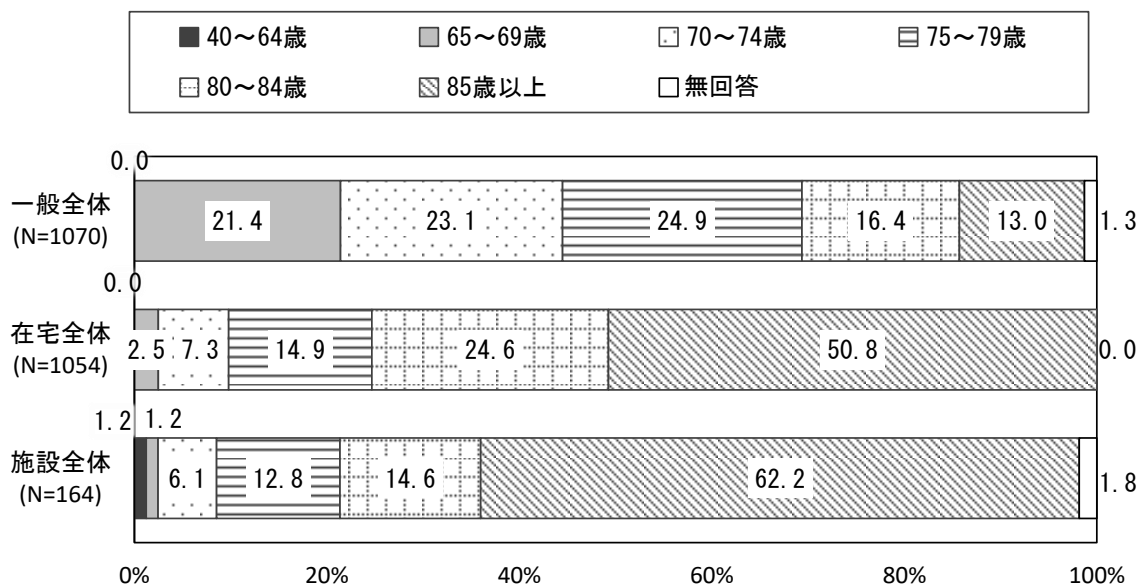
【性別】



#### (2) 年齢

- 一般高齢者では、75歳以上の後期高齢者が54.3%と半数を占めている。
- 在宅要介護認定者、施設・居住系サービス利用者は、75歳以上の後期高齢者が大多数を占めており、在宅要介護認定者では90.3%、施設・居住系サービス利用者では89.6%となっている。

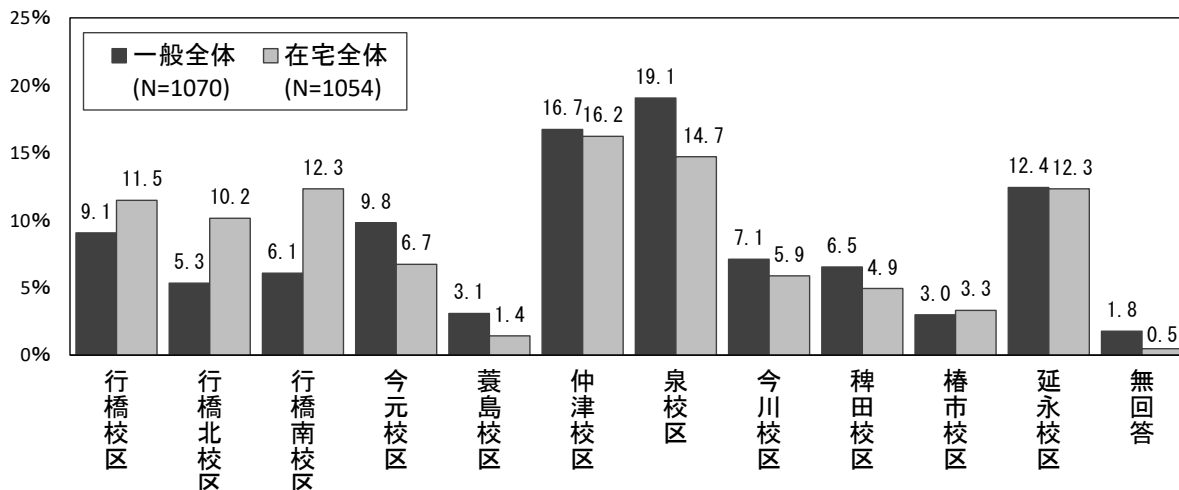
【年齢階層】



(3) 居住地区（小学校区・圏域）

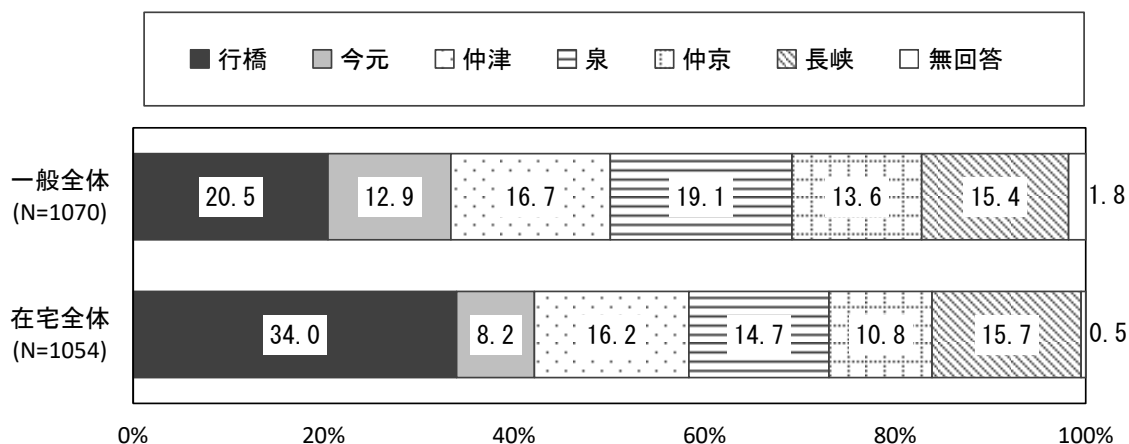
- 小学校区別で見ると、一般高齢者では「泉校区」（19.1%）、「仲津校区」（16.7%）、「延永校区」（12.4%）、「今元校区」（9.8%）の順に高い。（※回答者の選択に基づく構成比）
- 在宅要介護認定者では「仲津校区」（16.2%）、「泉校区」（14.7%）、「行橋南校区」「延永校区」（12.3%）の順に高い。（※被保険者情報に基づく構成比）

【小学校区】



- 圏域別で見ると、一般高齢者では「行橋（行橋校区、行橋北校区、行橋南校区）」（20.5%）、「泉（泉校区）」（19.1%）、「仲津（仲津校区）」（16.7%）の順に高い。
- 在宅要介護認定者では「行橋（行橋校区、行橋北校区、行橋南校区）」（34.0%）、「長峽（椿市校区、延永校区）」（15.7%）、「泉（泉校区）」（14.7%）の順に高い。

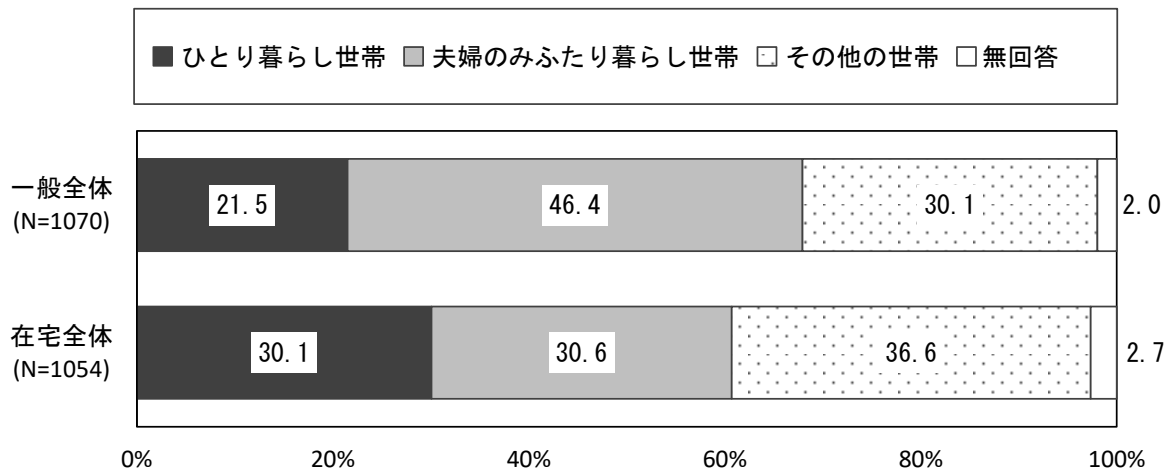
【圏域】



(4) 世帯構成

- 一般高齢者では「夫婦のみふたり暮らし世帯」(46.4%)、在宅要介護認定者では「その他の世帯」(36.6%) がそれぞれ最も高くなっている。「夫婦のみふたり暮らし世帯」は、一般高齢者が在宅要介護認定者より高く、「ひとり暮らし世帯」は在宅要介護認定者が一般高齢者より高い。

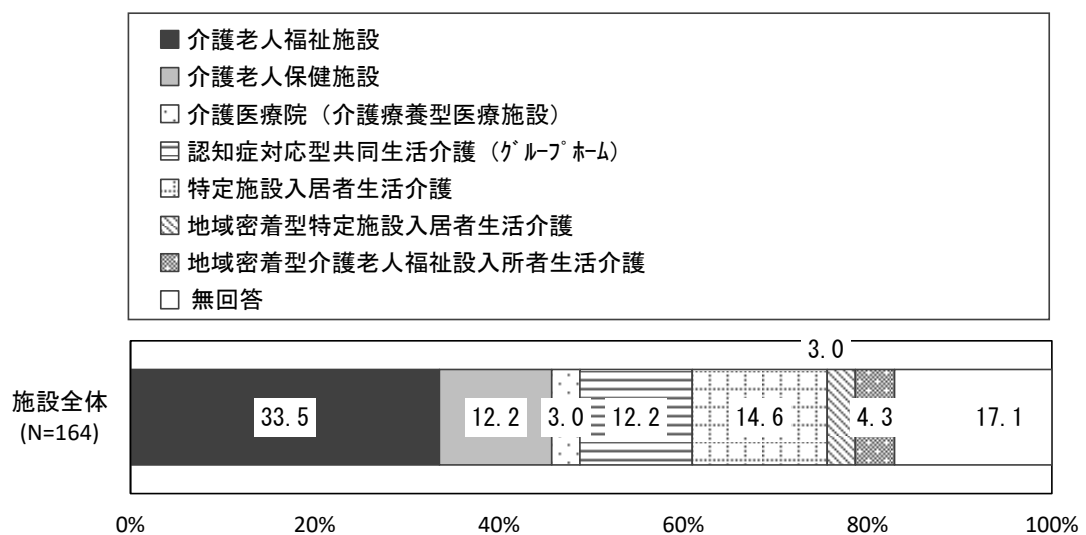
【世帯構成】



(5) 入所・入居施設の種類の種類

- 施設・居住系サービス利用者では「介護老人福祉施設」が 33.5%と最も高く、次いで「特定施設入居者生活介護」(14.6%)、「介護老人保健施設」と「認知症対応型共同生活介護(グループホーム)」が同率で 12.2%となっている。

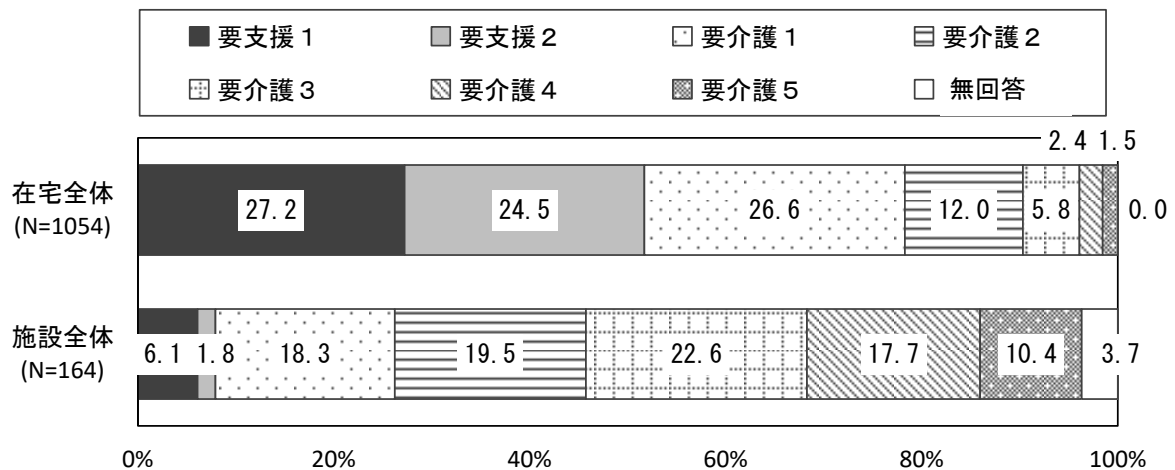
【入所・入居施設の種類の種類】



(6) 要介護度

- 在宅要介護認定者では「要支援1」が27.2%と最も高く、次いで「要介護1」(26.6%)、「要支援2」(24.5%)の順に高い。
- 施設・居住系サービス利用者では「要介護3」が22.6%と最も高く、次いで「要介護2」(19.5%)、「要介護1」(18.3%)の順に高く、中重度の認定者は50.7%となっている。
- 在宅要介護認定者では要支援1・2の要支援認定者が51.7%と半数を占めているが、施設・居住系サービス利用者では要介護1以上の要介護認定者が88.5%を占めている。

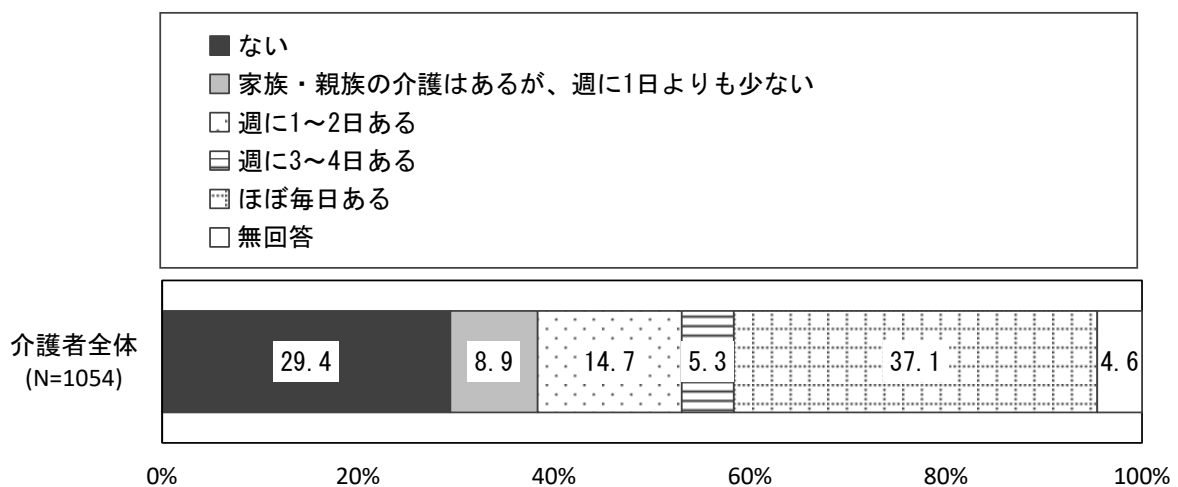
【要介護度】



(7) 家族・親族等からの介護の頻度

- 在宅要介護認定者の家族・親族等からの介護は「ほぼ毎日ある」が37.1%と最も高く、次いで「ない」(29.4%)、「週に1～2日ある」(14.7%)の順に高く、「週に1～2日ある」から「ほぼ毎日ある」を合わせた『週に1日以上』が57.1%を占めている。

【家族・親族等からの介護の頻度】



## 2. 健康状態や健康づくり・介護予防等について

### (1) 健康状態について

- 現在抱えている怪我、病気について、一般高齢者では「高血圧」(47.5%)、在宅要介護認定者では「骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等」(25.0%)、施設・居住系サービス利用者では「認知症」(44.5%)がそれぞれ最も高い。
- 在宅要介護認定者、施設・居住系サービスにおいて「認知症」が上位にあがっている。

#### 【抱えている怪我や病気】

	一般高齢者 (N=1,070)	在宅要介護認定者 (N=1054)	施設・居住系サービス (N=164)
1位	高血圧 (47.5%)	骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等 (25.0%)	認知症 (44.5%)
2位	目の病気 特にない (同率 18.0%)	その他 (23.5%)	糖尿病 (20.7%)
3位		認知症 (22.2%)	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) (15.9%)
4位	糖尿病 高脂血症 (脂質異常) (同率 14.7%)	心臓病 (18.1%)	心臓病 (14.0%)
5位		糖尿病 (15.9%)	その他 (12.8%)

### (2) 介護予防について

- 一般高齢者が健康づくりや介護予防のために、日常生活の中で取り組んでいることは「歩く(散歩や買い物等)」が56.0%と最も高く、次いで「食事の栄養バランスに気をつける」(46.5%)、「規則正しい生活をする」(43.8%)、「歯や口の健康に気をつける」(43.3%)となっており、「特に取り組んでいない」は5.5%に留まっている。
- 一般高齢者が健康づくりや介護予防で関心があることは「膝痛や腰痛の改善・予防のための運動等について」が44.6%と最も高く、次いで「がん・高血圧・糖尿病等の生活習慣病の予防について」(42.7%)、「認知症の予防について」(40.7%)、「転倒・骨折予防について」(29.9%)の順に高くなっている。

### (3) 認知症について

- 一般高齢者の認知症という病気を知っているかについては、「よく知っている」が63.2%、「聞いたことはあるが詳しくは知らない」が32.6%となっている。また、早期治療が必要な病気であると思うかについて「そう思う」が82.0%となっている。
- 一般高齢者が身近に認知症と思われる人がいるかについては、「いない」が60.2%、「いる」が32.7%となっている。また、困っていることがあるかについて「困っていることはない」が58.9%、「困っていることがある」が25.4%となっている。

### 3. 社会参加や生きがいづくりについて

#### (1) 地域活動について

- 一般高齢者の地域活動への参加は「参加していない」が 50.7%となっており、参加している人の活動内容は「町内会・自治会」が 17.6%と最も高く、次いで「趣味のサークル・団体」(12.6%)、「健康・スポーツのサークル・団体」(11.7%)、「老人クラブ」(8.0%)、「いきいきサロン」(7.9%)の順に高く、その他の活動については5%未満となっている。また、「参加していない」と回答した人の理由は、「一人の方が気楽だから」が 35.0%と最も高く、次いで「家庭の事情（家事や仕事等）で時間がとれないから」(24.1%)、「参加するきっかけがないから」(22.7%)の順に高くなっている。
- 一般高齢者が今後やりたいことは「特にない」は 6.5%に留まっており、やりたいことの内容は「これまでの友人や知人と交流すること」が 42.3%と最も高く、次いで「家に閉じこもらないでできるだけ外にでること」(42.1%)、「家族と一緒に過ごすこと」(31.8%)、「個人や家族でスポーツや趣味・娯楽を楽しむこと」(29.5%)、「働くこと（仕事）」「サークル活動等で、スポーツや趣味・娯楽を楽しむこと」(20.7%)の順に高くなっている。

#### (2) 働くことについて

- 一般高齢者では現在「働いている」が 30.5%となっており、働いている人の職業は「パート・アルバイト等（シルバー人材センターへの登録等含む）」が 44.2%と最も高く、次いで「会社員・公務員等」(16.3%)、「その他」(12.6%)の順に高い。
- 一般高齢者で現在働いていない人の 22.0%が今後働きたいと考えており、働く際に重視する条件は「体力的に負担が軽い仕事であること」が 50.6%と最も高く、次いで「勤務時間が希望と合うこと」(40.6%)、「経験が活かせる仕事であること」(28.1%)の順に高い。また、希望する業種は「製造業」(13.8%)や「生活関連サービス業、娯楽業」(11.9%)、「介護・高齢者支援関連事業」(10.0%)が高い。

### 4. 日常生活等、地域での支え合いについて

#### (1) 日常生活上の不安や困りごと

- 日常生活上の不安や困りごとは、一般高齢者・在宅要介護認定者ともに「健康や病気、介護」が最も高い。また、「急病などの緊急時の対応」も共通して上位にあがっている。在宅要介護認定者では「買い物」や「外出」など、日頃の生活に欠かせない動作や活動に不安や困りごとを抱えている人が多い。

## 【日常生活上の不安や困りごと】

	一般高齢者 (N=1,070)	在宅要介護認定者 (N=1054)
1位	健康や病気、介護 (36.5%)	健康や病気、介護 (41.5%)
2位	特になし (29.8%)	買い物 (33.7%)
3位	急病などの緊急時の対応 (18.7%)	急病などの緊急時の対応 (28.5%)
4位	庭の手入れ (18.6%)	庭の手入れ (27.9%)
5位	買い物 (12.8%)	外出 (手段、送迎、付き添い等) (27.7%)

- 日常生活上の不安や困りごとの相談相手・機関は、一般高齢者・在宅要介護認定者ともに「家族や親族」や「かかりつけ医の医師・看護師等」が高くなっている。また、在宅要介護認定者では「ケアマネジャー」が40.1%と2番目に高い。

## (2) 在宅要介護認定者への支援・サービスについて

- 在宅要介護認定者の介護保険サービス以外の支援・サービスの利用について、「特に利用していない」が54.0%となっており、利用している人の支援・サービスは「配食」(10.2%)、「ゴミ出し」(8.5%)、「外出同行 (通院、買い物など)」(8.4%)、「移送サービス (介護・福祉タクシー等)」(8.0%)、「買い物 (宅配は含まない)」(7.5%)が上位にあがっている。
- 不安や困りごとがある在宅要介護認定者のうち、身近な地域の人にしてほしいことや気にかけてほしいことは「災害時の手助け (情報伝達・避難・消火等)」が13.5%と最も高く、次いで「健康や病気、介護」(12.4%)、「庭の手入れ」(11.7%)、「高齢者のみの生活」(11.5%)、「急病などの緊急時の対応」(10.4%)が上位にあがっている。

## (3) 地域での支え合いについて

- 一般高齢者が、日常生活で支援が必要になった場合に身近な地域の人にしてほしい支援は「急病などの緊急時の手助け」が33.1%と最も高く、次いで「災害時の手助け」(29.6%)、「外出時の送迎」(29.5%)の順に高い。
- 一般高齢者が、となり近所の人に対してできる支援は「定期的な声かけや見守り」が37.6%と最も高く、次いで「ゴミ出し」(30.5%)、「災害時の手助け」(26.6%)の順に高い。

## 【地域の人にしてもらいたい支援、できる支援】 (一般高齢者(N=1,070))

	身近な地域の人にしてほしいこと	近所の高齢者や障がいのある人にできる支援
1位	急病などの緊急時の手助け (33.1%)	定期的な声かけや見守り (37.6%)
2位	災害時の手助け (29.6%)	ゴミ出し (30.5%)
3位	外出時の送迎 (29.5%)	災害時の手助け (26.6%)
4位	買い物 (26.9%)	急病などの緊急時の手助け (23.2%)
5位	特にしてほしいことはない (24.2%)	買い物 (21.9%)

## 5. 住まいについて

### (1) 住居に関する不便さや困りごと

- 住居に関する不便さや困りごとは、「特にない」が一般高齢者では49.2%、在宅要介護認定者では42.6%となっている。一般高齢者・在宅要介護認定者ともに「維持管理がたいへん（掃除や家の修繕など）」「バリアフリーになっていない（トイレ、風呂、段差や階段など）」「古くなって安全性に不安がある」が上位にあがっている。

#### 【住居の困りごと】

	一般高齢者 (N=1,070)	在宅要介護認定者 (N=1,054)
1位	維持管理がたいへん（掃除や家の修繕など）(25.2%)	バリアフリーになっていない（トイレ、風呂、段差や階段など）(27.6%)
2位	バリアフリーになっていない（トイレ、風呂、段差や階段など）(17.8%)	維持管理がたいへん（掃除や家の修繕など）(24.5%)
3位	古くなって安全性に不安がある (14.9%)	古くなって安全性に不安がある (18.6%)

- 住んでいる環境・地域に関する不便さや困りごとは、「特にない」が一般高齢者では36.8%、在宅要介護認定者では33.5%となっている。一般高齢者・在宅要介護認定者ともに「交通の便が悪い」が最も高く、次いで「商業施設が近くにない（銀行、スーパー等）」「役所等の公共機関が近くにない」の順に高くなっている。

#### 【環境・地域の困りごと】

	一般高齢者 (N=1,070)	在宅要介護認定者 (N=1,054)
1位	交通の便が悪い (37.7%)	交通の便が悪い (37.3%)
2位	商業施設が近くにない（銀行、スーパー等）(29.9%)	商業施設が近くにない（銀行、スーパー等）(33.4%)
3位	役所等の公共機関が近くにない (25.1%)	役所等の公共機関が近くにない (31.3%)

## 6. 介護保険サービス、施設サービス等について

### (1) 介護保険サービスの利用について

- 在宅要介護認定者では、住宅改修、福祉用具貸与、購入以外の介護保険サービスを利用している人が79.2%となっており、利用したことにより、「穏やかに毎日を過ごせている」(44.1%)や「日々の生活の中に楽しみが増えた」(24.7%)等の効果を感じている。
- 介護保険サービスを利用している在宅要介護認定者のうち、介護保険サービスの利用満足度は「まあ満足」が37.1%と最も高く、「満足」(33.4%)を合わせた『満足』が70.5%と高くなっている。また、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』は3.2%となっており、不満の理由について40.7%が「サービスの量（回数や時間）が足りない」と回答している。
- 在宅要介護認定者では、現在の介護保険サービス利用の有無に関わらず、今後利用したい（利用し続けたい）在宅サービスは「福祉用具貸与（レンタル）・購入」(38.5%)、「通所リハビリテーション」(33.4%)、「訪問介護（生活援助中心）」(23.6%)、「訪問介護（身体介護中心）」(17.0%)、「訪問看護」(16.2%)が上位にあがっている。

## (2) 施設サービスの利用について

- 施設・居住系サービス利用者が施設等に入所している期間は「3～5年未満」が22.0%と最も高く、次いで「2～3年未満」(20.1%)、「5年以上」(19.5%)となっており、『2年以上』が61.6%と高くを占めている。
- 施設・居住系サービス利用者の施設サービスの利用満足度は「まあ満足」が32.9%と最も高く、「満足」(27.4%)を合わせた『満足』が60.3%と高くなっている。また、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』は7.9%となっている。

## 7. 在宅医療や在宅介護について

### (1) 在宅医療について

- 一般高齢者では在宅医療サービスについて「どれも知らない」は14.5%に留まっており、知っているサービス内容は「訪問看護」(65.3%)や「通所リハビリテーション(デイケア)」(60.0%)、「訪問診療」(49.2%)が高い。
- 在宅要介護認定者が利用している在宅医療サービスは「通所リハビリテーション(デイケア)」が34.3%と最も高い。また、在宅医療サービスが必要となった理由(状態、病気、処置)について「その他」(33.1%)が最も高く、その内容は筋力や歩行能力の低下、骨折となっている。次いで「認知症」(21.1%)、「脳梗塞などの後遺症」(9.9%)となっており、「たんの吸引」「腹膜透析・人工透析」「在宅酸素」等の高度な医療処置を必要とする人は2%以下となっている。

### (2) 今後の介護希望について

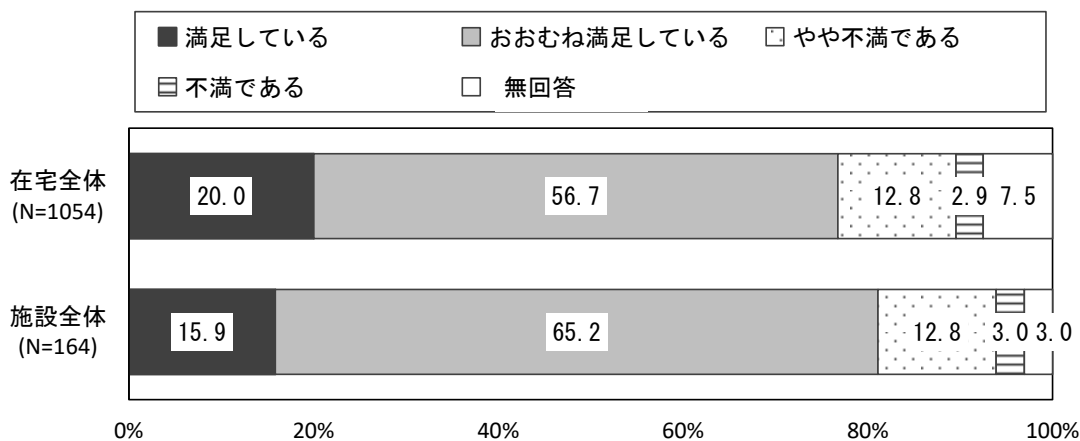
- 一般高齢者では、将来、自分自身に介護が必要になった場合、希望する介護は「自宅で家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスなどを利用したい」が32.1%と最も高く、これに「自宅で家族だけで介護してほしい」(6.6%)と「自宅で介護保険の在宅サービスなどだけで生活したい」(14.3%)を合わせた『在宅希望』が53.0%と半数を超えている。
- 一般高齢者では、人生の最期をどこで迎えたいかについて「自宅」が56.4%と半数を占め、次いで「病院等の医療施設(ホスピスや緩和ケア病棟含む)」(22.1%)となっている。
- 施設・居住系サービス利用者が今後希望する介護は「現在のグループホーム・特定施設等(居住系サービス)で引き続き生活したい」が48.8%と最も高く、これに「現在の介護保険施設に引き続き入所したい」(38.4%)を合わせた87.2%が現在入所中の施設等への継続入所を希望している。

## 8. 介護保険制度や高齢者福祉制度全般について

### (1) 介護保険制度について

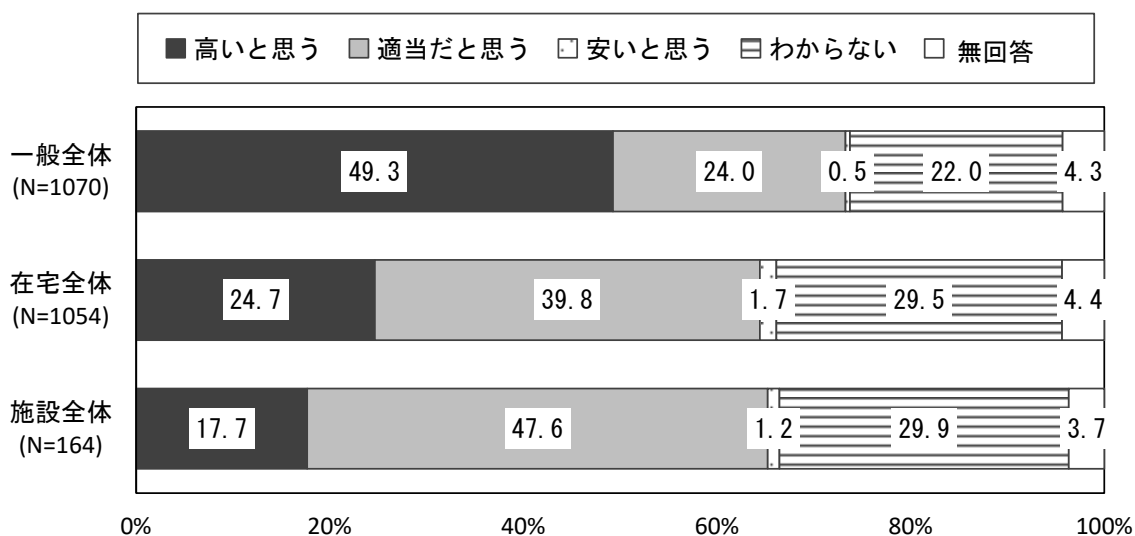
- 介護保険制度の満足度では、在宅要介護認定者、施設・居住系サービス利用者ともに、「おおむね満足している」が過半数を占めて最も高い。また、「満足している」と「おおむね満足している」を合わせた『満足』は、在宅要介護認定者、施設・居住系サービス利用者ともに70%以上を占めている。

【介護保険制度の満足度】



- 介護保険料と介護サービスのあり方について、一般高齢者では、在宅要介護認定者や施設・居住系サービス利用者比べて「利用できる介護サービスの種類や量を多少抑えても、保険料は低い方がよい」が30.7%とやや高い。
- 介護保険料の負担感は、一般高齢者では「高いと思う」が49.3%と半数程度を占めているが、実際に介護保険サービスを利用している在宅要介護認定者や施設・居住系サービス利用者では「適当だと思う」が最も高くなっている。

【介護保険料の負担感】



## (2) 高齢者施策について

- 高齢者に対する施策や支援で特に大切だと思うものは、一般高齢者、施設・居住系サービス利用者のいずれにおいても「ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援」「自宅を訪問するサービスの充実（ホームヘルプサービスなど）」が上位にあがっている。

## 【高齢者施策・支援で特に大切だと思うもの】

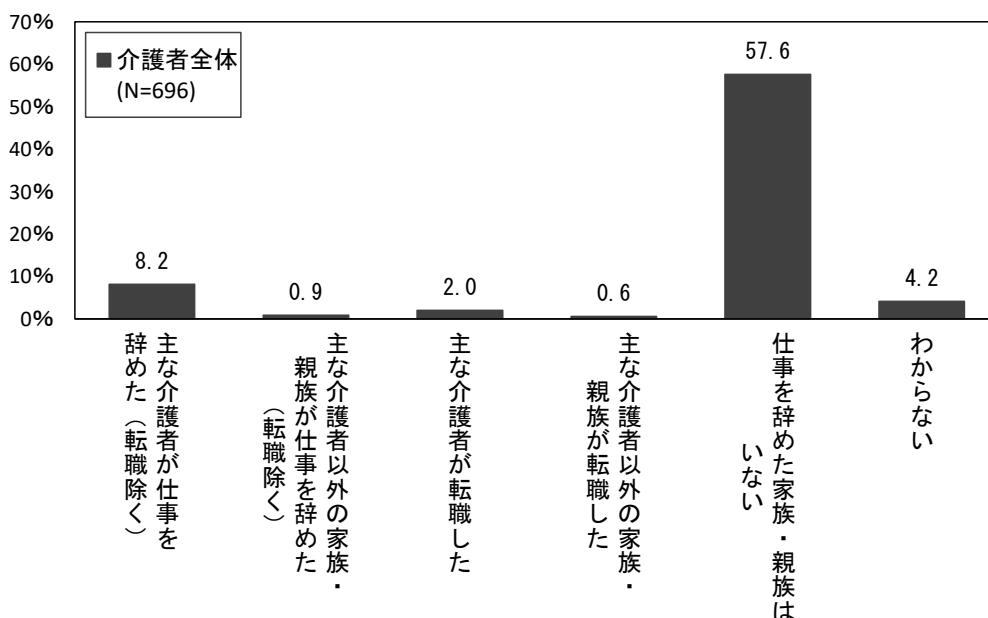
	一般高齢者 (N=1,070)	在宅要介護認定者 (N=1,054)	施設・居住系サービス (N=164)
1位	ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援 (44.0%)	日中、施設に通うサービスの充実（デイサービスなど）(45.1%)	介護保険料・サービス利用料の軽減等の低所得者層に対する対策
2位	自宅を訪問するサービスの充実（ホームヘルプサービスなど）(41.1%)	自宅を訪問するサービスの充実（ホームヘルプサービスなど）(35.6%)	ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援 (同率 42.1%)
3位	高齢者に配慮したまちづくり（交通機関、道路、建物のバリアフリー化）(38.4%)	ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援 (32.8%)	介護保険施設等の施設サービスの充実 (40.2%)
4位	日中、施設に通うサービスの充実（デイサービスなど）(35.0%)	介護保険料・サービス利用料の軽減等の低所得者層に対する対策 (32.4%)	自宅を訪問するサービスの充実（ホームヘルプサービスなど）(37.2%)
5位	介護保険料・サービス利用料の軽減等の低所得者層に対する対策 (33.9%)	認知症高齢者や認知症高齢者を抱える家族に対する支援 (30.7%)	認知症高齢者や認知症高齢者を抱える家族に対する支援 (28.0%)

## 9. 家族等介護者について（在宅要介護認定者用調査）

### （1）主な介護者について

- 在宅要介護認定者を介護されているご家族やご親族等について、調査対象者との続柄は、「子」（48.1%）や「配偶者」（32.6%）で80.7%を占める。
- 主な介護者の性別は「女性」が54.2%、「男性」が34.2%となっている。
- 主な介護者の年齢は「60歳代」（24.1%）、「80歳以上」（21.6%）、「70歳代」（19.8%）、「50歳代」（19.1%）の順に高い。
- 調査対象者と主な介護者は「同居」が58.9%と多くを占め、「別居（行橋市内）」が17.2%、「別居（行橋市外）」が11.5%となっている。
- 調査対象者の介護を主な理由として、過去1年間に離職・転職した家族・親族について「主な介護者が仕事を辞めた」が8.2%、「主な介護者が転職した」が2.0%となっている。

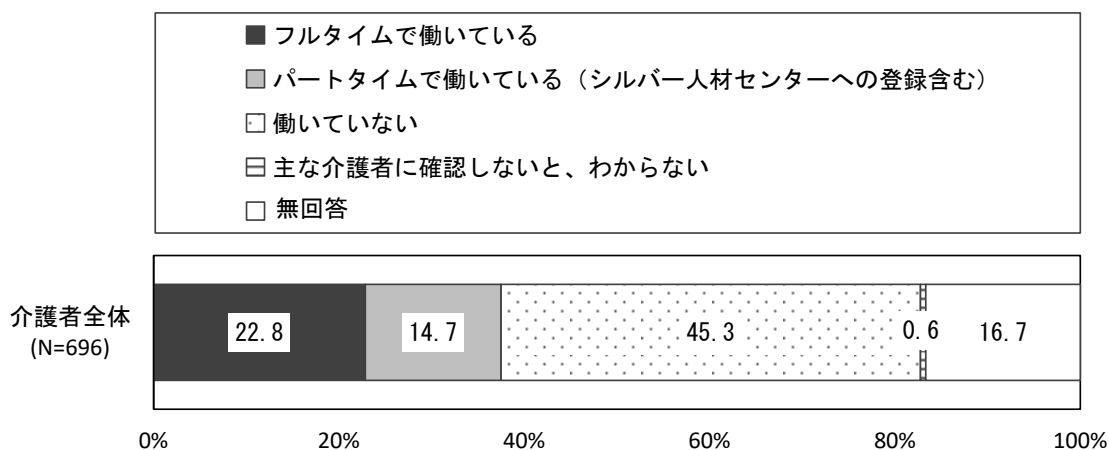
【家族・親族等の介護を理由とした離職状況】



### （2）仕事と介護の両立について

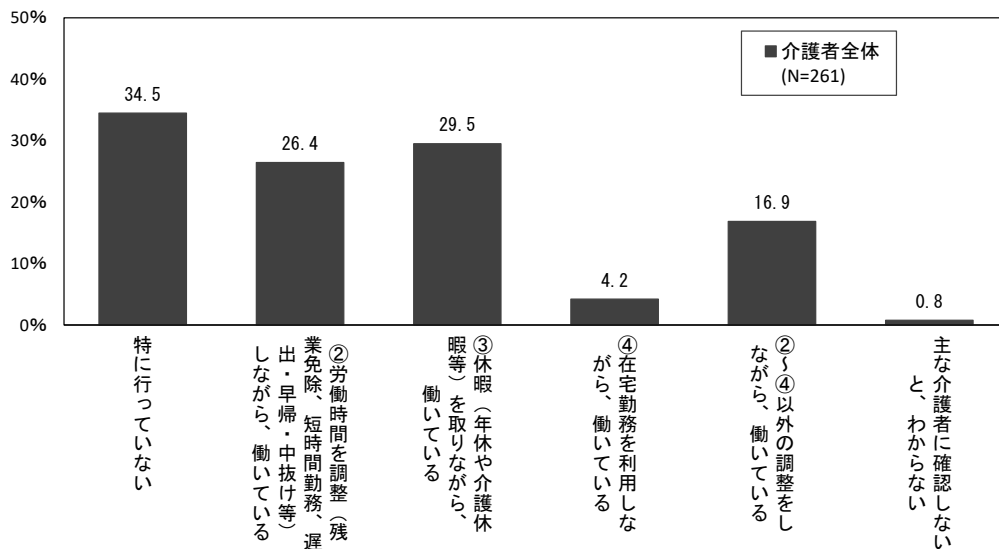
- 主な介護者の勤務形態は「働いていない」が45.3%と半数近くを占め、「フルタイムで働いている」が22.8%、「パートタイムで働いている」が14.7%となっており、37.5%が働きながら介護を行っている。

【主な介護者の勤務形態】



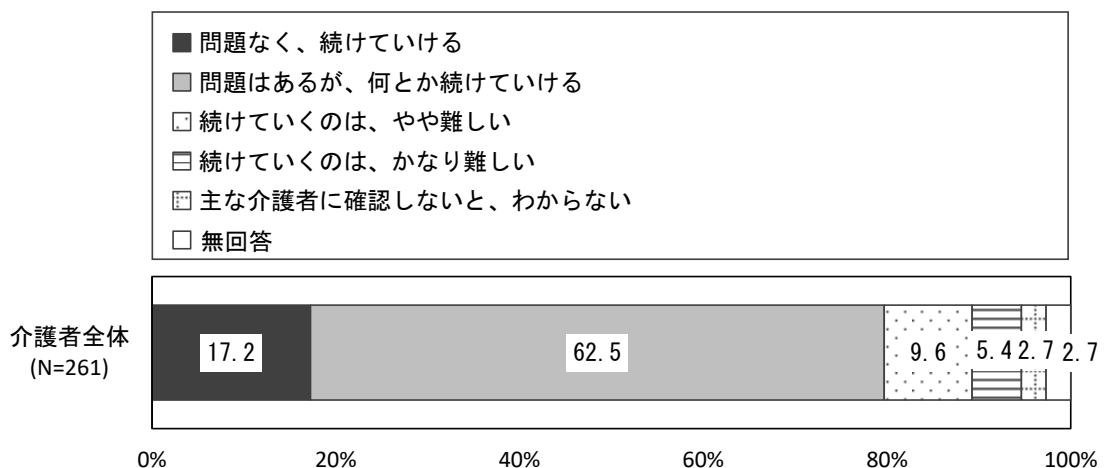
- フルタイム又はパートタイムで働きながら介護を行う介護者の働き方の調整等について、34.5%が「特に行っていない」としている。調整等を行う人では、「③休暇を取りながら、働いている」(29.5%)、「②労働時間を調整しながら、働いている」(26.4%)、「②～④以外の調整をしながら、働いている」(16.9%)が高い。

【介護をするにあたって行う働き方についての調整等】



- 働きながら介護を行う従業員に勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うかは「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が35.2%と最も高くなっている。次いで「介護休暇等の制度を利用しやすい職場づくり」(34.1%)、「労働時間の柔軟な選択」(25.7%)の順に高い。
- 今後も介護をしながら就労継続が見込めるかについて「問題はあるが、何とか続けていける」が62.5%と最も高く、「問題なく、続けていける」(17.2%)を合わせた79.7%が『就労継続可能』となる。一方、「続けていくのは、やや難しい」(9.6%)と「続けていくのは、かなり難しい」(5.4%)を合わせた『就労継続困難』は15.0%となっている。就労継続可能な期間を維持できるよう、支援していく必要がある。

【就労継続見込み】



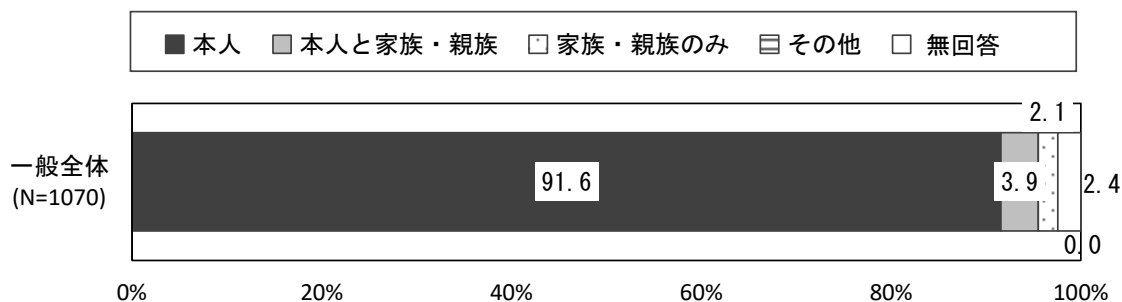
## 第3章 一般高齢者用調査

### 1. 回答者の基本属性

#### (1) 調査の回答者

- 「本人」による回答が91.6%となっている。

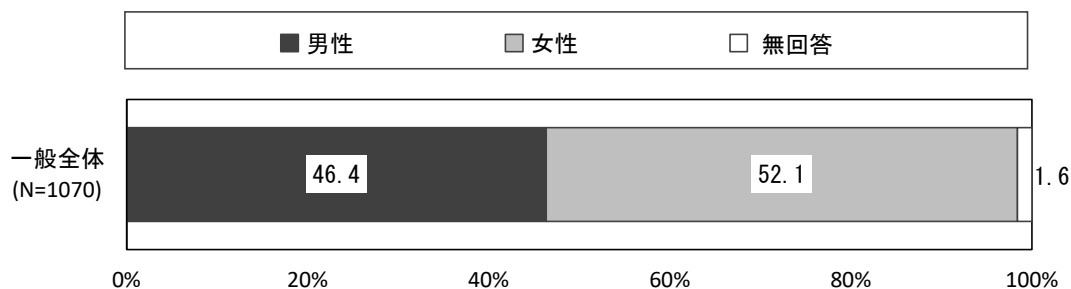
【調査の回答者】



#### (2) 性別

- 「女性」が52.1%を占め、「男性」(46.4%)を5.7ポイント上回っている。

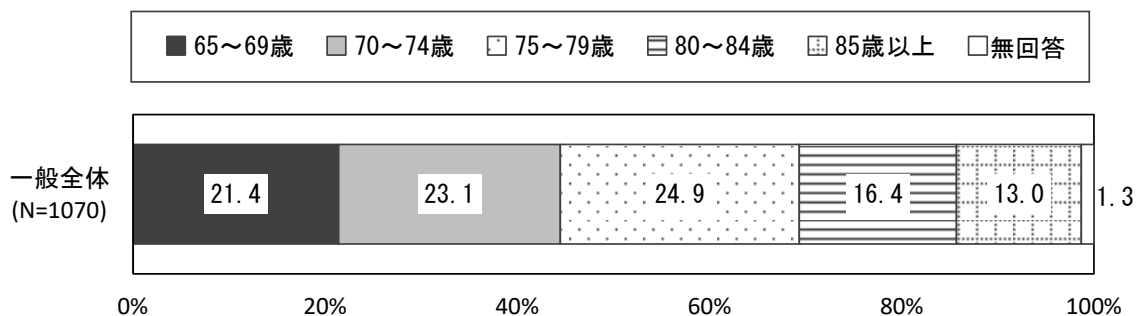
【性別】



#### (3) 年齢

- 「75～79歳」が24.9%と最も高く、「80～84歳」(16.4%)、「85歳以上」(13.0%)を合わせた後期高齢者が54.3%と過半数を占める。75歳未満の前期高齢者は44.5%となっている。

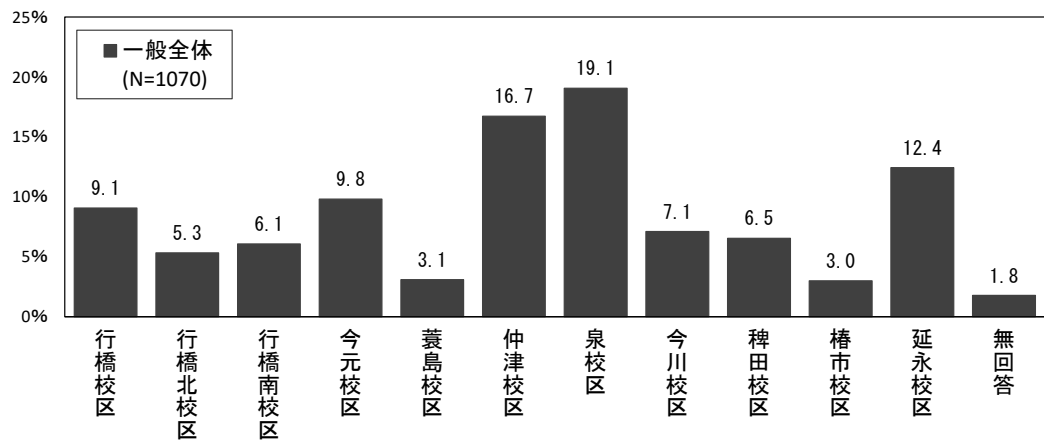
【年齢】



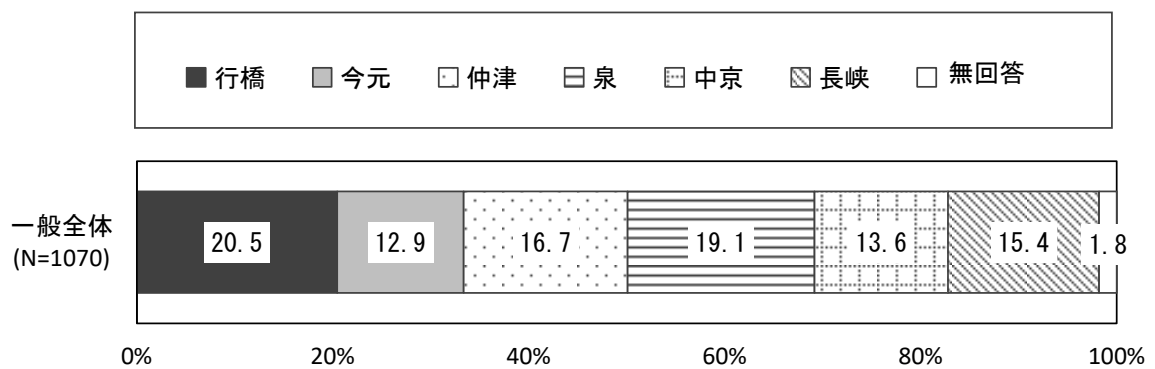
(4) 居住地区

- 「泉校区」が19.1%と最も高く、次いで「仲津校区」(16.7%)、「延永校区」(12.4%)の順に続く。

【居住地区(小学校区)】



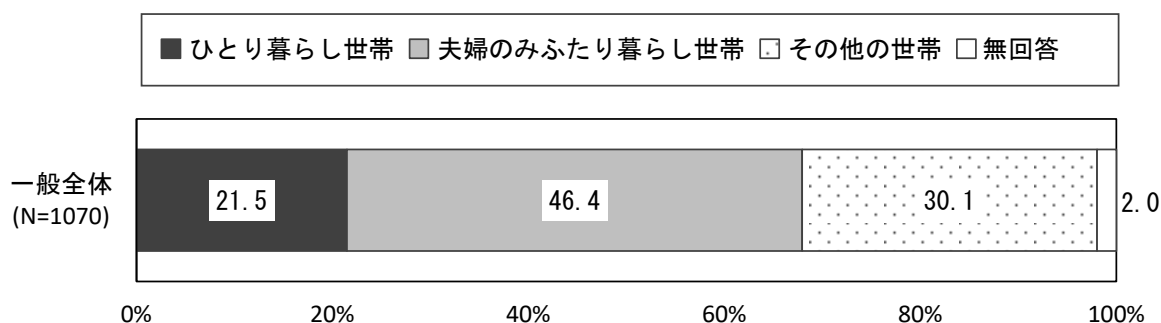
【居住地区(圏域)】



(5) 世帯構成

- 「夫婦のみふたり暮らし世帯」が46.4%と最も高く、次いで「その他の世帯」(30.1%)、「ひとり暮らし世帯」(21.5%)の順に続く。
- 性別にみると、女性は「ひとり暮らし世帯」が28.4%と男性を上回っている。男性は「夫婦のみふたり暮らし世帯」が55.6%を占めている。
- 年齢別にみると年齢が上がるにつれて「ひとり暮らし世帯」の割合が高まる傾向にあり、85歳以上になると36.0%を占める。
- 小学校区別にみると、「ひとり暮らし世帯」は、行橋北校区が29.8%と最も高く、次いで「行橋校区」(28.9%)、「菫島校区」(27.3%)が25%を超えている。

【世帯構成】



【世帯構成(性別・年齢別・小学校区別)】

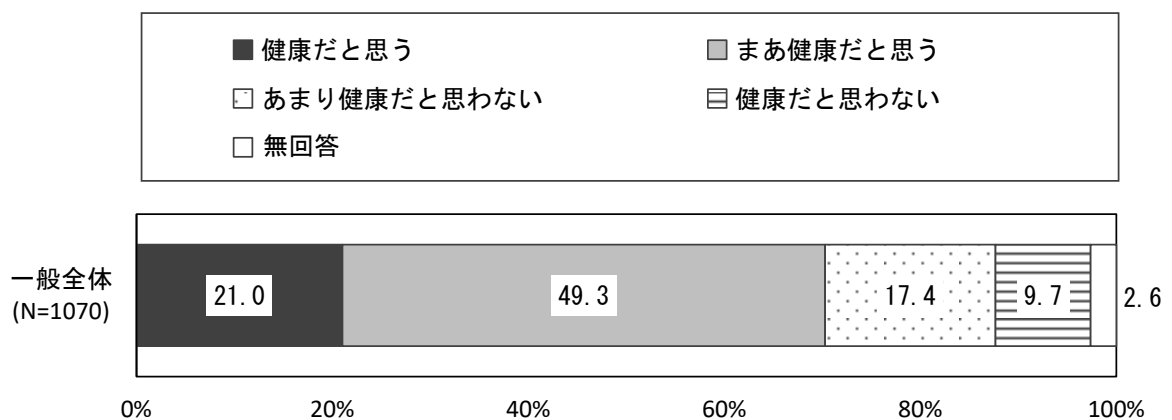
		調査数 (人)	ひとり暮らし世帯	夫婦のみふたり暮らし世帯	その他の世帯	無回答
			(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		1,070	21.5	46.4	30.1	2.0
性別	男性	496	14.5	55.6	29.4	0.4
	女性	557	28.4	39.7	31.2	0.7
	無回答	17	0.0	0.0	11.8	88.2
年齢別	65～69歳	229	15.7	49.8	34.5	0.0
	70～74歳	247	15.4	53.0	31.6	0.0
	75～79歳	266	23.3	50.0	25.9	0.8
	80～84歳	175	25.1	48.0	25.1	1.7
	85歳以上	139	36.0	25.2	37.4	1.4
	無回答	14	0.0	0.0	0.0	100.0
小学校区別	行橋校区	97	28.9	42.3	28.9	0.0
	行橋北校区	57	29.8	49.1	21.1	0.0
	行橋南校区	65	21.5	43.1	33.8	1.5
	今元校区	105	21.9	42.9	35.2	0.0
	菫島校区	33	27.3	54.5	18.2	0.0
	仲津校区	179	21.8	48.0	29.6	0.6
	泉校区	204	20.6	47.5	30.9	1.0
	今川校区	76	19.7	53.9	26.3	0.0
	稗田校区	70	21.4	38.6	40.0	0.0
	椿市校区	32	15.6	40.6	40.6	3.1
	延永校区	133	16.5	54.9	27.8	0.8
	無回答	19	5.3	0.0	15.8	78.9

## 2. 健康について

### (1) 主体的健康感

- 自分の健康状態について「まあ健康だと思う」が49.3%となっており、これに「健康だと思う」(21.0%)を合わせた70.3%が『健康だと思う』と回答している。一方、「あまり健康だと思わない」(17.4%)と「健康だと思わない」(9.7%)を合わせた『健康だと思わない』は27.1%となっている。
- 性別にみると、『健康だと思う』が、男性では69.6%、女性では72.7%と女性の方が3.1ポイント上回っている。
- 年齢別にみると、85歳以上では『健康だと思う』は61.1%となっており、『健康だと思わない』が36.0%となっている。

【主体的健康感】



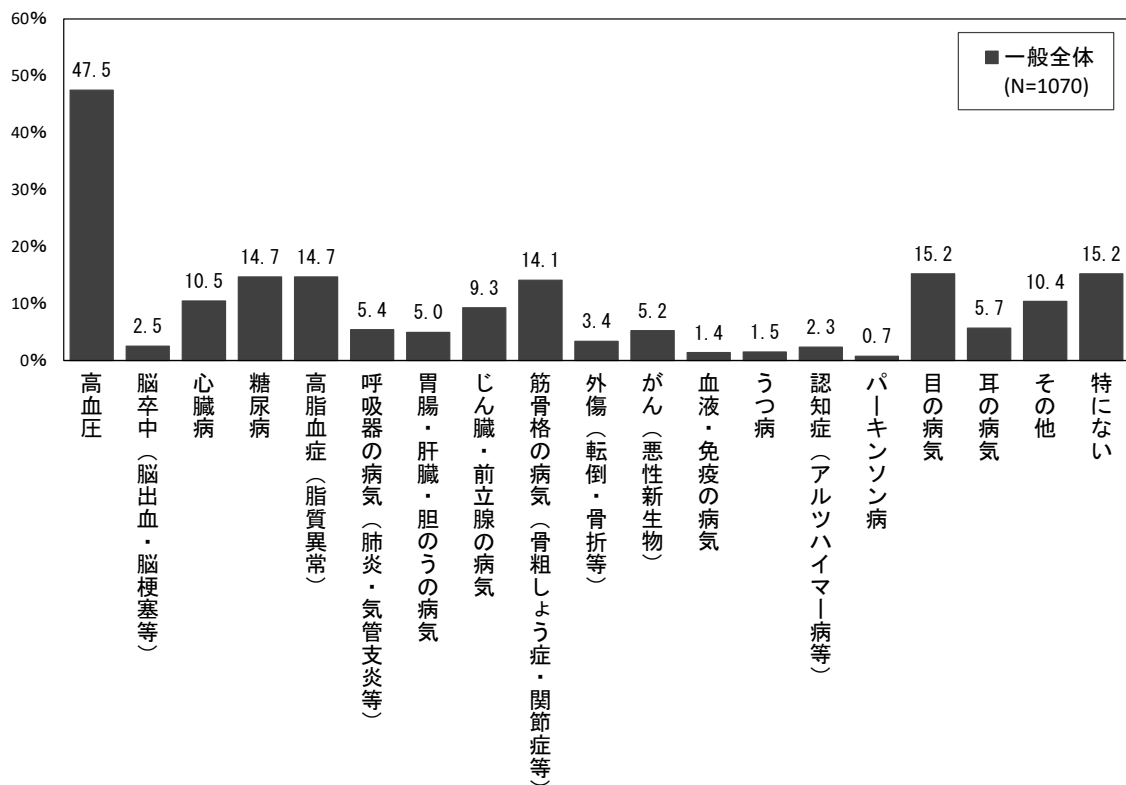
【主体的健康感(性別・年齢別)】

		調査数	健康 だと思 う	まあ 健康だ と思 う	あま り健康 だと思 わな い	健康 だと思 わな い	無回 答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		1,070	21.0	49.3	17.4	9.7	2.6
性別	男性	496	23.0	46.6	18.1	11.3	1.0
	女性	557	19.9	52.8	17.1	8.6	1.6
	無回答	17	0.0	11.8	5.9	0.0	82.4
年齢別	65～69歳	229	31.0	49.3	13.1	5.7	0.9
	70～74歳	247	21.9	53.8	16.6	7.7	0.0
	75～79歳	266	18.4	51.5	18.0	10.5	1.5
	80～84歳	175	19.4	43.4	21.7	13.1	2.3
	85歳以上	139	12.2	48.9	20.9	15.1	2.9
	無回答	14	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

(2) 治療中、生活に支障がある怪我、病気

- 怪我、病気は「高血圧」が47.5%と最も高く、次いで「目の病気」(15.2%)、「糖尿病」「高脂血症(脂質異常)」(14.7%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)」(14.1%)の順に高い。
- 性別にみると、男性は「糖尿病」(19.0%)や「じん臓・前立腺の病気」(15.9%)が女性に比べて高い。女性は男性に比べて「高脂血症(脂質異常)」(17.8%)や「筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)」(21.9%)が高い。
- 年齢別にみると、65～69歳では「特にない」が23.6%みられたが、年齢が上がるにつれて「特にない」は20%を下回っており、高齢になるほど病気にかかる人が高くなっている。また、75歳を境に、「高血圧」や「心臓病」、「じん臓・前立腺の病気」、「目の病気」等の割合が高まる。

【治療中、生活に支障がある怪我、病気】



【治療中、生活に支障がある怪我、病気(性別・年齢別)】

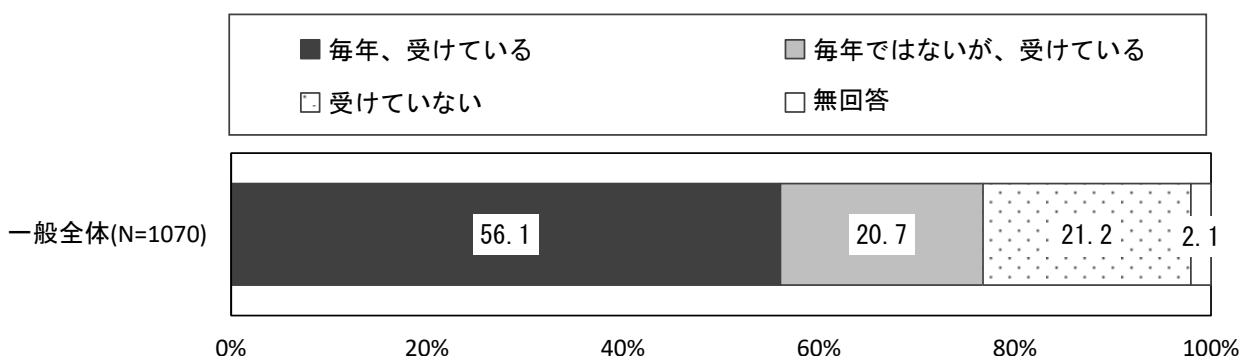
	調査数	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎・気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病気	じん臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨粗しょう症・関節症等)	外傷 (転倒・骨折等)	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	1,070	47.5	2.5	10.5	14.7	14.7	5.4	5.0	9.3	14.1	3.4	
性別	男性	496	51.4	4.2	13.7	19.0	11.7	6.3	4.4	15.9	5.8	2.8
	女性	557	45.2	1.1	7.9	11.1	17.8	4.8	5.6	3.4	21.9	3.9
	無回答	17	5.9	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0
年齢別	65～69歳	229	41.0	1.3	6.6	9.6	17.9	6.1	4.4	3.1	10.5	0.0
	70～74歳	247	48.2	2.4	8.5	15.0	16.6	2.4	6.1	8.1	12.6	2.4
	75～79歳	266	50.8	2.6	12.4	16.9	18.0	7.9	4.9	8.3	15.0	3.8
	80～84歳	175	49.1	3.4	10.3	21.1	10.3	5.1	5.7	15.4	16.0	3.4
	85歳以上	139	53.2	3.6	18.0	11.5	6.5	5.8	3.6	16.5	20.1	10.1
	無回答	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	調査数	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	特 に な い	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	1,070	5.2	1.4	1.5	2.3	0.7	15.2	5.7	10.4	15.2	
性別	男性	496	6.5	1.2	1.4	2.8	1.0	13.9	5.8	10.1	15.1
	女性	557	4.3	1.4	1.6	2.0	0.5	16.7	5.7	11.0	15.8
	無回答	17	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0
年齢別	65～69歳	229	2.2	1.7	1.7	0.4	0.0	13.1	3.5	9.2	23.6
	70～74歳	247	6.9	0.8	2.4	0.4	0.4	9.3	2.8	12.6	17.0
	75～79歳	266	6.0	1.9	1.1	1.5	0.8	18.0	6.0	11.7	13.2
	80～84歳	175	8.0	0.0	1.7	6.9	0.6	20.0	9.7	7.4	10.9
	85歳以上	139	2.9	2.9	0.0	5.0	2.9	19.4	9.4	10.8	9.4
	無回答	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(3) 健康診断の受診状況

- 健康診断の受診状況は「毎年、受けている」が56.1%と過半数を占め、これに「毎年ではないが、受けている」(20.7%)を合わせた76.8%が『受けている』と回答している。一方、「受けていない」は21.2%となっている。
- 性別にみると、『受けている』が、女性では77.9%、男性では77.7%と大きな差はない。
- 年齢別にみると、「毎年、受けている」は年齢が上がるにつれて減少傾向にあり、「受けていない」が80～84歳では26.9%、85歳以上では36.7%となっている。
- 主体的健康感別にみると、「受けていない」の割合は、健康だと思わない人では30%を超えている。

【健康診断の受診状況】



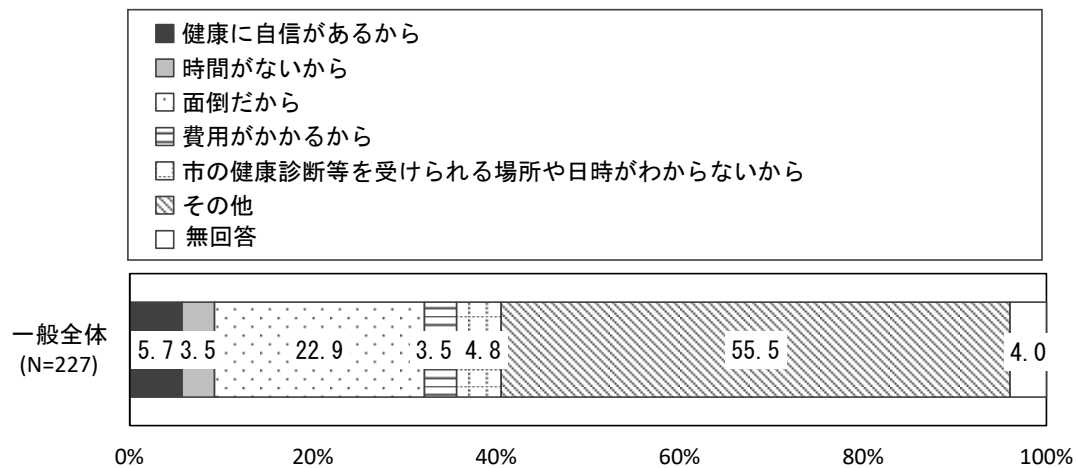
【健康診断の受診状況(性別・年齢別・主体的健康感別)】

		調査数	毎年、受けている	毎年ではないが、受けている	受けていない	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		1,070	56.1	20.7	21.2	2.1
性別	男性	496	58.9	18.8	21.2	1.2
	女性	557	55.3	22.6	21.7	0.4
	無回答	17	0.0	11.8	5.9	82.4
年齢別	65～69歳	229	70.3	18.3	10.5	0.9
	70～74歳	247	63.2	19.4	17.0	0.4
	75～79歳	266	51.1	23.7	23.7	1.5
	80～84歳	175	52.6	20.0	26.9	0.6
	85歳以上	139	39.6	23.7	36.7	0.0
	無回答	14	0.0	0.0	0.0	100.0
主体的健康感別	健康だと思う	225	68.4	16.4	13.3	1.8
	まあ健康だと思う	527	59.2	21.8	18.8	0.2
	あまり健康だと思わない	186	47.3	23.1	28.0	1.6
	健康だと思わない	104	40.4	21.2	38.5	0.0
	無回答	28	14.3	14.3	21.4	50.0

(4) 健康診断を受けていない理由

- 健康診断を受けていない理由は「その他」が55.5%と最も高く、次いで「面倒だから」(22.9%)となっている。「その他」は、「病院に通っている」とする回答が多い。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「費用がかかるから」(7.6%)や「市の健康診断等を受けられる場所や日時がわからないから」(6.7%)が高い。
- 年齢別にみると、65～69歳では「面倒だから」(41.7%)が他の年代に比べて高い。80～84歳では「健康に自信があるから」が8.5%と各年代で最も高い。
- 主体的健康感別にみると、健康だと思う人では「健康に自信があるから」が20.0%、健康だと思わない人では「面倒だから」が12.5%と最も高い。

【健康診断を受けていない理由】



【健康診断を受けていない理由(性別・年齢別・主体的健康感別)】

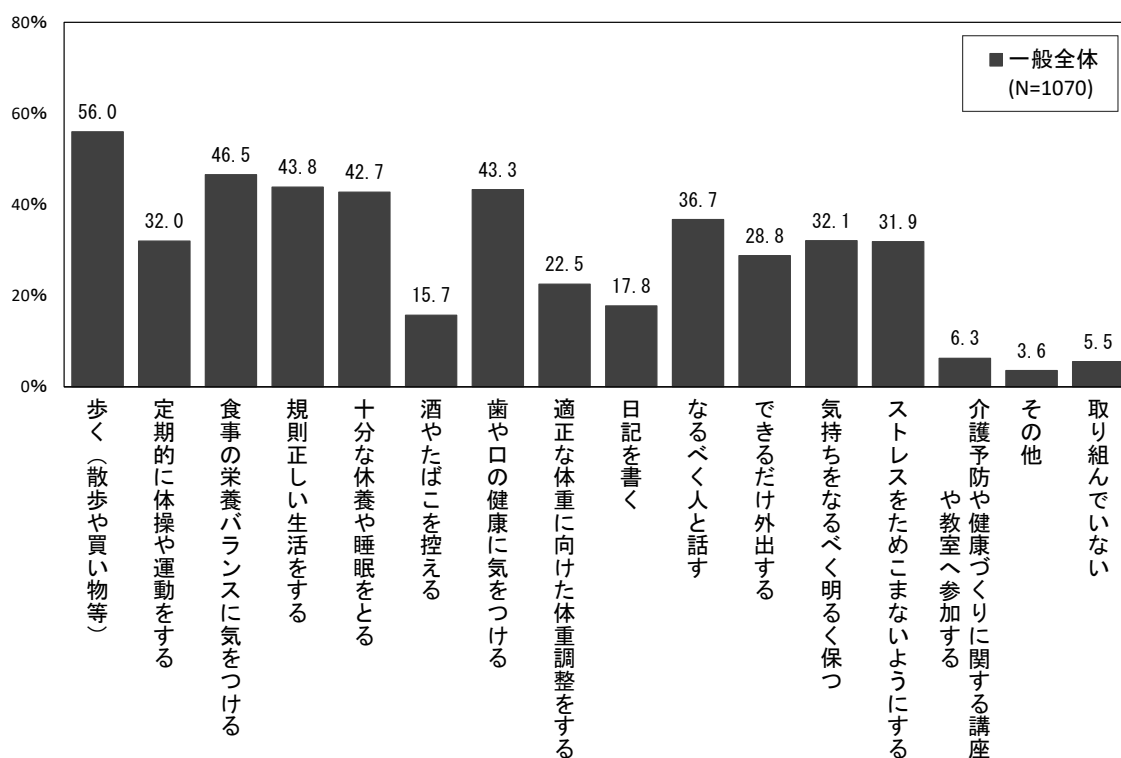
	調査数	健康に自信があるから	時間がないから	面倒だから	費用がかかるから	市の健康診断等を受けられる場所や日時がわからないから	その他	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	227	5.7	3.5	22.9	3.5	4.8	55.5	4.0	
性別	男性	105	6.7	3.8	22.9	7.6	6.7	50.5	1.9
	女性	121	5.0	3.3	23.1	0.0	3.3	59.5	5.8
	無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
年齢別	65～69歳	24	8.3	4.2	41.7	4.2	0.0	41.7	0.0
	70～74歳	42	4.8	4.8	28.6	4.8	2.4	50.0	4.8
	75～79歳	63	3.2	3.2	28.6	3.2	7.9	49.2	4.8
	80～84歳	47	8.5	4.3	14.9	4.3	6.4	57.4	4.3
	85歳以上	51	5.9	2.0	9.8	2.0	3.9	72.5	3.9
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
主体的健康感別	健康だと思う	30	20.0	10.0	13.3	0.0	3.3	53.3	0.0
	まあ健康だと思う	99	7.1	2.0	30.3	3.0	6.1	47.5	4.0
	あまり健康だと思わない	52	0.0	5.8	25.0	3.8	3.8	57.7	3.8
	健康だと思わない	40	0.0	0.0	12.5	7.5	2.5	72.5	5.0
	無回答	6	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	66.7	16.7

### 3. 介護予防について

#### (1) 健康づくりや介護予防のために取り組んでいること

- 健康づくりや介護予防のために取り組んでいることは「取り組んでいない」は5.5%に留まり、多くの人が取り組んでいる。その内容は「歩く（散歩や買い物等）」が56.0%と最も高く、次いで「食事の栄養バランスに気をつける」（46.5%）、「規則正しい生活をする」（43.8%）、「歯や口の健康に気をつける」（43.3%）、「十分な休養や睡眠をとる」（42.7%）の順に続く。
- 性別にみると、男性に比べて女性の方が「食事の栄養バランスに気をつける」（54.0%）や「歯や口の健康に気をつける」（48.7%）のほか、「なるべく人と話す」（46.1%）、「気持ちをなるべく明るく保つ」（41.3%）等の精神面での健康づくりに関する項目が顕著に高い。また、「介護予防や健康づくりに関する講座や教室へ参加する」という項目についても、男性（2.6%）より女性（9.3%）の方が高い。
- 年齢別にみると、「歩く（散歩や買い物等）」は75～79歳では60.5%となっており、他の年齢層と比べて高い。70～74歳では「定期的に体操や運動をする」（34.4%）や「規則正しい生活をする」（46.2%）等の健康づくりに関する項目が他の年齢層に比べて高い。「気持ちをなるべく明るく保つ」は、85歳以上が38.1%と他の年齢層に比べて高い。

【健康づくりや介護予防のために取り組んでいること】



【健康づくりや介護予防のために取り組んでいること(性別・年齢別)】

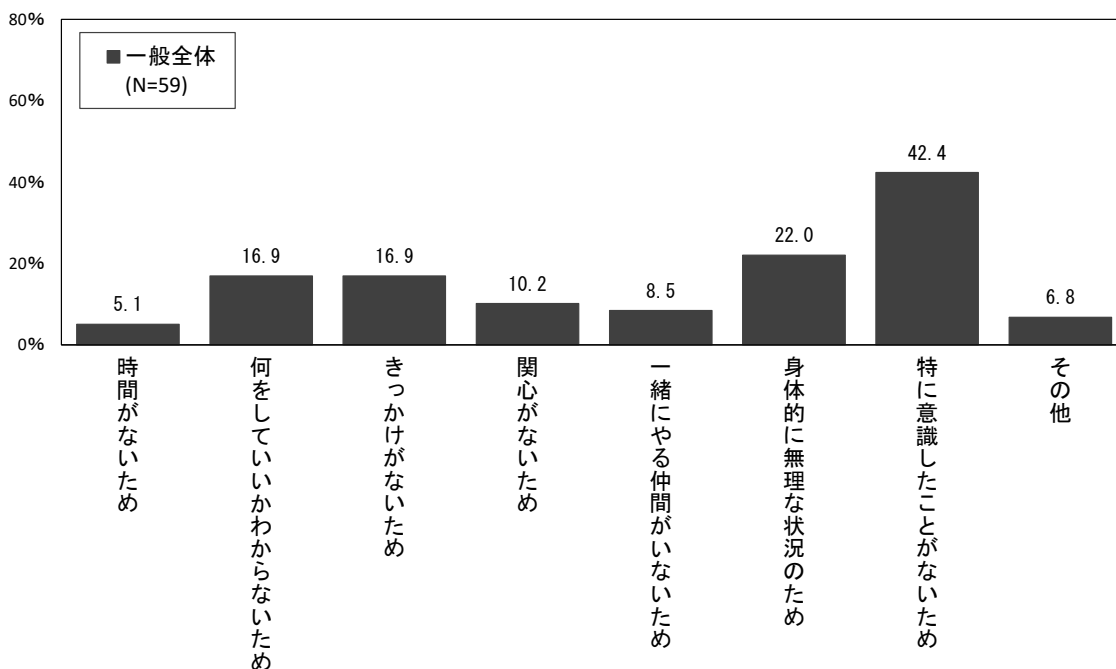
	調査数	歩く(散歩や買い物等)	定期的に体操や運動をする	食事の栄養バランスに気をつける	規則正しい生活をする	十分な休養や睡眠をとる	酒やたばこを控える	歯や口の健康に気をつける	適正な体重に向けた体重調整をす	日記を書く	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	1,070	56.0	32.0	46.5	43.8	42.7	15.7	43.3	22.5	17.8	
性別	男性	496	57.3	31.5	38.3	40.5	42.9	19.4	37.3	22.6	14.3
	女性	557	55.1	32.5	54.0	46.9	42.5	12.4	48.7	23.0	20.6
	無回答	17	47.1	29.4	41.2	41.2	41.2	17.6	41.2	5.9	23.5
年齢別	65～69歳	229	51.1	34.1	42.4	38.9	44.1	16.6	45.0	31.0	8.3
	70～74歳	247	57.5	34.4	41.7	46.2	38.5	16.2	42.5	22.7	14.2
	75～79歳	266	60.5	32.7	50.0	45.9	45.1	11.7	44.7	21.8	18.4
	80～84歳	175	57.7	27.4	50.9	42.9	43.4	17.1	46.3	18.3	25.7
	85歳以上	139	51.1	28.1	51.1	45.3	41.7	18.7	34.5	16.5	27.3
	無回答	14	50.0	35.7	35.7	42.9	50.0	21.4	50.0	7.1	28.6

	調査数	なるべく人と話す	できるだけ外出する	気持ちをなるべく明るく保つ	ストレスをためこまないようにする	介護予防や健康づくりに関する講座や教室へ参加する	その他	取り組んでいない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	1,070	36.7	28.8	32.1	31.9	6.3	3.6	5.5	
性別	男性	496	26.4	28.6	21.4	28.6	2.6	5.0	7.1
	女性	557	46.1	28.9	41.3	34.6	9.3	2.3	4.3
	無回答	17	29.4	29.4	41.2	35.3	11.8	0.0	0.0
年齢別	65～69歳	229	33.2	24.0	29.3	34.1	2.6	2.6	7.9
	70～74歳	247	32.4	30.8	29.1	31.6	4.0	3.2	5.3
	75～79歳	266	36.8	28.6	32.0	28.9	6.4	3.0	4.1
	80～84歳	175	45.1	32.0	34.3	34.3	9.7	5.1	4.0
	85歳以上	139	39.6	28.8	38.1	30.2	10.8	5.0	7.2
	無回答	14	35.7	35.7	42.9	42.9	14.3	0.0	0.0

(2) 健康づくりや介護予防に取り組んでいない理由

- 健康づくりや介護予防に取り組んでいない理由は「特に意識したことがないため」が42.4%と最も高く、次いで「身体的に無理な状況のため」(22.0%)、「何をしていたかわからないため」「きっかけがないため」(16.9%)の順に続く。
- 性別にみると、女性は男性に比べて「関心がないため」(12.5%)や「一緒にやる仲間がないため」(12.5%)、「特に意識したことがないため」(54.2%)が高い。一方、男性は「身体的に無理な状況のため」(25.7%)が女性に比べて高い。
- 年齢別にみると、「特に意識したことがないため」は、70～74歳で61.5%となっている。

【健康づくりや介護予防に取り組んでいない理由】



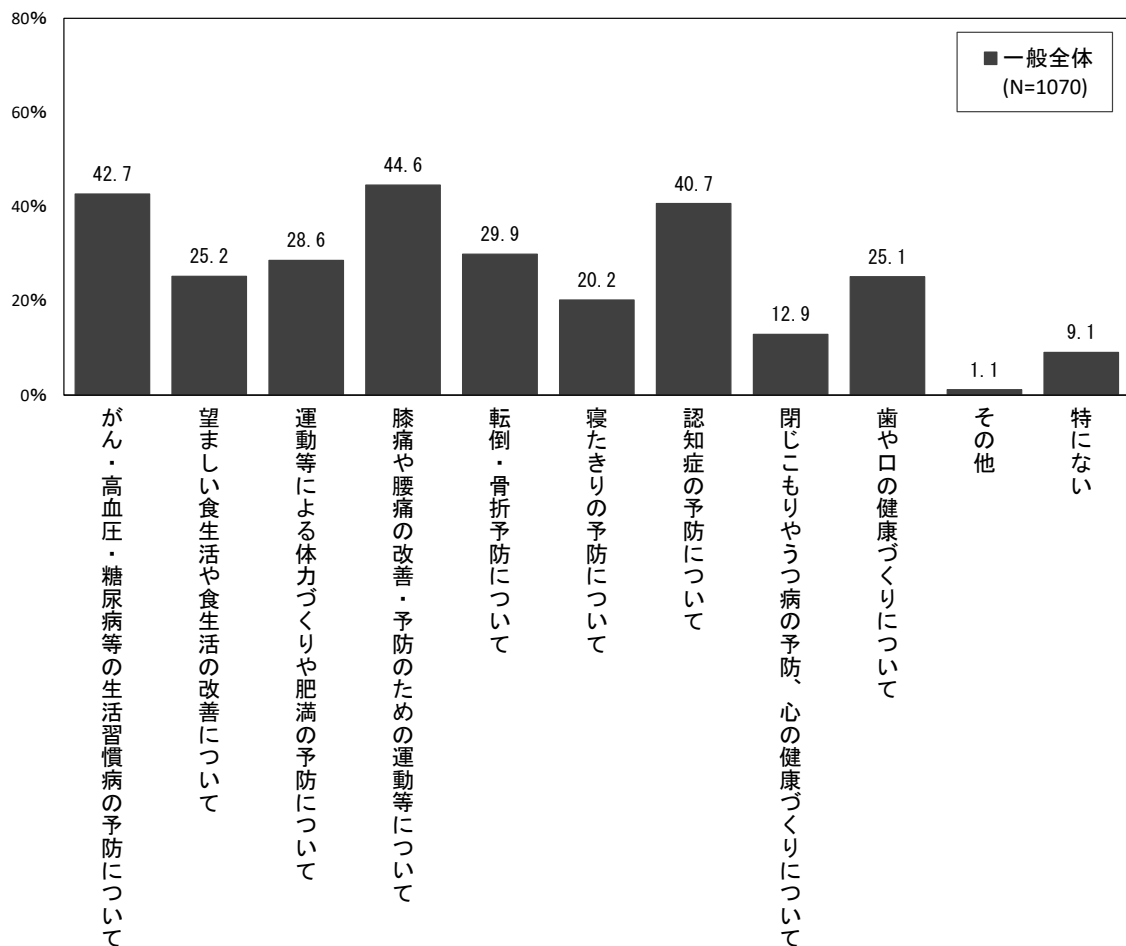
【健康づくりや介護予防に取り組んでいない理由(性別・年齢別)】

	性別	年齢別	調査数 (人)	時間がないため	何をしていたかわからないため	きっかけがないため	関心がないため	一緒にやる仲間がないため	身体的に無理な状況のため	特に意識したことがないため	その他
				(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体			59	5.1	16.9	16.9	10.2	8.5	22.0	42.4	6.8
性別											
男性			35	8.6	20.0	20.0	8.6	5.7	25.7	34.3	2.9
女性			24	0.0	12.5	12.5	12.5	12.5	16.7	54.2	12.5
無回答			0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別											
65～69歳			18	5.6	22.2	33.3	16.7	5.6	5.6	44.4	5.6
70～74歳			13	7.7	15.4	7.7	0.0	0.0	7.7	61.5	7.7
75～79歳			11	9.1	27.3	9.1	9.1	9.1	27.3	45.5	0.0
80～84歳			7	0.0	14.3	14.3	14.3	42.9	28.6	28.6	0.0
85歳以上			10	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	60.0	20.0	20.0
無回答			0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## (3) 健康づくりや介護予防で関心があること

- 健康づくりや介護予防で関心があることは「膝痛や腰痛の改善・予防のための運動等について」が44.6%と最も高く、次いで「がん・高血圧・糖尿病等の生活習慣病の予防について」(42.7%)、「認知症の予防について」(40.7%)、「転倒・骨折予防について」(29.9%)の順に続く。
- 性別にみると、男性は「がん・高血圧・糖尿病等の生活習慣病の予防について」(49.6%)、女性は「膝痛や腰痛の改善・予防のための運動等について」(48.7%)がそれぞれ最も高い。また、女性は男性に比べて「転倒・骨折予防について」(37.7%)や「寝たきりの予防について」(24.8%)等の介護予防に関する項目の割合が高い。
- 年齢別にみると、「がん・高血圧・糖尿病等の生活習慣病の予防について」は、年齢が若いほど割合が高い。また、年齢が高いほど「転倒・骨折予防について」や「寝たきりの予防について」の割合が高い。

【健康づくりや介護予防で関心があること】



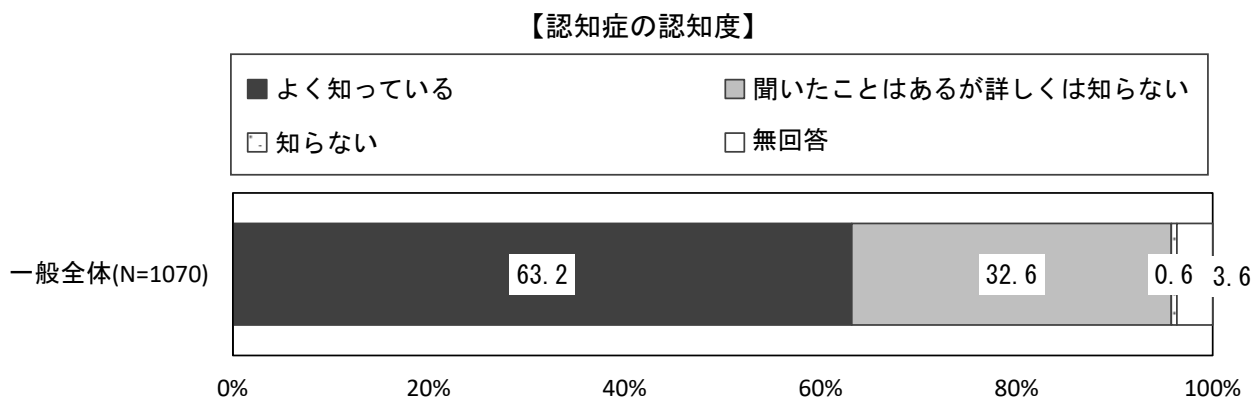
【健康づくりや介護予防に関心があること(性別・年齢別)】

	調査数	がん・高血圧・糖尿病等の生活習慣病の予防について	望ましい食生活や食生活の改善について	運動等による体力づくりや肥満の予防について	膝痛や腰痛の改善・予防のための運動等について	転倒・骨折予防について	寝たきりの予防について	認知症の予防について	閉じこもりやうつ病の予防、心の健康づくりについて	歯や口の健康づくりについて	その他	特になし	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	1,070	42.7	25.2	28.6	44.6	29.9	20.2	40.7	12.9	25.1	1.1	9.1	
性別	男性	496	49.6	23.2	29.4	40.3	21.2	14.9	36.1	8.1	24.2	0.8	10.5
	女性	557	37.0	27.1	28.2	48.7	37.7	24.8	45.1	17.2	26.0	1.4	7.9
	無回答	17	29.4	23.5	17.6	35.3	29.4	23.5	29.4	11.8	23.5	0.0	5.9
年齢別	65～69歳	229	46.3	22.3	35.8	45.0	15.3	15.3	39.7	12.2	21.0	0.4	8.7
	70～74歳	247	43.3	25.5	29.6	43.3	25.9	15.8	42.1	13.8	25.9	0.8	12.6
	75～79歳	266	43.2	24.4	25.6	47.4	28.9	20.7	38.7	12.8	26.7	0.8	6.0
	80～84歳	175	42.3	29.7	27.4	46.3	40.0	24.6	46.3	12.6	28.6	2.3	9.7
	85歳以上	139	36.0	25.2	23.7	38.8	51.1	30.2	38.8	13.7	23.0	2.2	8.6
	無回答	14	35.7	28.6	14.3	42.9	21.4	14.3	14.3	7.1	28.6	0.0	7.1

## 4. 認知症について

### (1) 認知症の認知度

- 認知症の認知度は「よく知っている」が63.2%と最も高く、「聞いたことはあるが詳しくは知らない」(32.6%)を合わせると95.8%が、認知症という病気を知っている。
- 性別にみても大きな差はみられない。
- 年齢別にみると、「よく知っている」は65～69歳(69.0%)が最も高く70～74歳(57.9%)が最も低い。



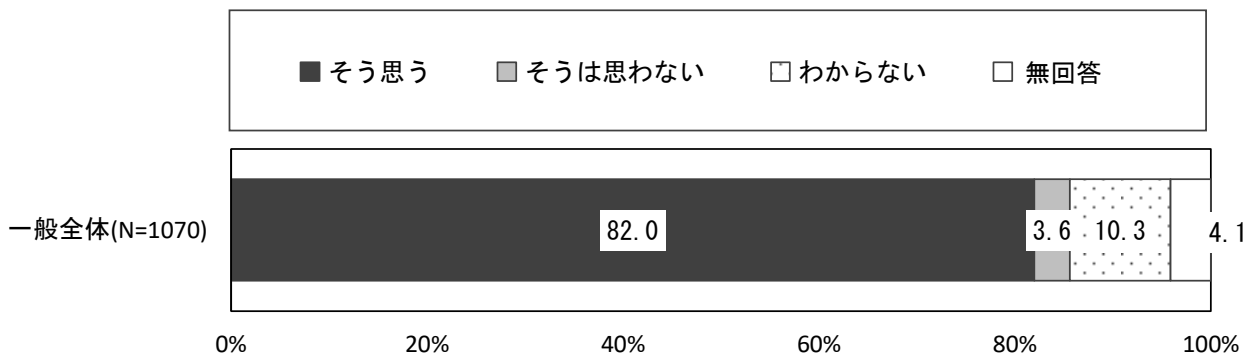
**【認知症の認知度(性別・年齢別)】**

		調査数	よく知っている	聞いたことはあるが詳しくは知らない	知らない	無回答
			(人)	(%)	(%)	(%)
一般全体		1,070	63.2	32.6	0.6	3.6
性別	男性	496	57.9	38.3	0.4	3.4
	女性	557	68.0	28.0	0.7	3.2
	無回答	17	58.8	17.6	0.0	23.5
年齢別	65～69歳	229	69.0	28.8	0.0	2.2
	70～74歳	247	57.9	37.7	0.0	4.5
	75～79歳	266	63.5	32.3	0.8	3.4
	80～84歳	175	62.9	32.6	1.1	3.4
	85歳以上	139	63.3	32.4	1.4	2.9
	無回答	14	57.1	14.3	0.0	28.6

(2) 認知症に関する知識

- 認知症は、早く見つけて治療することが必要な病気だと思うかについて「そう思う」が82.0%となっている。

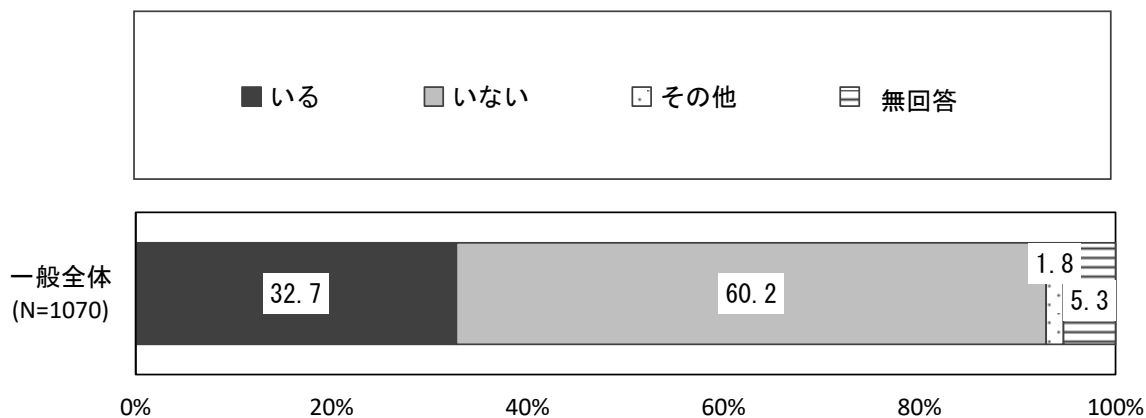
【認知症は、早く見つけて治療することが必要な病気だと思うか】



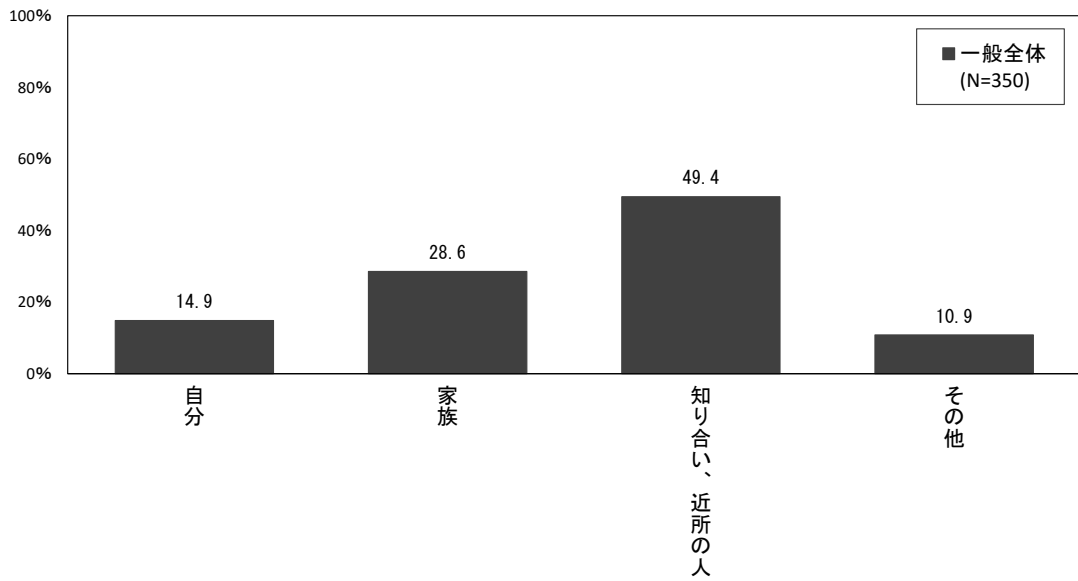
(3) 認知症について

- 身近に、認知症と思われる人がいるかについて「いる」が32.7%となっている。
- 身近に、認知症と思われる方はどなたかについては「知り合い、近所の人」が49.4%と最も高くなっている。
- 困っていることがあるかについて「困っていることがある」が25.4%となっている。  
困っている内容は、名前を忘れるや同じことを何度も言う、話がかみ合わない、突然怒るなどがある。

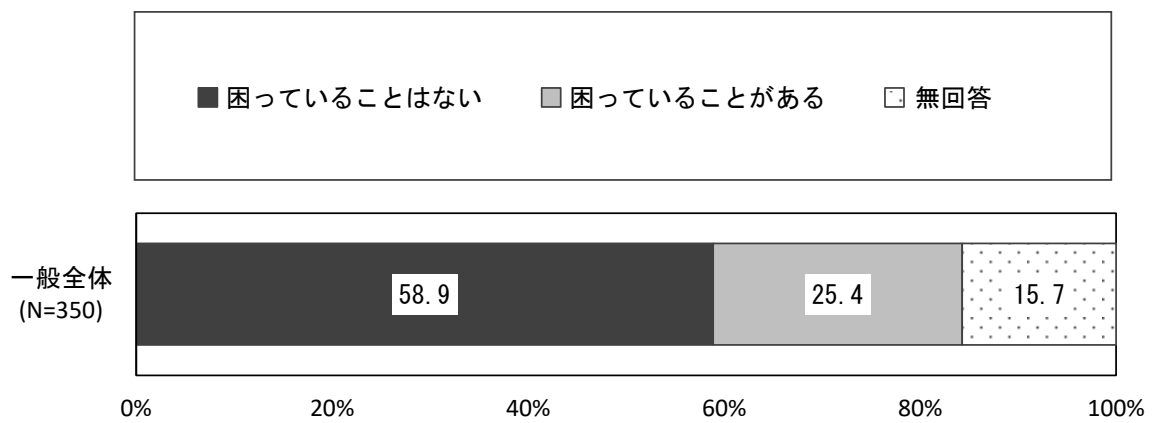
【身近に認知症と思われる人がいるか】



【認知症と思われる人との関係】



【困っていること】

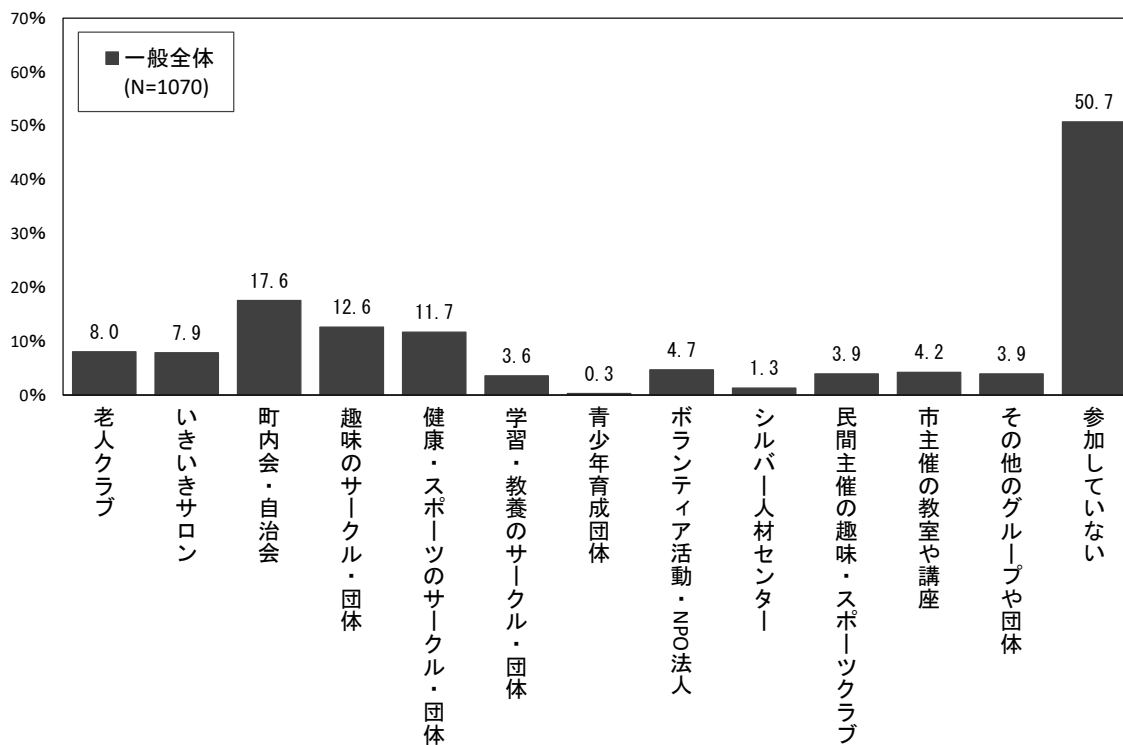


## 5. 社会参加や生きがいづくりについて

### (1) 地域活動への参加状況

- 地域のグループや団体等の活動について「参加していない」が 50.7%、参加している人の活動内容は「町内会・自治会」が 17.6%と最も高く、次いで「趣味のサークル・団体」(12.6%)、「健康・スポーツのサークル・団体」(11.7%)、「老人クラブ」(8.0%)の順に続く。
- 性別にみると、「参加していない」という割合は女性の方が高い。また、男性は女性に比べて「町内会・自治会」(23.2%)の割合が特に高い。
- 年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「老人クラブ」や「いきいきサロン」の割合が高くなる傾向にある。また、65～69歳の62.4%が「参加していない」と回答している。
- 小学校区別にみると、「町内会・自治会」の参加は椿市校区(28.1%)や今元校区(27.6%)で高く、最も低い行橋校区(11.3%)とは16ポイント以上差がみられる。「いきいきサロン」は稗田校区(14.3%)が最も高く、今川校区(5.3%)が最も低い。「老人クラブ」は菟島校区(21.2%)が最も高くなっている。

【地域活動への参加状況】



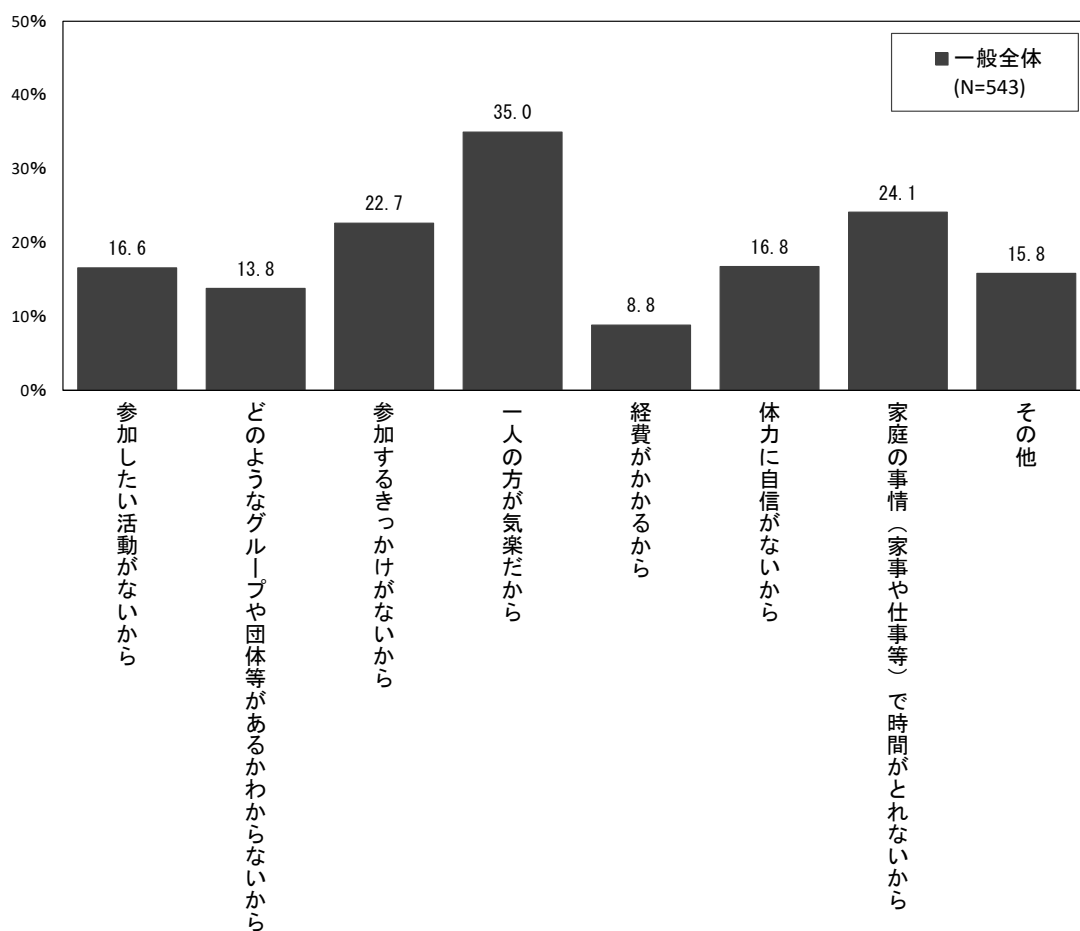
【地域活動への参加状況(性別・年齢別・小学校区別)】

	調査数	老人クラブ	いきいきサロン	町内会・自治会	趣味のサークル・団体	健康・スポーツのサークル・団体	学習・教養のサークル・団体	青少年育成団体	ボランティア活動・NPO法人	シルバー人材センター	民間主催の趣味・スポーツクラブ	市主催の教室や講座	その他のグループや団体	参加していない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体	1,070	8.0	7.9	17.6	12.6	11.7	3.6	0.3	4.7	1.3	3.9	4.2	3.9	50.7	
性別	男性	496	8.7	5.2	23.2	11.5	10.3	2.0	0.4	3.8	2.4	4.0	2.2	4.0	49.8
	女性	557	7.5	10.2	12.9	14.0	13.3	5.0	0.2	5.6	0.2	3.9	5.7	3.9	51.9
	無回答	17	5.9	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	11.8	0.0	41.2
年齢別	65～69歳	229	0.9	1.3	12.7	9.6	9.2	3.1	0.4	5.7	0.4	3.5	3.1	4.8	62.4
	70～74歳	247	4.0	4.0	21.1	12.1	12.1	2.4	0.8	6.5	1.6	6.5	4.0	2.0	53.0
	75～79歳	266	10.5	7.9	19.5	16.2	14.7	4.9	0.0	4.5	2.6	3.8	5.6	2.3	45.9
	80～84歳	175	16.6	17.1	20.0	16.0	12.0	5.1	0.0	4.6	0.6	3.4	4.6	6.9	37.1
	85歳以上	139	12.2	14.4	13.7	8.6	10.1	2.2	0.0	0.7	0.0	1.4	2.9	5.8	54.7
	無回答	14	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	7.1	0.0	42.9
小学校区別	行橋校区	97	9.3	7.2	11.3	16.5	4.1	6.2	0.0	4.1	0.0	2.1	5.2	9.3	54.6
	行橋北校区	57	10.5	10.5	15.8	15.8	7.0	3.5	0.0	1.8	0.0	3.5	5.3	0.0	64.9
	行橋南校区	65	6.2	6.2	20.0	6.2	15.4	1.5	0.0	3.1	0.0	6.2	1.5	3.1	52.3
	今元校区	105	9.5	9.5	27.6	13.3	11.4	2.9	0.0	9.5	1.9	3.8	5.7	1.9	38.1
	葦島校区	33	21.2	6.1	24.2	15.2	9.1	3.0	0.0	6.1	0.0	0.0	3.0	6.1	39.4
	仲津校区	179	3.9	7.3	15.6	7.8	11.2	3.9	0.6	3.9	1.7	3.9	3.4	2.8	59.2
	泉校区	204	8.3	7.8	17.6	12.7	17.2	2.9	0.5	2.9	0.0	3.9	4.9	3.4	48.5
	今川校区	76	6.6	5.3	19.7	11.8	13.2	2.6	0.0	2.6	5.3	1.3	5.3	3.9	51.3
	稗田校区	70	15.7	14.3	15.7	18.6	8.6	4.3	0.0	4.3	1.4	10.0	4.3	4.3	50.0
	櫛市校区	32	0.0	9.4	28.1	9.4	9.4	9.4	0.0	9.4	6.3	3.1	3.1	6.3	40.6
	延永校区	133	6.8	6.8	13.5	16.5	12.8	3.0	0.8	7.5	0.8	4.5	3.0	3.8	49.6
無回答	19	5.3	0.0	5.3	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	5.3	10.5	42.1	

(2) 地域活動に参加していない理由

- 地域活動に参加していない理由は「一人の方が気楽だから」が 35.0%と最も高く、次いで「家庭の事情（家事や仕事等）で時間がとれないから」（24.1%）、「参加するきっかけがないから」（22.7%）の順に続く。
- 性別にみると、男性は女性より「一人の方が気楽だから」（36.8%）や「参加するきっかけがないから」（23.1%）が高い。女性は男性より「家庭の事情（家事や仕事等）で時間がとれないから」（26.6%）や「経費がかかるから」（9.0%）が高い。
- 年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「体力に自信がないから」という割合が高くなっている。また、年齢が若いほど「参加するきっかけがないから」という割合が高く、65～69歳では 30.8%となっている。

【地域活動に参加していない理由】



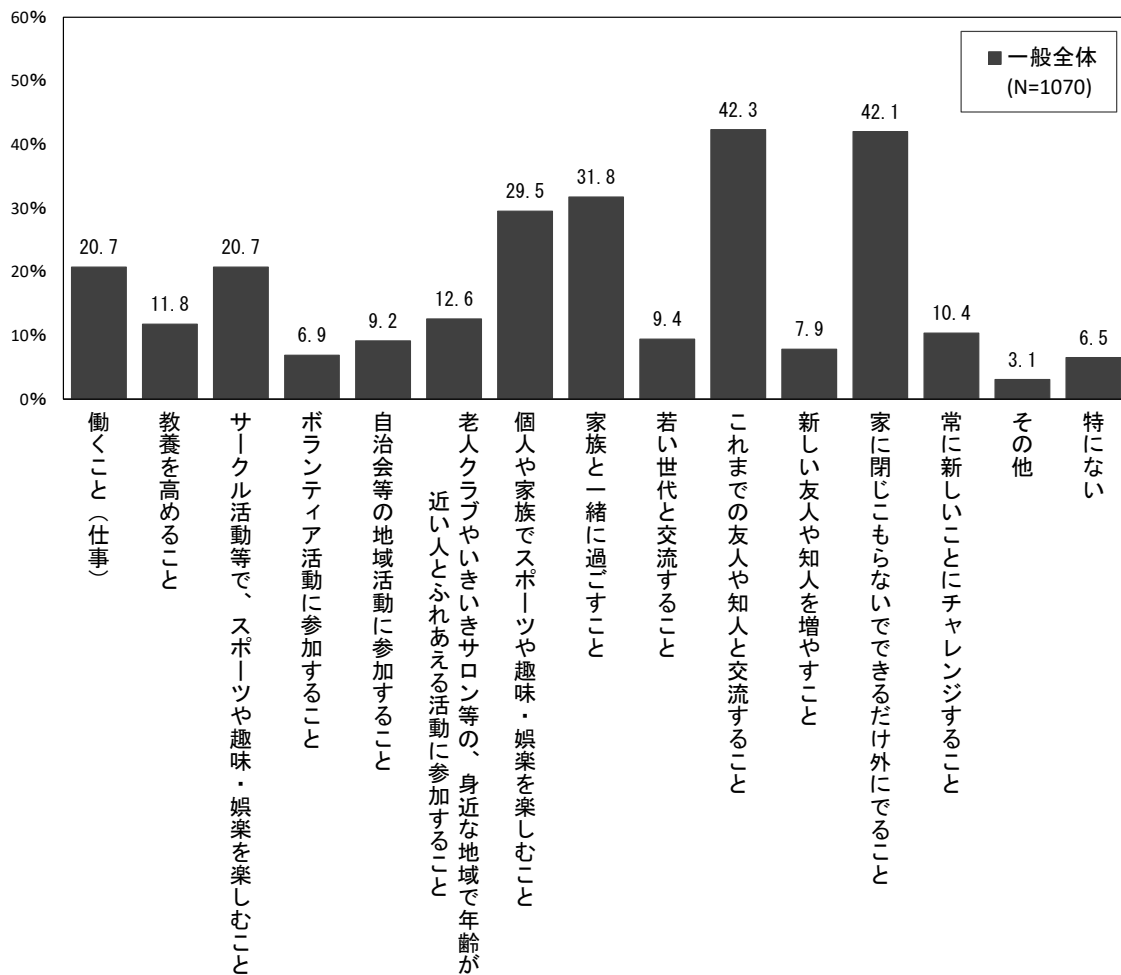
【地域活動に参加していない理由(性別・年齢別・小学校区別)】

	調査数	参加したい活動がないから	どのようなグループや団体等があるかわからないから	参加するきっかけがないから	一人の方が気楽だから	経費がかかるから	体力に自信がないから	家庭の事情(家事や仕事等)で時間がないから	その他	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	543	16.6	13.8	22.7	35.0	8.8	16.8	24.1	15.8	
性別	男性	247	19.0	14.2	23.1	36.8	8.5	16.6	21.1	13.4
	女性	289	14.9	13.5	22.5	33.6	9.0	16.6	26.6	17.6
	無回答	7	0.0	14.3	14.3	28.6	14.3	28.6	28.6	28.6
年齢別	65～69歳	143	19.6	19.6	30.8	30.1	13.3	10.5	32.9	16.1
	70～74歳	131	13.0	14.5	24.4	33.6	13.7	12.2	32.8	14.5
	75～79歳	122	15.6	14.8	22.1	43.4	3.3	17.2	17.2	11.5
	80～84歳	65	12.3	7.7	18.5	41.5	6.2	24.6	20.0	15.4
	85歳以上	76	23.7	5.3	9.2	27.6	2.6	28.9	6.6	23.7
	無回答	6	0.0	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	33.3	33.3
小学校区別	行橋校区	53	18.9	20.8	22.6	34.0	11.3	17.0	30.2	13.2
	行橋北校区	37	13.5	10.8	21.6	51.4	2.7	18.9	10.8	10.8
	行橋南校区	34	11.8	32.4	23.5	29.4	5.9	11.8	32.4	14.7
	今元校区	40	12.5	7.5	17.5	35.0	0.0	20.0	20.0	22.5
	菟島校区	13	23.1	0.0	15.4	46.2	15.4	7.7	23.1	7.7
	仲津校区	106	19.8	13.2	23.6	31.1	10.4	17.0	26.4	16.0
	泉校区	99	18.2	14.1	27.3	28.3	16.2	16.2	23.2	16.2
	今川校区	39	10.3	15.4	33.3	38.5	5.1	17.9	20.5	20.5
	稗田校区	35	22.9	5.7	20.0	37.1	5.7	5.7	34.3	11.4
	椿市校区	13	23.1	7.7	23.1	23.1	23.1	30.8	38.5	23.1
	延永校区	66	12.1	10.6	15.2	43.9	3.0	21.2	15.2	15.2
	無回答	8	12.5	25.0	12.5	25.0	12.5	12.5	37.5	25.0

(3) 今後やりたいこと

- 今後やりたいことは「これまでの友人や知人と交流すること」が42.3%と最も高く、次いで「家に閉じこもらないでできるだけ外にでること」(42.1%)、「家族と一緒に過ごすこと」(31.8%)、「個人や家族でスポーツや趣味・娯楽を楽しむこと」(29.5%)、「働くこと(仕事)」(20.7%)の順に続く。
- 性別にみると、男性は女性より「個人や家族でスポーツや趣味・娯楽を楽しむこと」(33.9%)や「働くこと(仕事)」(28.2%)が高く、女性は男性より「これまでの友人や知人と交流すること」(51.0%)が顕著に高い。
- 年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「老人クラブやいきいきサロン等の、身近な地域で年齢が近い人とふれあえる活動に参加すること」の割合が高くなる傾向にある。65～69歳では「働くこと(仕事)」(40.6%)が他の年代に比べて15ポイント以上高くなっている。
- 小学校区別にみると、「自治会等の地域活動に参加すること」は菟島校区(21.2%)、行橋北校区(15.8%)、椿市校区(15.6%)が高い。

【今後やりたいこと】



【今後やりたいこと(性別・年齢別・小学校区別)】

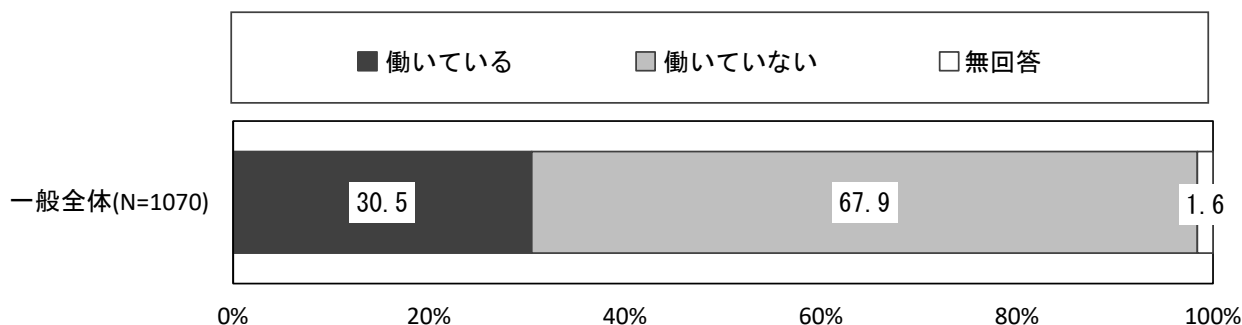
		調査数	働くこと(仕事)	教養を高めること	サークル活動等、スポーツや趣味・娯楽を楽しむこと	ボランティア活動に参加すること	自治会等の地域活動に参加すること	近隣の身近な地域で年齢が近い人とふれあえる活動に参加すること	老人クラブやいきいきサロン等、身近な地域で年齢が近い人とふれあえる活動に参加すること	個人や家族でスポーツや趣味・娯楽を楽しむこと	家族と一緒に過ごすこと
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		1,070	20.7	11.8	20.7	6.9	9.2	12.6	29.5	31.8	
性別	男性	496	28.2	12.7	21.6	7.7	14.1	9.3	33.9	32.3	
	女性	557	14.2	11.1	20.3	6.5	4.8	15.8	25.9	31.2	
	無回答	17	17.6	5.9	11.8	0.0	5.9	5.9	23.5	35.3	
年齢別	65～69歳	229	40.6	20.1	23.1	9.2	6.6	3.5	43.7	34.5	
	70～74歳	247	24.7	13.0	23.5	9.3	10.9	10.1	34.0	30.4	
	75～79歳	266	16.2	7.5	22.9	6.0	9.0	12.0	25.6	32.0	
	80～84歳	175	8.6	9.1	15.4	6.9	13.1	24.0	22.3	33.7	
	85歳以上	139	5.0	7.9	15.1	1.4	6.5	20.1	15.1	27.3	
	無回答	14	21.4	7.1	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6	28.6	
小学校区別	行橋校区	97	32.0	14.4	18.6	8.2	5.2	11.3	25.8	23.7	
	行橋北校区	57	15.8	15.8	28.1	10.5	15.8	14.0	28.1	26.3	
	行橋南校区	65	20.0	9.2	27.7	3.1	6.2	12.3	33.8	30.8	
	今元校区	105	17.1	7.6	16.2	6.7	12.4	17.1	35.2	24.8	
	叢島校区	33	24.2	18.2	12.1	12.1	21.2	18.2	27.3	24.2	
	仲津校区	179	20.7	12.8	15.6	5.6	5.6	16.2	23.5	34.1	
	泉校区	204	18.1	15.2	23.0	6.9	7.4	8.3	32.8	36.3	
	今川校区	76	17.1	15.8	21.1	5.3	10.5	11.8	39.5	38.2	
	稗田校区	70	22.9	8.6	27.1	8.6	12.9	18.6	27.1	30.0	
	樺市校区	32	21.9	3.1	34.4	3.1	15.6	12.5	28.1	37.5	
	延永校区	133	21.8	6.0	18.0	9.0	9.0	9.0	27.1	34.6	
	無回答	19	21.1	10.5	21.1	0.0	5.3	0.0	21.1	26.3	

		調査数	若い世代と交流すること	これまでの友人や知人と交流すること	新しい友人や知人を増やすこと	家に閉じこもらないでできるだけ外に出ること	常に新しいことにチャレンジすること	その他	特になし
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		1,070	9.4	42.3	7.9	42.1	10.4	3.1	6.5
性別	男性	496	8.7	33.1	7.1	41.3	9.3	2.8	6.9
	女性	557	10.4	51.0	8.6	42.7	11.0	3.4	6.5
	無回答	17	0.0	29.4	5.9	41.2	23.5	0.0	0.0
年齢別	65～69歳	229	12.2	43.2	11.4	34.5	15.3	2.6	4.4
	70～74歳	247	10.5	39.7	9.3	38.1	11.3	3.6	7.3
	75～79歳	266	8.6	44.0	4.5	47.0	8.3	3.0	5.3
	80～84歳	175	8.6	41.1	8.6	46.9	6.3	4.0	5.1
	85歳以上	139	6.5	45.3	5.0	46.0	7.9	2.2	13.7
	無回答	14	0.0	28.6	7.1	42.9	28.6	0.0	0.0
小学校区別	行橋校区	97	10.3	45.4	9.3	45.4	13.4	4.1	7.2
	行橋北校区	57	8.8	42.1	10.5	43.9	10.5	1.8	8.8
	行橋南校区	65	9.2	43.1	15.4	46.2	12.3	0.0	0.0
	今元校区	105	12.4	45.7	4.8	43.8	12.4	4.8	5.7
	叢島校区	33	18.2	45.5	3.0	48.5	12.1	3.0	6.1
	仲津校区	179	9.5	41.3	11.2	35.2	8.9	2.2	12.8
	泉校区	204	9.3	41.2	4.4	48.0	7.4	3.9	5.4
	今川校区	76	7.9	48.7	6.6	30.3	11.8	5.3	3.9
	稗田校区	70	4.3	34.3	5.7	37.1	5.7	2.9	2.9
	樺市校区	32	9.4	40.6	12.5	46.9	9.4	6.3	0.0
	延永校区	133	9.0	42.9	6.8	42.1	12.0	1.5	8.3
	無回答	19	5.3	26.3	10.5	42.1	21.1	0.0	0.0

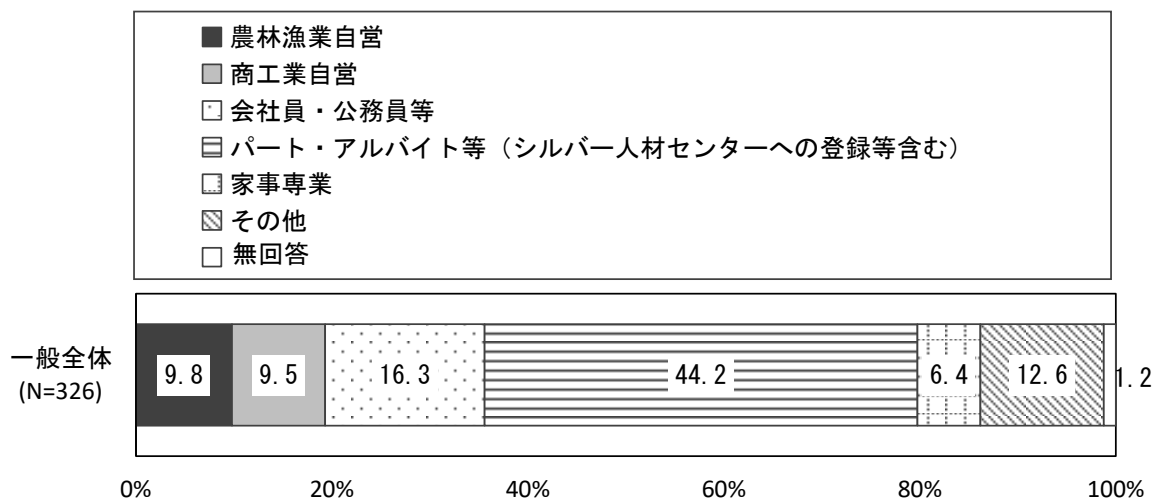
(4) 就労状況・職業

- 現在の就労状況は「働いている」が 30.5%、「働いていない」が 67.9%となっている。また、「働いている」と回答した人の職業は、「パート・アルバイト等（シルバー人材センターへの登録等含む）」が 44.2%と最も高く、次いで「会社員・公務員等」（16.3%）、「その他」（12.6%）、「農林漁業自営」（9.8%）の順に高い。
- 性別にみると、「働いている」という割合は、男性（37.3%）が女性（25.0%）より高い。また、男性では「農林漁業自営」（13.5%）や「商工業自営」（9.7%）、「会社員・公務員等」（21.1%）が女性より高い。女性では「パート・アルバイト等（シルバー人材センターへの登録等含む）」（51.8%）や「家事専業」（13.7%）が男性より高い。
- 年齢別にみると、「働いている」という割合は、65～69歳が 52.0%、70～74歳で 36.8%となっており、75歳以上になると全体の割合を下回るようになる。
- 小学校区別にみると、「働いている」という割合は、椿市校区が 50.0%と最も高く、行橋北校区（22.8%）が最も低い。

【就労状況】



【職業】



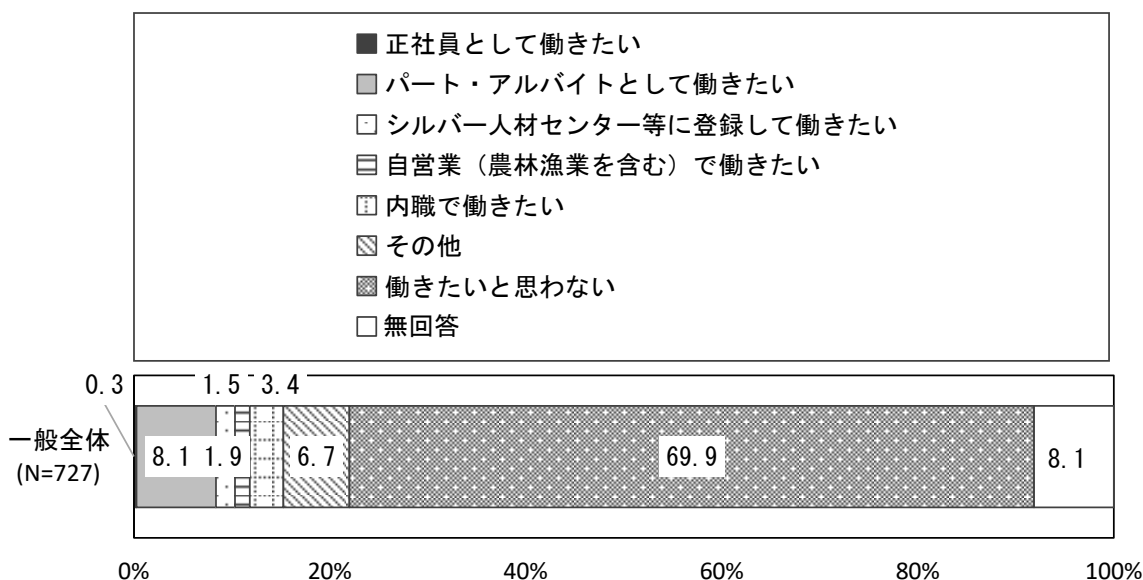
## 【就労状況・職業(性別・年齢別・小学校区別)】

	調査数	働いている	働いていない	無回答	調査数	農林漁業自営	商工業自営	会社員・公務員等	パート・アルバイト等(シルバー人材センターへの登録等含む)	家事専業	その他	無回答	
		(人)	(%)	(%)		(%)	(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体	1,070	30.5	67.9	1.6	326	9.8	9.5	16.3	44.2	6.4	12.6	1.2	
性別	男性	496	37.3	60.9	1.8	185	13.5	9.7	21.1	37.8	1.1	15.7	1.1
	女性	557	25.0	74.1	0.9	139	5.0	9.4	10.1	51.8	13.7	8.6	1.4
	無回答	17	11.8	70.6	17.6	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	65～69歳	229	52.0	48.0	0.0	119	2.5	6.7	28.6	51.3	1.7	9.2	0.0
	70～74歳	247	36.8	61.9	1.2	91	8.8	7.7	12.1	51.6	3.3	15.4	1.1
	75～79歳	266	28.6	70.3	1.1	76	13.2	15.8	7.9	39.5	10.5	9.2	3.9
	80～84歳	175	16.0	82.3	1.7	28	28.6	10.7	3.6	7.1	25.0	25.0	0.0
	85歳以上	139	7.2	89.2	3.6	10	30.0	10.0	10.0	20.0	10.0	20.0	0.0
	無回答	14	14.3	64.3	21.4	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
小学校区別	行橋校区	97	35.1	62.9	2.1	34	0.0	20.6	29.4	38.2	5.9	5.9	0.0
	行橋北校区	57	22.8	77.2	0.0	13	0.0	30.8	7.7	38.5	0.0	23.1	0.0
	行橋南校区	65	35.4	61.5	3.1	23	0.0	17.4	17.4	39.1	0.0	21.7	4.3
	今元校区	105	33.3	65.7	1.0	35	17.1	2.9	14.3	48.6	2.9	14.3	0.0
	葦島校区	33	30.3	66.7	3.0	10	30.0	0.0	20.0	30.0	0.0	10.0	10.0
	仲津校区	179	29.6	70.4	0.0	53	15.1	5.7	9.4	39.6	17.0	13.2	0.0
	泉校区	204	25.0	73.5	1.5	51	9.8	9.8	19.6	47.1	3.9	9.8	0.0
	今川校区	76	35.5	61.8	2.6	27	3.7	11.1	18.5	51.9	7.4	7.4	0.0
	稗田校区	70	35.7	61.4	2.9	25	8.0	4.0	20.0	40.0	12.0	16.0	0.0
	椿市校区	32	50.0	50.0	0.0	16	25.0	6.3	6.3	31.3	6.3	12.5	12.5
	延永校区	133	27.1	72.2	0.8	36	8.3	5.6	13.9	55.6	2.8	13.9	0.0
	無回答	19	15.8	68.4	15.8	3	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

(5) 働いていない人の今後の就労意向

- 現在働いていない人の今後の就労意向は「働きたいと思わない」が69.9%と多くを占める。一方、「正社員として働きたい」から「その他」までを合わせた『就労意向あり』とする割合は21.9%となっている。
- 性別にみると、『就労意向あり』の割合は男性が25.8%と女性（18.9%）より高い。
- 年齢別にみると、『就労意向あり』の割合は、年齢が若いほど高く、65～69歳では36.3%となっている。

【就労意向】



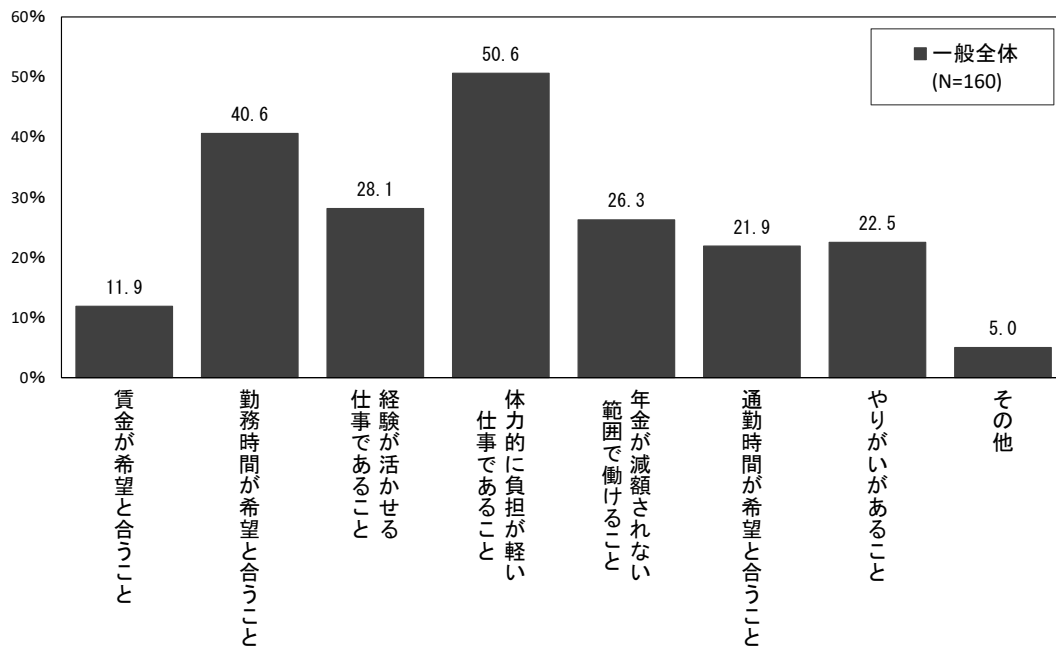
【就労意向(性別・年齢別)】

	調査数	正社員として働きたい	パート・アルバイトとして働きたい	シルバー人材センター等に登録して働きたい	自営業（農林漁業を含む）で働きたい	内職で働きたい	その他	働きたいと思わない	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	727	0.3	8.1	1.9	1.5	3.4	6.7	69.9	8.1	
性別	男性	302	0.7	10.6	2.6	2.0	2.6	7.3	66.9	7.3
	女性	413	0.0	6.3	1.2	1.2	3.9	6.3	72.9	8.2
	無回答	12	0.0	8.3	8.3	0.0	8.3	8.3	41.7	25.0
年齢別	65～69歳	110	0.9	21.8	1.8	2.7	1.8	7.3	60.9	2.7
	70～74歳	153	0.0	11.1	3.9	1.3	4.6	5.2	69.9	3.9
	75～79歳	187	0.5	6.4	2.1	1.1	4.8	5.9	71.7	7.5
	80～84歳	144	0.0	3.5	0.0	2.8	3.5	6.9	70.8	12.5
	85歳以上	124	0.0	0.0	0.8	0.0	0.8	8.9	76.6	12.9
	無回答	9	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1	11.1	33.3	22.2

(6) 働く場合に重視する条件

- 現在は働いていないが、今後働きたいと思っている人が働く場合に重視する条件は「体力的に負担が軽い仕事であること」が50.6%と最も高く、次いで「勤務時間が希望と合うこと」(40.6%)、「経験が活かせる仕事であること」(28.1%)の順に続く。
- 性別にみると、「やりがいがあること」の割合は、女性(25.6%)が男性(17.9%)より高い。
- 年齢別にみると、65～74歳の前期高齢者では「勤務時間が希望と合うこと」が50%以上となっている。

【働く場合に重視する条件】



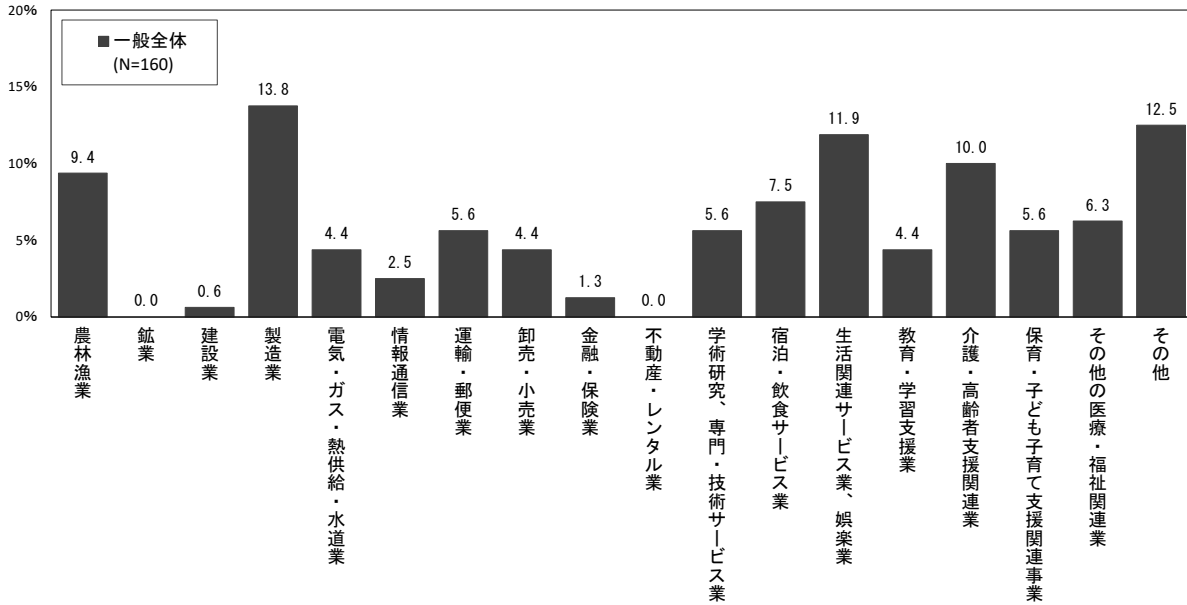
【働く場合に重視する条件(性別・年齢別)】

		調査数 (人)	賃金が希望と合うこと	勤務時間が希望と合うこと	経験が活かせる仕事であること	体力的に負担が軽い仕事であること	年金が減額されない範囲で働けること	通勤時間が希望と合うこと	やりがいがあること	その他
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		160	11.9	40.6	28.1	50.6	26.3	21.9	22.5	5.0
性別	男性	78	12.8	43.6	26.9	53.8	29.5	21.8	17.9	3.8
	女性	78	11.5	38.5	26.9	48.7	24.4	21.8	25.6	5.1
	無回答	4	0.0	25.0	75.0	25.0	0.0	25.0	50.0	25.0
年齢別	65～69歳	40	15.0	70.0	27.5	52.5	37.5	40.0	17.5	5.0
	70～74歳	40	20.0	52.5	30.0	62.5	25.0	20.0	25.0	5.0
	75～79歳	39	12.8	30.8	35.9	59.0	33.3	20.5	20.5	0.0
	80～84歳	24	0.0	12.5	16.7	29.2	16.7	8.3	29.2	8.3
	85歳以上	13	0.0	0.0	7.7	30.8	0.0	0.0	15.4	7.7
	無回答	4	0.0	25.0	75.0	25.0	0.0	25.0	50.0	25.0

(7) 働く場合に希望する業種

- 現在は働いていないが、今後働きたいと思っている人が働く場合に希望する業種は「製造業」が13.8%と最も高く、次いで「生活関連サービス業、娯楽業」(11.9%)、「介護・高齢者支援関連業」(10.0%)の順に続く。
- 性別にみると、男性は「製造業」(20.5%)、女性は「宿泊・飲食サービス業」(11.5%)がそれぞれ最も高い。
- 年齢別にみると、65～69歳では「製造業」(20.0%)が最も高い。

【働く場合に希望する業種】



【働く場合に希望する業種(性別・年齢別)】

		調査数	農林漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸・郵便業	卸売・小売業	金融・保険業	不動産・レンタル業
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		160	9.4	0.0	0.6	13.8	4.4	2.5	5.6	4.4	1.3	0.0
性別	男性	78	15.4	0.0	1.3	20.5	9.0	3.8	11.5	6.4	1.3	0.0
	女性	78	2.6	0.0	0.0	6.4	0.0	1.3	0.0	2.6	1.3	0.0
	無回答	4	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	65～69歳	40	10.0	0.0	0.0	20.0	5.0	2.5	10.0	5.0	2.5	0.0
	70～74歳	40	7.5	0.0	0.0	17.5	0.0	2.5	5.0	10.0	2.5	0.0
	75～79歳	39	5.1	0.0	2.6	10.3	7.7	5.1	5.1	2.6	0.0	0.0
	80～84歳	24	20.8	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	85歳以上	13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0
	無回答	4	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

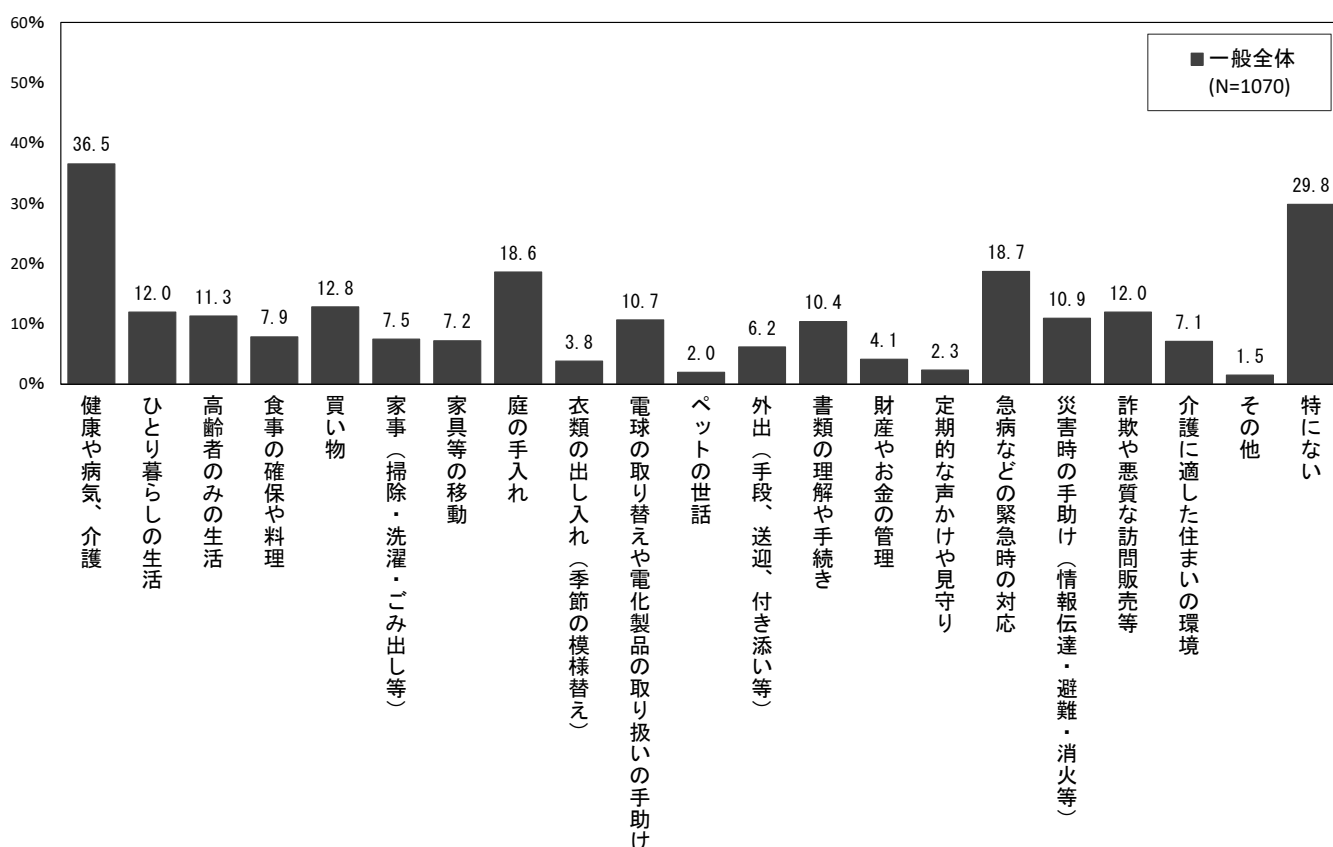
		調査数	学術研究、専門・技術サービス業	宿泊・飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育・学習支援業	介護・高齢者支援関連業	保育・子ども子育て支援関連事業	その他の医療・福祉関連業	その他
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		160	5.6	7.5	11.9	4.4	10.0	5.6	6.3	12.5
性別	男性	78	7.7	3.8	15.4	5.1	7.7	1.3	1.3	9.0
	女性	78	3.8	11.5	7.7	3.8	10.3	10.3	10.3	16.7
	無回答	4	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0
年齢別	65～69歳	40	7.5	17.5	12.5	12.5	10.0	7.5	7.5	17.5
	70～74歳	40	10.0	10.0	15.0	2.5	17.5	10.0	7.5	10.0
	75～79歳	39	5.1	2.6	12.8	0.0	2.6	5.1	7.7	7.7
	80～84歳	24	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
	85歳以上	13	0.0	0.0	0.0	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0
	無回答	4	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0

## 6. 日常生活上の不安や困りごとについて

### (1) 日常生活上の不安や困りごと

- 日常生活上の不安や困りごとは、「特にない」が29.8%を占めている。不安や困りごとがある人では、「健康や病気、介護」が36.5%と最も高く、次いで「急病などの緊急時の対応」(18.7%)、「庭の手入れ」(18.6%)、「買い物」(12.8%)、「ひとり暮らしの生活」「詐欺や悪質な訪問販売等」(12.0%)が上位にあがっている。
- 性別にみると、女性は男性に比べて「庭の手入れ」(21.2%)、「急病などの緊急時の対応」(20.8%)等の割合が高く、20%を超えている。男性は女性に比べて「健康や病気、介護」(38.5%)や「高齢者のみの生活」(11.9%)、「食事の確保や料理」(8.7%)の割合が高い。
- 年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「ひとり暮らしの生活」「高齢者のみの生活」「食事の確保や料理」「買い物」「外出(手段、送迎、付き添い等)」「急病などの緊急時の対応」「災害時の手助け(情報伝達・避難・消火等)」の割合が高い。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「高齢者のみの生活」や「その他」「特にない」を除くすべての項目において、他の世帯構成に比べて高い。
- 小学校区別にみると、椿市校区では「健康や病気、介護」(50.0%)、「定期的な声かけや見守り」(9.4%)が他の校区に比べて高い。また、今川校区では「災害時の手助け(情報伝達・避難・消火等)」(17.1%)、行橋北校区では「ひとり暮らしの生活」(19.3%)が他の校区に比べて高い。

【日常生活上の不安や困りごと】



【日常生活上の不安や困りごと(性別・年齢別・世帯構成別・小学校区別)】

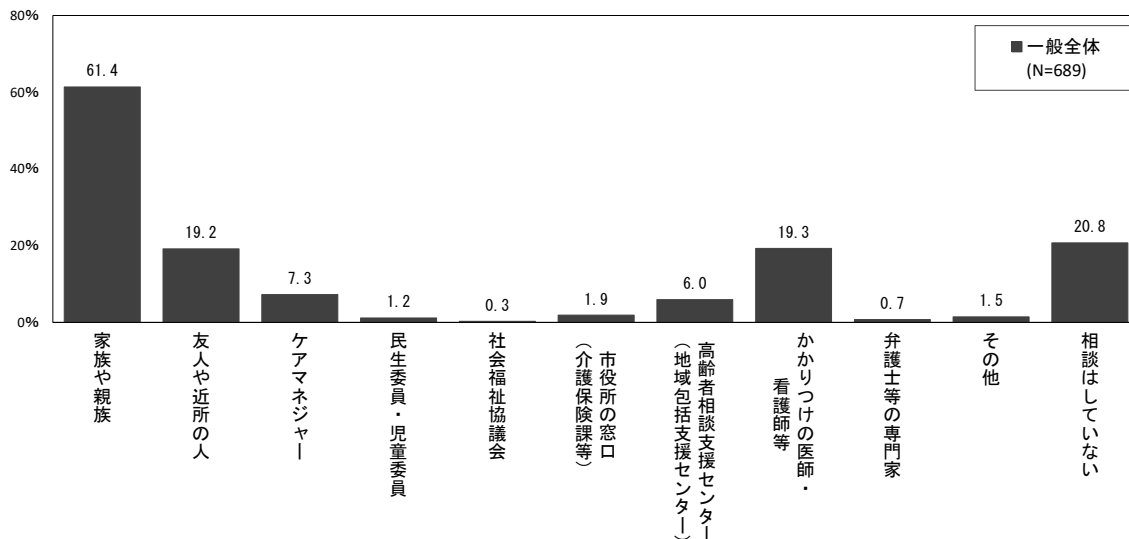
	調査数	健康や病氣、介護	ひとり暮らしの生活	高齢者のみの生活	食事の確保や料理	買い物	家事(掃除・洗濯・ごみ出し等)	家具等の移動	庭の手入れ	衣類の出し入れ(季節の模様替え)	電球の取り替えや電池製品の取り扱い	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	1,070	36.5	12.0	11.3	7.9	12.8	7.5	7.2	18.6	3.8	10.7	
性別	男性	496	38.5	10.1	11.9	8.7	8.9	5.6	5.4	15.7	1.4	4.4
	女性	557	34.5	13.8	10.4	7.0	16.0	9.3	9.0	21.2	5.9	16.3
	無回答	17	47.1	5.9	23.5	11.8	23.5	0.0	0.0	17.6	5.9	5.9
年齢別	65～69歳	229	33.2	7.9	6.1	3.1	4.8	3.9	6.1	15.7	1.7	7.9
	70～74歳	247	31.6	9.3	9.7	4.9	5.7	2.0	4.9	13.0	3.2	5.3
	75～79歳	266	36.5	10.2	10.5	6.8	11.7	7.1	7.9	19.2	2.3	11.7
	80～84歳	175	44.0	16.6	16.0	13.7	23.4	13.7	8.6	24.0	5.1	14.3
	85歳以上	139	41.7	21.6	16.5	15.1	26.6	16.5	10.8	25.2	9.4	18.7
	無回答	14	35.7	7.1	28.6	14.3	21.4	0.0	0.0	21.4	7.1	7.1
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	230	37.4	41.7	10.4	12.6	18.7	12.2	10.4	24.3	5.7	23.5
	夫婦のみふたり暮らし世帯	497	36.8	4.4	15.9	6.4	11.1	6.6	7.4	16.7	4.0	9.3
	その他の世帯	322	35.1	2.5	4.0	6.2	10.9	5.9	5.0	17.7	2.2	3.7
	無回答	21	42.9	9.5	23.8	14.3	19.0	0.0	0.0	14.3	4.8	9.5
小学校区別	行橋校区	97	38.1	14.4	14.4	6.2	13.4	8.2	3.1	13.4	8.2	13.4
	行橋北校区	57	26.3	19.3	7.0	10.5	3.5	1.8	7.0	8.8	1.8	7.0
	行橋南校区	65	30.8	10.8	10.8	4.6	6.2	4.6	6.2	9.2	4.6	12.3
	今元校区	105	36.2	6.7	9.5	4.8	14.3	4.8	9.5	23.8	3.8	12.4
	葦島校区	33	33.3	9.1	6.1	3.0	12.1	15.2	0.0	15.2	6.1	18.2
	仲津校区	179	41.9	15.1	16.2	13.4	23.5	9.5	9.5	25.1	3.9	12.8
	泉校区	204	38.2	13.7	8.8	6.4	7.8	7.8	9.3	21.6	3.4	9.8
	今川校区	76	38.2	10.5	11.8	6.6	11.8	10.5	7.9	25.0	2.6	10.5
	稗田校区	70	30.0	12.9	10.0	5.7	12.9	8.6	5.7	17.1	1.4	5.7
	樺市区	32	50.0	9.4	9.4	9.4	15.6	9.4	0.0	25.0	3.1	6.3
	延永校区	133	34.6	7.5	10.5	8.3	11.3	6.0	7.5	10.5	3.0	8.3
	無回答	19	26.3	5.3	21.1	15.8	15.8	0.0	0.0	15.8	5.3	10.5

	調査数	ペットの世話	外出(手段、送迎、付き添い等)	書類の理解や手続き	財産やお金の管理	定期的な声かけや見守り	急病などの緊急時の対応	災害時の手助け(情報伝達・避難・消火情等)	詐欺や悪質な訪問販売	介護に適した住まいの環境	その他	特にない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	1,070	2.0	6.2	10.4	4.1	2.3	18.7	10.9	12.0	7.1	1.5	29.8	
性別	男性	496	1.4	5.2	8.5	4.8	1.6	15.9	8.7	10.1	5.8	1.4	33.9
	女性	557	2.5	7.2	12.2	3.4	3.1	20.8	12.9	13.3	8.3	1.6	26.6
	無回答	17	0.0	0.0	5.9	5.9	0.0	29.4	11.8	23.5	5.9	0.0	17.6
年齢別	65～69歳	229	2.6	1.7	7.0	3.9	0.9	13.5	5.7	10.0	5.7	1.7	39.7
	70～74歳	247	1.6	2.0	10.1	4.5	0.8	15.0	8.9	8.1	6.1	0.8	37.7
	75～79歳	266	2.3	2.6	9.0	2.3	1.9	18.8	10.9	10.5	5.6	1.1	28.2
	80～84歳	175	1.7	12.6	13.7	4.6	3.4	23.4	13.1	17.1	9.7	1.1	18.9
	85歳以上	139	1.4	20.1	15.1	6.5	7.2	26.6	20.9	17.3	10.8	3.6	17.3
	無回答	14	0.0	0.0	7.1	7.1	0.0	28.6	7.1	21.4	7.1	0.0	21.4
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	230	3.5	9.1	16.1	6.1	4.8	39.1	19.1	17.0	8.7	1.3	14.3
	夫婦のみふたり暮らし世帯	497	2.0	5.2	7.8	3.4	2.2	13.9	9.1	10.5	6.2	1.4	33.8
	その他の世帯	322	0.9	5.6	10.6	3.7	0.9	10.9	8.1	10.2	7.5	1.9	35.7
	無回答	21	0.0	4.8	4.8	4.8	0.0	28.6	9.5	19.0	4.8	0.0	14.3
小学校区別	行橋校区	97	4.1	6.2	9.3	5.2	0.0	23.7	11.3	12.4	8.2	1.0	36.1
	行橋北校区	57	3.5	1.8	12.3	5.3	3.5	24.6	8.8	19.3	8.8	0.0	33.3
	行橋南校区	65	0.0	3.1	6.2	0.0	0.0	16.9	13.8	7.7	4.6	1.5	35.4
	今元校区	105	0.0	4.8	11.4	3.8	2.9	19.0	7.6	10.5	5.7	1.9	33.3
	葦島校区	33	3.0	6.1	6.1	3.0	0.0	9.1	12.1	6.1	12.1	3.0	30.3
	仲津校区	179	1.7	10.1	10.6	3.4	2.2	18.4	11.7	12.8	7.3	1.1	21.2
	泉校区	204	1.5	6.4	12.3	4.9	2.5	18.1	11.3	10.8	6.9	2.0	27.9
	今川校区	76	3.9	5.3	13.2	6.6	3.9	18.4	17.1	14.5	6.6	2.6	26.3
	稗田校区	70	0.0	5.7	8.6	2.9	2.9	18.6	7.1	12.9	4.3	0.0	38.6
	樺市区	32	9.4	9.4	9.4	6.3	9.4	15.6	6.3	9.4	9.4	3.1	12.5
	延永校区	133	1.5	6.0	9.8	3.8	2.3	16.5	11.3	12.0	8.3	1.5	33.8
	無回答	19	0.0	0.0	5.3	5.3	0.0	26.3	5.3	15.8	5.3	0.0	31.6

(2) 不安や困りごとの相談先

- 日常生活上の不安や困りごとの相談先は、「相談はしていない」が20.8%を占めている。不安や困りごとの相談先がある人では、「家族や親族」が61.4%と半数を超え、次いで「かかりつけの医師・看護師等」(19.3%)、「友人や近所の人」(19.2%)の順に続く。「民生委員・児童委員」は1.2%、「市役所の窓口(介護保険課等)」は1.9%と少ない。
- 性別にみると、女性は男性に比べて「家族や親族」(65.9%)や「友人や近所の人」(24.2%)等が高い。
- 年齢別にみると、85歳以上では「家族や親族」のほか、「ケアマネジャー」「民生委員・児童委員」「高齢者相談支援センター(地域包括支援センター)」が他の年代に比べて割合が高い。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「友人や近所の人」や「高齢者相談支援センター(地域包括支援センター)」が他の世帯構成に比べて高い。
- 小学校区別にみると、「かかりつけの医師・看護師等」は菟島校区と行橋校区が他の校区に比べて高い。

【不安や困りごとの相談先】



【不安や困りごとの相談先(性別・年齢別・世帯構成別・小学校区別)】

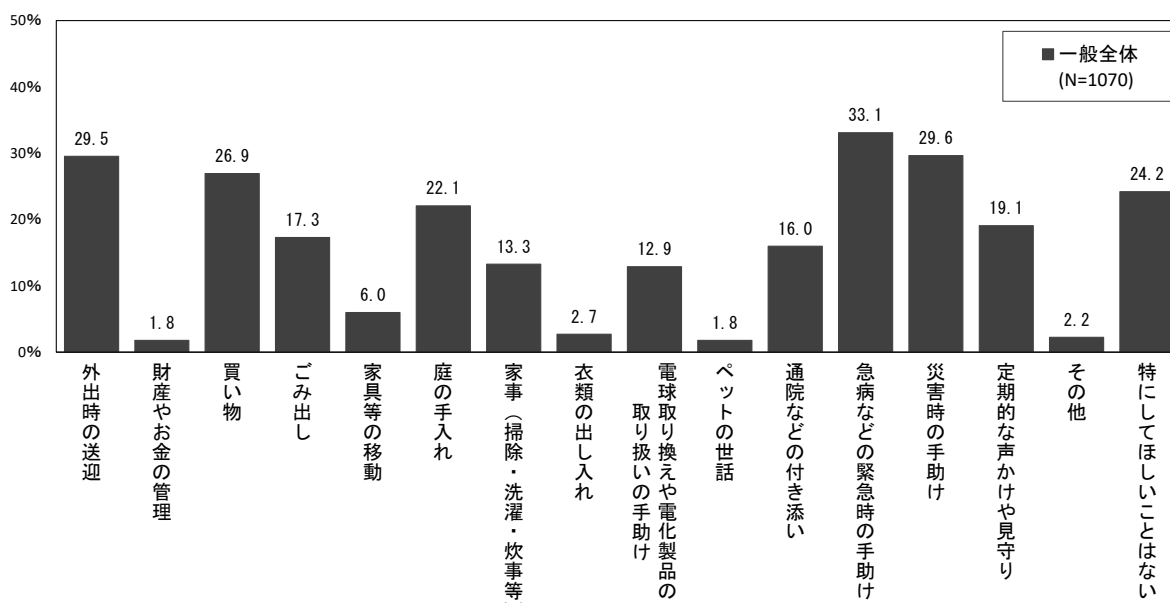
	調査数	家族や親族	友人や近所の人	ケアマネジャー	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	市役所の窓口 (介護保険課等)	高齢者相談支援センター (地域包括支援センター)	かかりつけの医師・ 看護師等	弁護士等の専門家	その他	相談はしていない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	689	61.4	19.2	7.3	1.2	0.3	1.9	6.0	19.3	0.7	1.5	20.8	
性別	男性	307	56.4	13.0	5.2	1.0	0.7	2.6	5.5	22.8	0.7	1.3	26.7
	女性	372	65.9	24.2	8.6	1.1	0.0	1.3	5.6	16.7	0.8	1.6	15.9
	無回答	10	50.0	20.0	20.0	10.0	0.0	0.0	30.0	10.0	0.0	0.0	20.0
年齢別	65～69歳	128	60.2	18.8	4.7	0.8	0.8	3.1	2.3	18.0	0.8	1.6	27.3
	70～74歳	140	58.6	25.7	2.9	0.7	0.7	2.1	3.6	15.7	0.7	1.4	26.4
	75～79歳	172	59.3	18.0	6.4	0.6	0.0	1.7	6.4	20.3	1.2	1.7	22.1
	80～84歳	132	63.6	14.4	9.8	1.5	0.0	1.5	4.5	22.0	0.8	1.5	15.2
	85歳以上	110	69.1	18.2	13.6	1.8	0.0	0.9	11.8	21.8	0.0	0.9	10.0
	無回答	7	28.6	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	28.6
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	189	59.8	31.2	5.3	1.1	0.0	1.6	6.9	12.7	1.1	1.1	22.2
	夫婦のみふたり暮らし世帯	300	64.0	15.7	5.7	1.7	0.3	1.7	6.0	25.0	0.7	1.7	19.7
	その他の世帯	187	59.9	12.3	10.2	0.0	0.5	2.7	3.7	18.2	0.5	1.6	21.4
	無回答	13	46.2	23.1	30.8	7.7	0.0	0.0	23.1	0.0	0.0	0.0	15.4
小学校区別	行橋校区	57	66.7	8.8	7.0	0.0	1.8	0.0	5.3	28.1	0.0	3.5	17.5
	行橋北校区	35	45.7	25.7	0.0	8.6	2.9	2.9	5.7	8.6	0.0	0.0	28.6
	行橋南校区	38	65.8	28.9	7.9	0.0	0.0	7.9	0.0	13.2	0.0	0.0	15.8
	今元校区	63	71.4	19.0	4.8	0.0	0.0	0.0	6.3	12.7	1.6	3.2	11.1
	袁島校区	21	57.1	23.8	19.0	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	0.0	4.8	19.0
	仲津校区	138	68.1	17.4	5.8	2.2	0.0	0.7	7.2	18.8	0.0	0.0	20.3
	泉校区	129	53.5	20.2	8.5	0.8	0.0	3.1	7.8	24.8	1.6	2.3	23.3
	今川校区	51	62.7	17.6	3.9	0.0	0.0	3.9	0.0	11.8	2.0	3.9	15.7
	稗田校区	37	51.4	13.5	8.1	0.0	0.0	0.0	5.4	21.6	0.0	0.0	35.1
	樺市校区	28	60.7	14.3	10.7	0.0	0.0	0.0	3.6	17.9	3.6	0.0	25.0
	延永校区	83	65.1	24.1	8.4	0.0	0.0	2.4	3.6	21.7	0.0	0.0	20.5
	無回答	9	22.2	22.2	22.2	11.1	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3

## 7. 地域での支えあいについて

### (1) 支援が必要になったとき、身近な地域の人にしてほしいこと

- 日常生活で支援が必要になったとき、身近な地域の人にしてほしいことは「急病などの緊急時の手助け」が33.1%と最も高く、次いで「災害時の手助け」(29.6%)、「外出時の送迎」(29.5%)、「買い物」(26.9%)、「庭の手入れ」(22.1%)が上位5項目にあがっている。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「家事(掃除・洗濯・炊事等)」(14.5%)や「財産やお金の管理」(2.8%)の割合が高い。
- 年齢別にみると、85歳以上では、「通院などの付き添い」(25.9%)や「災害時の手助け」(35.3%)等が他の世代に比べて高い。また、「外出時の送迎」は年齢が上がるにつれて高くなっている。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「買い物」(32.6%)や「ごみ出し」(23.0%)、「電球取り換えや電化製品の取り扱いの手助け」(21.3%)や「急病などの緊急時の手助け」(43.5%)、「災害時の手助け」(34.8%)等が他の世帯構成に比べて高い。
- 小学校区別にみると、「外出時の送迎」は仲津校区(40.2%)が40%を超えている。「買い物」は仲津校区(38.0%)や行橋南校区(33.8%)、延永校区(30.8%)が30%を超えている。「急病などの緊急時の手助け」は、仲津校区(36.9%)や行橋北校区(36.8%)、行橋校区(36.1%)が他の校区に比べて高い。

【支援が必要になった場合にしてほしいこと】



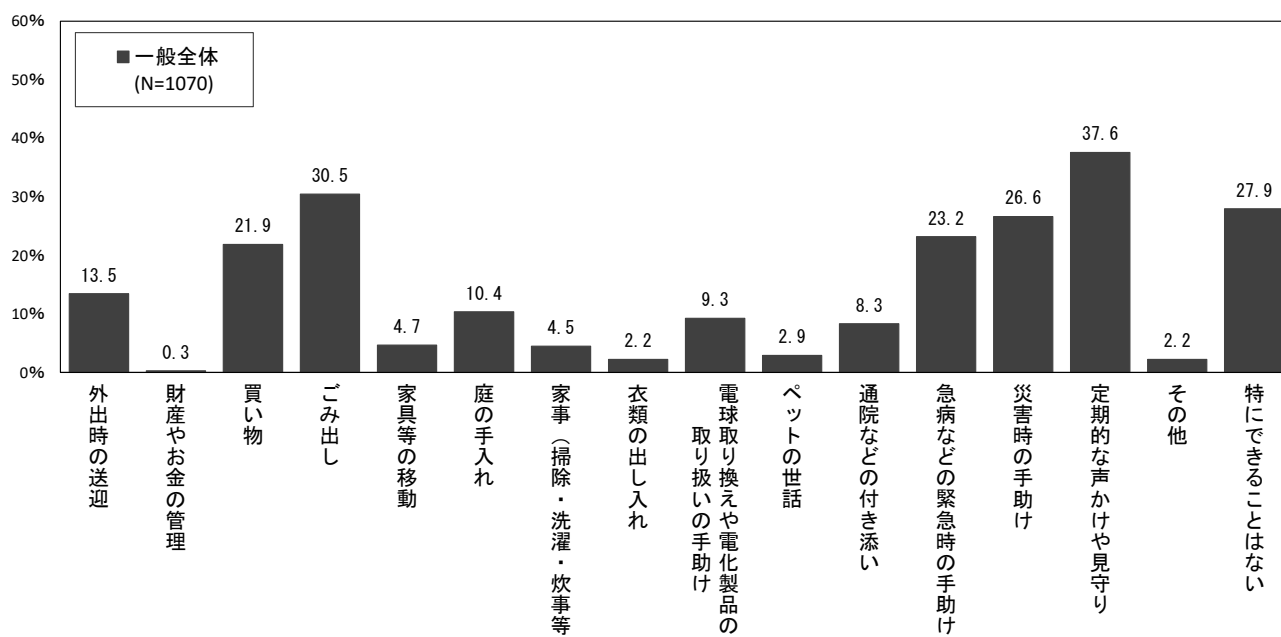
【支援が必要になった場合にしてほしいこと(性別・年齢別・世帯構成別・小学校区別)】

	調査数	外出時の送迎	財産やお金の管理	買い物	ごみ出し	家具等の移動	庭の手入れ	家事(掃除・洗濯・炊事等)	衣類の出し入れ	電球取り換えや電化製品の取り扱いの手助け	ペットの世話	通院などの付き添い	急病などの緊急時の手助け	災害時の手助け	定期的な声かけや見守り	その他	特にしてほしいことはない
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体	1,070	29.5	1.8	26.9	17.3	6.0	22.1	13.3	2.7	12.9	1.8	16.0	33.1	29.6	19.1	2.2	24.2
性別																	
男性	496	26.8	2.8	24.2	14.3	5.2	21.4	14.5	2.2	8.3	1.4	16.3	32.5	28.4	19.2	1.8	29.0
女性	557	32.1	0.9	29.8	19.9	6.8	22.8	12.2	3.2	17.1	2.2	16.2	33.9	30.9	19.4	2.5	20.1
無回答	17	23.5	0.0	11.8	17.6	0.0	17.6	11.8	0.0	11.8	0.0	0.0	23.5	23.5	5.9	5.9	17.6
年齢別																	
65～69歳	229	27.1	2.6	26.2	18.8	5.7	26.2	13.5	2.6	12.7	1.3	14.8	37.1	33.6	16.6	2.6	25.8
70～74歳	247	27.1	1.6	24.3	14.6	5.3	16.2	13.0	2.4	10.5	0.8	13.4	31.6	28.3	23.5	2.8	29.6
75～79歳	266	27.8	1.5	28.6	14.3	6.4	20.7	10.9	1.9	12.0	2.3	13.9	29.3	26.3	17.3	1.1	24.8
80～84歳	175	32.0	1.1	29.1	19.4	6.9	24.6	16.6	3.4	13.1	3.4	17.7	32.6	27.4	20.6	2.3	21.1
85歳以上	139	38.1	2.2	28.1	22.3	6.5	25.2	13.7	4.3	18.7	1.4	25.9	38.1	35.3	18.0	2.2	15.8
無回答	14	28.6	0.0	14.3	21.4	0.0	21.4	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	21.4	21.4	7.1	7.1	14.3
世帯構成別																	
ひとり暮らし世帯	230	27.8	0.9	32.6	23.0	8.7	26.5	13.0	2.6	21.3	2.2	17.4	43.5	34.8	23.9	2.2	17.4
夫婦のみふたり暮らし世帯	497	33.0	2.4	29.2	16.3	7.2	22.9	14.9	3.2	13.3	1.8	17.1	34.8	30.0	22.1	1.8	22.9
その他の世帯	322	25.8	1.6	19.9	14.3	2.5	17.7	11.2	2.2	6.2	1.6	14.3	23.0	26.1	11.5	2.5	32.0
無回答	21	23.8	0.0	19.0	23.8	0.0	19.0	9.5	0.0	14.3	0.0	0.0	33.3	19.0	9.5	9.5	9.5
小学校区別																	
行橋校区	97	18.6	3.1	26.8	16.5	4.1	7.2	16.5	2.1	13.4	3.1	15.5	36.1	26.8	20.6	2.1	30.9
行橋北校区	57	19.3	0.0	28.1	17.5	7.0	12.3	10.5	1.8	8.8	5.3	15.8	36.8	31.6	26.3	1.8	22.8
行橋南校区	65	23.1	3.1	33.8	23.1	10.8	12.3	10.8	6.2	13.8	0.0	13.8	33.8	35.4	16.9	1.5	24.6
今元校区	105	32.4	1.0	21.9	6.7	5.7	26.7	14.3	1.0	9.5	1.0	14.3	29.5	23.8	17.1	3.8	23.8
叢島校区	33	39.4	0.0	24.2	21.2	3.0	12.1	15.2	3.0	12.1	3.0	24.2	24.2	30.3	21.2	3.0	24.2
仲津校区	179	40.2	2.2	38.0	21.8	10.1	32.4	17.9	5.6	15.1	2.8	23.5	36.9	32.4	15.1	2.2	18.4
泉校区	204	27.9	2.5	20.1	16.7	5.4	24.0	11.3	2.9	13.2	1.5	15.7	34.8	29.9	18.6	1.5	26.0
今川校区	76	27.6	2.6	26.3	21.1	5.3	32.9	9.2	2.6	18.4	0.0	9.2	30.3	31.6	18.4	1.3	25.0
神田校区	70	32.9	0.0	21.4	18.6	5.7	24.3	7.1	0.0	14.3	2.9	10.0	35.7	28.6	20.0	0.0	25.7
椿市校区	32	28.1	3.1	15.6	15.6	0.0	25.0	3.1	0.0	6.3	0.0	6.3	21.9	15.6	28.1	6.3	31.3
延永校区	133	28.6	0.8	30.8	15.0	3.8	15.8	15.8	1.5	11.3	0.8	18.8	30.8	31.6	21.8	2.3	24.1
無回答	19	26.3	0.0	15.8	15.8	0.0	21.1	21.1	0.0	10.5	0.0	0.0	21.1	26.3	10.5	10.5	10.5

(2) 支援が必要な家庭に対して、自分ができる支援

- 支援が必要な家庭に対して、自分ができる支援は「定期的な声かけや見守り」が 37.6%と最も高く、次いで「ごみ出し」(30.5%)、「災害時の手助け」(26.6%)、「急病などの緊急時の手助け」(23.2%)「買い物」(21.9%)が上位5項目にあがっている。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「外出時の送迎」(21.4%)や「ごみ出し」(32.5%)、「家具等の移動」(8.9%)、「庭の手入れ」(15.3%)、「電球取り換えや電化製品の取り扱いの手助け」(18.3%)など日常生活のちょっとした困りごとに関する項目が高いほか、「急病などの緊急時の手助け」(28.2%)や「災害時の手助け」(38.3%)も高い。
- 年齢別にみると、「買い物」「ごみ出し」「家具等の移動」等は、若い年齢ほど高い。
- 世帯構成別にみると、夫婦のみふたり暮らし世帯では「ごみ出し」や「災害時の手助け」、「定期的な声かけや見守り」が30%を超えているほか、「外出時の送迎」(14.9%)や「急病などの緊急時の手助け」(26.8%)が他の世帯構成に比べて高い。
- 小学校区別にみると、「外出時の送迎」は今川校区(21.1%)が20%以上となっている。「災害時の手助け」は椿市校区(43.8%)が他の校区に比べて顕著に高い。

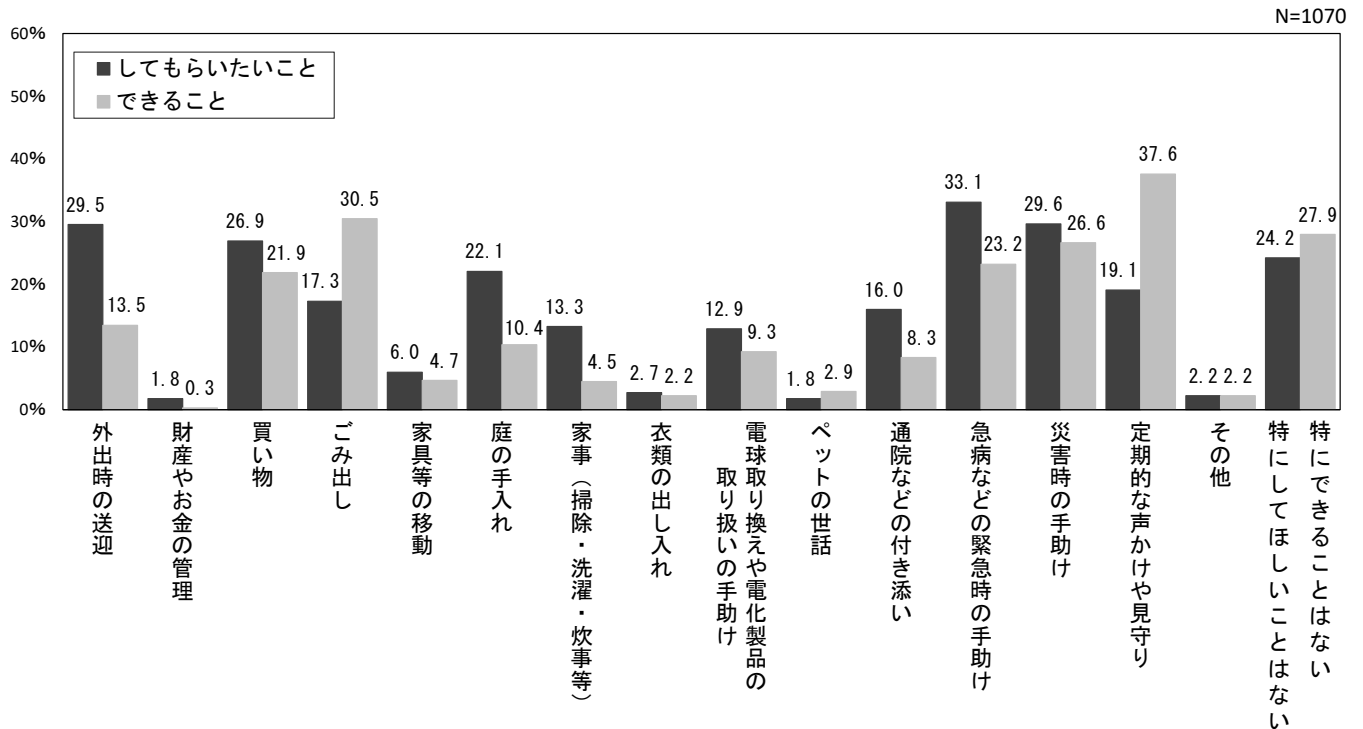
【支援が必要な家庭に対して、自分ができる支援】



【支援が必要な家庭に対して、自分ができる支援(性別・年齢別・世帯構成別・小学校区別)】

	調査数	外出時の送迎	財産やお金の管理	買い物	ごみ出し	家具等の移動	庭の手入れ	家事(掃除・洗濯・炊事等)	衣類の出し入れ	電球取り換えや電化製品の取り扱いの手助け	ペットの世話	通院などの付き添い	急病などの緊急時の手助け	災害時の手助け	定期的な声かけや見守り	その他	特にできることはない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体	1,070	13.5	0.3	21.9	30.5	4.7	10.4	4.5	2.2	9.3	2.9	8.3	23.2	26.6	37.6	2.2	27.9	
性別	男性	496	21.4	0.6	20.6	32.5	8.9	15.3	2.2	18.3	3.6	9.3	28.2	38.3	35.7	1.8	24.4	
	女性	557	6.5	0.0	23.5	29.4	1.1	5.7	6.5	3.4	1.4	2.3	7.5	18.7	16.5	39.7	2.7	30.9
	無回答	17	11.8	0.0	5.9	5.9	0.0	17.6	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9	23.5	17.6	23.5	0.0	35.3
年齢別	65～69歳	229	15.3	0.4	30.1	38.4	7.9	9.6	5.7	3.5	14.0	3.5	10.0	27.5	39.3	42.4	2.2	20.1
	70～74歳	247	15.8	0.0	30.0	37.2	5.7	13.4	5.7	2.8	10.9	3.2	8.1	25.1	34.0	47.4	2.0	20.6
	75～79歳	266	15.4	0.8	19.5	30.1	3.4	10.2	4.1	1.5	8.6	4.1	9.4	25.2	23.7	35.0	2.3	28.2
	80～84歳	175	10.9	0.0	15.4	25.7	3.4	9.1	1.1	0.6	8.6	1.7	6.9	20.0	18.9	34.3	2.3	30.9
	85歳以上	139	6.5	0.0	7.9	14.4	2.2	7.2	5.0	2.9	1.4	0.7	5.8	12.2	9.4	22.3	2.9	49.6
	無回答	14	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0	21.4	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	28.6	14.3	28.6	0.0	28.6
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	230	11.7	0.9	23.5	27.4	2.6	9.1	6.5	3.0	4.8	3.0	10.0	18.7	18.3	35.2	3.0	26.1
	夫婦のみふたり暮らし世帯	497	14.9	0.2	23.7	33.8	6.0	11.5	4.4	1.8	11.3	3.4	8.2	26.8	32.0	40.8	3.2	23.5
	その他の世帯	322	13.0	0.0	18.6	28.6	4.3	9.3	3.1	2.5	9.9	1.9	7.5	20.5	25.2	34.5	0.3	36.0
	無回答	21	4.8	0.0	9.5	14.3	0.0	14.3	4.8	0.0	0.0	4.8	4.8	28.6	14.3	33.3	0.0	28.6
小学校区別	行橋校区	97	14.4	1.0	26.8	34.0	6.2	8.2	6.2	2.1	7.2	6.2	8.2	25.8	28.9	36.1	1.0	28.9
	行橋北校区	57	14.0	0.0	31.6	40.4	7.0	17.5	7.0	1.8	12.3	3.5	5.3	24.6	24.6	35.1	1.8	26.3
	行橋南校区	65	6.2	0.0	26.2	27.7	3.1	7.7	1.5	1.5	9.2	3.1	4.6	15.4	23.1	41.5	3.1	27.7
	今元校区	105	7.6	0.0	20.0	31.4	5.7	11.4	2.9	1.9	11.4	1.9	10.5	21.0	21.9	44.8	2.9	26.7
	葦島校区	33	18.2	3.0	24.2	30.3	6.1	3.0	3.0	6.1	12.1	0.0	12.1	15.2	24.2	42.4	0.0	24.2
	仲津校区	179	15.6	0.0	20.1	28.5	2.8	9.5	4.5	2.2	7.3	2.8	6.7	25.1	22.9	32.4	3.4	31.8
	泉校区	204	9.8	0.0	20.1	31.4	3.9	12.3	3.9	1.5	9.3	2.9	7.8	22.1	27.0	39.2	1.5	26.5
	今川校区	76	21.1	0.0	21.1	28.9	6.6	13.2	6.6	5.3	11.8	2.6	9.2	28.9	30.3	40.8	0.0	27.6
	種田校区	70	15.7	0.0	17.1	27.1	5.7	10.0	4.3	1.4	10.0	5.7	14.3	25.7	28.6	38.6	4.3	27.1
	楳市校区	32	12.5	0.0	15.6	25.0	9.4	9.4	9.4	0.0	6.3	0.0	6.3	31.3	43.8	40.6	3.1	21.9
	延永校区	133	17.3	0.8	23.3	32.3	3.8	6.8	3.8	3.0	9.8	1.5	8.3	21.1	30.1	33.8	3.0	29.3
	無回答	19	10.5	0.0	15.8	10.5	0.0	21.1	5.3	0.0	0.0	0.0	10.5	21.1	21.1	26.3	0.0	26.3

【支援してもらいたいこと・自分ができる支援】(再掲)

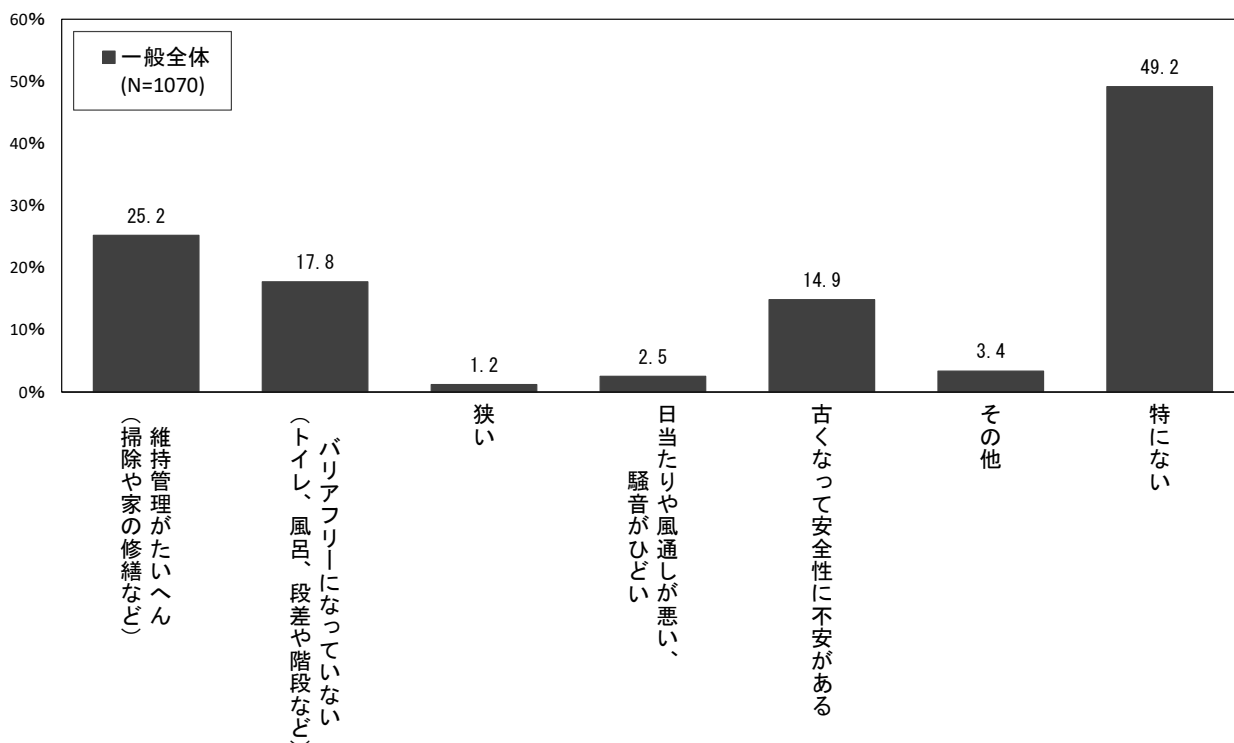


## 8. 住まいについて

### (1) 住環境で困っていること【住居】

- 住居で困っていることは「特にない」が49.2%と約半数を占めている。困っていることがある人では「維持管理がたいへん（掃除や家の修繕など）」が25.2%と最も高く、次いで「バリアフリーになっていない（トイレ、風呂、段差や階段など）」（17.8%）、「古くなって安全性に不安がある」（14.9%）の順に続く。
- 年齢別にみると、80～84歳では「バリアフリーになっていない（トイレ、風呂、段差や階段など）」が20%を超えている。
- 小学校区別にみると、「維持管理がたいへん（掃除や家の修繕など）」は今川校区（35.5%）や、仲津校区（31.8%）、樺市校区（31.3%）が30%を超えている。「古くなって安全性に不安がある」は、養島校区（21.2%）、今川校区（21.1%）が20%を超えている。

【住居で困っていること】



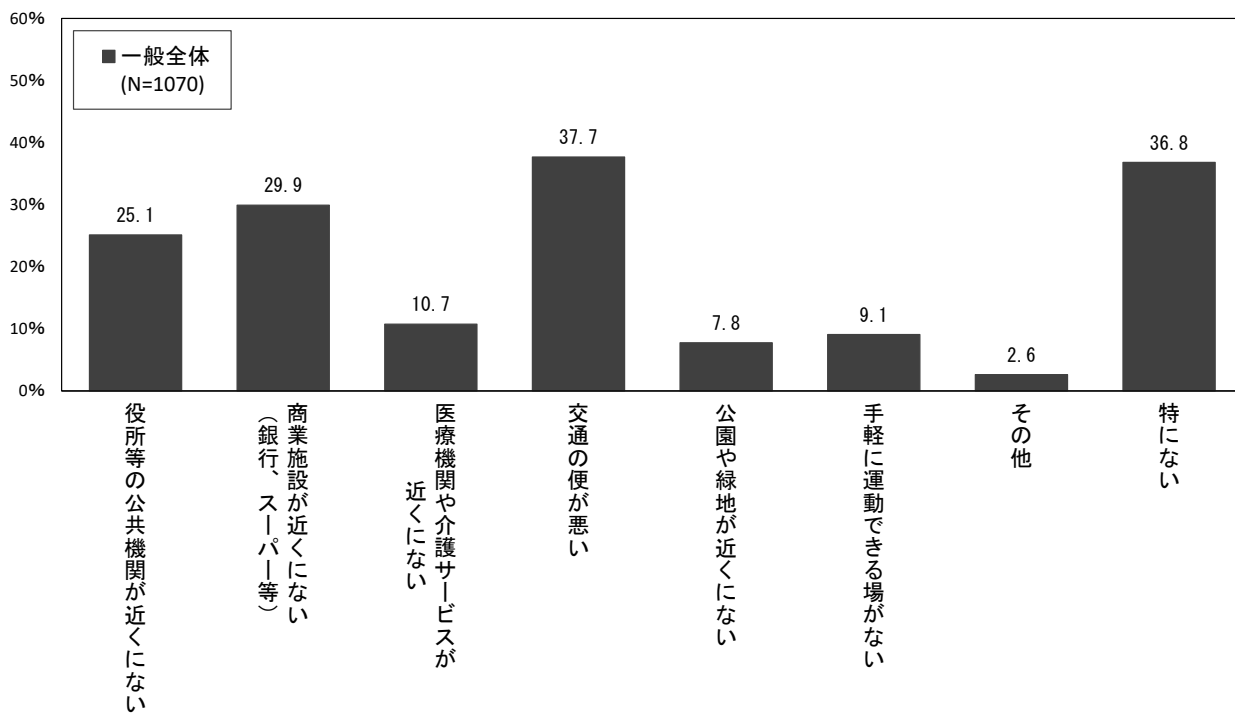
## 【住居で困っていること(性別・年齢別・世帯構成別・小学校区別)】

		調査数	(維持管理がたいへん (掃除や家の修繕など))	(バリアフリーになっていない (トイレ、ふる、段差や階段など))	狭い	騒音がひどい 日当たりや風通しが悪い、	古くなって安全性に不安がある	その他	特にない
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		1,070	25.2	17.8	1.2	2.5	14.9	3.4	49.2
性別	男性	496	26.0	18.8	0.6	3.2	13.9	3.6	50.4
	女性	557	25.0	17.1	1.8	2.0	15.3	3.2	48.5
	無回答	17	11.8	11.8	0.0	0.0	29.4	0.0	35.3
年齢別	65～69歳	229	27.1	15.7	0.9	4.8	13.1	4.8	53.3
	70～74歳	247	29.1	17.4	1.6	1.6	16.2	4.0	47.4
	75～79歳	266	20.7	17.7	1.5	3.0	16.2	2.3	50.0
	80～84歳	175	26.3	20.6	0.6	1.7	14.3	4.6	46.9
	85歳以上	139	23.7	18.7	1.4	0.7	11.5	0.7	49.6
	無回答	14	14.3	14.3	0.0	0.0	35.7	0.0	21.4
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	230	29.6	18.3	0.0	2.6	17.8	2.6	41.7
	夫婦のみふたり暮らし世帯	497	23.9	18.9	1.8	2.6	13.3	3.6	49.5
	その他の世帯	322	24.8	15.5	1.2	2.2	14.6	3.7	55.6
	無回答	21	14.3	19.0	0.0	4.8	23.8	0.0	23.8
小学校区別	行橋校区	97	16.5	11.3	1.0	3.1	13.4	5.2	55.7
	行橋北校区	57	22.8	21.1	3.5	3.5	15.8	1.8	47.4
	行橋南校区	65	16.9	13.8	0.0	1.5	7.7	1.5	56.9
	今元校区	105	24.8	19.0	1.0	0.0	15.2	1.0	47.6
	藁島校区	33	24.2	27.3	0.0	3.0	21.2	3.0	36.4
	仲津校区	179	31.8	20.7	1.7	5.6	15.6	5.0	41.3
	泉校区	204	25.0	15.2	1.5	2.5	16.2	3.4	50.5
	今川校区	76	35.5	25.0	0.0	1.3	21.1	1.3	43.4
	稗田校区	70	24.3	14.3	0.0	1.4	12.9	4.3	57.1
	樺市校区	32	31.3	12.5	0.0	3.1	6.3	6.3	50.0
	延永校区	133	24.1	18.8	2.3	1.5	11.3	3.8	54.9
	無回答	19	10.5	15.8	0.0	0.0	31.6	0.0	36.8

(2) 住環境で困っていること【環境・地域】

- 自分の住む環境・地域で困っていることは「交通の便が悪い」が 37.7%と最も高く、次いで「特にない」(36.8%)、「商業施設が近くにない(銀行、スーパー等)」(29.9%)となっている。
- 性別にみると、男性に比べて女性の方が「交通の便が悪い」(41.5%)、「商業施設が近くにない(銀行、スーパー等)」(34.5%)、「役所等の公共機関が近くにない」(28.2%)の割合が顕著に高い。
- 年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「役所等の公共機関が近くにない」「商業施設が近くにない(銀行、スーパー等)」「交通の便が悪い」の割合が高い傾向にある。
- 小学校区別にみると、「役所等の公共機関が近くにない」は仲津校区(42.5%)、椿市校区(40.6%)が40%を超えている。「商業施設が近くにない(銀行、スーパー等)」は仲津校区(64.2%)が60%を超え、他の校区に比べて顕著に高い。そのほか、葦島校区(51.5%)においても50%を超えている。「交通の便が悪い」は、椿市校区(71.9%)が70%を超え、他の校区に比べて顕著に高い。そのほか、稗田校区(65.7%)においても60%を超えている。

【環境・地域で困っていること】



## 【環境・地域で困っていること(性別・年齢別・世帯構成別・小学校区別)】

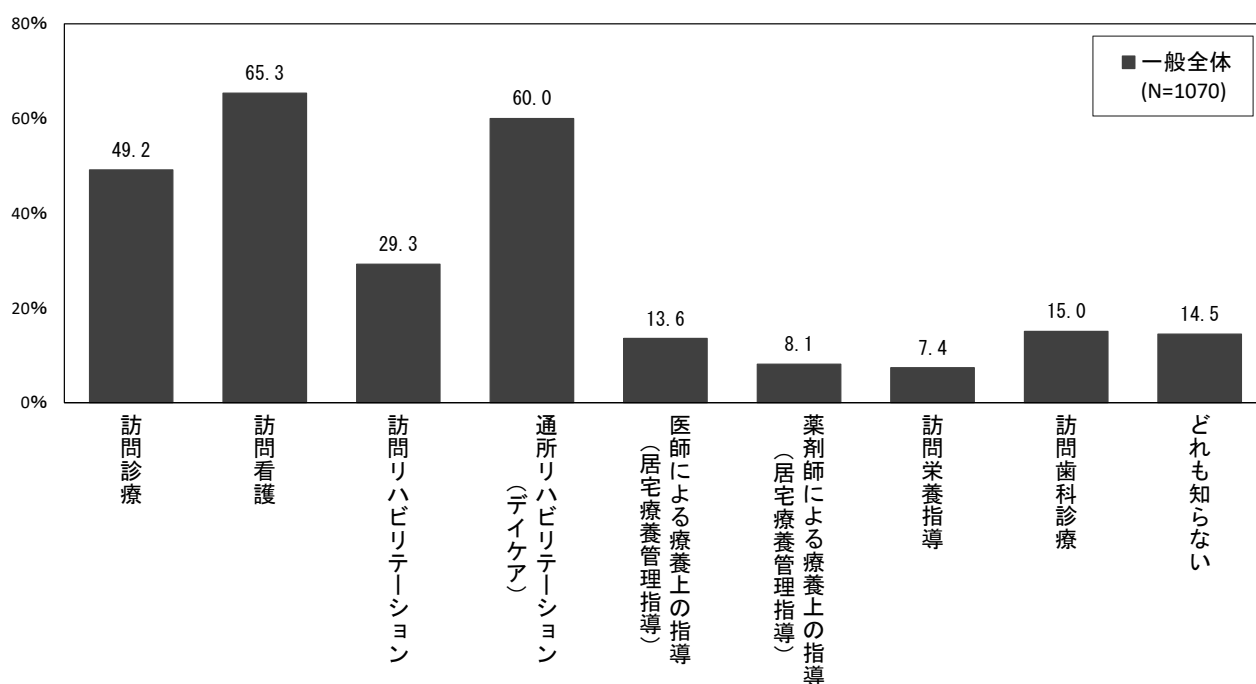
		調査数	役所等の公共機関が近くにない	商業施設が近くにない (銀行、スーパー等)	医療機関や介護サービスが 近くにない	交通の便が悪い	公園や緑地が近くにない	手軽に運動できる場がない	その他	特 に ない
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		1,070	25.1	29.9	10.7	37.7	7.8	9.1	2.6	36.8
性別	男性	496	21.8	24.8	10.9	33.3	7.5	8.9	2.6	41.9
	女性	557	28.2	34.5	10.6	41.5	7.9	9.2	2.7	33.0
	無回答	17	23.5	29.4	11.8	41.2	11.8	11.8	0.0	11.8
年齢別	65～69歳	229	21.0	24.5	8.3	32.3	8.7	11.8	3.9	41.9
	70～74歳	247	21.1	28.7	9.7	37.7	6.1	10.5	2.8	40.5
	75～79歳	266	25.2	31.6	10.5	38.3	7.1	6.4	2.3	37.6
	80～84歳	175	28.6	30.9	14.9	39.4	7.4	9.1	2.9	29.1
	85歳以上	139	34.5	36.7	11.5	43.2	10.1	6.5	0.7	32.4
	無回答	14	28.6	28.6	14.3	35.7	14.3	14.3	0.0	14.3
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	230	27.4	33.9	13.0	37.8	8.7	7.4	3.0	33.5
	夫婦のみふたり暮らし世帯	497	26.6	31.2	12.1	40.8	7.0	8.5	1.8	35.8
	その他の世帯	322	21.1	25.2	7.1	33.2	8.1	11.2	3.7	42.2
	無回答	21	28.6	28.6	9.5	28.6	9.5	9.5	0.0	14.3
小学校区別	行橋校区	97	2.1	13.4	2.1	10.3	5.2	5.2	4.1	61.9
	行橋北校区	57	7.0	3.5	7.0	24.6	10.5	10.5	1.8	56.1
	行橋南校区	65	0.0	12.3	4.6	4.6	7.7	7.7	4.6	52.3
	今元校区	105	19.0	34.3	11.4	53.3	5.7	3.8	0.0	33.3
	葦島校区	33	30.3	51.5	30.3	48.5	3.0	3.0	0.0	21.2
	仲津校区	179	42.5	64.2	7.3	51.4	8.4	11.7	2.2	19.0
	泉校区	204	27.5	16.7	9.3	27.0	6.9	10.3	3.9	45.1
	今川校区	76	27.6	18.4	13.2	47.4	7.9	7.9	3.9	32.9
	稗田校区	70	35.7	47.1	20.0	65.7	7.1	8.6	1.4	17.1
	樺市校区	32	40.6	50.0	31.3	71.9	15.6	28.1	6.3	9.4
	延永校区	133	28.6	21.1	12.0	34.6	9.8	8.3	1.5	40.6
	無回答	19	21.1	21.1	10.5	31.6	10.5	10.5	0.0	31.6

## 9. 在宅医療や介護等について

### (1) 在宅医療サービスの認知度

- 在宅医療サービスで知っていることは「訪問看護」が65.3%と最も高く、次いで「通所リハビリテーション（デイケア）」(60.0%)、「訪問診療」(49.2%)の順に続く。「どれも知らない」という割合は14.5%となっている。
- 性別にみても大きな差はみられない。
- 年齢別にみると、65～69歳では「訪問看護」(75.1%)や「通所リハビリテーション（デイケア）」(72.9%)が70%を超えている。

【在宅医療サービスの認知度】



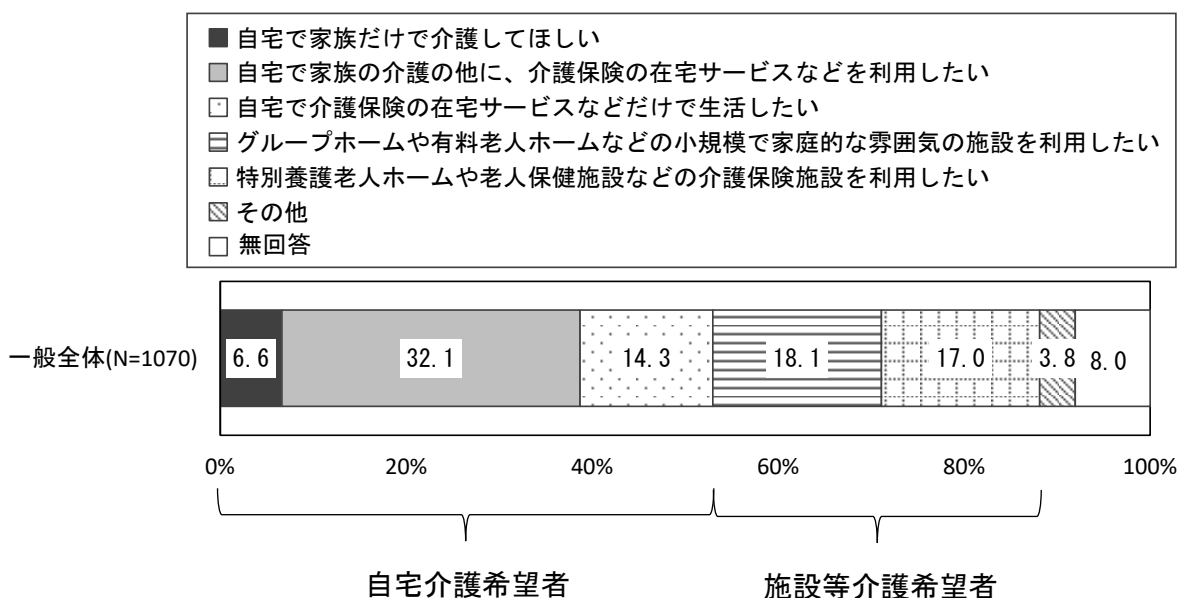
【在宅サービスの認知度(性別・年齢別)】

	調査数 (人)	訪問診療	訪問看護	訪問リハビリテーション	通所リハビリテーション (デイケア)	医師による療養上の指導 (居宅療養管理指導)	薬剤師による療養上の指導 (居宅療養管理指導)	訪問栄養指導	訪問歯科診療	どれも知らない	
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
一般全体	1,070	49.2	65.3	29.3	60.0	13.6	8.1	7.4	15.0	14.5	
性別	男性	496	45.2	62.5	27.6	55.4	12.5	6.0	4.6	12.3	19.2
	女性	557	52.6	68.0	30.7	64.5	14.7	9.9	9.7	17.6	10.6
	無回答	17	52.9	58.8	29.4	47.1	5.9	11.8	11.8	11.8	5.9
年齢別	65～69歳	229	62.0	75.1	38.0	72.9	19.2	10.9	13.1	23.1	10.0
	70～74歳	247	49.4	66.0	32.0	61.5	12.6	8.9	9.3	17.8	15.8
	75～79歳	266	45.5	63.5	24.4	53.0	9.0	6.4	4.9	11.3	17.3
	80～84歳	175	44.0	60.6	26.9	55.4	13.7	7.4	4.0	12.0	14.9
	85歳以上	139	41.0	59.0	22.3	57.6	15.1	5.8	3.6	8.6	14.4
	無回答	14	50.0	50.0	28.6	35.7	7.1	14.3	7.1	7.1	7.1

(2) 自分に介護が必要になった場合の介護希望

- 自分に介護が必要になった場合の介護希望は「自宅で家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスなどを利用したい」が32.1%と最も高く、次いで「グループホームや有料老人ホームなどの小規模で家庭的な雰囲気の施設を利用したい」(18.1%)、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設を利用したい」(17.0%)の順に続く。「自宅で家族だけで介護してほしい」から「自宅で介護保険の在宅サービスなどだけで生活したい」を合わせた『自宅介護希望者』の割合は53.0%、また、「グループホームや有料老人ホームなどの小規模で家庭的な雰囲気の施設を利用したい」と「特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設を利用したい」を合わせた『施設等介護希望者』の割合は35.1%となっている。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「自宅で家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスなどを利用したい」(36.3%)が8.1ポイント高く、『自宅介護希望者』は男性が59.1%、女性が47.6%となっている。
- 年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて「自宅で家族だけで介護してほしい」の割合が高くなる傾向にあり、80歳以上では11%以上となる。一方、年齢が若いほど「グループホームや有料老人ホームなどの小規模で家庭的な雰囲気の施設を利用したい」が高くなる傾向にあり、65~69歳では24.5%となっている。また、『自宅介護希望者』は、85歳以上(56.8%)、『施設等介護希望者』は、65~69歳(44.2%)が最も高くなっている。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「自宅で介護保険の在宅サービスなどだけで生活したい」(27.0%)、その他の世帯では「自宅で家族だけで介護してほしい」(10.6%)という割合が他の世帯構成に比べて高い。
- 小学校区別にみると、『自宅介護希望者』は、椿市校区(65.7%)、『施設等介護希望者』は、稗田校区(45.7%)や蓑島校区(42.4%)が、他の小学校区に比べて高い。

【自分に介護が必要になった場合の介護希望】



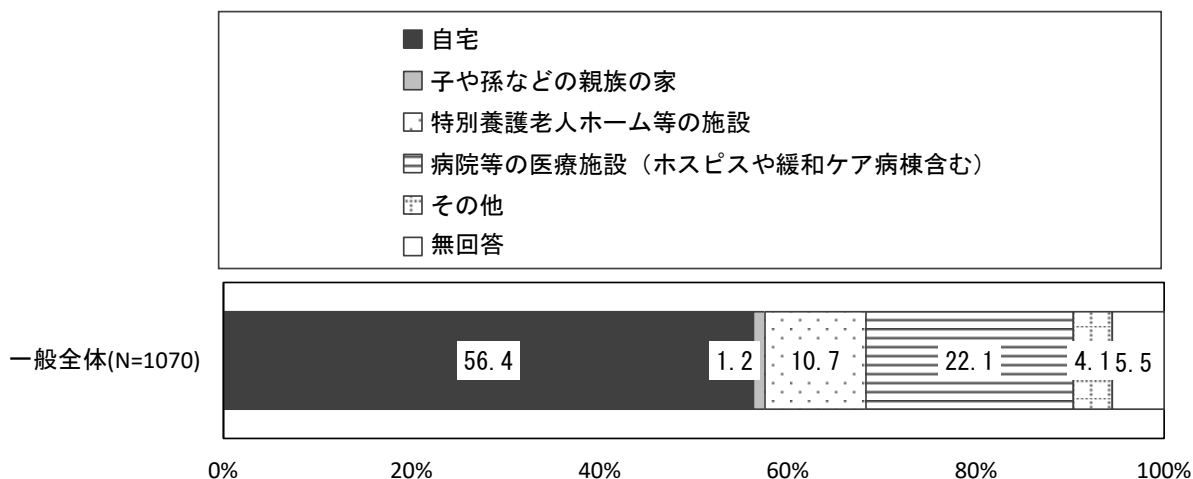
【自分に介護が必要になった場合の介護希望(性別・年齢別・世帯構成別・小学校区別)】

		調査数 (人)	自宅 で家族 だけで 介護 して ほしい	自宅 で家族 の介護 の他に 、介護 保険の 在宅 サービ スなど を利用 したい	自宅 で介護 保険の 在宅 サービ スなど だけ で 生活 したい	グル ープ ホーム や有料 老人 ホーム などの 小 規模 で家庭 的な 雰囲気 の施設 を利用 したい	特別 養護 老人 ホーム や老人 保健 施設 などの 介護 保険 施設 を利用 したい	その他	無 回 答
			(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		1,070	6.6	32.1	14.3	18.1	17.0	3.8	8.0
性別	男性	496	8.7	36.3	14.1	16.3	14.3	4.6	5.6
	女性	557	4.7	28.2	14.7	20.1	19.7	3.1	9.5
	無回答	17	11.8	35.3	5.9	5.9	5.9	5.9	29.4
年齢別	65～69歳	229	2.2	30.1	13.5	24.5	19.7	5.7	4.4
	70～74歳	247	5.3	31.6	15.0	17.0	18.6	4.0	8.5
	75～79歳	266	5.3	33.5	17.7	15.8	18.4	3.4	6.0
	80～84歳	175	11.4	35.4	9.7	20.6	8.6	4.0	10.3
	85歳以上	139	12.2	30.2	14.4	12.2	18.7	0.7	11.5
	無回答	14	14.3	21.4	7.1	7.1	7.1	7.1	35.7
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	230	3.5	15.7	27.0	24.3	18.3	3.0	8.3
	夫婦のみふたり暮らし世帯	497	5.2	38.0	10.3	17.3	17.1	4.2	7.8
	その他の世帯	322	10.6	35.1	12.1	15.8	16.5	3.4	6.5
	無回答	21	14.3	23.8	4.8	4.8	9.5	9.5	33.3
小学校区別	行橋校区	97	4.1	36.1	15.5	19.6	18.6	1.0	5.2
	行橋北校区	57	12.3	31.6	12.3	21.1	17.5	0.0	5.3
	行橋南校区	65	6.2	32.3	20.0	15.4	12.3	3.1	10.8
	今元校区	105	5.7	35.2	18.1	14.3	18.1	1.9	6.7
	菟島校区	33	6.1	24.2	9.1	21.2	21.2	3.0	15.2
	仲津校区	179	7.3	25.7	15.1	19.6	17.3	7.3	7.8
	泉校区	204	2.9	37.7	12.3	17.6	15.2	3.4	10.8
	今川校区	76	5.3	31.6	15.8	25.0	11.8	6.6	3.9
	稗田校区	70	8.6	27.1	10.0	20.0	25.7	0.0	8.6
	樺市校区	32	9.4	43.8	12.5	6.3	12.5	9.4	6.3
	延永校区	133	10.5	30.1	14.3	17.3	18.8	3.8	5.3
	無回答	19	10.5	21.1	10.5	10.5	10.5	10.5	26.3

(3) 人生の最期に対する意向

- 人生の最期に対する意向は「自宅」が 56.4%と過半数を占めており、次いで「病院等の医療施設（ホスピスや緩和ケア病棟含む）」(22.1%)、「特別養護老人ホーム等の施設」(10.7%)の順に続く。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「自宅」(65.1%)が 16.6 ポイント高い。一方、女性は男性に比べて「病院等の医療施設（ホスピスや緩和ケア病棟含む）」(25.9%)が 8.0 ポイント高い。
- 年齢別にみると、80～84 歳では「自宅」(60.6%)が他の年齢層に比べて高い。「病院等の医療施設（ホスピスや緩和ケア病棟含む）」(25.6%)は 75～79 歳にやや高くみられる。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「病院等の医療施設（ホスピスや緩和ケア病棟含む）」が 23.5%と他の世帯構成に比べて高くなっているが、「自宅」(47.0%)も 40%を超えている。
- 小学校区別にみると、「自宅」は、椿市校区 (78.1%) が 70%を超えている。「病院等の医療施設（ホスピスや緩和ケア病棟含む）」は、行橋校区や今川校区 (28.9%) 等が 20%を超えている。「特別養護老人ホーム等の施設」は稗田校区 (18.6%) や養島校区 (18.2%) が 15%を超えている。

【人生の最期に対する意向】



【人生の最期に対する意向(性別・年齢別・世帯構成別・小学校区別)】

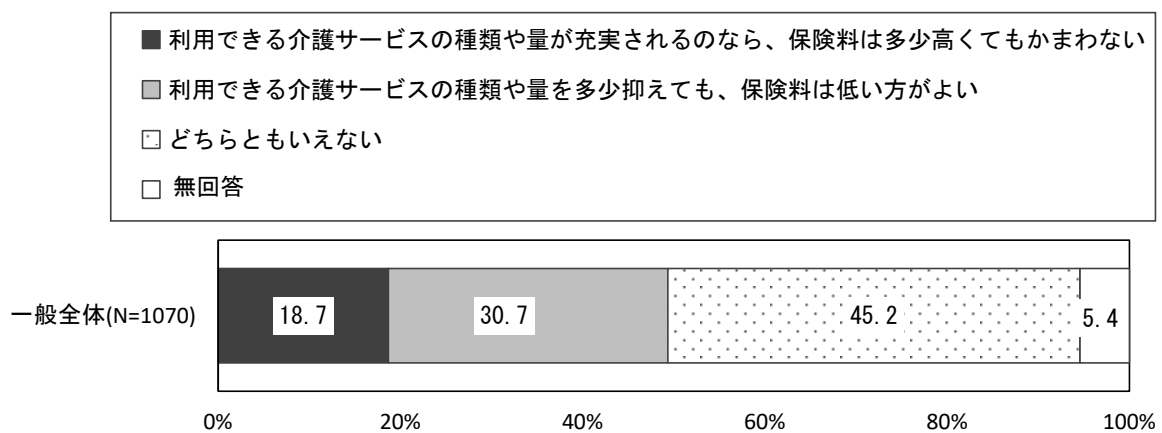
		調査数	自宅	子や孫などの親族の家	特別養護老人ホーム等の施設	病院等の医療施設 (ホスピスや緩和ケア病棟含む)	その他	無回答
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		1,070	56.4	1.2	10.7	22.1	4.1	5.5
性別	男性	496	65.1	1.2	9.3	17.9	3.0	3.4
	女性	557	48.5	1.3	12.2	25.9	5.2	7.0
	無回答	17	58.8	0.0	5.9	17.6	0.0	17.6
年齢別	65～69歳	229	52.8	0.9	14.0	24.5	3.9	3.9
	70～74歳	247	55.1	0.8	10.9	22.7	5.3	5.3
	75～79歳	266	57.1	1.1	7.9	25.6	3.8	4.5
	80～84歳	175	60.6	0.6	11.4	17.7	2.9	6.9
	85歳以上	139	57.6	3.6	10.1	16.5	5.0	7.2
	無回答	14	57.1	0.0	7.1	14.3	0.0	21.4
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	230	47.0	0.9	15.7	23.5	5.2	7.8
	夫婦のみふたり暮らし世帯	497	57.7	1.0	10.1	21.9	4.0	5.2
	その他の世帯	322	61.5	1.9	8.1	21.7	3.7	3.1
	無回答	21	47.6	0.0	14.3	14.3	0.0	23.8
小学校区別	行橋校区	97	50.5	1.0	10.3	28.9	2.1	7.2
	行橋北校区	57	54.4	0.0	10.5	21.1	7.0	7.0
	行橋南校区	65	56.9	0.0	3.1	23.1	7.7	9.2
	今元校区	105	61.9	1.9	12.4	18.1	1.9	3.8
	叢島校区	33	39.4	3.0	18.2	24.2	3.0	12.1
	仲津校区	179	54.7	1.1	10.6	25.1	5.0	3.4
	泉校区	204	56.9	1.5	9.3	21.6	3.9	6.9
	今川校区	76	51.3	1.3	10.5	28.9	3.9	3.9
	稗田校区	70	48.6	1.4	18.6	24.3	4.3	2.9
	樺市校区	32	78.1	0.0	6.3	9.4	0.0	6.3
	延永校区	133	63.2	1.5	11.3	15.8	5.3	3.0
	無回答	19	63.2	0.0	10.5	10.5	0.0	15.8

## 10. 高齢者福祉制度全般について

### (1) 介護保険料と介護サービスのあり方

- 介護保険料と介護サービスのあり方について「どちらともいえない」が45.2%と最も高く、次いで「利用できる介護サービスの種類や量を多少抑えても、保険料は低い方がよい」(30.7%)、「利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない」(18.7%)の順に続く。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「利用できる介護サービスの種類や量を多少抑えても、保険料は低い方がよい」(35.1%)が8.2ポイント高い。
- 年齢別にみると、85歳以上では「利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない」(27.3%)が他の年代に比べて高い。
- 世帯構成別にみても大きな差はみられない。
- 介護希望別にみると、自宅介護希望者は施設等介護希望者より「利用できる介護サービスの種類や量を多少抑えても、保険料は低い方がよい」(33.7%)が6.3ポイント高い。一方、施設等介護希望者は自宅介護希望者より「利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない」(24.5%)が7.0ポイント高くなっており、希望する介護形態によって考え方にやや差がみられる。

#### 【介護保険料と介護サービスのあり方】



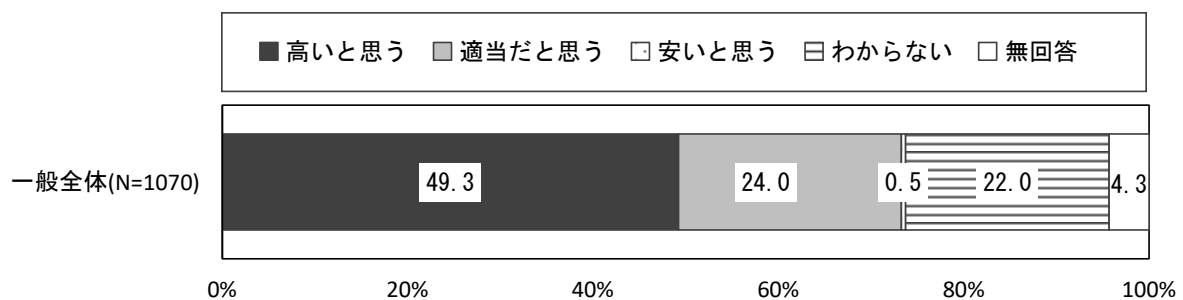
【介護保険料と介護サービスのあり方(性別・年齢別・世帯構成別・介護希望別)】

		調査数	ても充利用 か実用 まされる わられる ないの なら、 介護サ ービス の種 類や 量 が	多利用 少抑 えて も、 介護 サー ビス の種 類や 量 を	ど ち ら と も い え な い	無 回 答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		1,070	18.7	30.7	45.2	5.4
性別	男性	496	20.8	35.1	39.5	4.6
	女性	557	17.2	26.9	50.3	5.6
	無回答	17	5.9	23.5	47.1	23.5
年齢別	65～69歳	229	15.7	29.3	52.4	2.6
	70～74歳	247	17.0	34.0	43.7	5.3
	75～79歳	266	18.4	34.2	44.7	2.6
	80～84歳	175	19.4	31.4	40.0	9.1
	85歳以上	139	27.3	20.1	43.9	8.6
	無回答	14	7.1	21.4	42.9	28.6
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	230	22.6	31.3	39.1	7.0
	夫婦のみふたり暮らし世帯	497	18.9	29.2	47.3	4.6
	その他の世帯	322	16.1	33.2	46.6	4.0
	無回答	21	9.5	19.0	42.9	28.6
介護希望別	自宅介護希望者	567	17.5	33.7	47.3	1.6
	施設等介護希望者	376	24.5	27.4	46.3	1.9
	その他	41	4.9	36.6	56.1	2.4
	無回答	86	8.1	22.1	22.1	47.7

(2) 介護保険料の負担感

- 介護保険料の負担感について「高いと思う」が49.3%と最も高く、次いで「相当だと思う」(24.0%)、「わからない」(22.0%)となっている。
- 年齢別にみると、「高いと思う」の割合は、若い年齢ほど高い。
- 世帯構成別にみると、夫婦のみふたり暮らし世帯では「高いと思う」(53.9%)が50%を超えている。一方、ひとり暮らし世帯では「相当だと思う」(29.6%)等が他の世帯構成に比べて高い。
- 介護希望別にみると、自宅介護希望者は「高いと思う」が53.6%と施設等介護希望者より6.8ポイント高い。一方、施設等介護希望者では「相当だと思う」という割合が28.2%みられる。

【介護保険料の負担感】



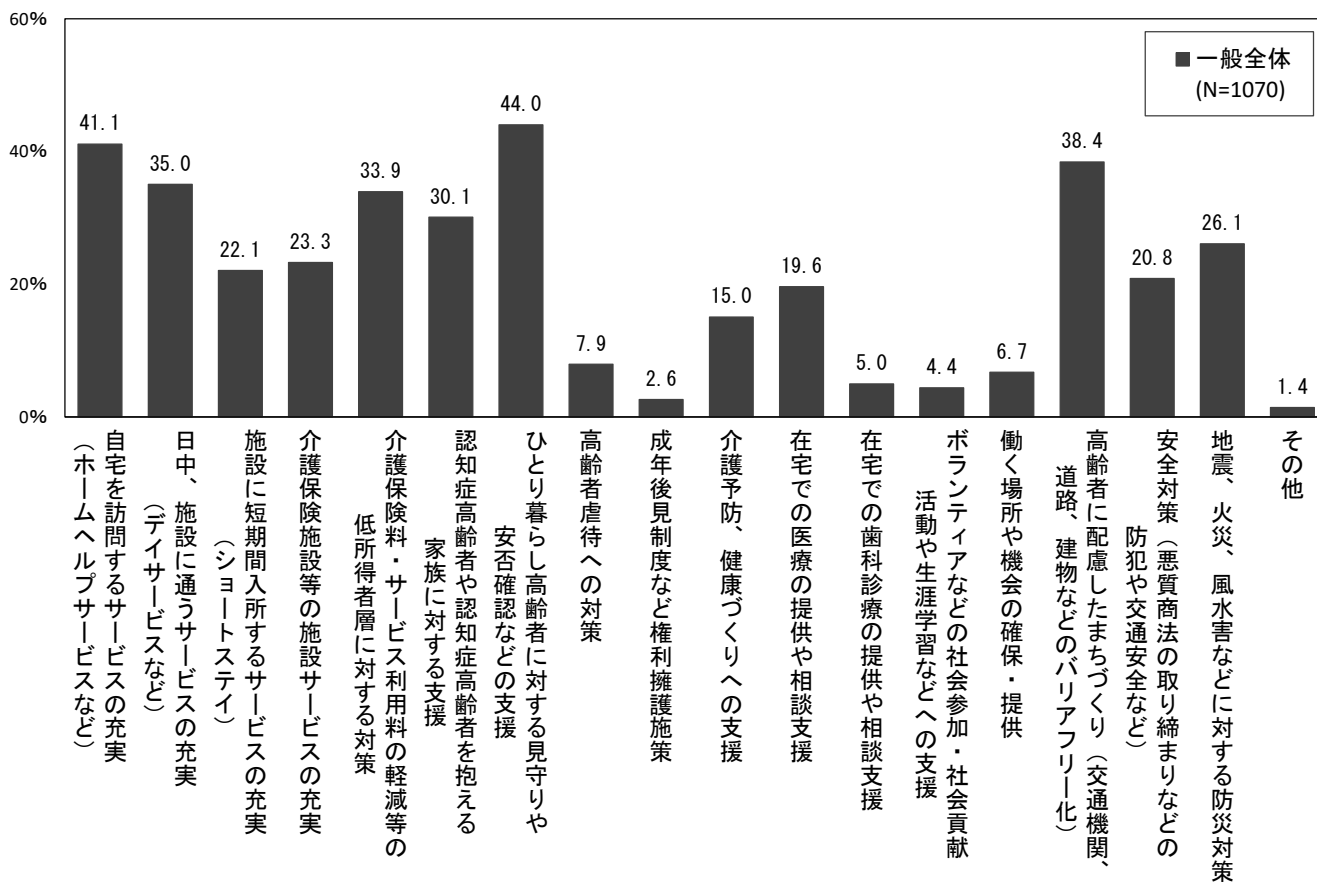
【介護保険料の負担感(性別・年齢別・世帯構成別・介護希望別)】

		調査数	高いと思う	相当だと思う	安いと思う	わからない	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体		1,070	49.3	24.0	0.5	22.0	4.3
性別	男性	496	55.6	22.2	0.4	18.3	3.4
	女性	557	44.0	26.0	0.5	24.8	4.7
	無回答	17	35.3	11.8	0.0	35.3	17.6
年齢別	65～69歳	229	59.4	21.0	0.0	16.6	3.1
	70～74歳	247	57.5	14.6	0.4	23.5	4.0
	75～79歳	266	51.5	24.4	1.1	21.1	1.9
	80～84歳	175	40.6	28.6	0.6	25.1	5.1
	85歳以上	139	26.6	40.3	0.0	24.5	8.6
	無回答	14	28.6	14.3	0.0	35.7	21.4
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	230	40.4	29.6	1.3	23.5	5.2
	夫婦のみふたり暮らし世帯	497	53.9	20.5	0.0	21.9	3.6
	その他の世帯	322	49.4	26.1	0.3	20.8	3.4
	無回答	21	33.3	14.3	4.8	23.8	23.8
介護希望別	自宅介護希望者	567	53.6	23.5	0.2	21.3	1.4
	施設等介護希望者	376	46.8	28.2	0.8	23.9	0.3
	その他	41	58.5	24.4	2.4	14.6	0.0
	無回答	86	26.7	9.3	0.0	20.9	43.0

(3) 高齢者施策・支援で特に大切だと思うもの

- 高齢者施策・支援で特に大切だと思うものは「ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援」が 44.0%と最も高く、次いで「自宅を訪問するサービスの充実（ホームヘルプサービスなど）」(41.1%)、「高齢者に配慮したまちづくり（交通機関、道路、建物などのバリアフリー化）」(38.4%)、「日中、施設に通うサービスの充実（デイサービスなど）」(35.0%)、「介護保険料・サービス利用料の軽減等の低所得者層に対する対策」(33.9%)が上位5項目にあがっている。
- 性別にみると、男性は「自宅を訪問するサービスの充実（ホームヘルプサービスなど）」(48.2%)、女性は「ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援」(45.2%)が最も高い。
- 年齢別にみると、65～69歳では「自宅を訪問するサービスの充実（ホームヘルプサービスなど）」(45.9%)や「ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援」(47.6%)の割合が他の世代に比べて高い。また、「在宅での医療の提供や相談支援」は75～79歳(25.6%)が他の世代に比べて高い。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援」が58.3%と高い。

【高齢者施策・支援で特に大切だと思うもの】



【高齢者施策・支援で特に大切だと思うもの(性別・年齢別・世帯構成別)】

	調査数	自宅を訪問するサービスの充実 (ホームヘルプサービスなど)	日中、施設に通うサービスの充実 (デイサービスなど)	施設に短期間入所するサービスの 充実(ショートステイ)	介護保険施設等の施設サービスの 充実	介護保険料・サービス利用料の軽 減等の低所得者層に対する対策	認知症高齢者や認知症高齢者を抱 える家族に対する支援	ひとり暮らし高齢者に対する見守 りや安否確認などの支援	高齢者虐待への対策	成年後見制度など権利擁護施策	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体	1,070	41.1	35.0	22.1	23.3	33.9	30.1	44.0	7.9	2.6	
性別	男性	496	48.2	34.7	22.2	24.4	38.7	29.6	43.8	7.7	1.2
	女性	557	35.4	35.0	22.4	22.8	30.2	30.7	45.2	8.3	3.6
	無回答	17	23.5	47.1	5.9	5.9	17.6	23.5	11.8	5.9	11.8
年齢別	65～69歳	229	45.9	44.1	25.8	27.1	37.6	34.1	47.6	6.6	3.1
	70～74歳	247	39.7	31.2	21.5	23.9	38.1	32.4	43.3	9.3	2.8
	75～79歳	266	42.1	31.2	21.4	26.3	35.7	24.8	43.6	6.4	3.0
	80～84歳	175	36.0	34.3	17.7	20.0	29.1	33.7	46.9	10.9	1.7
	85歳以上	139	42.4	33.8	25.2	15.8	24.5	25.9	39.6	7.9	0.7
	無回答	14	21.4	50.0	7.1	7.1	21.4	21.4	14.3	0.0	14.3
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	230	36.1	30.9	15.7	22.2	31.7	22.2	58.3	7.4	2.6
	夫婦のみふたり暮らし世帯	497	44.3	37.6	23.3	25.4	35.0	30.0	44.3	9.3	2.4
	その他の世帯	322	40.7	33.9	25.5	21.7	34.2	36.6	34.8	6.8	2.5
	無回答	21	28.6	38.1	9.5	9.5	28.6	19.0	23.8	0.0	9.5

	調査数	介護予防、健康づくりへの支援	在宅での医療の提供や相談支援	在宅での歯科診療の提供や相談支 援	ボランティアなどの社会参加の支 援	働く場所や機会の確保・提供	高齢者に配慮したまちづくり(交 通機関、道路、建物などのバリア フリー化)	安全対策(悪質商法の取り締まり などの防犯や交通安全など)	地震、火災、風水害などに対する 防災対策	その他	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
一般全体	1,070	15.0	19.6	5.0	4.4	6.7	38.4	20.8	26.1	1.4	
性別	男性	496	14.5	21.4	4.0	5.2	8.3	36.3	23.4	25.4	1.0
	女性	557	15.4	18.1	5.9	3.8	5.4	39.7	18.7	26.9	1.8
	無回答	17	17.6	17.6	0.0	0.0	5.9	58.8	17.6	17.6	0.0
年齢別	65～69歳	229	11.8	17.9	3.1	4.4	12.7	35.4	26.2	24.0	2.2
	70～74歳	247	13.8	18.6	6.9	8.9	11.7	38.1	21.9	29.6	1.2
	75～79歳	266	15.8	25.6	3.4	3.4	3.0	39.8	16.9	24.4	0.8
	80～84歳	175	15.4	18.9	5.7	2.3	0.6	38.9	20.0	29.7	1.1
	85歳以上	139	20.1	15.1	7.2	1.4	2.9	38.8	19.4	23.0	2.2
	無回答	14	21.4	7.1	0.0	0.0	7.1	57.1	14.3	14.3	0.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	230	17.0	17.4	3.5	5.2	6.1	35.2	21.3	27.4	0.9
	夫婦のみふたり暮らし世帯	497	13.5	21.9	5.0	5.0	6.6	40.8	22.1	27.6	1.0
	その他の世帯	322	15.2	17.7	6.2	3.1	7.5	36.0	18.9	23.3	2.5
	無回答	21	28.6	19.0	0.0	0.0	4.8	52.4	14.3	19.0	0.0

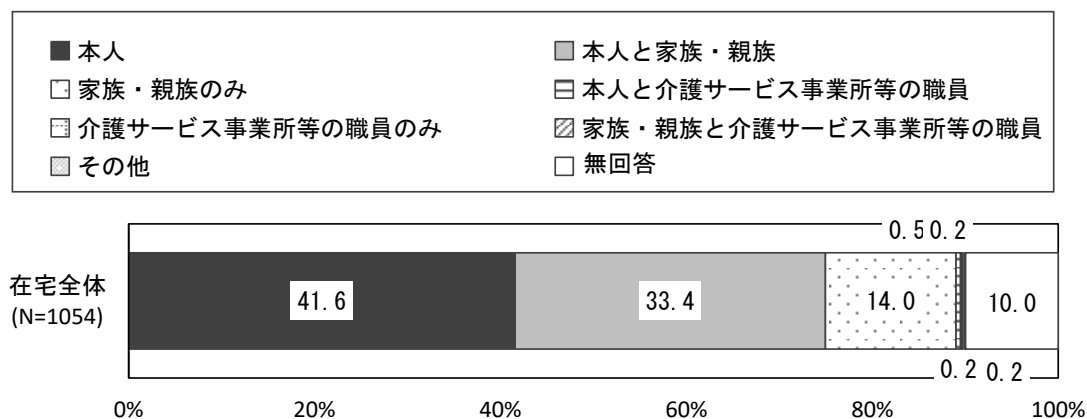
## 第4章 在宅要介護認定者用調査

### 1. 回答者の基本属性

#### (1) 調査の回答者

- 「本人」による回答が41.6%、「本人と家族・親族」による回答が33.4%、「家族・親族のみ」の回答が14.0%となっている。

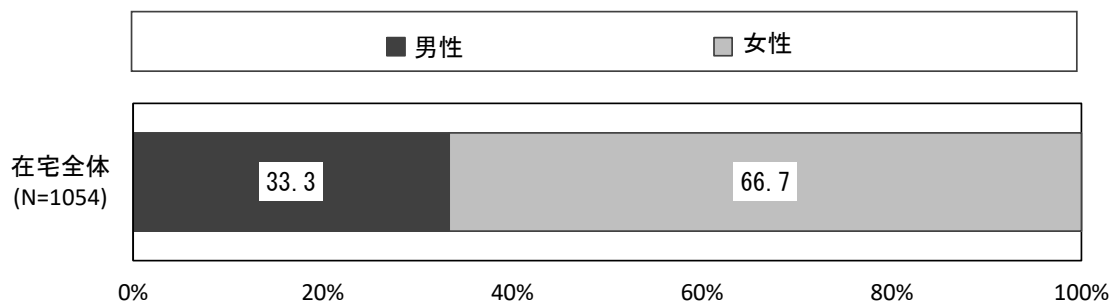
【調査の回答者】



#### (2) 性別

- 「女性」が66.7%を占め、「男性」(33.3%)を33.4ポイント上回っている。

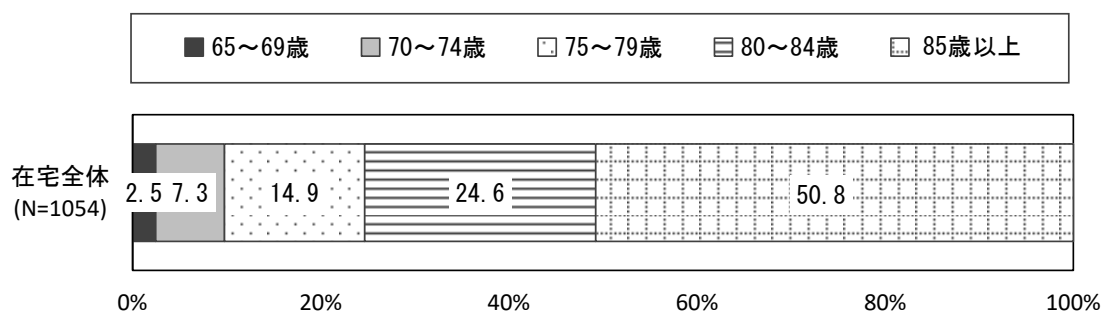
【性別】



#### (3) 年齢

- 「85歳以上」が50.8%と最も高く、次いで「80～84歳」(24.6%)、「75～79歳」(14.9%)と年齢が若いほど少なくなっており、75歳以上が90.3%を占めている。

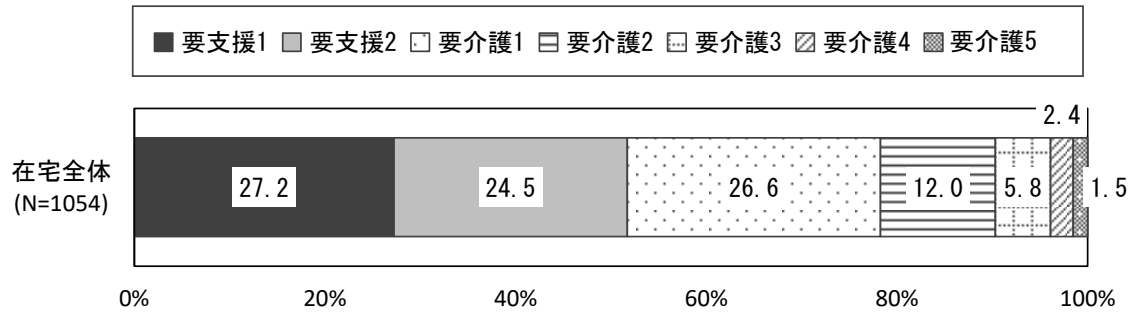
【年齢】



(4) 要介護度

- 「要支援1」が27.2%と最も高く、次いで「要介護1」(26.6%)となっている。「要支援1」と「要支援2」(24.5%)を合わせると、『要支援認定者』が51.7%となっている。
- 性別にみると、大きな差はみられないが、男性は女性に比べて『要介護認定者』(50.8%)が3.7ポイント高い。

【要介護度】



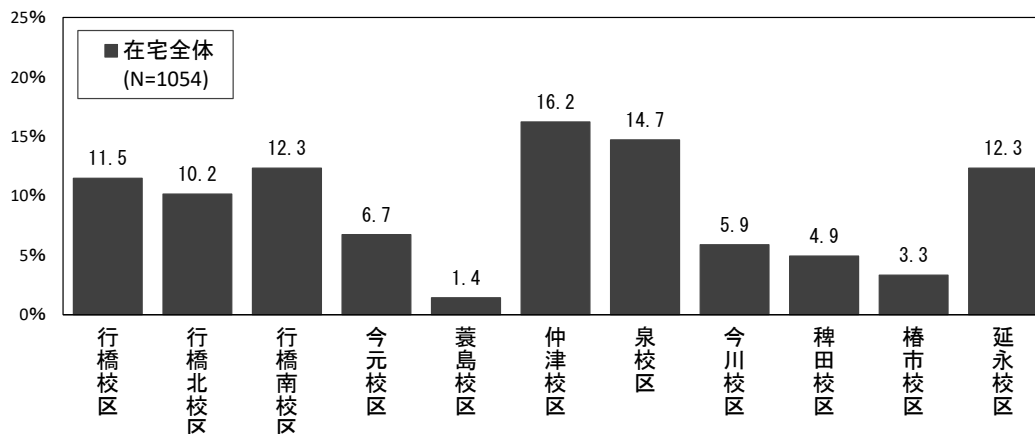
【要介護度(性別・年齢別)】

	調査数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	1,054	27.2	24.5	26.6	12.0	5.8	2.4	1.5	
性別	男性	351	28.8	20.5	27.4	12.5	6.3	2.6	2.0
	女性	703	26.5	26.5	26.2	11.8	5.5	2.3	1.3
年齢別	65～69歳	26	26.9	15.4	19.2	23.1	3.8	3.8	7.7
	70～74歳	77	29.9	20.8	20.8	10.4	13.0	3.9	1.3
	75～79歳	157	22.9	24.8	26.8	10.8	7.6	5.7	1.3
	80～84歳	259	28.2	21.2	29.0	13.1	6.2	1.2	1.2
	85歳以上	535	27.7	26.9	26.5	11.6	4.1	1.7	1.5

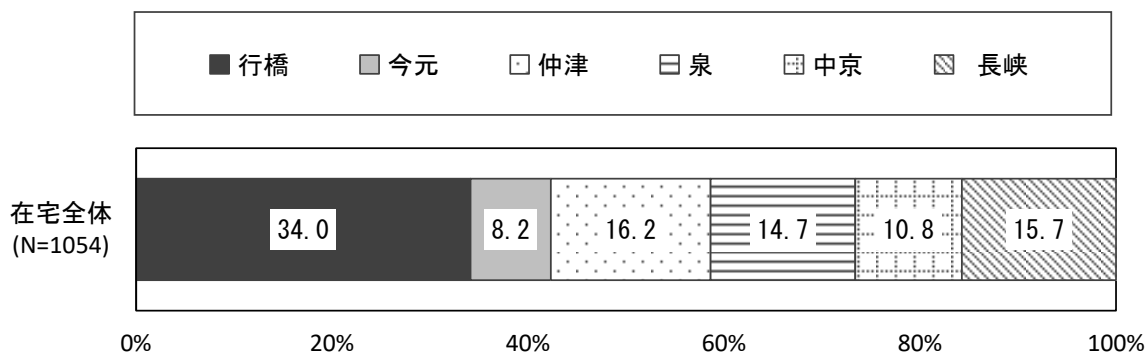
(5) 居住地区

- 「仲津校区」が16.2%と最も高く、次いで「泉校区」(14.7%)、同率で「行橋南校区」「延永校区」(12.3%)の順に続く。

【居住地区(小学校区)】



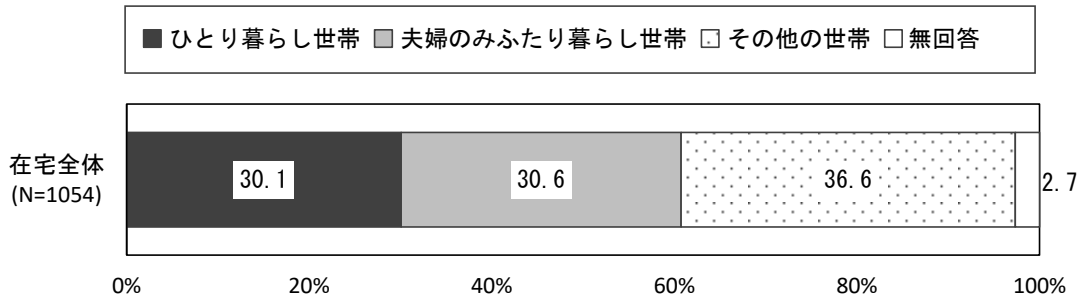
【居住地区(圏域)】



(6) 世帯構成

- 「その他の世帯」が36.6%と最も高く、次いで「夫婦のみふたり暮らし世帯」(30.6%)、「ひとり暮らし世帯」(30.1%)の順に続く。
- 性別にみると、女性は「ひとり暮らし世帯」が36.0%と男性(18.2%)より17.8ポイント高い。男性は「夫婦のみふたり暮らし世帯」が51.3%を占めている。
- 年齢別にみると、70歳以上では、年齢が上がるにつれて「ひとり暮らし世帯」の割合が高くなり、85歳以上では34.8%を占める。
- 要介護度別にみると、「ひとり暮らしの世帯」は要支援1では39.4%、要支援2では36.4%と高い。
- 小学校区別にみると、「ひとり暮らし世帯」は、行橋南校区が36.2%と他の小学校区に比べて高い。また、「夫婦のみふたり暮らし世帯」は、行橋北校区(39.3%)が高い。

【世帯構成】



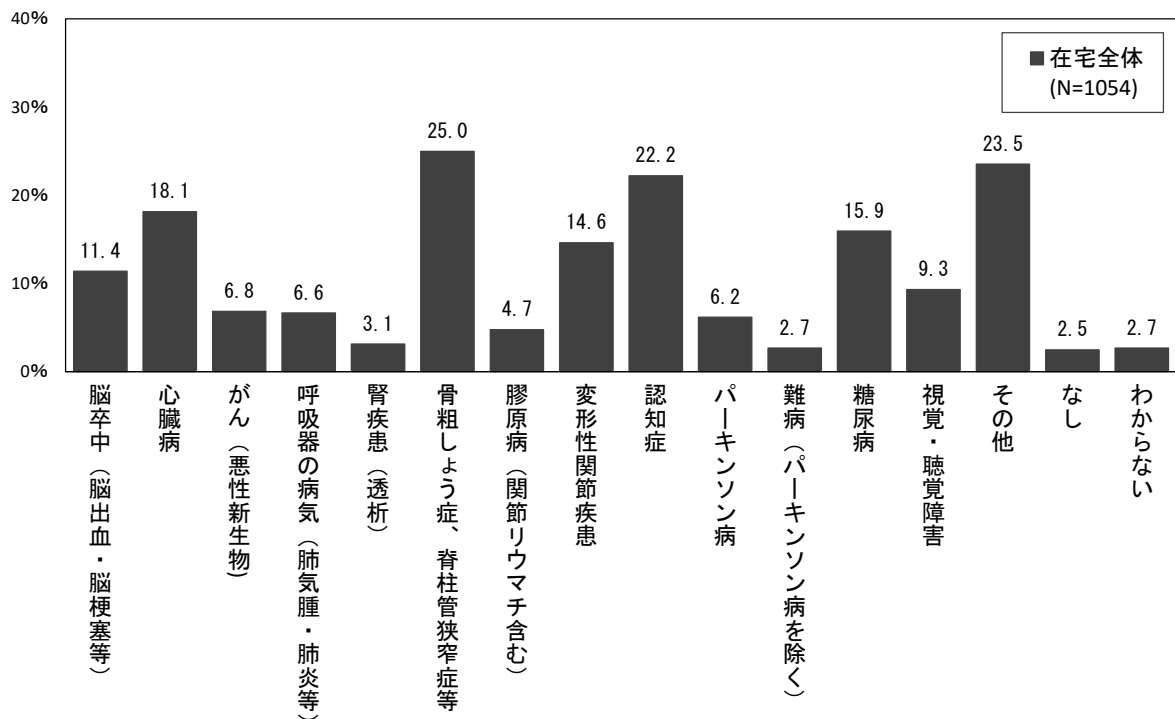
【世帯構成(性別・年齢別・要介護度別・小学校区別)】

		調査数	ひとり暮らし世帯	夫婦のみふたり暮らし世帯	その他の世帯	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体		1,054	30.1	30.6	36.6	2.7
性別	男性	351	18.2	51.3	28.2	2.3
	女性	703	36.0	20.3	40.8	2.8
年齢別	65～69歳	26	26.9	42.3	23.1	7.7
	70～74歳	77	18.2	51.9	27.3	2.6
	75～79歳	157	18.5	41.4	38.2	1.9
	80～84歳	259	31.3	35.1	30.5	3.1
	85歳以上	535	34.8	21.7	41.1	2.4
要介護度別	要支援1	287	39.4	27.9	31.0	1.7
	要支援2	258	36.4	30.2	31.4	1.9
	要介護1	280	25.4	31.4	39.6	3.6
	要介護2	127	21.3	31.5	43.3	3.9
	要介護3	61	14.8	34.4	47.5	3.3
	要介護4	25	4.0	40.0	52.0	4.0
	要介護5	16	12.5	37.5	50.0	0.0
小学校区別	行橋校区	121	28.9	30.6	36.4	4.1
	行橋北校区	107	29.9	39.3	29.9	0.9
	行橋南校区	130	36.2	20.0	41.5	2.3
	今元校区	71	33.8	25.4	38.0	2.8
	葦島校区	15	33.3	20.0	46.7	0.0
	仲津校区	171	29.2	32.2	36.8	1.8
	泉校区	155	34.8	32.3	29.7	3.2
	今川校区	62	32.3	27.4	35.5	4.8
	稗田校区	52	15.4	32.7	50.0	1.9
	椿市校区	35	28.6	20.0	45.7	5.7
	延永校区	130	23.8	36.9	36.9	2.3

(7) 現在抱えている怪我、病気

- 現在抱えている怪我、病気は「骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等」が25.0%と最も高く、次いで「その他」(23.5%)、「認知症」(22.2%)、「心臓病」(18.1%)、「糖尿病」(15.9%)の順に高い。「その他」は具体的には、「高血圧」、「うつ病」、「脂質異常」等の回答がある。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」(18.5%)や「糖尿病」(20.5%)等が高く、女性は男性に比べて「骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等」(30.3%)や「変形性関節疾患」(18.9%)等が高い。
- 年齢別にみると「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」は年齢が若いほど高い傾向にあり、65～69歳では30.8%となっている。「心臓病」、「認知症」は、年齢が上がるにつれて高い傾向にある。
- 要介護度別にみると、要支援認定者は要介護認定者に比べて「骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等」や「変形性関節疾患」の割合が高い。また、「認知症」は要介護1(44.3%)が高くなっている。

【現在抱えている怪我、病気】



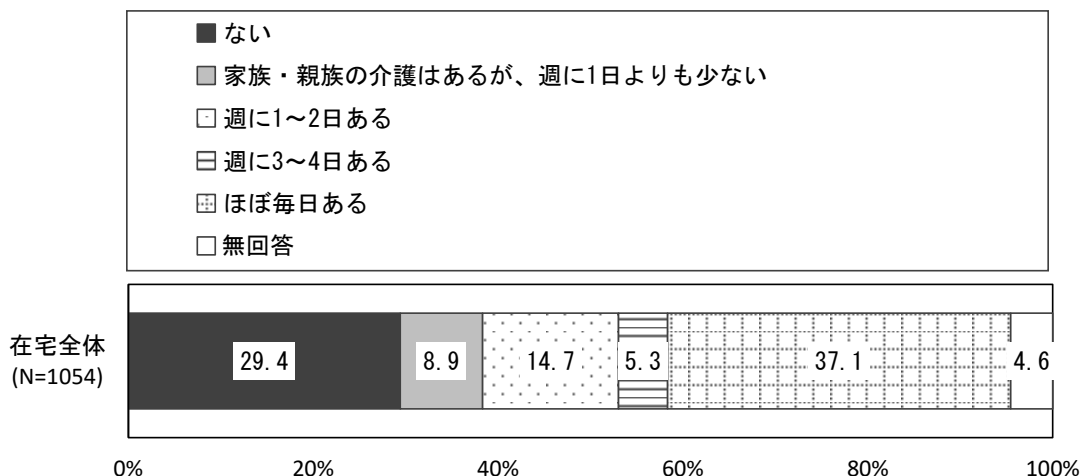
【現在抱えている怪我、病気(性別・年齢別・要介護度別)】

	調査数	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等)	腎疾患(透析)	骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等	膠原病(関節リウマチ含む)	変形性関節疾患	認知症	パーキンソン病	難病(パーキンソン病を除く)	糖尿病	視覚・聴覚障害	その他	なし	わからない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体	1,054	11.4	18.1	6.8	6.6	3.1	25.0	4.7	14.6	22.2	6.2	2.7	15.9	9.3	23.5	2.5	2.7	
性別	男性	351	18.5	22.5	9.1	8.8	6.0	14.2	2.6	6.0	20.5	8.3	3.4	20.5	12.5	21.4	1.4	3.4
	女性	703	7.8	15.9	5.7	5.5	1.7	30.3	5.8	18.9	23.0	5.1	2.3	13.7	7.7	24.6	3.0	2.3
年齢別	65～69歳	26	30.8	7.7	7.7	0.0	3.8	19.2	7.7	11.5	7.7	3.8	15.4	19.2	0.0	19.2	0.0	7.7
	70～74歳	77	24.7	16.9	7.8	7.8	2.6	16.9	7.8	15.6	13.0	13.0	9.1	29.9	3.9	19.5	1.3	0.0
	75～79歳	157	14.0	12.1	8.3	7.0	5.1	24.8	8.3	11.5	23.6	15.3	3.8	18.5	5.1	21.7	0.6	1.9
	80～84歳	259	14.3	16.2	9.7	7.7	3.9	23.6	5.0	12.4	24.3	5.0	1.9	15.1	8.1	24.7	2.3	1.9
	85歳以上	535	6.4	21.5	4.9	6.2	2.2	27.1	3.0	16.6	22.8	3.2	1.1	13.5	12.3	24.3	3.4	3.4
要介護度別	要支援1	287	9.4	20.6	9.1	4.9	2.8	26.8	6.3	21.3	6.3	5.2	1.4	13.9	10.8	28.2	3.1	4.5
	要支援2	258	9.3	20.5	9.3	6.2	4.3	32.6	4.3	18.2	6.6	5.4	1.9	14.3	10.9	22.1	0.8	0.8
	要介護1	280	8.2	14.6	4.6	6.4	2.5	20.7	3.2	11.1	44.3	3.9	2.1	17.1	8.9	20.0	3.2	2.9
	要介護2	127	15.0	15.7	3.9	9.4	3.1	22.0	5.5	3.9	34.6	11.8	6.3	19.7	7.1	22.0	3.9	1.6
	要介護3	61	23.0	18.0	6.6	13.1	3.3	18.0	4.9	11.5	34.4	6.6	6.6	14.8	6.6	24.6	1.6	1.6
	要介護4	25	36.0	20.0	0.0	0.0	4.0	12.0	4.0	4.0	20.0	16.0	4.0	24.0	0.0	20.0	0.0	4.0
要介護5	16	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5	6.3	12.5	31.3	12.5	0.0	18.8	6.3	37.5	0.0	6.3	

(8) 家族・親族から介護を受けている頻度

- 家族・親族から介護を受けている頻度は「ほぼ毎日ある」が37.1%を占め、次いで「ない」(29.4%)、「週に1～2日ある」(14.7%)となっている。「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」～「ほぼ毎日ある」までを合わせた66.0%が家族・親族から介護を受けている。
- 性別では、あまり大きな差はみられない。
- 年齢別にみると、「ほぼ毎日ある」は70～74歳では51.9%と50%を超えている。
- 要介護度別にみると、「ほぼ毎日ある」は要介護2では65.4%、要介護3では59.0%、要介護4では76.0%と50%を超える。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「ない」(36.6%)の割合が他の世帯構成に比べて高い。「ほぼ毎日ある」は、夫婦のみふたり暮らし世帯(37.8%)やその他の世帯(55.4%)が高い。
- 小学校区にみると、「ほぼ毎日ある」の割合は今元校区(49.3%)や今川校区(48.4%)、延永校区(46.9%)が高い。

【家族・親族から介護を受けている頻度】



## 【家族・親族から介護を受けている頻度(性別・年齢別・要介護度別・世帯構成別・小学校区別)】

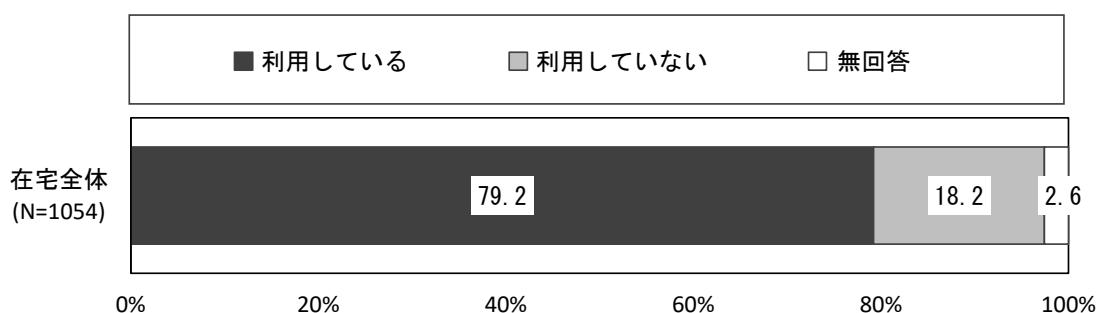
	調査数	ない	いが家族・親族の介護は少な	週に1〜2日ある	週に3〜4日ある	ほぼ毎日ある	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	1,054	29.4	8.9	14.7	5.3	37.1	4.6	
性別	男性	351	28.2	9.7	12.8	3.4	39.6	6.3
	女性	703	30.0	8.5	15.6	6.3	35.8	3.7
年齢別	65〜69歳	26	26.9	7.7	15.4	3.8	38.5	7.7
	70〜74歳	77	22.1	5.2	10.4	3.9	51.9	6.5
	75〜79歳	157	31.8	6.4	16.6	3.2	36.9	5.1
	80〜84歳	259	37.1	10.0	11.6	6.6	30.5	4.2
	85歳以上	535	26.2	9.7	16.3	5.6	38.1	4.1
要介護度別	要支援1	287	47.4	10.5	16.7	5.6	15.0	4.9
	要支援2	258	33.3	11.2	19.4	4.3	27.9	3.9
	要介護1	280	18.6	9.3	14.6	5.7	46.8	5.0
	要介護2	127	12.6	4.7	6.3	7.1	65.4	3.9
	要介護3	61	18.0	4.9	8.2	6.6	59.0	3.3
	要介護4	25	12.0	0.0	4.0	0.0	76.0	8.0
	要介護5	16	37.5	0.0	12.5	0.0	43.8	6.3
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	317	36.6	10.7	24.9	8.5	17.0	2.2
	夫婦のみふたり暮らし世帯	323	31.6	10.5	13.0	4.0	37.8	3.1
	その他の世帯	386	22.8	6.2	8.5	3.6	55.4	3.4
	無回答	28	14.3	7.1	3.6	7.1	3.6	64.3
小学校区別	行橋校区	121	28.9	9.9	13.2	6.6	34.7	6.6
	行橋北校区	107	42.1	12.1	13.1	4.7	25.2	2.8
	行橋南校区	130	30.8	9.2	14.6	6.2	33.8	5.4
	今元校区	71	16.9	5.6	16.9	5.6	49.3	5.6
	蓑島校区	15	20.0	0.0	40.0	6.7	33.3	0.0
	仲津校区	171	35.1	6.4	15.8	2.3	35.1	5.3
	泉校区	155	31.6	9.0	16.1	7.7	29.7	5.8
	今川校区	62	17.7	3.2	19.4	9.7	48.4	1.6
	稗田校区	52	15.4	23.1	9.6	3.8	46.2	1.9
	樺市校区	35	22.9	8.6	11.4	5.7	45.7	5.7
	延永校区	130	28.5	8.5	10.0	3.1	46.9	3.1

## 2. 介護保険サービスについて

### (1) 介護保険サービスの利用有無

- 介護保険サービスの利用有無について「利用している」が79.2%を占め、「利用していない」は18.2%となっている。
- 性別では、あまり大きな差はみられない。
- 年齢別にみると、「利用している」は75～79歳が83.4%と高い。
- 要介護度別にみると、「利用している」は要介護2（90.6%）、要介護3（90.2%）では90%以上を占める。
- 世帯構成別にみると、その他の世帯は「利用している」（81.3%）が他の世帯構成に比べて高い。

【介護保険サービスの利用有無】



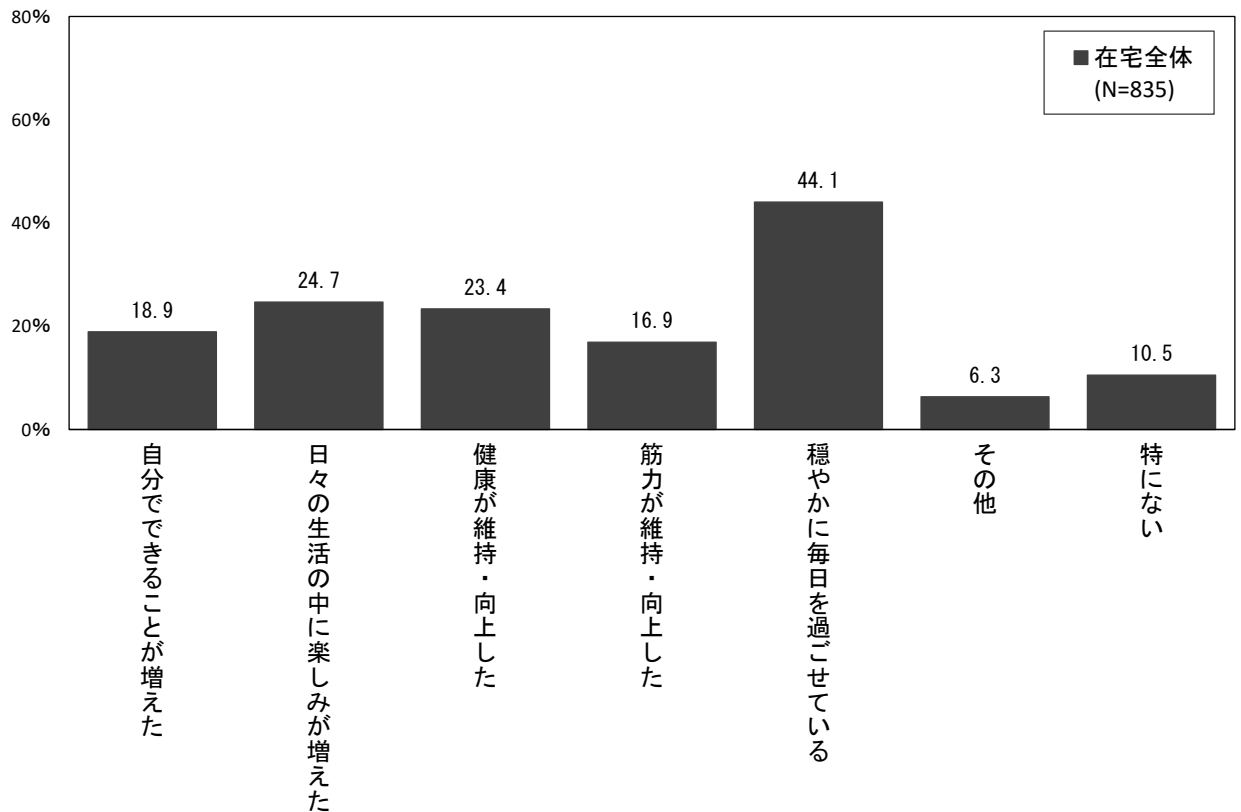
【介護保険サービスの利用有無(性別・年齢別・要介護度別・世帯構成別)】

		調査数	利用している	利用していない	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)
在宅全体		1,054	79.2	18.2	2.6
性別	男性	351	79.2	17.9	2.8
	女性	703	79.2	18.3	2.4
年齢別	65～69歳	26	73.1	26.9	0.0
	70～74歳	77	79.2	20.8	0.0
	75～79歳	157	83.4	13.4	3.2
	80～84歳	259	74.1	23.9	1.9
	85歳以上	535	80.7	16.1	3.2
要介護度別	要支援1	287	65.9	31.0	3.1
	要支援2	258	81.8	15.5	2.7
	要介護1	280	83.6	15.0	1.4
	要介護2	127	90.6	7.1	2.4
	要介護3	61	90.2	9.8	0.0
	要介護4	25	80.0	8.0	12.0
	要介護5	16	68.8	25.0	6.3
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	317	78.2	19.9	1.9
	夫婦のみふたり暮らし世帯	323	78.0	18.9	3.1
	その他の世帯	386	81.3	16.8	1.8
	無回答	28	75.0	10.7	14.3

## (2) 介護保険サービス利用による生活の変化

- 介護保険サービスを利用したことにより、生活の中で良くなったと感じることは「穏やかに毎日を過ごせている」が44.1%と最も高く、次いで「日々の生活の中に楽しみが増えた」(24.7%)、「健康が維持・向上した」(23.4)の順に続く。
- 性別にみると、女性は男性に比べて「日々の生活の中に楽しみが増えた」(27.6%)や「穏やかに毎日を過ごせている」(46.3%)の割合が高い。
- 年齢別にみると、「健康が維持・向上した」は65～69歳では31.6%となっているが、85歳以上では23.1%まで減少している。
- 要介護度別にみると、「自分でできることが増えた」は要支援1で20.6%、要支援2で24.2%となっている。「日々の生活の中に楽しみが増えた」は要介護5(36.4%)が他の要介護度に比べて高い。
- 世帯構成別にみると、その他の世帯では「穏やかに毎日を過ごせている」が47.5%と他の世帯構成に比べて高い。

【介護保険サービス利用による生活の変化】



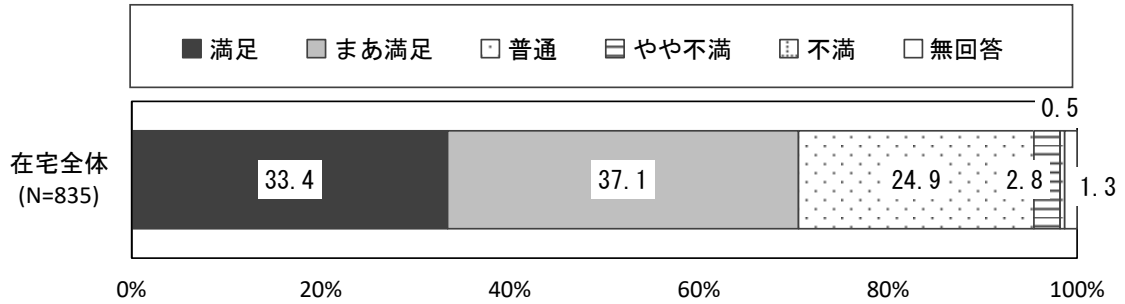
【介護保険サービス利用による生活の変化(性別・年齢別・要介護度別・世帯構成別)】

		調査数	自分でできることが増えた	日々の生活の中に楽しみが増えた	健康が維持・向上した	筋力が維持・向上した	穏やかに毎日を過ごしている	その他	特にない
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体		835	18.9	24.7	23.4	16.9	44.1	6.3	10.5
性別	男性	278	20.5	18.7	25.9	20.1	39.6	8.3	13.7
	女性	557	18.1	27.6	22.1	15.3	46.3	5.4	9.0
年齢別	65～69歳	19	21.1	31.6	31.6	15.8	63.2	5.3	0.0
	70～74歳	61	18.0	16.4	26.2	18.0	32.8	4.9	14.8
	75～79歳	131	20.6	21.4	26.0	26.0	39.7	3.1	13.0
	80～84歳	192	17.7	27.6	20.3	17.2	42.7	8.3	8.3
	85歳以上	432	19.0	25.2	23.1	13.9	46.8	6.7	10.6
要介護度別	要支援1	189	20.6	16.4	19.0	13.8	38.1	7.4	12.7
	要支援2	211	24.2	29.9	30.8	22.7	43.6	4.3	9.0
	要介護1	234	16.7	26.5	19.2	12.0	44.0	6.4	10.3
	要介護2	115	15.7	28.7	23.5	14.8	50.4	6.1	7.0
	要介護3	55	16.4	20.0	21.8	21.8	52.7	5.5	16.4
	要介護4	20	5.0	10.0	30.0	25.0	35.0	20.0	15.0
	要介護5	11	9.1	36.4	36.4	45.5	63.6	9.1	9.1
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	248	20.2	26.6	19.4	13.3	46.4	5.2	8.9
	夫婦のみふたり暮らし世帯	252	21.4	21.8	23.4	18.3	38.5	7.1	13.5
	その他の世帯	314	16.2	25.5	26.1	18.5	47.5	6.1	10.2
	無回答	21	14.3	23.8	28.6	19.0	33.3	14.3	0.0

(3) 介護保険サービスの満足度

- 介護保険サービスの満足度は、「まあ満足」が 37.1%と最も高く、これに「満足」(33.4%)を合わせた『満足』の割合は 70.5%となっている。これに対して「やや不満」(2.8%)と「不満」(0.5%)を合わせた『不満』の割合は 3.3%となっている。
- 性別にみると、『不満』の割合は女性(3.1%)に比べて男性(3.6%)が高い。
- 年齢別にみると、『不満』の割合は 70～74歳が 4.9%と他の年齢層に比べて高い。65～69歳では『満足』の割合が 84.2%と高い。
- 要介護度別にみると、『満足』の割合は要介護2(75.6%)と要介護5(91.0%)が 75%を超えて高く、一方、『不満』の割合は要介護4が 5.0%と他の要介護度に比べて高い。
- 世帯構成別にみると、『不満』の割合は、ひとり暮らし世帯が 4.0%と他の世帯に比べて高い。

【介護保険サービスの満足度】



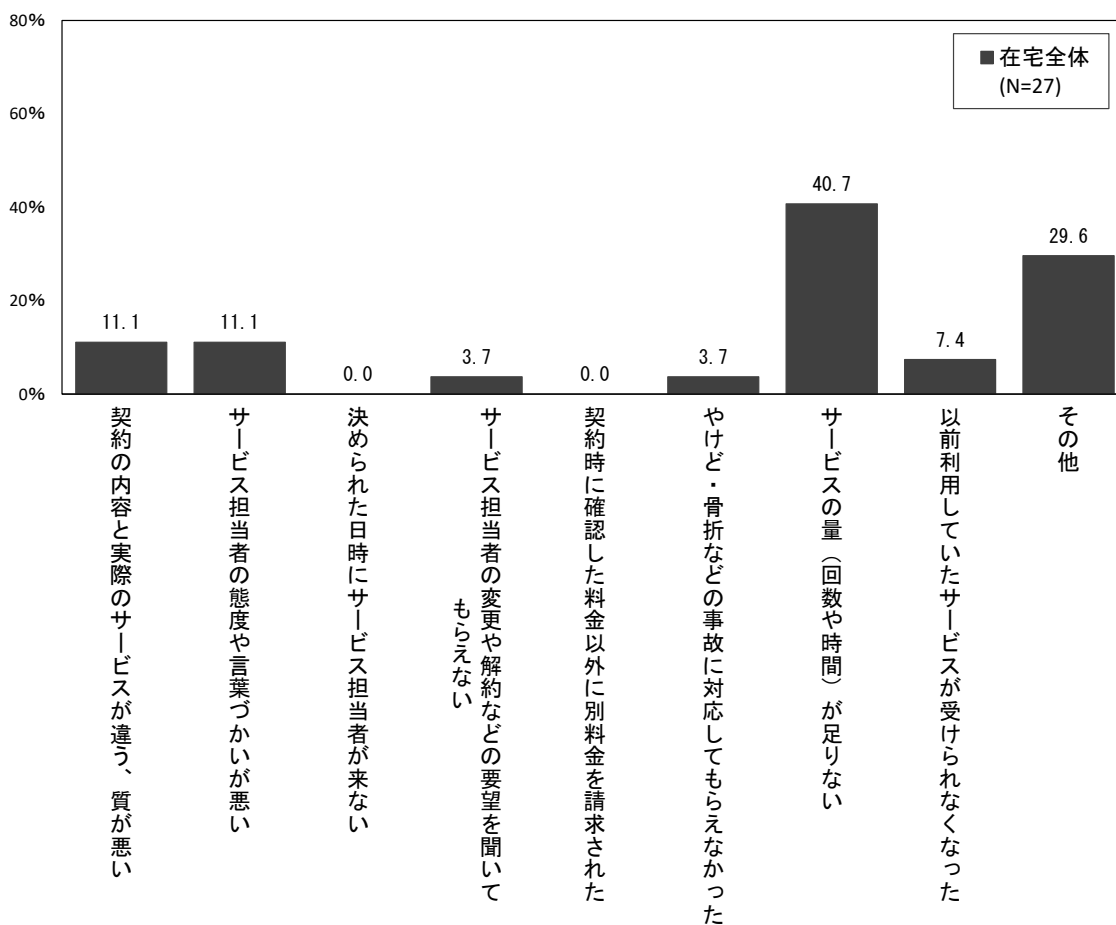
【介護保険サービスの満足度(性別・年齢別・要介護度別・世帯構成別)】

		調査数	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体		835	33.4	37.1	24.9	2.8	0.5	1.3
性別	男性	278	28.4	38.1	27.7	2.5	1.1	2.2
	女性	557	35.9	36.6	23.5	2.9	0.2	0.9
年齢別	65～69歳	19	31.6	52.6	10.5	0.0	0.0	5.3
	70～74歳	61	27.9	34.4	27.9	4.9	0.0	4.9
	75～79歳	131	32.8	35.9	27.5	0.8	1.5	1.5
	80～84歳	192	34.9	40.1	20.3	3.1	0.5	1.0
	85歳以上	432	33.8	35.9	26.4	3.0	0.2	0.7
要介護度別	要支援1	189	35.4	31.7	25.9	3.2	1.1	2.6
	要支援2	211	34.1	36.5	25.1	3.3	0.0	0.9
	要介護1	234	34.6	38.5	22.2	3.0	0.9	0.9
	要介護2	115	31.3	44.3	20.9	1.7	0.0	1.7
	要介護3	55	23.6	36.4	40.0	0.0	0.0	0.0
	要介護4	20	25.0	35.0	35.0	5.0	0.0	0.0
	要介護5	11	45.5	45.5	9.1	0.0	0.0	0.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	248	38.7	33.1	23.8	3.6	0.4	0.4
	夫婦のみふたり暮らし世帯	252	30.2	38.9	25.8	1.2	0.8	3.2
	その他の世帯	314	32.2	38.9	24.5	3.5	0.3	0.6
	無回答	21	28.6	38.1	33.3	0.0	0.0	0.0

(4) 介護保険サービスに不満な理由

- 介護保険サービスに不満がある人の理由は、「サービスの量（回数や時間）が足りない」が40.7%と最も高く、次いで「その他」（29.6%）となっている。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「契約の内容と実際のサービスが違う、質が悪い」（30.0%）が顕著に高く、女性は男性に比べて「サービス担当者の態度や言葉づかいが悪い」（17.6%）が顕著に高い。
- 年齢別にみると、85歳以上では、「サービスの量（回数や時間）が足りない」（50.0%）が最も高い。
- 要介護度別にみると、「サービスの量（回数や時間）が足りない」が要支援1では50.0%、要介護1では44.4%と高い。

【介護保険サービスに不満な理由】



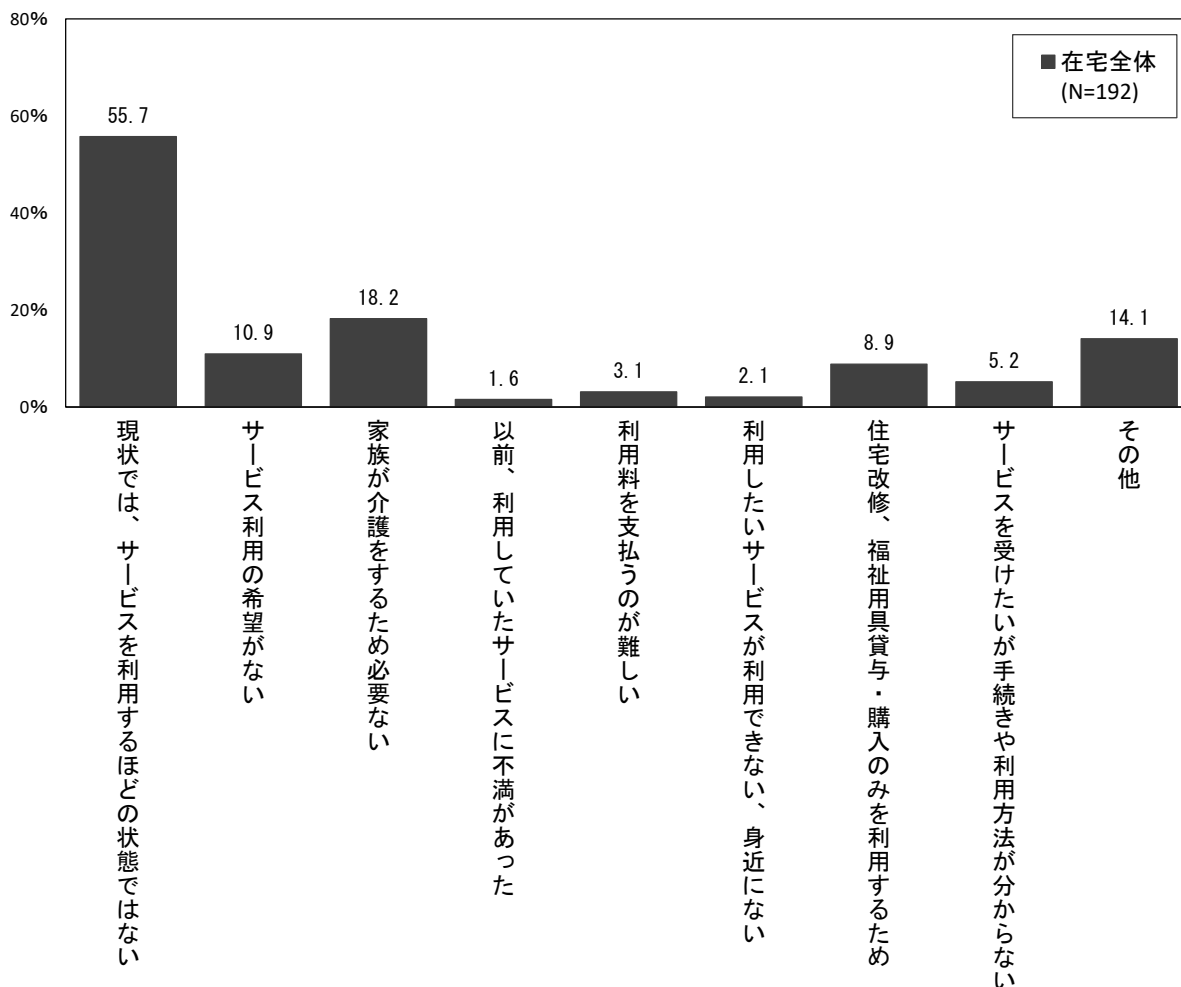
## 【介護保険サービスに不満な理由(性別・年齢別・要介護度別・世帯構成別)】

		調査数	契約の内容と実際のサービスが違	サービス担当者の態度や言葉づかい	決められた日時にサービス担当者が	サービスを聞いてもらえない	契約時に確認した料金以外に別料金を請求された	やけど・骨折などの事故に対応してもらえなかった	サービスの量(回数や時間)が足りない	以前利用していたサービスが受けられなくなった	その他
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体		27	11.1	11.1	0.0	3.7	0.0	3.7	40.7	7.4	29.6
性別	男性	10	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	30.0
	女性	17	0.0	17.6	0.0	5.9	0.0	5.9	41.2	11.8	29.4
年齢別	65～69歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	70～74歳	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	75～79歳	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3
	80～84歳	7	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	42.9	14.3	28.6
	85歳以上	14	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	50.0	7.1	28.6
要介護度別	要支援1	8	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	37.5
	要支援2	7	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	28.6	0.0	42.9
	要介護1	9	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4	22.2	22.2
	要介護2	2	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要介護3	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	要介護4	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	10	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	20.0	20.0
	夫婦のみふたり暮らし世帯	5	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	その他の世帯	12	0.0	8.3	0.0	8.3	0.0	8.3	41.7	0.0	50.0
	無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(5) 介護保険サービスを利用していない理由

- 介護保険サービスを利用していない理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が55.7%と最も高い。次いで「家族が介護をするため必要ない」(18.2%)、「その他」(14.1%)となっている。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「家族が介護をするため必要ない」(22.2%)の割合が5.9ポイント高い。
- 年齢別にみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が65～69歳(57.1%)、75～79歳(57.1%)、85歳以上(59.3%)が全体の割合を超えている。また、65～69歳では「サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない」が14.3%と他の年代と比べて高い。
- 要介護度別にみると、要介護3以上では介護保険サービスを利用していない人は少ない。また、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が要支援1では65.2%、要介護2では66.7%と60%を超えている。

【介護保険サービスを利用していない理由】



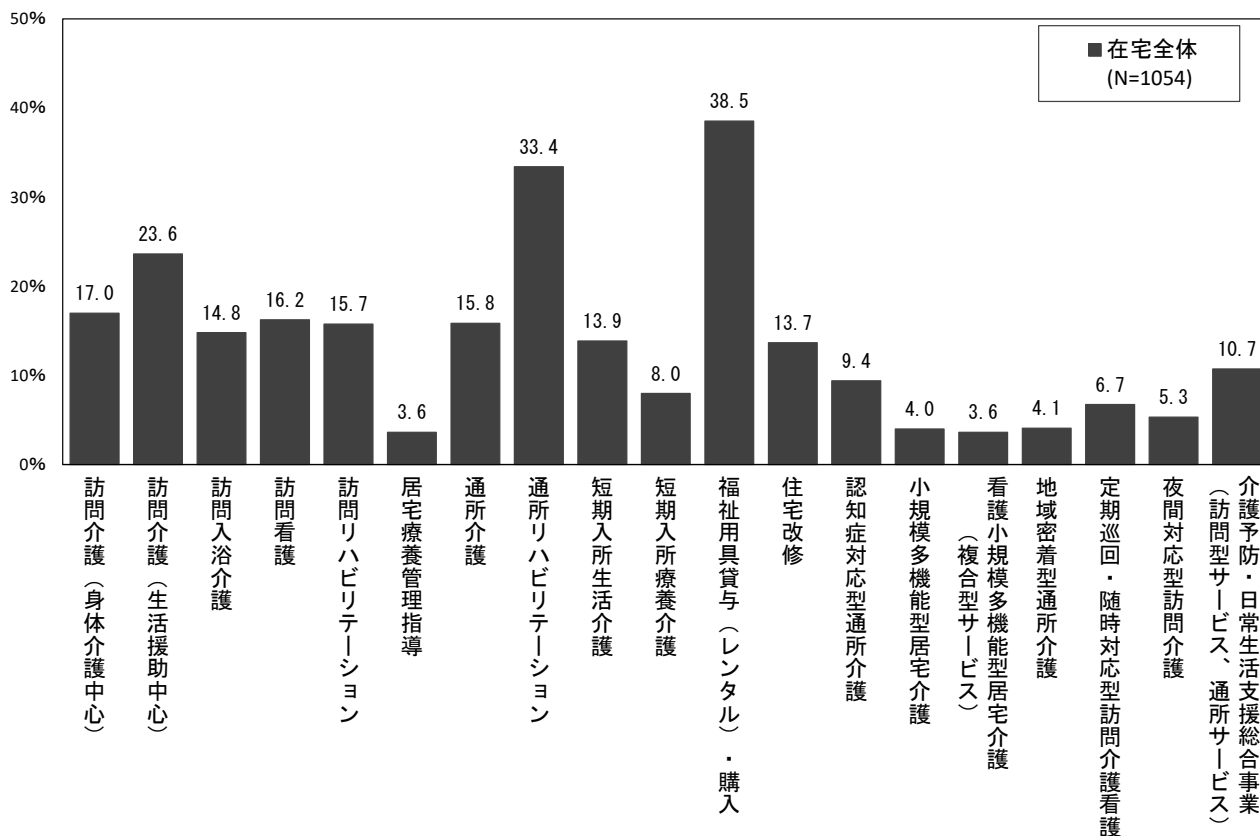
【介護保険サービスを利用していない理由(性別・年齢別・要介護度別)】

		調査数	現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	サービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	以前、利用していたサービスに不満があった	利用料を支払うのが難しい	利用したいサービスが利用できない、身近にない	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	その他
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体		192	55.7	10.9	18.2	1.6	3.1	2.1	8.9	5.2	14.1
性別	男性	63	68.3	11.1	22.2	4.8	6.3	4.8	11.1	6.3	6.3
	女性	129	49.6	10.9	16.3	0.0	1.6	0.8	7.8	4.7	17.8
年齢別	65～69歳	7	57.1	0.0	28.6	0.0	14.3	14.3	14.3	14.3	28.6
	70～74歳	16	50.0	18.8	18.8	0.0	6.3	0.0	18.8	0.0	18.8
	75～79歳	21	57.1	14.3	33.3	4.8	4.8	0.0	9.5	4.8	14.3
	80～84歳	62	51.6	8.1	19.4	0.0	1.6	1.6	8.1	8.1	17.7
	85歳以上	86	59.3	11.6	12.8	2.3	2.3	2.3	7.0	3.5	9.3
要介護度別	要支援1	89	65.2	9.0	11.2	2.2	2.2	1.1	6.7	3.4	10.1
	要支援2	40	42.5	12.5	17.5	2.5	2.5	2.5	17.5	10.0	12.5
	要介護1	42	57.1	14.3	33.3	0.0	7.1	4.8	4.8	2.4	14.3
	要介護2	9	66.7	11.1	22.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2
	要介護3	6	33.3	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7
	要介護4	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	要介護5	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0

(6) 在宅サービスの利用意向

- 今後利用したい(利用し続けたい)在宅サービスの利用意向は、「福祉用具貸与(レンタル)・購入」が38.5%と最も高く、次いで「通所リハビリテーション」(33.4%)、「訪問介護(生活援助中心)」(23.6%)、「訪問介護(身体介護中心)」(17.0%)、「訪問看護」(16.2%)が上位5項目にあがっている。
- 性別では、大きな差はみられない。
- 年齢別にみると、65～69歳では「福祉用具貸与(レンタル)・購入」が61.5%と60%を超えている。75～79歳では「通所リハビリテーション」(38.2%)が他の年代に比べて高い。
- 要介護度別にみると、要介護認定者は要支援認定者に比べて「通所介護」や「短期入所生活介護」、「短期入所療養介護」の割合が高い。要介護4は「住宅改修」が28.0%と他の要介護度に比べて高い。「認知症対応型通所介護」は要介護1(18.6%)が他の要介護度に比べて高い。「夜間対応型訪問介護」は要介護5(37.5%)が他の要介護度に比べて顕著に高い。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯は「訪問介護(生活援助中心)」が42.9%と他の世帯構成に比べて顕著に高い。また、その他の世帯では「通所介護」(19.7%)が他の世帯構成に比べて高い。
- 現在の介護保険サービスの利用状況別にみると、介護保険サービス利用者は未利用者に比べてほとんどの項目の割合が上回っており、「福祉用具貸与(レンタル)・購入」(42.8%)の割合が40%を超えている。また、介護保険サービス未利用者は「訪問介護(生活援助中心)」(26.0%)、「福祉用具貸与(レンタル)・購入」(24.0%)の利用意向が20%以上となっている。

【在宅サービスの利用意向】



【在宅サービスの利用意向(性別・年齢別・要介護度別・世帯構成別・介護保険サービス利用状況別)】

	調査数	訪問介護(身体介護)	訪問介護(生活援助)	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリテーション	居宅療養管理指導	通所介護	通所リハビリテーション	短期入所生活介護	短期入所療養介護	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	1,054	17.0	23.6	14.8	16.2	15.7	3.6	15.8	33.4	13.9	8.0	
性別	男性	351	19.1	21.4	13.7	15.1	17.4	2.6	15.7	35.9	15.1	7.1
	女性	703	15.9	24.8	15.4	16.8	14.9	4.1	15.9	32.1	13.2	8.4
年齢別	65～69歳	26	23.1	30.8	15.4	34.6	30.8	3.8	7.7	19.2	15.4	11.5
	70～74歳	77	18.2	23.4	6.5	22.1	28.6	2.6	18.2	35.1	14.3	10.4
	75～79歳	157	15.9	19.7	17.8	15.9	21.7	3.2	12.7	38.2	12.1	6.4
	80～84歳	259	18.1	25.5	12.7	15.8	12.4	3.9	14.7	30.9	10.0	6.6
	85歳以上	535	16.3	23.6	16.1	14.8	13.1	3.7	17.4	33.6	16.1	8.6
要介護度別	要支援1	287	15.0	27.2	7.3	10.8	10.5	2.8	5.6	26.5	4.5	2.8
	要支援2	258	11.2	24.0	10.9	8.5	11.2	3.5	11.2	42.2	7.8	3.1
	要介護1	280	15.4	20.4	15.4	19.6	12.9	4.6	24.6	32.9	20.7	11.8
	要介護2	127	26.8	24.4	27.6	22.8	30.7	2.4	22.0	37.8	22.0	11.0
	要介護3	61	21.3	13.1	23.0	24.6	23.0	4.9	24.6	29.5	24.6	18.0
	要介護4	25	28.0	24.0	32.0	36.0	40.0	0.0	20.0	24.0	20.0	16.0
	要介護5	16	62.5	43.8	43.8	62.5	50.0	12.5	31.3	18.8	43.8	37.5
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	317	18.9	42.9	16.1	17.4	13.9	4.1	12.9	32.5	9.8	6.0
	夫婦のみふたり暮らし世帯	323	19.2	18.6	14.9	18.0	16.7	2.5	14.6	32.5	13.9	6.5
	その他の世帯	386	13.7	11.7	14.0	14.0	16.6	3.9	19.7	35.8	18.1	10.6
	無回答	28	14.3	28.6	10.7	14.3	14.3	7.1	10.7	21.4	0.0	10.7
状況別	介護保険サービス利用者	835	16.6	23.7	15.2	17.8	16.4	3.6	18.3	38.6	15.3	9.0
	介護保険サービス未利用者	192	19.8	26.0	14.1	10.9	14.6	3.6	6.3	14.1	9.4	4.7
	無回答	27	7.4	3.7	7.4	3.7	3.7	3.7	7.4	11.1	0.0	0.0

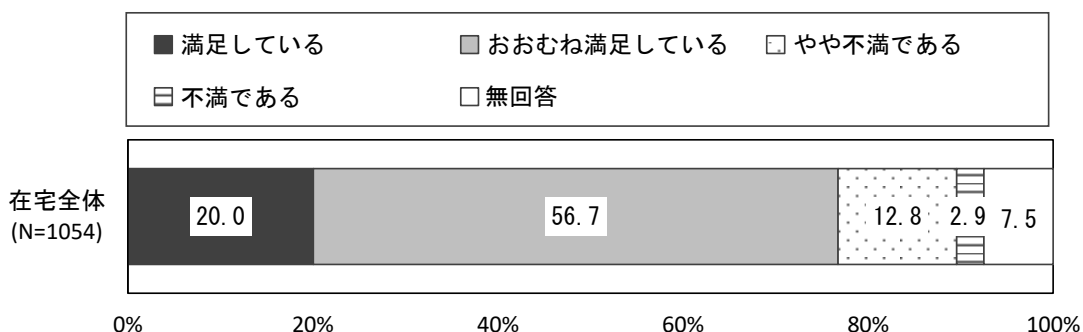
	調査数	福祉用具貸与(レンタル)・購入	住宅改修	認知症対応型通所介護	小規模多機能型居宅介護	看護小規模多機能型(複合型)サービス	地域密着型通所介護	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	夜間対応型訪問介護	支援予防・日常生活(訪問型)サービス	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体	1,054	38.5	13.7	9.4	4.0	3.6	4.1	6.7	5.3	10.7	
性別	男性	351	35.6	15.1	10.0	3.1	4.0	5.1	6.6	6.3	10.5
	女性	703	40.0	12.9	9.1	4.4	3.4	3.6	6.8	4.8	10.8
年齢別	65～69歳	26	61.5	23.1	0.0	7.7	3.8	3.8	7.7	7.7	15.4
	70～74歳	77	40.3	19.5	6.5	0.0	1.3	0.0	2.6	3.9	5.2
	75～79歳	157	32.5	17.8	10.8	1.9	1.9	4.5	5.7	7.0	10.2
	80～84歳	259	36.7	13.5	11.2	3.5	3.9	3.5	8.9	5.8	12.0
	85歳以上	535	39.8	11.2	9.0	5.2	4.3	4.9	6.5	4.7	10.8
要介護度別	要支援1	287	33.1	12.2	3.8	1.4	2.1	2.1	5.2	3.8	9.1
	要支援2	258	39.9	13.2	1.9	2.7	3.5	2.7	5.4	2.3	12.0
	要介護1	280	37.5	13.6	18.6	7.5	4.3	4.6	8.9	5.0	12.9
	要介護2	127	44.1	16.5	13.4	6.3	6.3	7.9	7.1	7.1	8.7
	要介護3	61	44.3	13.1	13.1	1.6	1.6	3.3	6.6	13.1	4.9
	要介護4	25	44.0	28.0	16.0	0.0	4.0	12.0	8.0	8.0	8.0
	要介護5	16	56.3	6.3	12.5	6.3	6.3	12.5	12.5	37.5	25.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	317	37.9	12.3	7.9	5.0	4.7	4.1	7.3	7.3	12.9
	夫婦のみふたり暮らし世帯	323	37.5	15.2	9.3	2.2	2.2	4.3	7.1	5.0	9.0
	その他の世帯	386	40.9	14.2	10.9	4.7	3.9	3.9	5.4	4.1	10.9
	無回答	28	25.0	3.6	7.1	3.6	3.6	3.6	14.3	3.6	3.6
状況別	介護保険サービス利用者	835	42.8	14.6	10.1	4.2	3.7	4.8	6.8	5.4	11.5
	介護保険サービス未利用者	192	24.0	11.5	7.8	3.6	3.6	1.0	7.3	5.2	8.9
	無回答	27	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	3.7	0.0

### 3. 介護保険制度について

#### (1) 介護保険制度の満足度

- 介護保険制度の満足度は「おおむね満足している」が 56.7%と最も高く、「満足している」(20.0%)を合わせると 76.7%が『満足』と回答している一方、「やや不満である」(12.8%)と「不満である」(2.9%)を合わせた『不満』の割合は 15.7%となっている。
- 性別、年齢別にみても大きな差はみられないが、65～69歳は『満足』(69.3%)の割合が他の年齢層に比べて低い。
- 要介護度別にみると、要介護1～4は『満足』の割合が70%を超えているが、要介護5では62.6%と低い。
- 介護保険サービスの利用状況別にみると、『満足』の割合は利用者(81.0%)が未利用者(62.5%)に比べて18.5ポイント高い。

【介護保険制度の満足度】



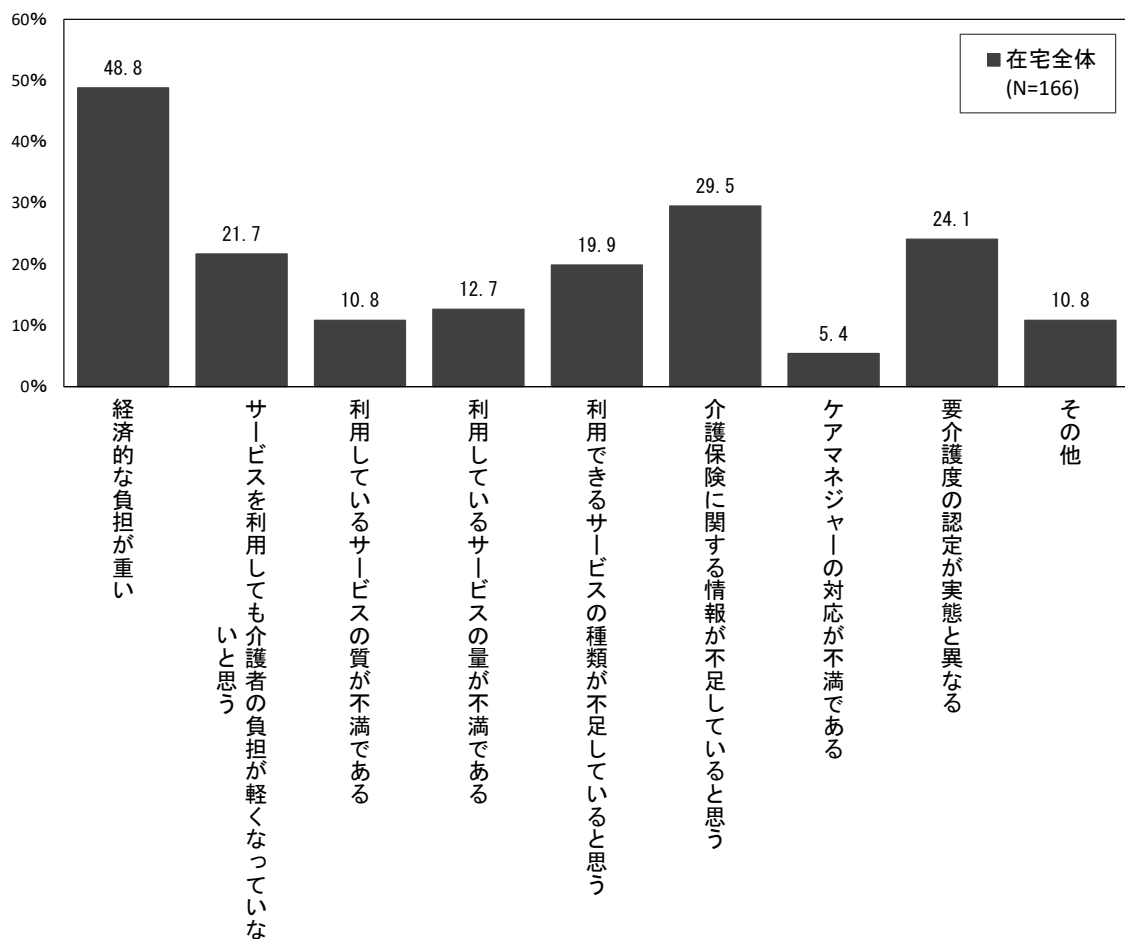
【介護保険制度の満足度(性別・年齢別・要介護度別・介護保険サービス利用状況別)】

		調査数	満足している	おおむね満足している	やや不満である	不満である	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体		1,054	20.0	56.7	12.8	2.9	7.5
性別	男性	351	19.9	54.7	15.1	3.7	6.6
	女性	703	20.1	57.8	11.7	2.6	8.0
年齢別	65～69歳	26	23.1	46.2	26.9	3.8	0.0
	70～74歳	77	19.5	53.2	13.0	5.2	9.1
	75～79歳	157	21.7	60.5	10.8	3.2	3.8
	80～84歳	259	18.9	58.3	9.7	5.0	8.1
	85歳以上	535	20.0	55.9	14.2	1.5	8.4
要介護度別	要支援1	287	20.2	51.6	14.6	1.7	11.8
	要支援2	258	22.9	57.8	10.1	2.3	7.0
	要介護1	280	17.9	58.2	15.0	4.3	4.6
	要介護2	127	19.7	61.4	11.0	1.6	6.3
	要介護3	61	16.4	65.6	9.8	3.3	4.9
	要介護4	25	24.0	52.0	16.0	0.0	8.0
状況別	要介護5	16	18.8	43.8	6.3	25.0	6.3
	介護保険サービス利用者	835	22.2	58.8	11.6	2.6	4.8
	介護保険サービス未利用者	192	12.5	50.0	17.2	4.7	15.6
無回答		27	7.4	40.7	18.5	0.0	33.3

## (2) 介護保険制度に満足していない理由

- 介護保険制度に満足していない理由は、「経済的な負担が重い」が48.8%と最も高く、次いで「介護保険に関する情報が不足していると思う」(29.5%)、「要介護度の認定が実態と異なる」(24.1%)、「サービスを利用しても介護者の負担が軽くなっていないと思う」(21.7%)の順に高い。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「要介護度の認定が実態と異なる」(36.4%)が20.4ポイント高い。
- 年齢別にみると、65～69歳では「利用できるサービスの種類が不足していると思う」(37.5%)が他の年齢層に比べて高い。
- 要介護度別にみると、「経済的な負担が重い」は要介護3では75.0%、要介護5では80.0%と70%を超えている。
- 介護保険サービスの利用状況別にみると、未利用者は利用者に比べて「介護保険に関する情報が不足していると思う」(33.3%)の割合が高い。

【介護保険制度に満足していない理由】



【介護保険制度に満足していない理由(性別・年齢別・要介護度別・介護保険サービス利用状況別)】

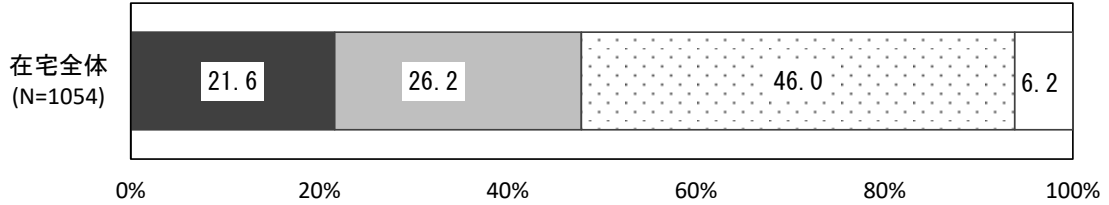
		調査数	経済的な負担が重い	サービスを利用しても介護者の負担が軽くなっていないと思う	利用しているサービスの質が不満である	利用しているサービスの量が不満である	利用できるサービスの種類が不足していると思う	介護保険に関する情報が不足していると思う	ケアマネジャーの対応が不満である	要介護度の認定が実態と異なる	その他
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体		166	48.8	21.7	10.8	12.7	19.9	29.5	5.4	24.1	10.8
性別	男性	66	45.5	22.7	13.6	15.2	25.8	27.3	9.1	36.4	7.6
	女性	100	51.0	21.0	9.0	11.0	16.0	31.0	3.0	16.0	13.0
年齢別	65～69歳	8	75.0	25.0	12.5	12.5	37.5	25.0	25.0	25.0	0.0
	70～74歳	14	57.1	21.4	28.6	7.1	21.4	7.1	0.0	42.9	0.0
	75～79歳	22	68.2	22.7	4.5	13.6	22.7	31.8	0.0	18.2	9.1
	80～84歳	38	55.3	26.3	7.9	13.2	10.5	23.7	10.5	21.1	15.8
	85歳以上	84	36.9	19.0	10.7	13.1	21.4	35.7	3.6	23.8	11.9
要介護度別	要支援1	47	36.2	14.9	12.8	21.3	25.5	25.5	6.4	23.4	8.5
	要支援2	32	53.1	28.1	12.5	15.6	21.9	37.5	9.4	25.0	9.4
	要介護1	54	48.1	22.2	3.7	5.6	18.5	25.9	3.7	20.4	11.1
	要介護2	16	56.3	18.8	18.8	6.3	18.8	25.0	0.0	43.8	12.5
	要介護3	8	75.0	37.5	25.0	0.0	12.5	25.0	0.0	12.5	12.5
	要介護4	4	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	25.0
	要介護5	5	80.0	40.0	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0	40.0	20.0
状況別 利用	介護保険サービス利用者	119	46.2	20.2	11.8	12.6	19.3	27.7	5.0	22.7	10.9
	介護保険サービス未利用者	42	50.0	23.8	9.5	9.5	23.8	33.3	4.8	26.2	11.9
	無回答	5	100.0	40.0	0.0	40.0	0.0	40.0	20.0	40.0	0.0

(3) 介護保険料と介護サービスのあり方

- 介護保険料と介護サービスのあり方について「どちらともいえない」が46.0%と最も高く、次いで「利用できる介護サービスの種類や量を多少抑えても、保険料は低い方がよい」(26.2%)、「利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない」(21.6%)の順に続く。
- 性別、年齢別にみても大きな差はみられない。
- 要介護度別にみると、「利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない」の割合は、要介護5が43.8%と他の要介護度に比べて高い。
- 介護保険サービスの利用状況別にみると、大きな差はみられないが、利用者は未利用者に比べて「利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない」(23.4%)が7.8ポイント高く、未利用者は利用者に比べて「利用できる介護サービスの種類や量を多少抑えても、保険料は低い方がよい」(28.6%)が3.0ポイント高い。

【介護保険料と介護サービスのあり方】

- 利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない
- 利用できる介護サービスの種類や量を多少抑えても、保険料は低い方がよい
- どちらともいえない
- 無回答



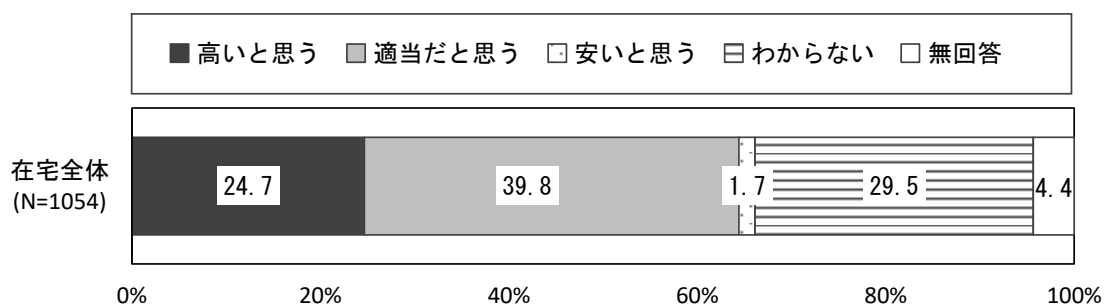
【介護保険料と介護サービスのあり方(性別・年齢別・要介護度別・介護保険サービスの利用状況別)】

		調査数 (人)	ても充利用多	少利用	どちらともいえない	無回答
			(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体		1,054	21.6	26.2	46.0	6.2
性別	男性	351	19.7	33.3	41.6	5.4
	女性	703	22.6	22.6	48.2	6.5
年齢別	65～69歳	26	15.4	30.8	53.8	0.0
	70～74歳	77	16.9	33.8	40.3	9.1
	75～79歳	157	21.7	26.8	45.2	6.4
	80～84歳	259	16.2	29.3	47.9	6.6
	85歳以上	535	25.2	23.2	45.8	5.8
要介護度別	要支援1	287	20.6	26.8	44.6	8.0
	要支援2	258	18.6	24.8	51.2	5.4
	要介護1	280	22.5	26.4	46.4	4.6
	要介護2	127	22.0	26.8	46.5	4.7
	要介護3	61	21.3	34.4	36.1	8.2
	要介護4	25	40.0	20.0	28.0	12.0
	要介護5	16	43.8	6.3	43.8	6.3
状況別 利用	介護保険サービス利用者	835	23.4	25.6	46.0	5.0
	介護保険サービス未利用者	192	15.6	28.6	47.4	8.3
	無回答	27	11.1	25.9	37.0	25.9

(4) 介護保険料の負担感

- 介護保険料の負担感について「相当だと思う」が39.8%と最も高く、次いで「わからない」(29.5%)、「高いと思う」(24.7%)の順に続く。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「高いと思う」(31.6%)が10.4ポイント高い。
- 年齢別にみると、「高いと思う」では65～69歳で30.8%、70～74歳で37.7%と前期高齢者は後期高齢者に比べて高い。
- 要介護度別にみると、要介護2、要介護4・5では「高いと思う」が30%を超えている。一方、要支援2、要介護1、要介護3では「相当だと思う」が40%を超えている。
- 介護保険サービスの利用状況別にみると、未利用者は利用者に比べて「高いと思う」(32.3%)が9.3ポイント高い。一方、利用者は「相当だと思う」が43.0%と40%を超えている。

【介護保険料の負担感】



【介護保険料の負担感(性別・年齢別・要介護度別・介護保険サービス利用状況別)】

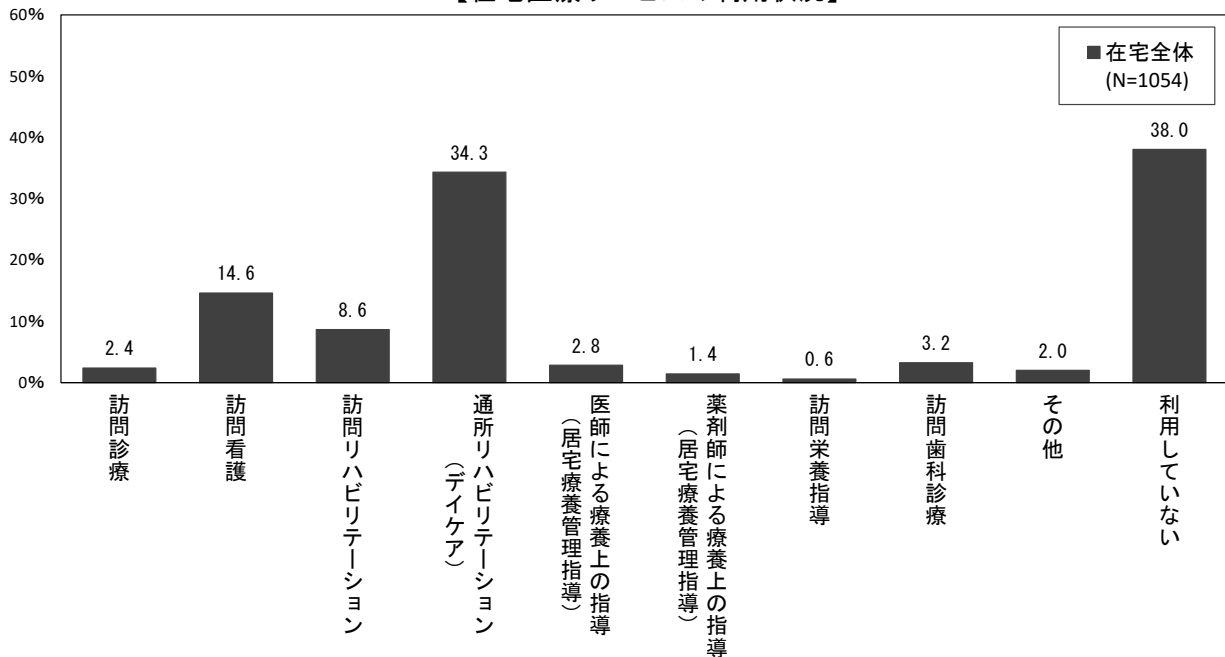
		調査数	高いと思う	相当だと思う	安いと思う	わからない	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体		1,054	24.7	39.8	1.7	29.5	4.4
性別	男性	351	31.6	37.0	2.8	24.5	4.0
	女性	703	21.2	41.1	1.1	32.0	4.6
年齢別	65～69歳	26	30.8	50.0	0.0	19.2	0.0
	70～74歳	77	37.7	28.6	1.3	26.0	6.5
	75～79歳	157	23.6	40.8	0.6	30.6	4.5
	80～84歳	259	25.1	37.8	2.3	29.3	5.4
	85歳以上	535	22.6	41.5	1.9	30.3	3.7
要介護度別	要支援1	287	24.4	36.9	1.4	32.4	4.9
	要支援2	258	21.7	43.4	1.6	29.5	3.9
	要介護1	280	23.2	42.5	1.4	29.3	3.6
	要介護2	127	30.7	32.3	2.4	30.7	3.9
	要介護3	61	24.6	45.9	3.3	21.3	4.9
	要介護4	25	36.0	36.0	0.0	16.0	12.0
	要介護5	16	37.5	25.0	6.3	25.0	6.3
状況別	介護保険サービス利用者	835	23.0	43.0	1.9	29.1	3.0
	介護保険サービス未利用者	192	32.3	27.1	0.5	32.8	7.3
	無回答	27	22.2	29.6	3.7	18.5	25.9

## 4. 在宅医療について

### (1) 在宅医療サービスの利用状況

- 在宅医療サービスの利用状況は「通所リハビリテーション（デイケア）」が34.3%と最も高く、次いで「訪問看護」（14.6%）、「訪問リハビリテーション」（8.6%）の順に続く。「利用していない」は38.0%となっている。
- 年齢別にみると、65～69歳では特に、「訪問看護」（46.2%）や「訪問リハビリテーション」（30.8%）の割合が他の年齢層に比べて高い。
- 要介護度別にみると、要介護5では「訪問診療」「訪問看護」「医師による療養上の指導（居宅療養管理指導）」「薬剤師による療養上の指導（居宅療養管理指導）」「訪問歯科診療」の割合が他の要介護度に比べて高い。

【在宅医療サービスの利用状況】



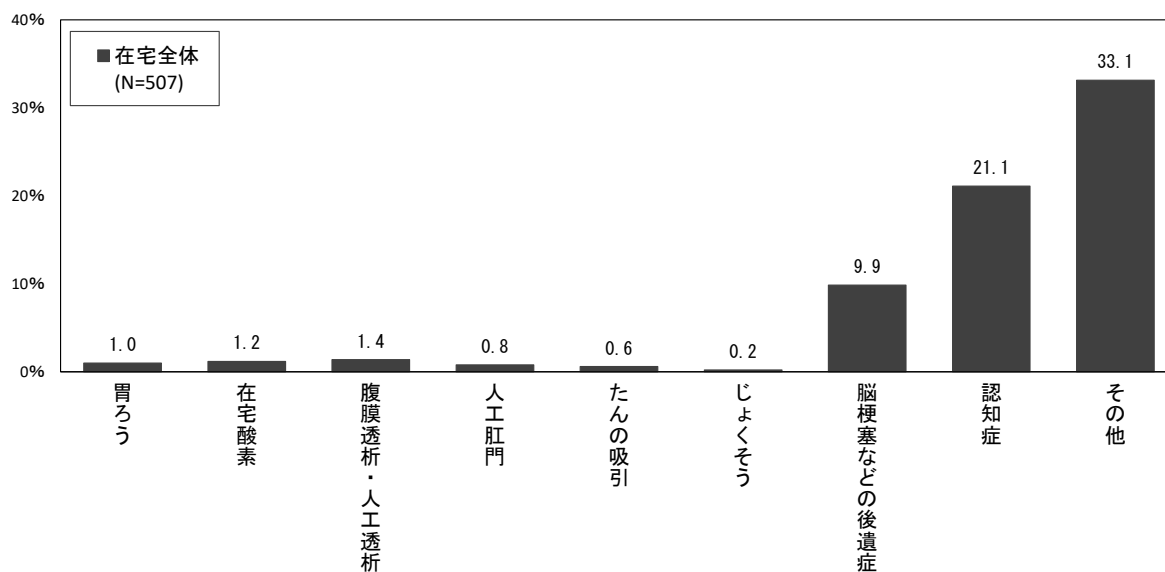
【在宅医療サービスの利用状況（性別・年齢別・要介護度別）】

	調査数 (人)	訪問診療	訪問看護	訪問リハビリ	通所リハビリ (デイケア)	医師による療養 管理指導	薬剤師による療 養管理指導	訪問栄養指導	訪問歯科診療	その他	利用して いない	
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	1,054	2.4	14.6	8.6	34.3	2.8	1.4	0.6	3.2	2.0	38.0	
性別	男性	351	2.8	17.7	11.1	37.9	5.7	3.1	0.9	3.4	1.7	32.2
	女性	703	2.1	13.1	7.4	32.6	1.4	0.6	0.4	3.1	2.1	41.0
年齢別	65～69歳	26	3.8	46.2	30.8	26.9	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	30.8
	70～74歳	77	1.3	23.4	16.9	33.8	1.3	0.0	2.6	9.1	1.3	32.5
	75～79歳	157	3.2	17.8	14.6	40.1	2.5	1.9	0.0	5.1	2.5	27.4
	80～84歳	259	2.3	14.7	6.2	36.3	3.1	1.9	1.2	1.5	1.9	38.6
	85歳以上	535	2.2	10.8	5.8	32.1	3.0	1.3	0.2	2.8	2.1	42.1
要介護度別	要支援1	287	1.0	5.2	1.7	24.0	1.7	1.0	1.0	0.7	2.4	47.0
	要支援2	258	1.2	7.0	5.0	33.3	1.6	0.4	0.4	1.9	0.8	44.2
	要介護1	280	2.1	17.1	7.1	41.4	2.1	1.4	0.0	1.8	1.8	35.7
	要介護2	127	5.5	31.5	22.8	43.3	3.9	2.4	0.0	6.3	3.1	18.9
	要介護3	61	3.3	29.5	23.0	34.4	3.3	1.6	1.6	11.5	3.3	31.1
	要介護4	25	4.0	32.0	28.0	44.0	16.0	0.0	4.0	16.0	0.0	16.0
要介護5	16	18.8	43.8	18.8	25.0	25.0	18.8	0.0	18.8	6.3	31.3	

(2) 在宅医療サービスが必要となった理由

- 何らかの在宅医療サービスを利用している人のうち、在宅医療サービスが必要となった理由は「その他」(33.1%)を除くと、「認知症」が21.1%と最も高く、次いで「脳梗塞などの後遺症」(9.9%)となっており、他の項目は2.0%以下とかなり低い。
- 性別にみると、男性は女性に比べて「脳梗塞などの後遺症」(15.4%)が顕著に高い。
- 年齢別にみると、若いほど「脳梗塞などの後遺症」が高い。
- 要介護度別にみると、要介護5は「胃ろう」(20.0%)や「認知症」(50.0%)の割合が他の要介護度に比べて高い。

【在宅医療サービスが必要となった理由】



【在宅医療サービスが必要となった理由(性別・年齢別・要介護度別)】

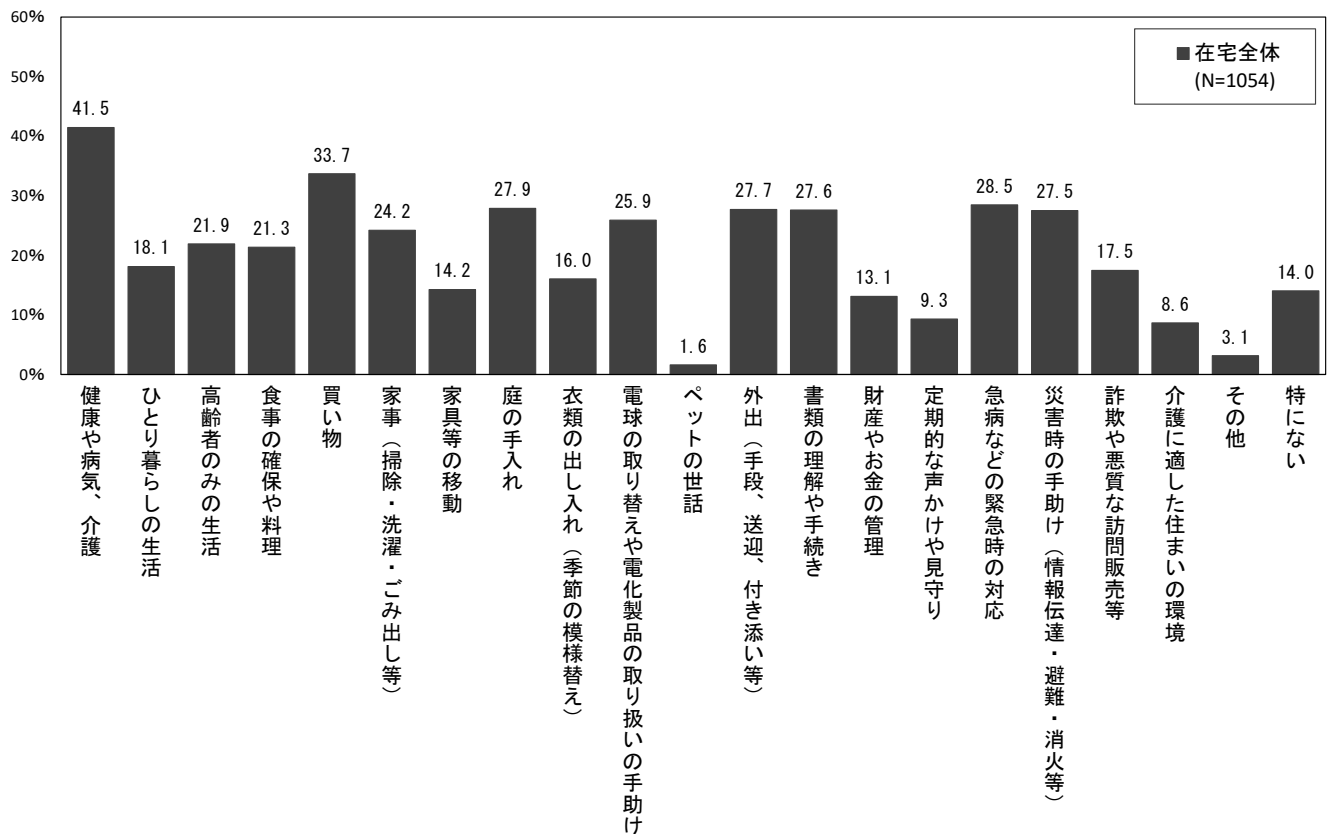
	調査数	胃ろう	在宅酸素	腹膜透析・人工透析	人工肛門	たんの吸引	じょくそう	脳梗塞などの後遺症	認知症	その他	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	507	1.0	1.2	1.4	0.8	0.6	0.2	9.9	21.1	33.1	
性別	男性	188	1.1	2.1	2.7	1.1	0.5	0.0	15.4	18.6	28.2
	女性	319	0.9	0.6	0.6	0.6	0.6	0.3	6.6	22.6	36.1
年齢別	65~69歳	15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.7	6.7	53.3
	70~74歳	38	5.3	0.0	5.3	0.0	2.6	0.0	23.7	10.5	34.2
	75~79歳	90	3.3	1.1	0.0	0.0	1.1	0.0	13.3	21.1	30.0
	80~84歳	131	0.0	2.3	2.3	1.5	0.0	0.0	8.4	26.7	29.8
	85歳以上	233	0.0	0.9	0.9	0.9	0.4	0.4	6.0	20.6	34.8
要介護度別	要支援1	93	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	5.4	35.5
	要支援2	106	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	3.8	4.7	30.2
	要介護1	153	0.0	1.3	1.3	1.3	1.3	0.0	8.5	35.3	28.8
	要介護2	93	0.0	3.2	3.2	1.1	0.0	0.0	12.9	31.2	43.0
	要介護3	35	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	2.9	22.9	22.9	28.6
	要介護4	17	11.8	0.0	5.9	5.9	5.9	0.0	35.3	5.9	35.3
	要介護5	10	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	50.0	30.0

## 5. 日常生活等について

### (1) 日常生活上の不安や困りごと

- 日常生活上の不安や困りごとは、「特にない」は14.0%に留まっており、不安や困りごとがある人では、「健康や病気、介護」が41.5%と最も高く、次いで「買い物」(33.7%)、「急病などの緊急時の対応」(28.5%)、「庭の手入れ」(27.9%)、「外出(手段、送迎、付き添い等)」(27.7%)が上位5項目にあがっている。
- 要介護度別にみると、「ひとり暮らしの生活」「買い物」「電球の取り替えや電化製品の取り扱いの手助け」等は、おおむね要支援認定者の割合の方が高い。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「ひとり暮らしの生活」が54.3%と過半数を占めている。
- 小学校区別にみると、「高齢者のみの生活」は菟島校区(33.3%)や泉校区(30.3%)が30%を超えている。「外出(手段、送迎、付き添い等)」は、菟島校区(46.7%)、行橋南校区(32.3%)、延永校区(30.8%)が30%を超えている。「災害時の手助け(情報伝達・避難・消火等)」は今川校区(33.9%)、菟島校区(33.3%)、行橋校区(31.4%)が30%を超え、他の小学校区に比べて高い。

【日常生活上の不安や困りごと】



第4章 在宅要介護認定者用調査

【日常生活上の不安や困りごと(要介護度別・世帯構成別・小学校区別)】

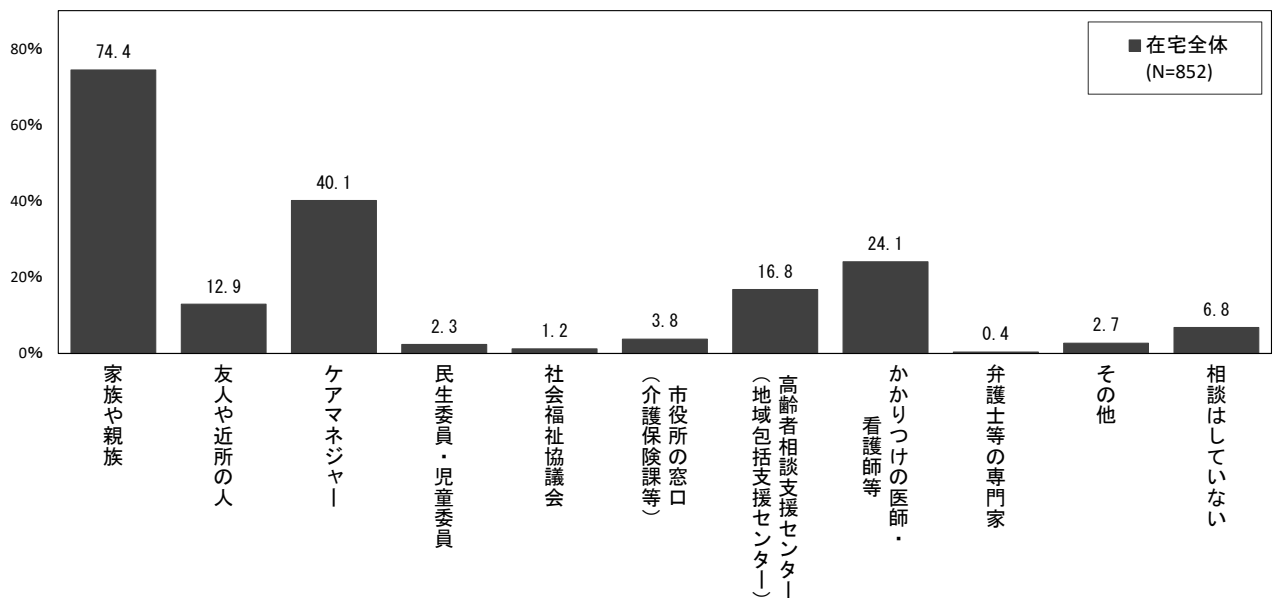
	調査数	健康や病気の介護	ひとり暮らしの生活	高齢者のみの生活	食事の確保や料理	買い物	家事(掃除・洗濯・ごみ出し等)	家具等の移動	庭の手入れ	衣類の出し入れ(季節の模様替え)	電球の取り替えや電化製品の取り扱い	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	1,054	41.5	18.1	21.9	21.3	33.7	24.2	14.2	27.9	16.0	25.9	
要介護度別	要支援1	287	35.9	22.3	16.4	16.0	33.8	21.6	15.3	27.9	7.3	29.3
	要支援2	258	41.5	19.8	22.9	22.1	39.5	24.8	14.3	29.8	20.5	27.5
	要介護1	280	38.2	18.6	26.1	26.4	36.8	26.4	13.9	28.9	18.9	25.4
	要介護2	127	54.3	15.0	25.2	24.4	26.0	26.0	13.4	27.6	20.5	22.0
	要介護3	61	45.9	4.9	16.4	14.8	13.1	18.0	11.5	13.1	14.8	18.0
	要介護4	25	52.0	0.0	16.0	20.0	28.0	24.0	16.0	28.0	24.0	16.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	317	39.7	54.3	20.2	29.3	46.1	31.5	16.4	34.4	16.4	39.7
	夫婦のみふたり暮らし世帯	323	43.3	3.1	43.7	18.9	33.1	24.1	19.2	31.3	18.3	28.2
	その他の世帯	386	42.0	1.8	4.7	17.4	24.1	18.1	8.0	20.5	13.2	13.2
	無回答	28	32.1	7.1	28.6	14.3	32.1	25.0	17.9	17.9	25.0	17.9
小学校区別	行橋校区	121	47.9	19.8	21.5	17.4	32.2	26.4	14.0	20.7	13.2	25.6
	行橋北校区	107	39.3	15.0	15.9	17.8	28.0	23.4	11.2	30.8	17.8	25.2
	行橋南校区	130	46.9	25.4	22.3	26.2	37.7	25.4	16.2	26.9	16.2	29.2
	今元校区	71	31.0	21.1	18.3	26.8	29.6	19.7	18.3	32.4	19.7	25.4
	菟島校区	15	53.3	13.3	33.3	40.0	33.3	33.3	6.7	13.3	26.7	20.0
	仲津校区	171	41.5	15.8	21.6	18.1	37.4	25.1	15.8	30.4	16.4	25.7
	泉校区	155	37.4	20.6	30.3	25.2	33.5	24.5	16.8	27.7	14.2	27.1
	今川校区	62	41.9	19.4	17.7	12.9	27.4	19.4	8.1	19.4	9.7	24.2
	稗田校区	52	44.2	3.8	17.3	21.2	36.5	21.2	13.5	25.0	17.3	23.1
	樺市校区	35	42.9	17.1	17.1	17.1	25.7	14.3	8.6	28.6	11.4	11.4
延永校区	130	38.5	16.9	22.3	22.3	36.2	27.7	13.1	33.8	18.5	28.5	

	調査数	ペットの世話	外出(手段、送り、送り先等)	書類の理解や手続き	財産やお金の管理	定期的な声かけや見守り	急病などの緊急時の対応	災害時の避難・消火(情報伝達)	詐欺や悪質な訪問販売等	介護に適した住まいの環境	その他	特になし	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	1,054	1.6	27.7	27.6	13.1	9.3	28.5	27.5	17.5	8.6	3.1	14.0	
要介護度別	要支援1	287	2.4	20.6	20.9	8.4	8.4	25.8	23.3	16.7	4.5	13.2	
	要支援2	258	0.4	29.1	24.4	8.1	10.5	27.9	28.3	18.2	2.3	15.1	
	要介護1	280	1.1	33.6	37.1	20.7	10.7	28.9	28.9	22.1	3.2	13.6	
	要介護2	127	3.9	29.1	29.1	15.0	7.9	31.5	26.8	16.5	15.0	1.6	15.0
	要介護3	61	0.0	29.5	26.2	14.8	3.3	34.4	31.1	6.6	11.5	1.6	14.8
	要介護4	25	0.0	24.0	24.0	20.0	16.0	28.0	40.0	0.0	12.0	8.0	16.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	317	3.2	32.8	35.3	15.1	15.5	36.9	32.5	26.5	6.6	7.3	
	夫婦のみふたり暮らし世帯	323	0.3	24.5	27.2	12.7	8.7	27.6	27.9	16.7	8.4	11.8	
	その他の世帯	386	1.6	26.9	22.0	11.4	4.9	22.3	22.3	11.7	11.1	2.8	21.2
	無回答	28	0.0	17.9	21.4	17.9	7.1	28.6	39.3	3.6	0.0	7.1	17.9
小学校区別	行橋校区	121	3.3	23.1	26.4	5.8	7.4	30.6	31.4	16.5	6.6	2.5	15.7
	行橋北校区	107	0.9	25.2	15.9	11.2	10.3	16.8	18.7	13.1	6.5	5.6	18.7
	行橋南校区	130	0.8	32.3	30.0	14.6	8.5	33.1	30.0	23.8	10.0	3.1	10.0
	今元校区	71	4.2	26.8	31.0	12.7	9.9	31.0	26.8	16.9	8.5	2.8	19.7
	菟島校区	15	6.7	46.7	40.0	40.0	20.0	33.3	33.3	13.3	20.0	6.7	13.3
	仲津校区	171	2.3	28.7	35.1	14.0	8.2	32.7	28.1	17.0	9.9	2.9	11.7
	泉校区	155	0.0	27.1	23.2	14.8	12.3	31.0	29.7	18.1	9.0	1.9	12.3
	今川校区	62	3.2	24.2	24.2	9.7	6.5	32.3	33.9	17.7	6.5	1.6	22.6
	稗田校区	52	0.0	23.1	34.6	15.4	11.5	25.0	25.0	17.3	3.8	1.9	11.5
	樺市校区	35	0.0	20.0	28.6	11.4	5.7	25.7	22.9	11.4	8.6	2.9	17.1
延永校区	130	0.8	30.8	26.2	13.8	8.5	20.8	23.8	16.9	10.0	4.6	11.5	

(2) 不安や困りごとの相談先

- 日常生活上の不安や困りごとの相談先は、「相談はしていない」は6.8%に留まっており、相談先がある人では、「家族や親族」が74.4%を占めて最も高く、次いで「ケアマネジャー」(40.1%)、「かかりつけの医師・看護師等」(24.1%)、「高齢者相談支援センター(地域包括支援センター)」(16.8%)の順に続く。
- 要介護度別にみると、要支援認定者の方が「友人や近所の人」「高齢者相談支援センター(地域包括支援センター)」の割合が高い。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「友人や近所の人」(18.9%)のほか、「ケアマネジャー」(41.4%)の割合が他の世帯構成に比べて高い。
- 小学校区別にみると、「市役所の窓口(介護保険課等)」は菟島校区(7.7%)や仲津校区(5.6%)、「高齢者相談支援センター(地域包括支援センター)」は菟島校区(23.1%)、行橋校区(22.2%)が他の校区に比べて高い。また、椿市校区は「高齢者相談支援センター(地域包括支援センター)」が0.0%と他の小学校区に比べて極めて低い。

【不安や困りごとの相談先】



第4章 在宅要介護認定者用調査

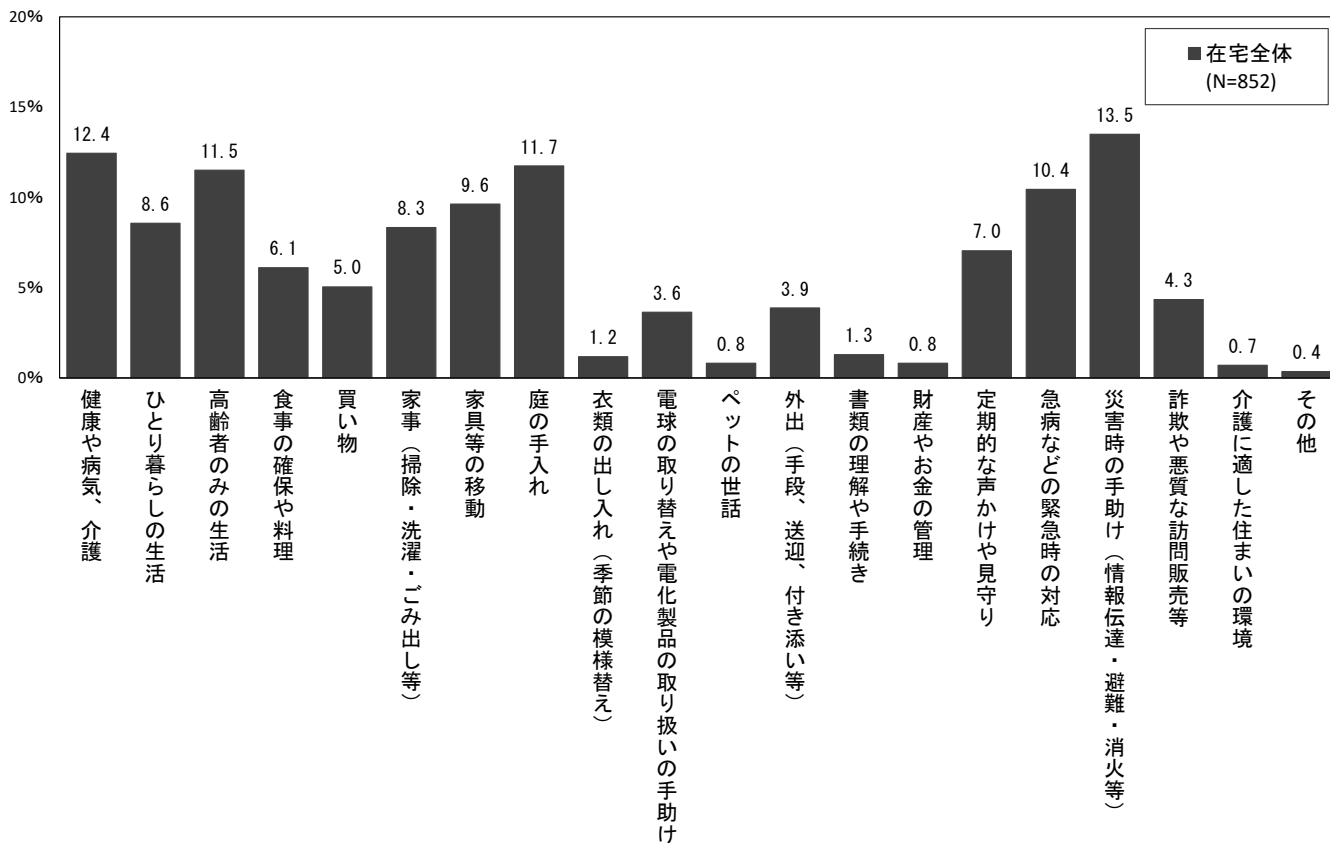
【不安や困りごとの相談先(要介護度別・世帯構成別・小学校区別)】

	調査数	家族や親族	友人や近所の人	ケアマネジャー	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	市役所の窓口 (介護保険課等)	高齢者相談支援センター (地域包括支援センター)	かかりつけの医師・ 看護師等	弁護士等の専門家	その他	相談はしていない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	852	74.4	12.9	40.1	2.3	1.2	3.8	16.8	24.1	0.4	2.7	6.8	
要介護度別	要支援1	234	69.2	23.1	29.5	2.6	0.9	4.7	23.5	20.1	1.3	2.6	9.8
	要支援2	211	74.4	11.8	31.8	1.9	2.4	3.8	26.1	21.3	0.0	2.8	4.7
	要介護1	231	76.6	7.8	48.1	3.5	0.9	3.0	10.4	29.4	0.0	3.5	6.9
	要介護2	98	79.6	9.2	59.2	0.0	1.0	3.1	7.1	23.5	0.0	1.0	3.1
	要介護3	47	74.5	6.4	44.7	4.3	0.0	2.1	4.3	25.5	0.0	4.3	8.5
	要介護4	17	76.5	5.9	47.1	0.0	0.0	5.9	0.0	23.5	0.0	0.0	5.9
	要介護5	14	85.7	0.0	57.1	0.0	0.0	7.1	0.0	42.9	0.0	0.0	7.1
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	285	74.0	18.9	41.4	2.8	1.4	4.2	20.0	23.5	0.7	3.2	5.3
	夫婦のみふたり暮らし世帯	267	73.4	11.2	40.4	3.7	1.1	4.9	21.3	27.0	0.0	0.7	7.9
	その他の世帯	281	77.6	8.9	39.5	0.4	1.1	1.8	9.6	21.7	0.4	3.6	7.1
	無回答	19	47.4	5.3	26.3	5.3	0.0	10.5	10.5	26.3	0.0	10.5	10.5
小学校区別	行橋校区	90	78.9	15.6	42.2	2.2	0.0	2.2	22.2	26.7	1.1	2.2	5.6
	行橋北校区	82	63.4	14.6	37.8	4.9	1.2	3.7	17.1	20.7	0.0	6.1	7.3
	行橋南校区	111	74.8	10.8	38.7	2.7	1.8	5.4	18.0	20.7	0.0	0.9	3.6
	今元校区	52	78.8	7.7	51.9	3.8	0.0	1.9	19.2	30.8	1.9	1.9	7.7
	菟島校区	13	84.6	23.1	53.8	0.0	0.0	7.7	23.1	38.5	0.0	0.0	0.0
	仲津校区	142	71.1	16.9	36.6	3.5	2.8	5.6	16.9	20.4	0.7	2.1	11.3
	泉校区	129	77.5	10.1	38.0	2.3	0.8	3.1	14.7	21.7	0.0	3.1	4.7
	今川校区	47	68.1	6.4	40.4	0.0	0.0	4.3	12.8	27.7	0.0	2.1	6.4
	稗田校区	44	81.8	13.6	34.1	0.0	4.5	4.5	20.5	22.7	0.0	2.3	6.8
	樺市校区	26	88.5	15.4	50.0	0.0	0.0	3.8	0.0	26.9	0.0	3.8	0.0
	延永校区	111	73.0	12.6	40.5	0.9	0.0	1.8	15.3	27.0	0.0	3.6	9.9

(3) 不安や困りごとについて、身近な地域の人にしてほしいことや気にかけてほしいこと

- 不安や困りごとがある人のうち、身近な地域の人にしてほしいことや気にかけてほしいことは「災害時の手助け（情報伝達・避難・消火等）」が13.5%と最も高く、次いで「健康や病気、介護」（12.4%）、「庭の手入れ」（11.7%）、「高齢者のみの生活」（11.5%）、「急病などの緊急時の対応」（10.4%）が上位5項目にあがっている。
- 要介護度別にみると、要介護5は「急病などの緊急時の対応」（28.6%）、「災害時の手助け（情報伝達・避難・消火等）」（21.4%）が他の要介護度に比べて高い。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「ひとり暮らしの生活」（15.4%）のほか、「買い物」（7.4%）、「急病などの緊急時の対応」（10.9%）が他の世帯構成に比べて高い。
- 小学校区別にみると、蕨島校区は、特に「家事（掃除・洗濯・ごみ出し等）」（15.4%）や「急病などの緊急時の対応」（23.1%）、「災害時の手助け（情報伝達・避難・消火等）」（30.8%）が他の小学校区に比べて高い。

【身近な地域の人にしてほしいことや気にかけてほしいこと】



第4章 在宅要介護認定者用調査

【身近な地域の人にしてほしいことや気にかけてほしいこと(要介護度別・世帯構成別・小学校区別)】

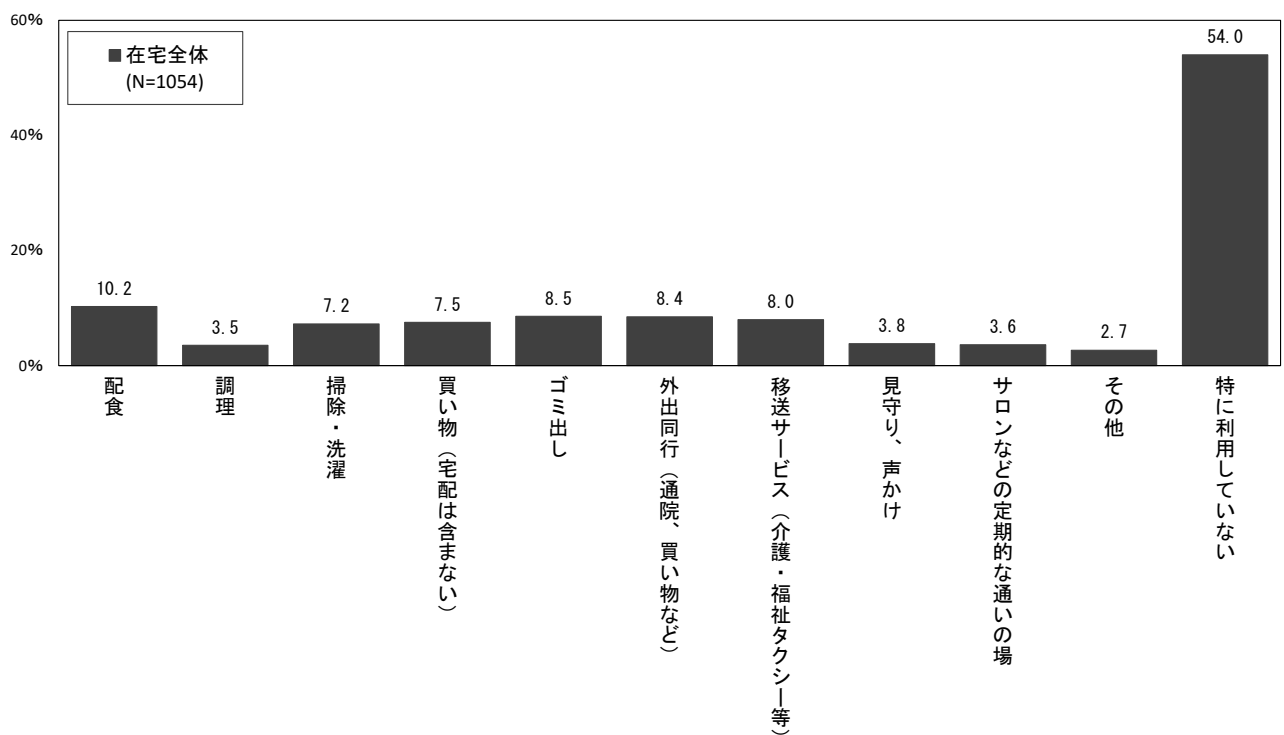
	調査数	健康や病気、介護	ひとり暮らしの生活	高齢者のみの生活	食事の確保や料理	買い物	家事(掃除・洗濯・ごみ出し等)	家具等の移動	庭の手入れ	衣類の出し入れ(季節の模様替え)	電球の取り替えや電化製品の取り扱いの	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	852	12.4	8.6	11.5	6.1	5.0	8.3	9.6	11.7	1.2	3.6	
要介護度別	要支援1	234	13.2	9.8	7.3	3.4	5.1	7.7	9.0	9.4	1.3	4.7
	要支援2	211	13.7	9.0	10.9	7.6	5.7	10.4	15.2	16.1	1.4	5.2
	要介護1	231	11.7	8.2	13.9	4.8	5.2	6.5	6.5	10.4	0.4	1.7
	要介護2	98	11.2	5.1	16.3	9.2	4.1	8.2	5.1	10.2	2.0	4.1
	要介護3	47	10.6	8.5	6.4	8.5	0.0	10.6	12.8	19.1	2.1	2.1
	要介護4	17	5.9	11.8	23.5	11.8	11.8	11.8	11.8	5.9	0.0	0.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	285	13.3	15.4	11.6	7.0	7.4	7.7	11.2	10.2	1.1	3.9
	夫婦のみふたり暮らし世帯	267	13.1	6.4	15.7	7.9	5.6	10.5	13.1	14.2	1.5	3.4
	その他の世帯	281	9.6	3.6	7.1	3.6	2.5	6.8	5.0	11.0	1.1	3.6
	無回答	19	31.6	10.5	15.8	5.3	0.0	10.5	5.3	10.5	0.0	5.3
小学校区別	行橋校区	90	10.0	6.7	10.0	2.2	4.4	11.1	11.1	10.0	0.0	2.2
	行橋北校区	82	8.5	8.5	4.9	8.5	6.1	6.1	6.1	3.7	0.0	4.9
	行橋南校区	111	13.5	10.8	18.0	9.0	7.2	10.8	10.8	15.3	0.9	4.5
	今元校区	52	13.5	3.8	3.8	5.8	3.8	5.8	9.6	5.8	1.9	11.5
	菟島校区	13	15.4	7.7	7.7	0.0	7.7	15.4	7.7	7.7	0.0	7.7
	仲津校区	142	14.8	11.3	15.5	5.6	4.9	11.3	16.2	16.9	0.7	2.1
	泉校区	129	15.5	9.3	14.0	7.8	3.9	7.8	7.0	12.4	2.3	3.9
	今川校区	47	12.8	10.6	12.8	4.3	4.3	8.5	4.3	8.5	4.3	2.1
	稗田校区	44	2.3	0.0	2.3	4.5	0.0	4.5	2.3	4.5	2.3	0.0
	椿市校区	26	11.5	11.5	11.5	7.7	3.8	3.8	3.8	7.7	3.8	0.0
延永校区	111	10.8	6.3	8.1	4.5	6.3	5.4	10.8	15.3	0.0	3.6	

	調査数	ベットの世話	外出(手段、送り、送迎、付き添い等)	書類の理解や手続き	財産やお金の管理	定期的な声かけや見守り	急病などの緊急時の対応	災害時の避難・消火(情報伝達等)	詐欺や悪質な訪問販売等	介護に適した住まいの環境	その他	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	852	0.8	3.9	1.3	0.8	7.0	10.4	13.5	4.3	0.7	0.4	
要介護度別	要支援1	234	1.3	3.0	0.9	1.3	6.0	9.0	9.4	3.0	0.0	0.4
	要支援2	211	1.4	4.3	0.9	0.5	5.2	8.5	12.3	4.7	0.5	0.9
	要介護1	231	0.0	4.3	0.0	0.4	10.0	10.8	16.9	6.5	0.4	0.0
	要介護2	98	0.0	6.1	3.1	1.0	8.2	13.3	15.3	3.1	2.0	0.0
	要介護3	47	2.1	0.0	4.3	0.0	4.3	12.8	17.0	2.1	2.1	0.0
	要介護4	17	0.0	5.9	5.9	0.0	5.9	11.8	11.8	0.0	0.0	0.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	285	1.1	3.2	1.1	0.4	7.7	10.9	13.7	5.3	0.7	0.4
	夫婦のみふたり暮らし世帯	267	1.1	4.9	2.2	0.7	4.1	9.7	10.5	2.2	0.7	0.4
	その他の世帯	281	0.4	3.6	0.7	1.4	8.9	10.7	16.7	5.7	0.7	0.4
	無回答	19	0.0	5.3	0.0	0.0	10.5	10.5	5.3	0.0	0.0	0.0
小学校区別	行橋校区	90	0.0	4.4	0.0	1.1	7.8	12.2	14.4	2.2	0.0	0.0
	行橋北校区	82	1.2	2.4	2.4	1.2	9.8	8.5	18.3	4.9	0.0	1.2
	行橋南校区	111	2.7	3.6	0.9	1.8	8.1	9.9	13.5	4.5	0.0	0.0
	今元校区	52	0.0	5.8	0.0	0.0	3.8	11.5	19.2	5.8	1.9	0.0
	菟島校区	13	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	23.1	30.8	7.7	0.0	0.0
	仲津校区	142	1.4	2.1	2.8	0.0	4.2	7.0	6.3	5.6	1.4	0.7
	泉校区	129	0.0	4.7	0.8	1.6	7.8	14.7	13.2	3.9	1.6	0.0
	今川校区	47	0.0	2.1	0.0	0.0	10.6	12.8	21.3	4.3	0.0	0.0
	稗田校区	44	0.0	4.5	4.5	0.0	9.1	6.8	9.1	2.3	0.0	0.0
	椿市校区	26	0.0	0.0	0.0	0.0	11.5	11.5	19.2	7.7	0.0	0.0
延永校区	111	0.9	6.3	0.9	0.9	3.6	9.0	11.7	3.6	0.9	0.9	

## (4) 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況

- 介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況は、「特に利用していない」が54.0%と半数を超えて高い。利用している人では「配食」(10.2%)、「ゴミ出し」(8.5%)、「外出同行(通院、買い物など)」(8.4%)の順に続く。
- 要介護度別でみると、要介護2では「買い物(宅配は含まない)」(9.4%)や「外出同行(通院、買い物など)」(13.4%)の割合が他の要介護度に比べて高い。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯は多くの項目で、他の世帯構成に比べて高くなっており、特に「ゴミ出し」(18.0%)の割合が高い。
- 小学校区別にみると、「配食」は蓑島校区(20.0%)、「移送サービス(介護・福祉タクシー等)」は行橋南校区(10.0%)が、それぞれ他の小学校区に比べて高い。

【介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況】



第4章 在宅要介護認定者用調査

【介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況(要介護度別・世帯構成別・小学校区別)】

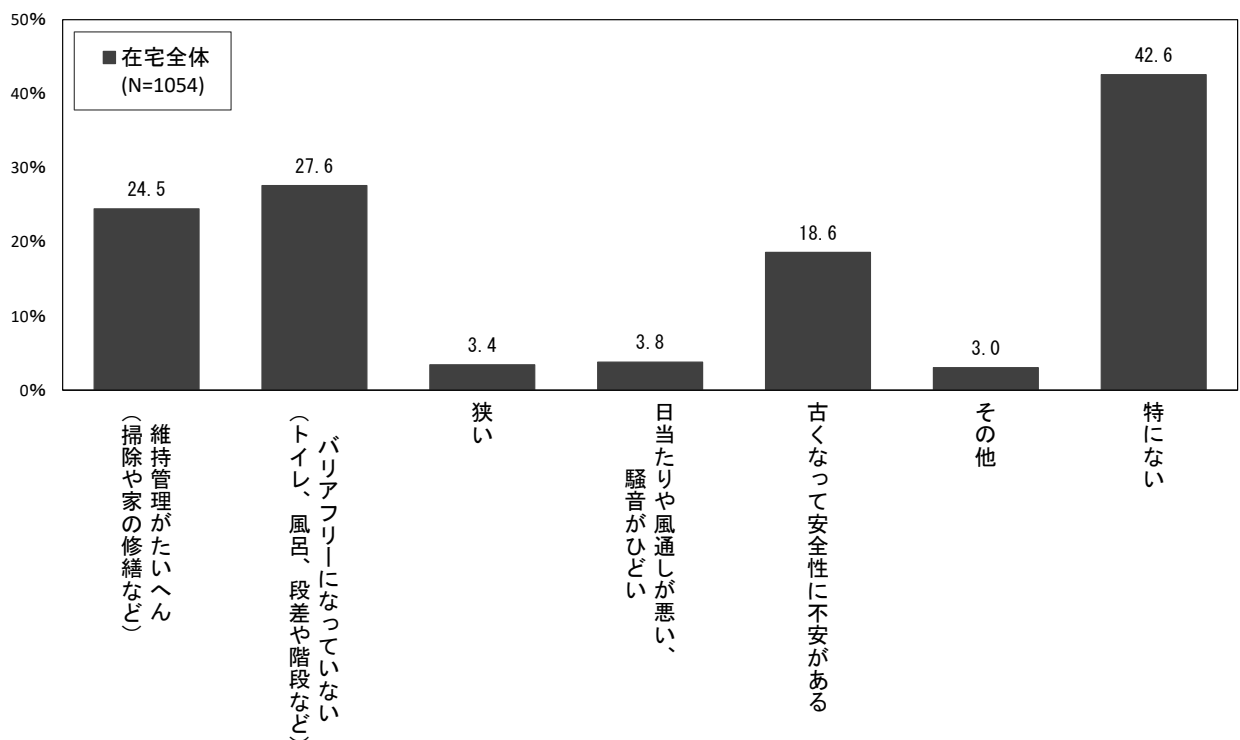
	調査数	配食	調理	掃除・洗濯	買い物(宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行(通院、買い物など)	移送サービス(介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンなどの定期的な通いの場	その他	特に利用していない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	1,054	10.2	3.5	7.2	7.5	8.5	8.4	8.0	3.8	3.6	2.7	54.0	
要介護度別	要支援1	287	7.3	3.1	5.6	7.7	7.3	6.3	2.1	4.5	2.1	53.0	
	要支援2	258	9.3	2.3	7.8	8.9	10.5	9.7	3.9	4.3	1.9	56.6	
	要介護1	280	12.1	3.6	8.2	7.5	8.6	8.6	6.1	4.3	1.8	52.5	
	要介護2	127	15.0	7.9	11.8	9.4	11.8	13.4	13.4	7.1	4.7	0.0	51.2
	要介護3	61	8.2	1.6	0.0	1.6	1.6	1.6	16.4	3.3	4.9	1.6	59.0
	要介護4	25	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	0.0	0.0	12.0	64.0
	要介護5	16	31.3	6.3	12.5	0.0	12.5	6.3	25.0	6.3	0.0	0.0	43.8
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	317	17.0	3.2	11.4	10.4	18.0	12.3	7.6	7.3	5.7	4.1	39.7
	夫婦のみふたり暮らし世帯	323	8.0	4.6	7.7	9.0	6.8	8.4	9.0	2.8	2.8	2.5	55.7
	その他の世帯	386	6.7	3.1	3.6	4.1	2.8	5.4	7.5	1.8	2.8	1.8	65.5
	無回答	28	7.1	0.0	3.6	3.6	0.0	7.1	7.1	3.6	0.0	0.0	35.7
小学校区別	行橋校区	121	9.9	4.1	7.4	5.8	10.7	7.4	8.3	2.5	6.6	1.7	57.9
	行橋北校区	107	10.3	3.7	6.5	7.5	6.5	5.6	8.4	3.7	3.7	4.7	52.3
	行橋南校区	130	7.7	3.8	6.2	7.7	3.1	10.8	10.0	6.2	5.4	3.1	48.5
	今元校区	71	7.0	4.2	12.7	5.6	11.3	8.5	8.5	4.2	0.0	1.4	56.3
	菟島校区	15	20.0	6.7	13.3	6.7	6.7	13.3	0.0	13.3	6.7	0.0	66.7
	仲津校区	171	10.5	2.9	4.7	10.5	11.1	8.8	9.9	4.1	2.9	3.5	48.5
	泉校区	155	16.1	4.5	7.7	9.7	8.4	9.0	7.1	3.2	2.6	3.2	57.4
	今川校区	62	6.5	1.6	4.8	1.6	9.7	8.1	4.8	0.0	0.0	1.6	58.1
	稗田校区	52	5.8	1.9	5.8	3.8	3.8	9.6	7.7	0.0	5.8	1.9	59.6
	橋市校区	35	2.9	0.0	2.9	2.9	2.9	0.0	8.6	2.9	2.9	2.9	51.4
	延永校区	130	12.3	3.1	10.0	8.5	11.5	10.0	6.2	5.4	3.8	1.5	53.8

## 6. 住まいについて

### (1) 住環境で困っていること【住居】

- 住居で困っていることは「特にない」が42.6%と最も高く、困っていることがある人では「バリアフリーになっていない（トイレ、風呂、段差や階段など）」(27.6%)、「維持管理がたいへん（掃除や家の修繕など）」(24.5%)、「古くなって安全性に不安がある」(18.6%)の順に続く。
- 要介護度別にみると、「バリアフリーになっていない（トイレ、風呂、段差や階段など）」は要支援2（30.6%）と要介護2（32.3%）が30%を超えている。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「維持管理がたいへん（掃除や家の修繕など）」(34.4%)が他の世帯構成に比べて高い。
- 小学校区別にみると、「バリアフリーになっていない（トイレ、風呂、段差や階段など）」は菟島校区（53.3%）や今元校区（35.2%）、泉校区（31.0%）の割合がそれぞれ30%を超えている。「日当たりや風通しが悪い、騒音がひどい」は菟島校区（20.0%）が他の小学校区に比べて高い。

【住居で困っていること】



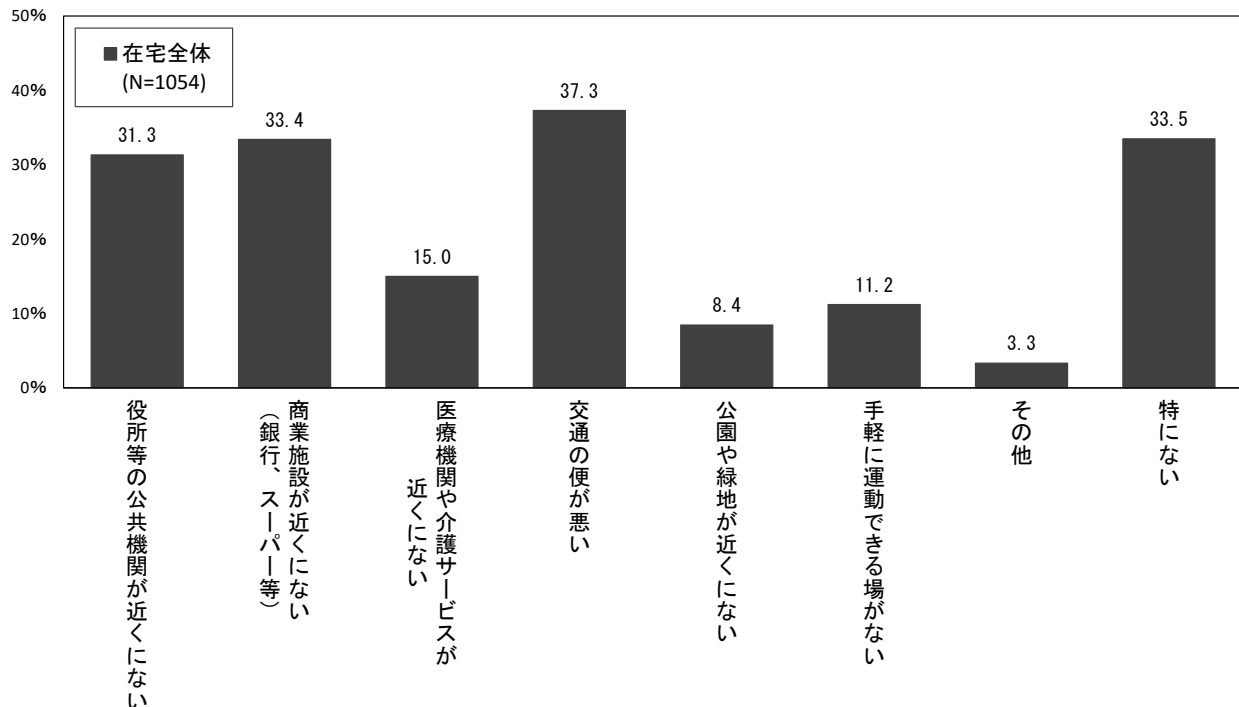
【住居で困っていること(要介護度別・世帯構成別・小学校区別)】

	調査数	(維持管理がたいへん （掃除や家の修繕など）	(バリアフリーになっていない （トイレ、ふろ、段差や階段など）	狭い	日当たりや風通しが悪い、 騒音がひどい	古くなって安全性に不安がある	その他	特にない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	1,054	24.5	27.6	3.4	3.8	18.6	3.0	42.6	
要介護度別	要支援1	287	24.4	21.6	1.4	2.1	18.5	4.2	44.6
	要支援2	258	20.9	30.6	4.7	4.7	17.1	2.3	45.0
	要介護1	280	27.9	29.3	3.9	3.2	18.6	2.5	40.4
	要介護2	127	29.9	32.3	1.6	4.7	18.1	3.1	36.2
	要介護3	61	18.0	27.9	6.6	6.6	24.6	3.3	44.3
	要介護4	25	12.0	28.0	8.0	4.0	24.0	0.0	40.0
	要介護5	16	25.0	18.8	6.3	12.5	18.8	6.3	56.3
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	317	34.4	26.5	1.6	4.1	22.7	3.5	38.5
	夫婦のみふたり暮らし世帯	323	23.2	27.9	3.4	3.7	15.8	3.4	41.2
	その他の世帯	386	18.4	28.0	5.2	3.6	17.9	2.6	47.4
	無回答	28	10.7	32.1	0.0	3.6	14.3	0.0	39.3
小学校区別	行橋校区	121	27.3	25.6	1.7	3.3	22.3	4.1	38.8
	行橋北校区	107	24.3	25.2	3.7	2.8	15.9	1.9	41.1
	行橋南校区	130	26.9	27.7	3.8	2.3	20.8	3.1	40.8
	今元校区	71	19.7	35.2	4.2	4.2	21.1	4.2	39.4
	菟島校区	15	26.7	53.3	0.0	20.0	20.0	0.0	40.0
	仲津校区	171	24.0	27.5	4.1	4.7	22.8	3.5	39.8
	泉校区	155	25.8	31.0	4.5	5.2	15.5	3.2	40.6
	今川校区	62	25.8	21.0	0.0	1.6	8.1	3.2	53.2
	稗田校区	52	25.0	17.3	1.9	1.9	19.2	5.8	51.9
	椿市校区	35	28.6	28.6	2.9	0.0	14.3	0.0	45.7
	延永校区	130	17.7	26.9	3.8	4.6	16.9	1.5	48.5

## (2) 住環境で困っていること【環境・地域】

- 自分の住む環境・地域で困っていることは「特にない」が33.5%を占め、困っていることがある人では「交通の便が悪い」(37.3%)、「商業施設が近くにない(銀行、スーパー等)」(33.4%)、「役所等の公共機関が近くにない」(31.3%)となっている。
- 要介護度別にみると、「役所等の公共機関が近くにない」「商業施設が近くにない(銀行、スーパー等)」「交通の便が悪い」は、要介護認定者に比べて要支援認定者の割合が高い傾向にある。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「その他」や「特にない」を除くすべての項目で他の世帯構成に比べて困っている割合が高い。
- 小学校区別にみると、葦島校区では「商業施設が近くにない(銀行、スーパー等)」(66.7%)や「交通の便が悪い」(66.7%)の割合が60%を超えており、他の小学校区に比べて高くなっている。

【環境・地域で困っていること】



【環境・地域で困っていること(要介護度別・世帯構成別・小学校区別)】

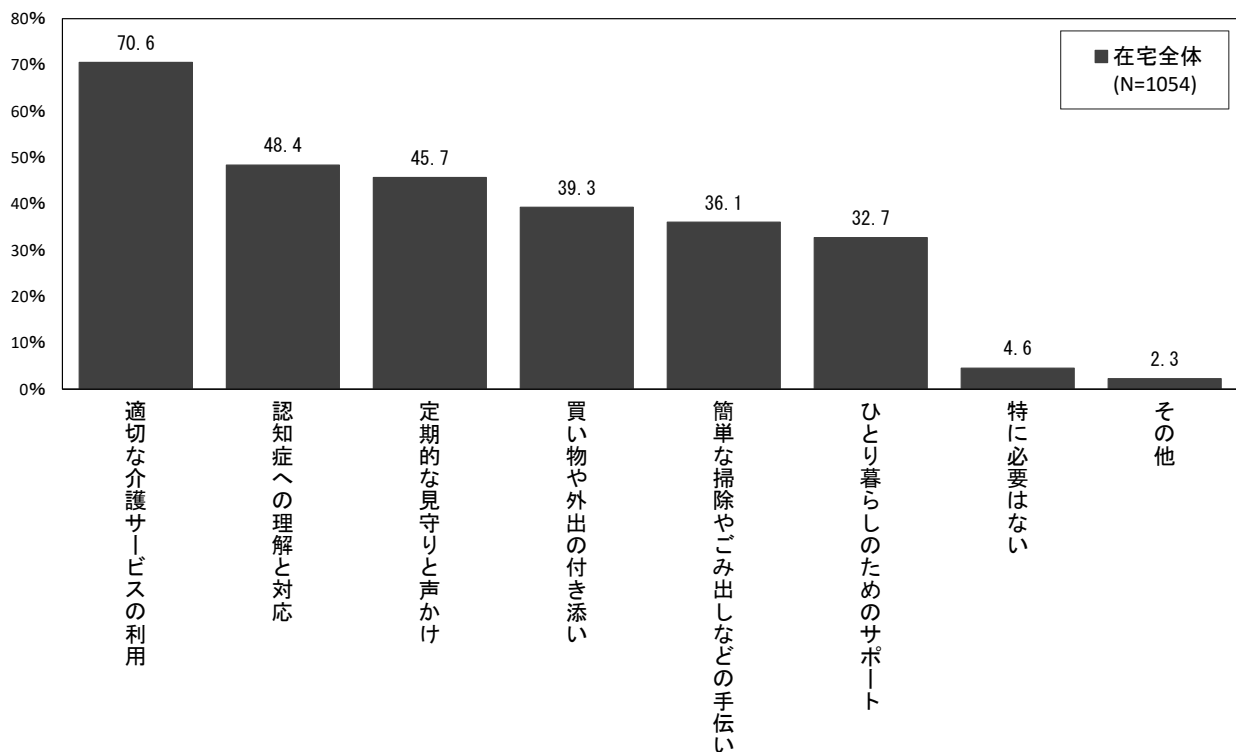
	調査数	役所等の公共機関が近くにない	(銀行・スーパー等)	医療機関や介護サービスが近くにない	交通の便が悪い	公園や緑地が近くにない	手軽に運動できる場がない	その他	特になし	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	1,054	31.3	33.4	15.0	37.3	8.4	11.2	3.3	33.5	
要介護度別	要支援1	287	29.6	34.8	15.0	37.3	7.0	11.1	3.5	33.4
	要支援2	258	34.1	34.5	14.7	39.1	10.5	14.7	3.9	34.9
	要介護1	280	37.9	36.8	17.9	41.4	8.6	10.4	2.1	28.6
	要介護2	127	26.0	26.8	11.0	32.3	7.9	7.1	3.1	37.8
	要介護3	61	19.7	27.9	13.1	32.8	9.8	13.1	3.3	32.8
	要介護4	25	20.0	28.0	16.0	24.0	8.0	4.0	4.0	40.0
	要介護5	16	6.3	12.5	6.3	12.5	0.0	6.3	12.5	56.3
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	317	34.7	37.2	17.0	39.1	9.1	12.6	2.8	31.2
	夫婦のみふたり暮らし世帯	323	31.0	33.1	14.2	38.4	9.0	9.0	4.0	29.7
	その他の世帯	386	29.3	30.8	14.5	35.5	7.8	12.2	3.1	38.9
	無回答	28	25.0	28.6	7.1	28.6	3.6	7.1	3.6	28.6
小学校区別	行橋校区	121	25.6	29.8	13.2	30.6	11.6	13.2	5.8	31.4
	行橋北校区	107	27.1	26.2	8.4	29.9	7.5	11.2	6.5	36.4
	行橋南校区	130	17.7	15.4	10.8	22.3	3.8	7.7	6.2	45.4
	今元校区	71	31.0	35.2	18.3	49.3	9.9	12.7	0.0	28.2
	菟島校区	15	46.7	66.7	40.0	66.7	6.7	6.7	0.0	20.0
	仲津校区	171	43.9	51.5	15.2	49.7	10.5	12.9	1.8	24.0
	泉校区	155	27.7	29.0	15.5	29.7	7.7	10.3	1.9	36.8
	今川校区	62	30.6	24.2	16.1	29.0	12.9	12.9	1.6	43.5
	稗田校区	52	48.1	51.9	26.9	63.5	5.8	13.5	3.8	21.2
	樺市校区	35	42.9	40.0	20.0	54.3	17.1	17.1	2.9	28.6
	延永校区	130	30.0	31.5	13.8	34.6	5.4	8.5	2.3	36.2

## 7. 高齢者福祉制度全般について

### (1) 認知症になっても自宅で暮らしていくために必要なこと

- 認知症になっても自宅で暮らしていくために必要なことは「適切な介護サービスの利用」が70.6%と最も高く、次いで「認知症への理解と対応」(48.4%)「定期的な見守りと声かけ」(45.7%)の順に続く。「特に必要はない」という割合は4.6%となっている。
- 要介護度別にみると、要介護5は「適切な介護サービスの利用」(87.5%)や「認知症への理解と対応」(81.3%)、「買い物や外出の付き添い」(56.3%)等が他の要介護度に比べて高い。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では、「簡単な掃除やごみ出しなどの手伝い」(42.3%)、「ひとり暮らしのためのサポート」(56.2%)が他の世帯構成に比べて高い。
- 小学校区別にみると、「適切な介護サービスの利用」は葦島校区(93.3%)、稗田校区(80.8%)の割合が80%を超えている。

【認知症になっても自宅で暮らしていくために必要なこと】



第4章 在宅要介護認定者用調査

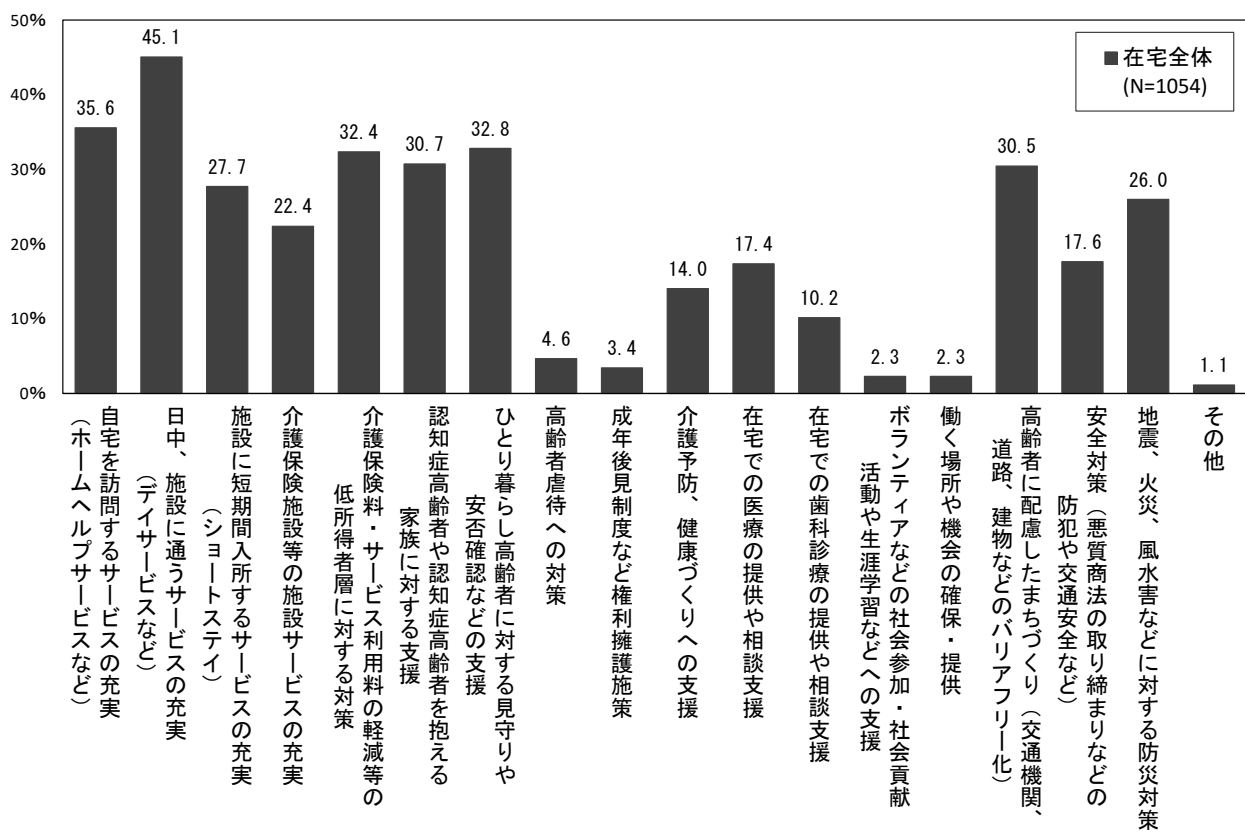
【認知症になっても自宅で暮らしていくために必要なこと(要介護度別・世帯構成別・小学校区別)】

	調査数	の適切な介護サービス	応認知症への理解と対	か定期的な見守りと声	添買い物や外出の付き	し簡単な掃除やごみ出	のひとり暮らしのため	特に必要はない	その他	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
在宅全体	1,054	70.6	48.4	45.7	39.3	36.1	32.7	4.6	2.3	
要介護度別	要支援1	287	56.8	38.0	34.5	34.8	32.8	30.7	9.1	3.1
	要支援2	258	73.3	43.0	48.1	40.7	39.9	36.4	3.9	1.9
	要介護1	280	76.8	59.6	55.0	41.1	36.1	32.5	2.1	1.1
	要介護2	127	83.5	55.9	52.8	46.5	41.7	33.1	0.8	2.4
	要介護3	61	67.2	45.9	27.9	29.5	24.6	27.9	6.6	3.3
	要介護4	25	64.0	44.0	52.0	32.0	28.0	24.0	4.0	8.0
	要介護5	16	87.5	81.3	50.0	56.3	43.8	43.8	0.0	0.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	317	69.7	47.0	49.8	42.3	42.3	56.2	3.2	3.5
	夫婦のみふたり暮らし世帯	323	70.9	50.5	50.5	42.7	39.6	27.6	3.7	2.2
	その他の世帯	386	72.3	48.4	38.6	33.7	28.8	19.2	6.0	1.6
	無回答	28	53.6	39.3	42.9	42.9	25.0	14.3	10.7	0.0
小学校区別	行橋校区	121	70.2	52.1	46.3	42.1	37.2	31.4	5.8	0.0
	行橋北校区	107	70.1	37.4	41.1	37.4	32.7	20.6	5.6	3.7
	行橋南校区	130	73.8	53.1	50.8	37.7	36.9	31.5	3.1	1.5
	今元校区	71	74.6	45.1	56.3	43.7	45.1	47.9	2.8	2.8
	蓑島校区	15	93.3	46.7	53.3	46.7	53.3	46.7	0.0	0.0
	仲津校区	171	66.1	48.0	40.4	42.7	31.0	33.9	5.3	2.3
	泉校区	155	70.3	49.0	42.6	36.1	38.1	37.4	5.2	2.6
	今川校区	62	67.7	43.5	46.8	32.3	30.6	37.1	6.5	3.2
	稗田校区	52	80.8	51.9	42.3	42.3	28.8	25.0	5.8	1.9
	樺市校区	35	68.6	54.3	48.6	40.0	40.0	34.3	2.9	0.0
	延永校区	130	68.5	50.8	49.2	36.9	36.9	28.5	2.3	3.8

(2) 高齢者施策・支援で特に大切だと思うもの

- 高齢者施策・支援で特に大切だと思うものは「日中、施設に通うサービスの充実」が45.1%と最も高く、次いで「自宅を訪問するサービスの充実（ホームヘルプサービスなど）」（35.6%）、「ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援」（32.8%）、「介護保険料・サービス利用料の軽減等の低所得者層に対する対策」（32.4%）、「認知症高齢者や認知症高齢者を抱える家族に対する支援」（30.7%）が上位5項目にあがっている。
- 要介護度別にみると、要支援認定者は要介護認定者に比べて「ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援」の割合が高い傾向にある。
- 世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯では「自宅を訪問するサービスの充実（ホームヘルプサービスなど）」（43.2%）や「ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援」（60.6%）が他の世帯構成に比べて高い。

【高齢者施策・支援で特に大切だと思うもの】



第4章 在宅要介護認定者用調査

【高齢者施策・支援で特に大切だと思うもの(要介護度別・世帯構成別)】

	調査数	自宅を訪問するサービスの充実 (ホームヘルプサービスなど)	日中、施設に通うサービスの充実 (デイサービスなど)	施設に短期間入所するサービスの 充実(ショートステイ)	介護保険施設等の施設サービスの 充実	介護保険料・サービス利用料の軽 減等の低所得者層に対する対策	認知症高齢者や認知症高齢者を抱 える家族に対する支援	ひとり暮らし高齢者に対する見守 りや安否確認などの支援	高齢者虐待への対策	成年後見制度など権利擁護施策	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体	1,054	35.6	45.1	27.7	22.4	32.4	30.7	32.8	4.6	3.4	
要介護度別	要支援1	287	30.0	35.2	19.2	15.3	28.2	18.5	36.9	5.9	2.4
	要支援2	258	33.7	43.8	21.3	19.8	29.8	27.5	38.4	3.9	3.5
	要介護1	280	39.6	53.2	35.4	27.9	31.4	42.1	30.7	2.9	3.2
	要介護2	127	42.5	45.7	35.4	27.6	43.3	34.6	27.6	7.9	4.7
	要介護3	61	31.1	49.2	32.8	19.7	41.0	37.7	19.7	4.9	3.3
	要介護4	25	32.0	48.0	32.0	32.0	36.0	32.0	8.0	4.0	4.0
	要介護5	16	62.5	75.0	62.5	50.0	37.5	43.8	37.5	0.0	12.5
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	317	43.2	41.6	20.8	17.4	25.9	24.0	60.6	5.0	2.8
	夫婦のみふたり暮らし世帯	323	32.5	42.4	27.6	24.5	36.2	33.4	23.5	4.0	5.0
	その他の世帯	386	31.3	50.0	34.5	24.4	35.2	34.7	18.9	5.2	2.8
	無回答	28	42.9	46.4	14.3	28.6	21.4	21.4	17.9	0.0	0.0

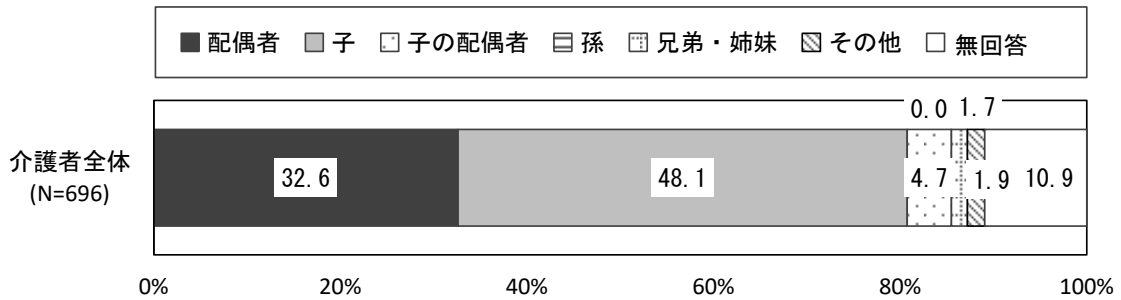
	調査数	介護予防、健康づくりへの支援	在宅での医療の提供や相談支援	在宅での歯科診療の提供や相談支 援	ボランティアなどの社会参加・支 援会貢献活動や生涯学習などへの支 援	働く場所や機会の確保・提供	高齢者に配慮したまちづくり(交 通機関、道路、建物などのバリア フリー化)	安全対策(悪質商法の取り締まり などの防犯や交通安全など)	地震、火災、風水害などに対する 防災対策	その他
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
在宅全体	1,054	14.0	17.4	10.2	2.3	2.3	30.5	17.6	26.0	1.1
要介護度別	要支援1	287	13.6	13.6	6.3	2.1	1.7	30.7	16.4	1.7
	要支援2	258	15.9	18.2	10.9	3.1	2.3	33.7	20.5	0.8
	要介護1	280	13.9	17.9	10.4	2.1	2.5	32.9	20.7	1.1
	要介護2	127	14.2	22.0	18.1	1.6	3.1	26.0	15.0	0.8
	要介護3	61	14.8	13.1	9.8	1.6	1.6	21.3	9.8	0.0
	要介護4	25	4.0	20.0	8.0	4.0	4.0	20.0	8.0	4.0
	要介護5	16	6.3	37.5	6.3	0.0	0.0	18.8	6.3	0.0
世帯構成別	ひとり暮らし世帯	317	14.2	15.8	8.2	3.5	1.6	29.3	24.3	0.3
	夫婦のみふたり暮らし世帯	323	12.4	16.1	9.3	1.9	2.5	36.8	15.2	1.5
	その他の世帯	386	15.5	19.4	12.2	1.8	2.8	27.2	14.8	1.6
	無回答	28	10.7	21.4	14.3	0.0	0.0	14.3	10.7	0.0

## 8. 主な介護者の基本属性

### (1) 主な介護者の続柄

- 調査対象本人からみた主な介護者の続柄は「子」が48.1%と最も高く、次いで「配偶者」(32.6%)、「子の配偶者」(4.7%)となっている。

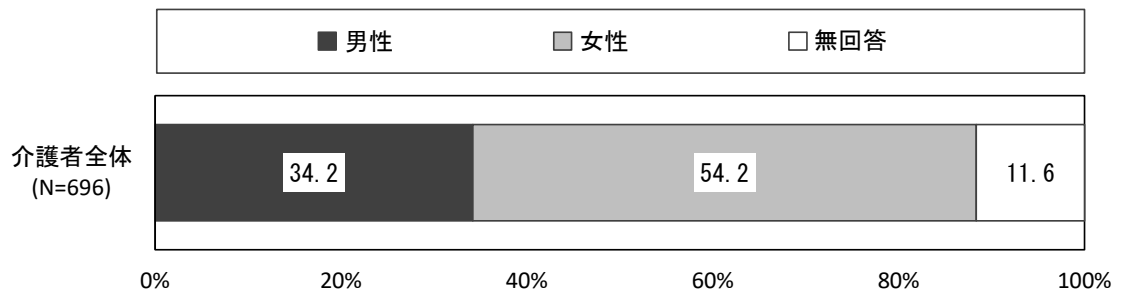
【主な介護者の続柄】



### (2) 主な介護者の性別

- 主な介護者の性別は「女性」が54.2%と半数以上を占め、「男性」は34.2%となっている。

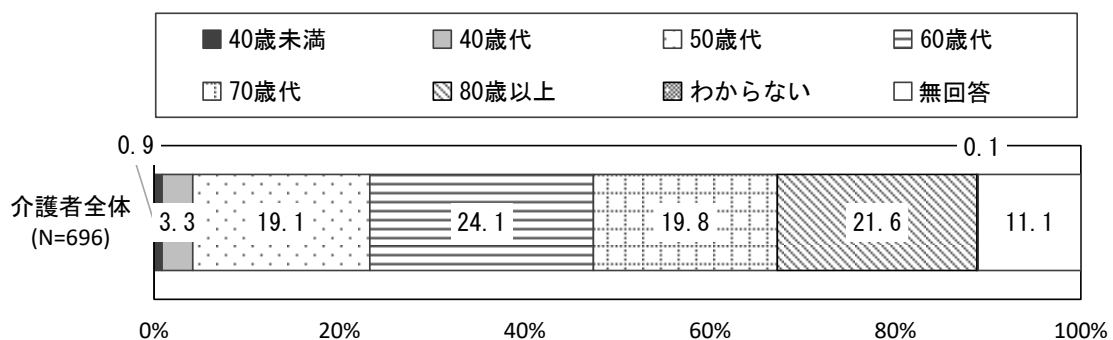
【主な介護者の性別】



### (3) 主な介護者の年齢

- 主な介護者の年齢は「60歳代」が24.1%と最も高く、次いで「80歳以上」(21.6%)、「70歳代」(19.8%)となっており、70歳以上が41.4%を占める。
- 主な介護者の性別にみると、女性は男性に比べて「50歳代」(23.6%)、「60歳代」(29.4%)の割合が高い。
- 要介護者の年齢別にみると、要介護者が70～74歳の場合「70歳代」が60.0%と高い。また、要介護者が80～84歳の場合「80歳以上」が37.5%と最も高い。

【主な介護者の年齢】



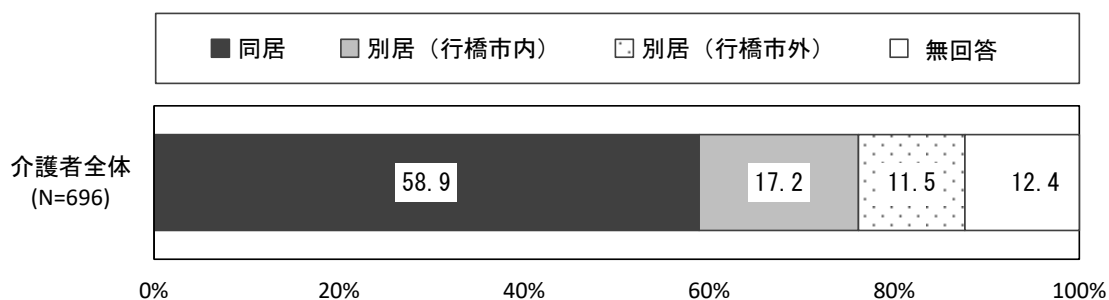
【主な介護者の年齢(主な介護者の性別・要介護者の年齢別・要介護度別)】

		調査数	40歳未満	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	わからない	無回答
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
介護者全体		696	0.9	3.3	19.1	24.1	19.8	21.6	0.1	11.1
性別	(主な介護者) 男性	238	1.3	4.2	18.1	23.9	25.2	26.9	0.0	0.4
	(主な介護者) 女性	377	0.8	3.2	23.6	29.4	19.9	22.3	0.3	0.5
	(主な介護者) 無回答	81	0.0	1.2	1.2	0.0	3.7	2.5	0.0	91.4
年齢別	(要介護者) 65～69歳	17	17.6	5.9	5.9	47.1	11.8	0.0	0.0	11.8
	(要介護者) 70～74歳	55	1.8	10.9	3.6	12.7	60.0	3.6	0.0	7.3
	(要介護者) 75～79歳	99	1.0	7.1	17.2	2.0	57.6	6.1	0.0	9.1
	(要介護者) 80～84歳	152	0.7	3.9	34.9	2.6	9.2	37.5	0.0	11.2
	(要介護者) 85歳以上	373	0.0	0.8	16.1	39.4	8.6	22.8	0.3	12.1
要介護度別	(要介護者) 要支援1	137	1.5	4.4	14.6	26.3	19.7	13.1	0.0	20.4
	(要介護者) 要支援2	162	0.6	3.7	20.4	24.7	14.2	19.1	0.0	17.3
	(要介護者) 要介護1	214	0.5	2.8	21.5	24.3	19.6	24.8	0.5	6.1
	(要介護者) 要介護2	106	0.9	1.9	23.6	22.6	17.0	28.3	0.0	5.7
	(要介護者) 要介護3	48	2.1	6.3	14.6	16.7	33.3	25.0	0.0	2.1
	(要介護者) 要介護4	20	0.0	0.0	10.0	10.0	50.0	25.0	0.0	5.0
	(要介護者) 要介護5	9	0.0	0.0	0.0	66.7	22.2	11.1	0.0	0.0

(4) 同居の状況

- 要介護者との同居の状況は「同居」が 58.9%と最も高く、次いで「別居(行橋市内)」(17.2%)、「別居(行橋市外)」(11.5%)の順に続く。
- 主な介護者の属性別にみると、男性は女性に比べて「同居」(69.3%)の割合が高い。『別居』(「行橋市内」と「行橋市外」を合わせたもの)は、50歳代(52.7%)、60歳代(48.9%)が高い。
- 要介護者の属性別にみると、男性は女性に比べて「同居」(70.0%)の割合が高い。
- 要介護認定別にみると、「同居」の割合は、要介護3では85.4%、要介護4では85.0%と他の要介護度と比べると高い。

【同居の状況】



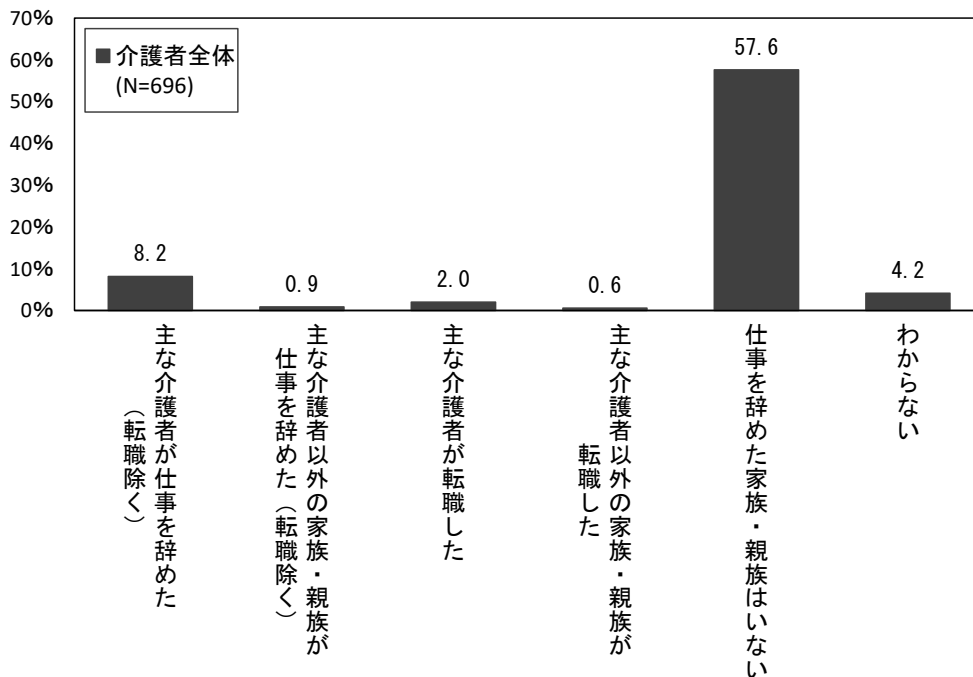
## 【同居の状況(性別・年齢別・要介護度別)】

		調査数	同居	別居 (行橋市内)	別居 (行橋市外)	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)
介護者全体		696	58.9	17.2	11.5	12.4
性別	(主な介護者) 男性	238	69.3	17.2	12.2	1.3
	(主な介護者) 女性	377	64.5	20.2	13.3	2.1
	(主な介護者) 無回答	81	2.5	3.7	1.2	92.6
	(要介護者) 男性	230	70.0	10.0	10.4	9.6
	(要介護者) 女性	466	53.4	20.8	12.0	13.7
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	6	50.0	16.7	16.7	16.7
	(主な介護者) 40歳代	23	47.8	21.7	26.1	4.3
	(主な介護者) 50歳代	133	45.9	30.1	22.6	1.5
	(主な介護者) 60歳代	168	50.0	31.0	17.9	1.2
	(主な介護者) 70歳代	138	87.0	7.2	3.6	2.2
	(主な介護者) 80歳代	150	87.3	6.7	5.3	0.7
	(主な介護者) 不明	1	0.0	0.0	0.0	100.0
	(要介護者) 65～69歳	17	64.7	17.6	5.9	11.8
	(要介護者) 70～74歳	55	81.8	5.5	5.5	7.3
	(要介護者) 75～79歳	99	67.7	14.1	4.0	14.1
	(要介護者) 80～84歳	152	59.9	17.1	11.8	11.2
(要介護者) 85歳以上	373	52.5	19.8	14.5	13.1	
要介護度別	(要介護者) 要支援1	137	41.6	16.8	18.2	23.4
	(要介護者) 要支援2	162	46.3	20.4	16.0	17.3
	(要介護者) 要介護1	214	64.5	17.3	10.7	7.5
	(要介護者) 要介護2	106	70.8	18.9	4.7	5.7
	(要介護者) 要介護3	48	85.4	8.3	2.1	4.2
	(要介護者) 要介護4	20	85.0	5.0	0.0	10.0
	(要介護者) 要介護5	9	77.8	22.2	0.0	0.0

(5) 仕事の離職・転職の状況

- 家族・親族等の中で、要介護者の介護を理由とした離職・転職の状況は「仕事を辞めた家族・親族はいない」が57.6%を占めており、最も高い。「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」(8.2%)と「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」(0.9%)を合わせた9.1%が離職している。
- 主な介護者の性別では、大きな差はみられない。
- 主な介護者が40歳未満、60歳代、70歳代は「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が10%を超えて高い。

【仕事の離職・転職の状況】



【仕事の離職・転職の状況(主な介護者の性別・年齢別)】

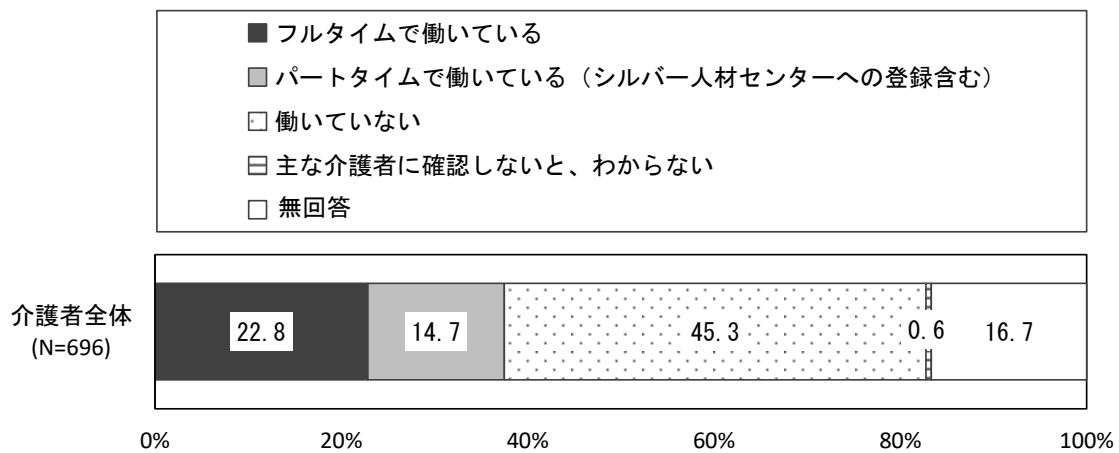
	調査数	主な介護者が仕事を辞めた (転職除く)	親族が仕事を辞めた (転職除く)	主な介護者が転職した	親族が転職した	仕事を辞めた家族・親族はいない	わからない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
介護者全体	696	8.2	0.9	2.0	0.6	57.6	4.2	
性別	(主な介護者) 男性	238	9.2	0.8	2.5	0.8	61.8	5.5
	(主な介護者) 女性	377	9.3	1.1	2.1	0.5	65.8	4.2
	(主な介護者) 無回答	81	0.0	0.0	0.0	0.0	7.4	0.0
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	6	16.7	0.0	0.0	0.0	66.7	16.7
	(主な介護者) 40歳代	23	8.7	0.0	8.7	0.0	78.3	0.0
	(主な介護者) 50歳代	133	7.5	0.8	3.8	0.0	74.4	1.5
	(主な介護者) 60歳代	168	16.1	1.2	3.6	0.6	62.5	4.2
	(主な介護者) 70歳代	138	10.9	0.7	0.7	0.7	60.9	6.5
	(主な介護者) 80歳代	150	1.3	1.3	0.0	1.3	59.3	6.0
	(主な介護者) 不明	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

## 9. 主な介護者の勤務形態について

### (1) 主な介護者の勤務形態

- 主な介護者の勤務形態は「働いていない」が45.3%と最も高い。「フルタイムで働いている」(22.8%)と「パートタイムで働いている(シルバー人材センターへの登録含む)」(14.7%)を合わせると37.5%が働きながら介護を行っている。
- 主な介護者の性別にみると、男性は女性に比べて「フルタイムで働いている」(31.5%)、「働いていない」(52.9%)、女性は男性に比べて「パートタイムで働いている」(20.7%)がそれぞれ高い。
- 主な介護者の年齢別にみると、「フルタイムで働いている」は40歳未満(50.0%)、40歳代(56.5%)、50歳代(54.9%)が高い。70歳以上になると「働いていない」が70%を超えて高い。

【主な介護者の勤務形態】



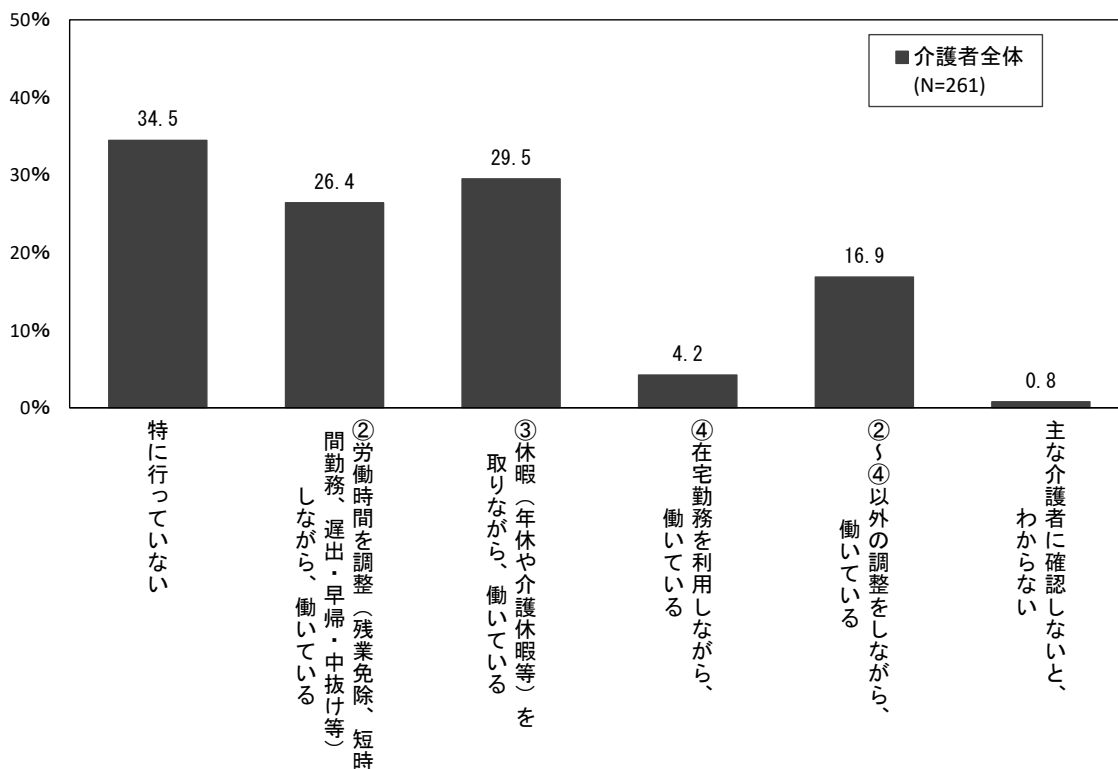
【主な介護者の勤務形態(主な介護者の性別・年齢別)】

	調査数	フルタイムで働いている	パートタイムで働いている (シルバー人材センターへの登録含む)	働いていない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	
介護者全体	696	22.8	14.7	45.3	0.6	16.7	
性別	(主な介護者) 男性	238	31.5	10.1	52.9	0.4	5.0
	(主な介護者) 女性	377	22.0	20.7	49.1	0.8	7.4
	(主な介護者) 無回答	81	1.2	0.0	4.9	0.0	93.8
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	6	50.0	16.7	33.3	0.0	0.0
	(主な介護者) 40歳代	23	56.5	13.0	21.7	0.0	8.7
	(主な介護者) 50歳代	133	54.9	20.3	21.8	0.8	2.3
	(主な介護者) 60歳代	168	28.0	29.8	35.1	0.6	6.5
	(主な介護者) 70歳代	138	5.1	10.9	73.9	0.7	9.4
	(主な介護者) 80歳代	150	9.3	4.0	78.7	0.7	7.3
	(主な介護者) 不明	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

(2) 働き方の調整等の有無

- 働いている主な介護者のうち、働き方の調整等は「特に行っていない」が34.5%と最も高く、何らかの調整等を行っている人は「③休暇（年休や介護休暇等）を取りながら、働いている」（29.5%）、「②労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）しながら、働いている」（26.4%）が高い。
- 主な介護者の勤務形態別にみると、フルタイム勤務はパートタイム勤務に比べて「特に行っていない」（36.5%）、「③休暇（年休や介護休暇等）を取りながら、働いている」（36.5%）の割合が高い。

【働き方の調整等の有無】



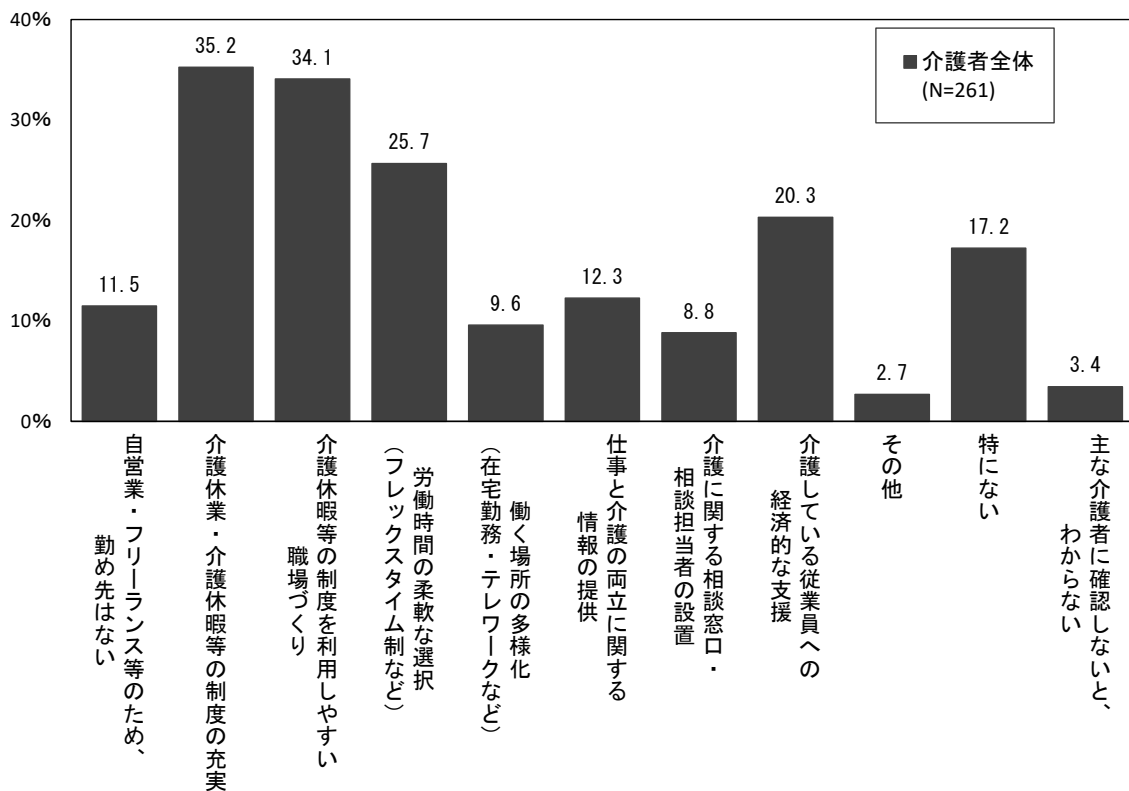
【働き方の調整等の有無（主な介護者の勤務形態別）】

勤務形態	調査数	特に行っていない	②労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）しながら、働いている	③休暇（年休や介護休暇等）を取りながら、働いている	④在宅勤務を利用しながら、働いている	②③④以外の調整をしながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
介護者全体	261	34.5	26.4	29.5	4.2	16.9	0.8	
形態別	(主な介護者)フルタイム勤務	159	36.5	18.9	36.5	6.3	13.8	0.6
	(主な介護者)パートタイム勤務	102	31.4	38.2	18.6	1.0	21.6	1.0

(3) 仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援

- 仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が35.2%と最も高く、次いで「介護休暇等の制度を利用しやすい職場づくり」(34.1%)、「労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)」(25.7%)、「介護している従業員への経済的な支援」(20.3%)の順に高い。
- 主な介護者の勤務形態別にみると、フルタイム勤務はパートタイム勤務に比べて「介護休業・介護休暇等の制度の充実」(38.4%)の割合が8.0ポイント高い一方、パートタイム勤務はフルタイム勤務より「介護している従業員への経済的な支援」(22.5%)や「特にない」(22.5%)が高い。

【仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援】



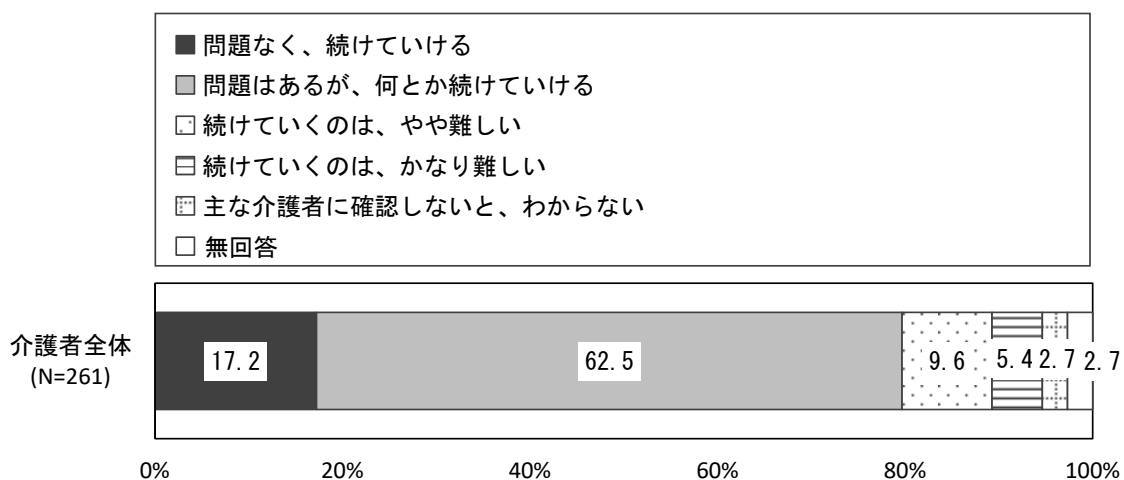
【仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援(主な介護者の勤務形態別)】

勤務形態	調査数	自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	介護休業・介護休暇等の制度の充実	介護休暇等の制度を利用しやすい職場づくり	労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)	働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	介護している従業員への経済的な支援	その他	特にない	主な介護者に確認しないと、わからない
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
介護者全体	261	11.5	35.2	34.1	25.7	9.6	12.3	8.8	20.3	2.7	17.2	3.4
(主な介護者)フルタイム勤務	159	12.6	38.4	35.8	27.0	11.9	15.1	11.9	18.9	2.5	13.8	3.1
(主な介護者)パートタイム勤務	102	9.8	30.4	31.4	23.5	5.9	7.8	3.9	22.5	2.9	22.5	0.0

(4) 介護と就労の両立の見込み

- 今後も働きながら介護を続けていくことの見込みについて「問題はあるが、何とか続けていける」が62.5%と最も高く、「問題なく、続けていける」(17.2%)を合わせた『就労継続可能』の割合は79.7%となっている。一方、「続けていくのは、やや難しい」(9.6%)と「続けていくのは、かなり難しい」(5.4%)を合わせた『就労継続困難』は15.0%となっている。
- 主な介護者の勤務形態別にみると、『就労継続可能』は、フルタイム勤務が81.1%、パートタイム勤務は77.4%とフルタイム勤務の方が高い。
- 要介護者の要介護度別にみると、『就労継続困難』の割合は要介護3が27.3%と他の要介護度別に比べて高く、要介護4以上になるとその割合は低くなる。

【介護と就労の両立の見込み】



## 【介護と就労の両立の見込み(主な介護者の性別・年齢別・勤務形態別・要介護者の要介護度別)】

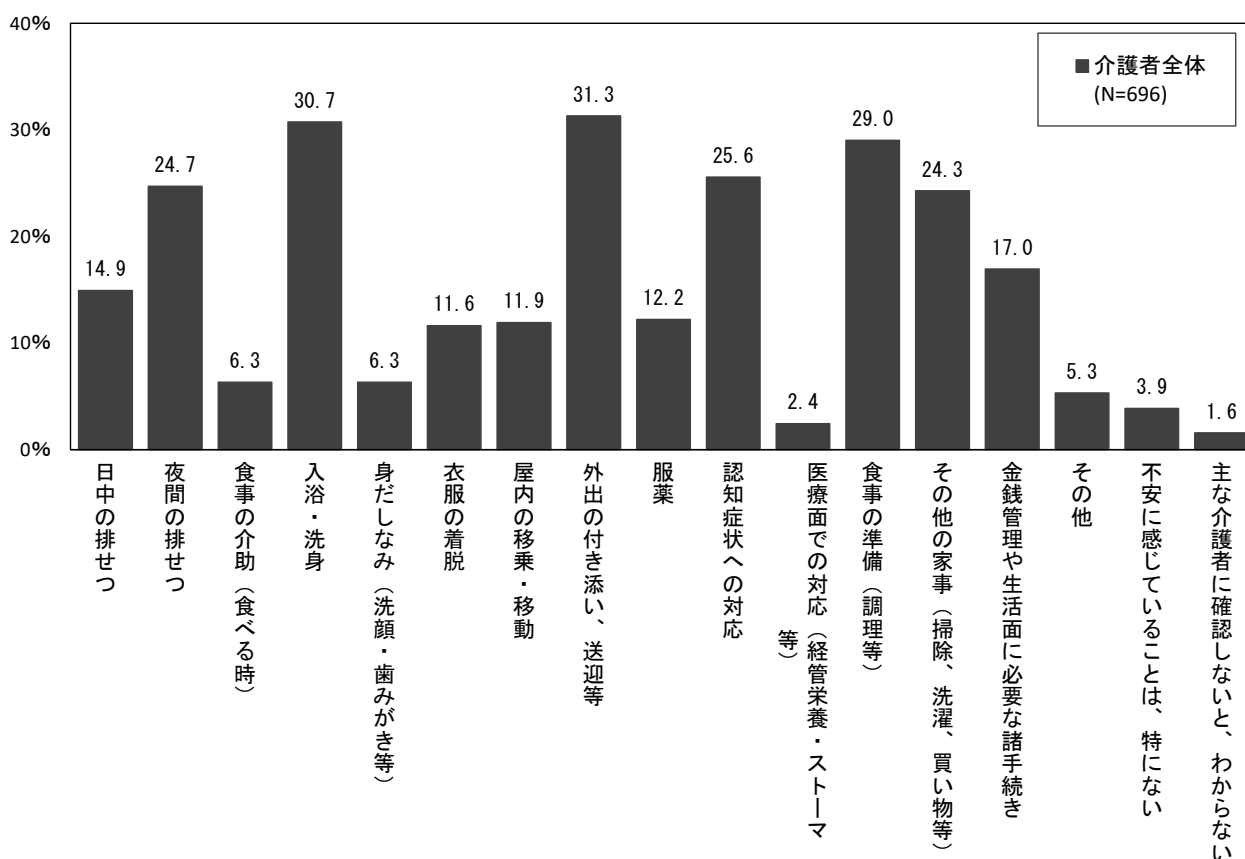
		調査数	問題なく、 続けていける	問題はあるが、 何とか続けていける	続けていくのは、 やや難しい	続けていくのは、 かなり難しい	主な介護者に確認しないと、 わからない	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
介護者全体		261	17.2	62.5	9.6	5.4	2.7	2.7
性別	(主な介護者) 男性	99	19.2	62.6	6.1	5.1	3.0	4.0
	(主な介護者) 女性	161	16.1	62.1	11.8	5.6	2.5	1.9
	(主な介護者) 無回答	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	4	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	(主な介護者) 40歳代	16	25.0	56.3	12.5	0.0	6.3	0.0
	(主な介護者) 50歳代	100	13.0	70.0	8.0	3.0	4.0	2.0
	(主な介護者) 60歳代	97	16.5	62.9	8.2	7.2	2.1	3.1
	(主な介護者) 70歳代	22	18.2	50.0	18.2	13.6	0.0	0.0
	(主な介護者) 80歳代	20	20.0	60.0	15.0	0.0	0.0	5.0
	(主な介護者) 不明	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
形 勤 態 務	(主な介護者) フルタイム勤務	159	19.5	61.6	6.9	5.7	2.5	3.8
	(主な介護者) パートタイム勤務	102	13.7	63.7	13.7	4.9	2.9	1.0
要 介 護 度 別	(要介護者) 要支援1	56	28.6	41.1	8.9	3.6	8.9	8.9
	(要介護者) 要支援2	53	11.3	77.4	5.7	5.7	0.0	0.0
	(要介護者) 要介護1	90	14.4	70.0	10.0	3.3	1.1	1.1
	(要介護者) 要介護2	41	17.1	53.7	12.2	14.6	0.0	2.4
	(要介護者) 要介護3	11	9.1	63.6	27.3	0.0	0.0	0.0
	(要介護者) 要介護4	6	16.7	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	(要介護者) 要介護5	4	25.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0

## 10. 介護について

### (1) 介護者が不安に感じる介護等

- 主な介護者が不安に感じる介護等は「外出の付き添い、送迎等」が31.3%と最も高く、次いで「入浴・洗身」(30.7%)、「食事の準備(調理等)」(29.0%)、「認知症状への対応」(25.6%)、「夜間の排せつ」(24.7%)が上位5項目にあがっている。
- 主な介護者の勤務形態別にみると、パートタイム勤務はフルタイム勤務に比べて「入浴・洗身」(35.3%)が特に高い。また、フルタイム勤務はパートタイム勤務に比べて「外出の付き添い、送迎等」(40.3%)、「食事の準備(調理等)」(39.0%)が特に高い。無職の介護者は、就労者に比べて「衣服の着脱」(18.7%)や「医療面での対応(経管栄養・ストーマ等)」(3.5%)の割合が高い。
- 主な介護者の就労継続見込別にみると、『就労継続困難』は「日中の排せつ」(28.2%)、「夜間の排せつ」(35.9%)、「認知症状への対応」(38.5%)、「食事の準備(調理等)」(41.0%)が高い。これらの介護等の不安が、今後の就労継続見込に影響していると推察される。
- 要介護者の要介護度別にみると、「夜間の排せつ」は要介護4(45.0%)と要介護5(44.4%)が40%を超えている。

【不安に感じる介護等】



【不安に感じる介護等(主な介護者の性別・年齢別・勤務形態別・就労見込別・要介護者の要介護度別)】

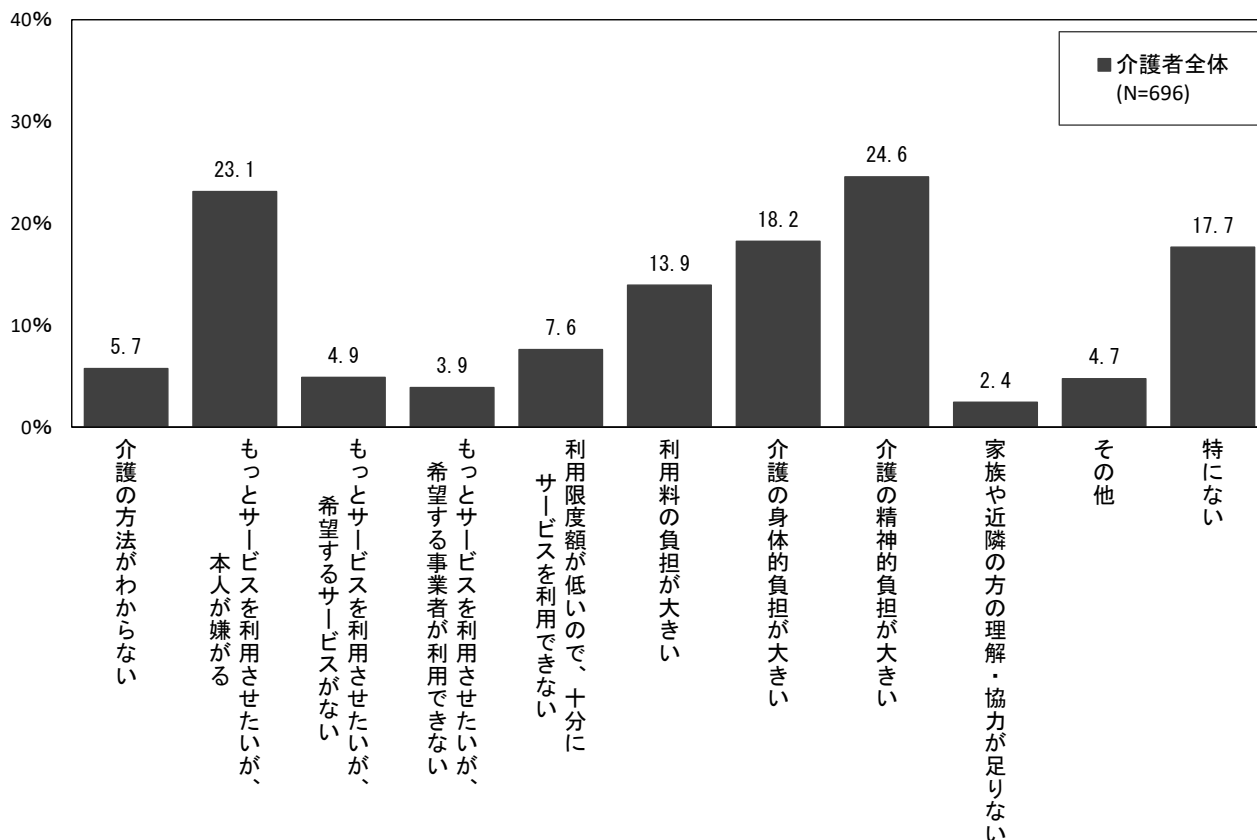
	調査数	日中の排せつ	夜間の排せつ	食事の介助(食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ(洗面・歯みがき等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
介護者全体	696	14.9	24.7	6.3	30.7	6.3	11.6	11.9	31.3	12.2	
性別	(主な介護者) 男性	238	17.2	25.2	8.0	33.6	8.8	16.8	13.4	34.5	14.3
	(主な介護者) 女性	377	16.2	28.6	6.4	34.2	6.1	10.6	13.3	34.5	13.0
	(主な介護者) 無回答	81	2.5	4.9	1.2	6.2	0.0	1.2	1.2	7.4	2.5
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	6	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	33.3	33.3	33.3
	(主な介護者) 40歳代	23	17.4	30.4	4.3	17.4	0.0	0.0	4.3	30.4	8.7
	(主な介護者) 50歳代	133	15.8	27.8	5.3	29.3	6.0	9.0	12.8	33.8	13.5
	(主な介護者) 60歳代	168	17.3	25.6	7.7	36.3	5.4	7.7	10.7	29.2	13.1
	(主な介護者) 70歳代	138	15.2	28.3	6.5	35.5	8.7	18.8	13.8	32.6	15.2
	(主な介護者) 80歳代	150	17.3	27.3	8.0	37.3	10.0	18.7	16.0	43.3	12.0
	(主な介護者) 不明	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	形態別	(主な介護者) フルタイム勤務	159	16.4	24.5	6.3	28.3	5.7	5.7	14.5	40.3
(主な介護者) パートタイム勤務		102	17.6	33.3	5.9	35.3	8.8	6.9	10.8	32.4	15.7
(主な介護者) 無職		315	17.5	27.9	7.6	36.8	7.6	18.7	14.0	34.3	13.0
見込就労	(主な介護者) 就労継続可能	208	15.9	26.4	5.3	31.3	6.7	6.7	11.5	38.5	16.8
	(主な介護者) 就労継続困難	39	28.2	35.9	12.8	33.3	10.3	5.1	23.1	35.9	10.3
要介護度別	(要介護者) 要支援1	137	8.8	13.1	5.8	26.3	2.9	3.6	8.0	31.4	12.4
	(要介護者) 要支援2	162	12.3	17.3	4.9	30.2	5.6	15.4	6.8	36.4	4.3
	(要介護者) 要介護1	214	15.4	25.7	6.1	29.9	7.5	11.2	15.4	32.2	17.3
	(要介護者) 要介護2	106	22.6	39.6	5.7	34.9	7.5	16.0	13.2	27.4	14.2
	(要介護者) 要介護3	48	18.8	33.3	10.4	43.8	8.3	10.4	25.0	31.3	10.4
	(要介護者) 要介護4	20	25.0	45.0	15.0	30.0	15.0	25.0	10.0	10.0	15.0
(要介護者) 要介護5	9	11.1	44.4	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	

	調査数	応認	ト(医療	理食	買(そ	続面	金銭	その他	不安	か認
		知	ト(医療	理食	買(そ	続面	金銭	その他	不安	か認
	(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
介護者全体	696	25.6	2.4	29.0	24.3	17.0	5.3	3.9	1.6	
性別	(主な介護者) 男性	238	28.6	2.9	39.1	30.3	21.8	5.9	2.1	1.3
	(主な介護者) 女性	377	28.4	2.7	28.1	24.4	17.0	6.1	5.6	1.6
	(主な介護者) 無回答	81	3.7	0.0	3.7	6.2	2.5	0.0	1.2	2.5
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	6	33.3	16.7	33.3	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	(主な介護者) 40歳代	23	43.5	4.3	17.4	34.8	21.7	4.3	4.3	0.0
	(主な介護者) 50歳代	133	33.1	1.5	36.8	27.1	24.1	5.3	5.3	1.5
	(主な介護者) 60歳代	168	29.8	4.8	33.9	25.0	16.7	6.0	4.8	1.8
	(主な介護者) 70歳代	138	25.4	1.4	31.2	21.7	17.4	8.0	5.1	1.4
	(主な介護者) 80歳代	150	23.3	2.0	30.0	32.0	16.7	4.7	2.7	2.0
	(主な介護者) 不明	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	形態別	(主な介護者) フルタイム勤務	159	34.0	1.9	39.0	35.8	23.9	5.0	3.1
(主な介護者) パートタイム勤務		102	29.4	2.9	29.4	18.6	20.6	3.9	3.9	2.0
(主な介護者) 無職		315	26.0	3.5	30.8	25.1	16.8	7.3	5.1	1.3
見込就労	(主な介護者) 就労継続可能	208	31.7	2.9	36.1	29.8	24.5	3.8	3.8	1.4
	(主な介護者) 就労継続困難	39	38.5	0.0	41.0	30.8	17.9	5.1	0.0	2.6
要介護度別	(要介護者) 要支援1	137	16.8	0.0	29.2	29.2	12.4	3.6	3.6	4.4
	(要介護者) 要支援2	162	13.0	1.2	29.0	24.7	13.6	2.5	7.4	0.6
	(要介護者) 要介護1	214	40.7	2.3	33.2	22.0	19.2	6.1	2.8	1.9
	(要介護者) 要介護2	106	29.2	2.8	25.5	24.5	18.9	8.5	2.8	0.0
	(要介護者) 要介護3	48	25.0	4.2	25.0	22.9	25.0	6.3	2.1	0.0
	(要介護者) 要介護4	20	10.0	20.0	20.0	25.0	30.0	0.0	0.0	0.0
(要介護者) 要介護5	9	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	

(2) 介護を行う上で、困っていること

- 介護を行う上で、困っていることは「介護の精神的負担が大きい」が 24.6%と最も高く、次いで「もっとサービスを利用させたいが、本人が嫌がる」(23.1%)、「介護の身体的負担が大きい」(18.2%)、「特にない」(17.7%)、「利用料の負担が大きい」(13.9%)が上位5項目にあがっている。
- 主な介護者の性別にみると、女性は男性に比べて「介護の精神的負担が大きい」(28.9%)が3.7ポイント高い。
- 主な介護者の年齢別にみると、40歳代では「利用料の負担が大きい」が43.5%と他の年代に比べて高い。
- 主な介護者の勤務形態別にみると、大きな差はみられないが、フルタイム勤務やパートタイム勤務は、無職に比べて「利用限度額が低いので、十分にサービスを利用できない」や「利用料の負担が大きい」の割合が高い。一方、無職はフルタイム勤務やパートタイム勤務に比べて「介護の身体的負担が大きい」(25.4%)や「介護の精神的負担が大きい」(30.2%)の割合が高い。
- 主な介護者の就労継続見込別にみると、『就労継続困難』はほとんどの項目が『就労継続可能』の割合より高く、特に「利用限度額が低いので、十分にサービスを利用できない」(23.1%)、「利用料の負担が大きい」(25.6%)、「介護の身体的負担が大きい」(25.6%)、「介護の精神的負担が大きい」(38.5%)に差がみられる。
- 要介護者の要介護度別にみると、「介護の精神的負担が大きい」は要介護1・2・3、要介護5では20%を超えており、要介護3では52.1%と高い。

【介護を行う上で、困っていること】



【介護を行う上で、困っていること】

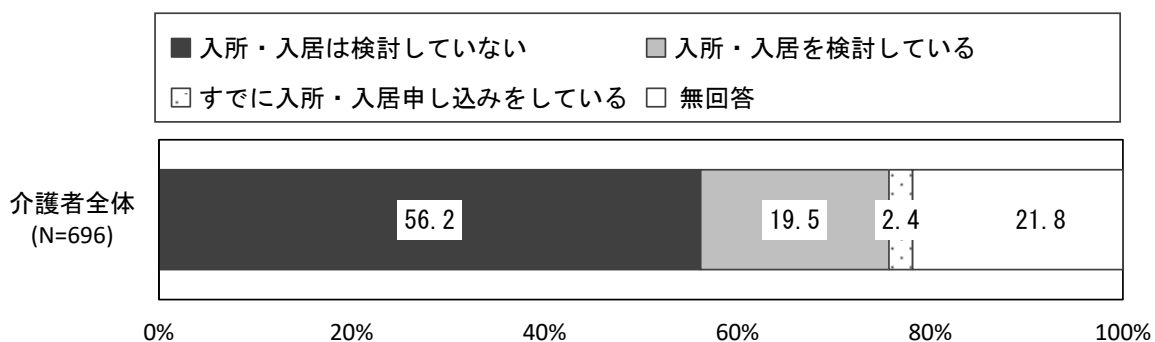
(主な介護者の性別・年齢別・勤務形態別・就労見込別・要介護者の要介護度別)

		調査数	介護の方法がわからない	もっとサービスを利用したいが、本人が嫌がる	もっとサービスを利用させたいが、希望するサービスがない	もっとサービスを利用させたいが、希望する事業者が利用できない	利用限度額が低いので、十分にサービスを利用できない	利用料の負担が大きい	介護の身体的負担が大きい	介護の精神的負担が大きい	家族や近隣の方の理解・協力が足りない	その他	特にない
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
介護者全体		696	5.7	23.1	4.9	3.9	7.6	13.9	18.2	24.6	2.4	4.7	17.7
性別	(主な介護者) 男性	238	5.0	24.8	5.0	4.2	10.5	14.7	16.8	25.2	0.0	5.5	21.0
	(主な介護者) 女性	377	6.9	26.5	5.8	4.2	7.2	15.6	22.5	28.9	4.2	5.3	19.1
	(主な介護者) 無回答	81	2.5	2.5	0.0	1.2	1.2	3.7	2.5	2.5	1.2	0.0	1.2
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	6	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	33.3
	(主な介護者) 40歳代	23	4.3	30.4	8.7	13.0	13.0	43.5	17.4	30.4	4.3	4.3	21.7
	(主な介護者) 50歳代	133	7.5	26.3	5.3	2.3	7.5	13.5	19.5	28.6	3.8	6.8	18.0
	(主な介護者) 60歳代	168	6.5	33.3	4.2	4.2	7.7	9.5	11.3	23.2	2.4	6.5	25.0
	(主な介護者) 70歳代	138	2.9	20.3	5.8	4.3	8.7	17.4	23.2	26.8	0.7	4.3	22.5
	(主な介護者) 80歳代	150	7.3	22.0	6.7	4.7	8.7	17.3	28.7	31.3	3.3	4.0	12.7
	(主な介護者) 不明	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
勤務形態	(主な介護者) フルタイム勤務	159	8.2	25.8	7.5	5.7	10.1	17.0	13.8	23.9	2.5	5.7	24.5
	(主な介護者) パートタイム勤務	102	6.9	34.3	3.9	1.0	12.7	16.7	14.7	24.5	2.0	6.9	16.7
	(主な介護者) 無職	315	5.1	24.8	5.4	4.1	7.0	15.6	25.4	30.2	2.9	4.8	19.0
見就労	(主な介護者) 就労継続可能	208	6.7	31.3	5.8	3.4	9.6	15.4	12.0	23.1	2.4	6.7	24.5
	(主な介護者) 就労継続困難	39	12.8	28.2	10.3	7.7	23.1	25.6	25.6	38.5	2.6	2.6	5.1
要介護度別	(要介護者) 要支援1	137	3.6	20.4	2.2	2.9	5.1	5.8	5.1	7.3	0.0	5.1	27.0
	(要介護者) 要支援2	162	4.9	22.8	5.6	3.7	8.6	7.4	11.7	14.8	1.9	5.6	19.8
	(要介護者) 要介護1	214	6.1	28.0	4.2	5.1	6.1	15.9	18.2	36.4	5.6	4.7	14.5
	(要介護者) 要介護2	106	10.4	23.6	4.7	2.8	14.2	22.6	28.3	26.4	1.9	3.8	15.1
	(要介護者) 要介護3	48	6.3	18.8	8.3	4.2	2.1	22.9	50.0	52.1	0.0	6.3	4.2
	(要介護者) 要介護4	20	0.0	10.0	15.0	5.0	10.0	25.0	15.0	10.0	0.0	0.0	15.0
	(要介護者) 要介護5	9	0.0	0.0	11.1	0.0	11.1	33.3	55.6	44.4	0.0	0.0	22.2

(3) 施設等への入所・入居の検討状況

- 施設等への入所・入居の検討状況は「入所・入居は検討していない」が56.2%と最も高く、次いで「入所・入居を検討している」(19.5%)、「すでに入所・入居申し込みをしている」(2.4%)となっている。
- 主な介護者の勤務形態別にみると、パートタイム勤務はフルタイム勤務や無職に比べて「入所・入居を検討している」(26.5%)の割合が高い。
- 主な介護者の就労継続見込別にみると、『就労継続困難』は『就労継続可能』に比べて「入所・入居は検討していない」(51.3%)が低く、「入所・入居を検討している」(43.6%)が高い。
- 要介護者の要介護度別にみると、「入所・入居を検討している」は要介護2では25.5%と高い。また、要介護5は「すでに入所・入居申し込みをしている」が22.2%と高い。

【施設等への入所・入居の検討状況】



## 【施設等への入所・入居の検討状況】

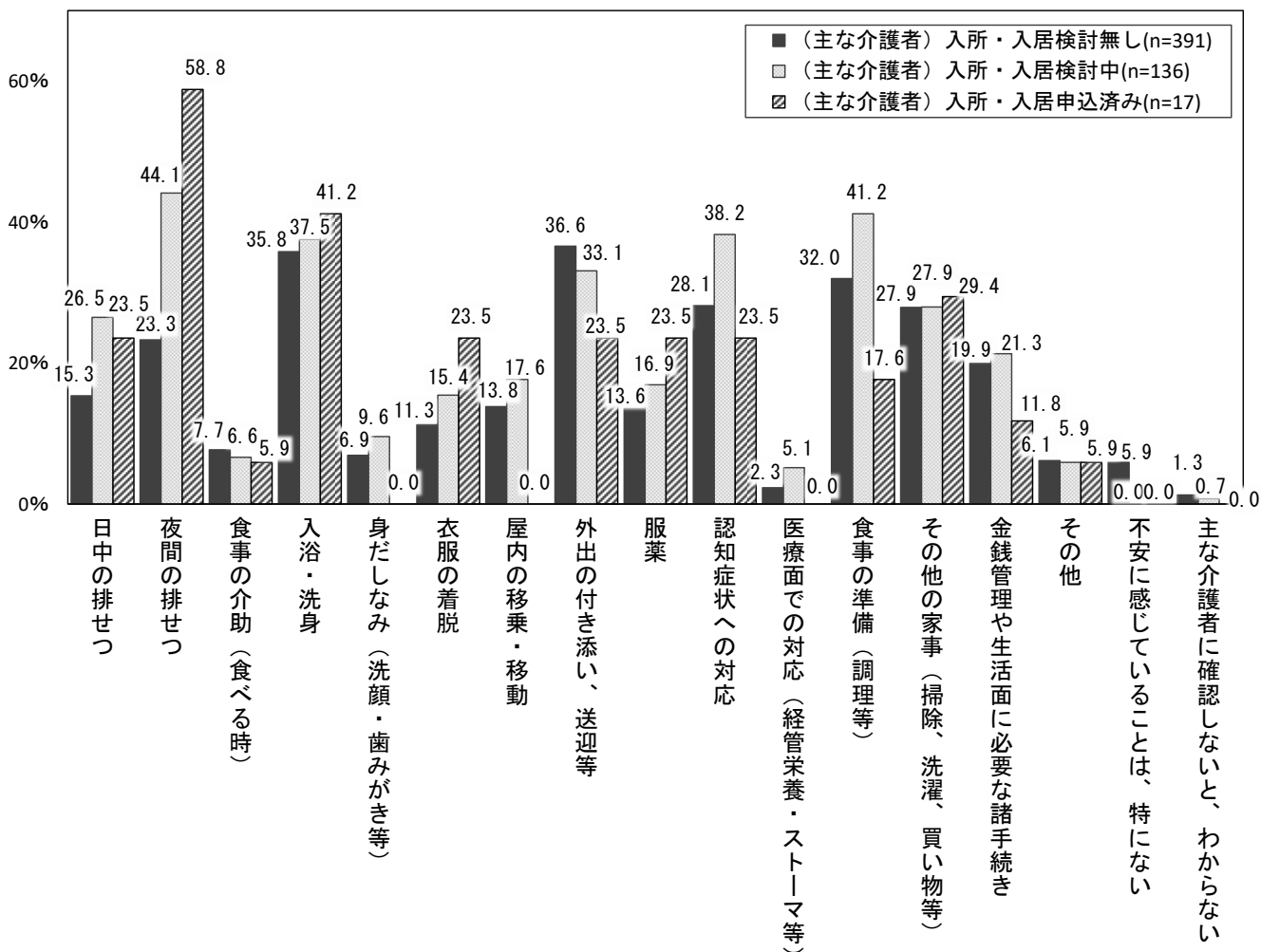
(主な介護者の性別・年齢別・勤務形態別・就労見込別・要介護者の要介護度別)

		調査数	入所・入居は検討して	入所・入居を検討して	すでに入所・入居申し込みをしている	無回答
			いない	いる		
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)
介護者全体		696	56.2	19.5	2.4	21.8
性別	(主な介護者) 男性	238	57.6	24.4	3.4	14.7
	(主な介護者) 女性	377	65.8	20.2	2.1	11.9
	(主な介護者) 無回答	81	7.4	2.5	1.2	88.9
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	6	100.0	0.0	0.0	0.0
	(主な介護者) 40歳代	23	78.3	13.0	4.3	4.3
	(主な介護者) 50歳代	133	61.7	30.1	0.8	7.5
	(主な介護者) 60歳代	168	66.1	23.8	1.8	8.3
	(主な介護者) 70歳代	138	63.8	15.2	3.6	17.4
	(主な介護者) 80歳代	150	55.3	20.0	4.0	20.7
	(主な介護者) 不明	1	0.0	0.0	0.0	100.0
勤務形態別	(主な介護者) フルタイム勤務	159	67.9	24.5	1.3	6.3
	(主な介護者) パートタイム勤務	102	63.7	26.5	2.0	7.8
	(主な介護者) 無職	315	61.6	20.0	3.8	14.6
就労見込別	(主な介護者) 就労継続可能	208	71.6	22.1	1.9	4.3
	(主な介護者) 就労継続困難	39	51.3	43.6	0.0	5.1
要介護度別	(要介護者) 要支援1	137	54.0	9.5	0.7	35.8
	(要介護者) 要支援2	162	54.3	17.9	0.6	27.2
	(要介護者) 要介護1	214	57.0	24.3	2.3	16.4
	(要介護者) 要介護2	106	56.6	25.5	2.8	15.1
	(要介護者) 要介護3	48	60.4	25.0	6.3	8.3
	(要介護者) 要介護4	20	60.0	10.0	10.0	20.0
	(要介護者) 要介護5	9	66.7	11.1	22.2	0.0

#### 第4章 在宅要介護認定者用調査

- 施設等への入所・入居の検討状況別に不安を感じる介護等の内容をみると、入所・入居検討中の人は、入所・入居検討無しの人や入所・入居申込済みの人より、「日中の排泄」(26.5%)、「認知症状への対応」(38.2%)、「食事の準備(調理等)」(41.2%)等の割合が高い。
- 入所・入居申込済みの人は、入所・入居検討無しの人や入所・入居検討中の人より「夜間の排せつ」(58.8%)、「入浴・洗身」(41.2%)、「衣服の着脱」(23.5%)、「服薬」(23.5%)等の割合が高い。
- 入所・入居検討無しの方は「外出の付き添い、送迎等」(36.6%)への不安が高い。

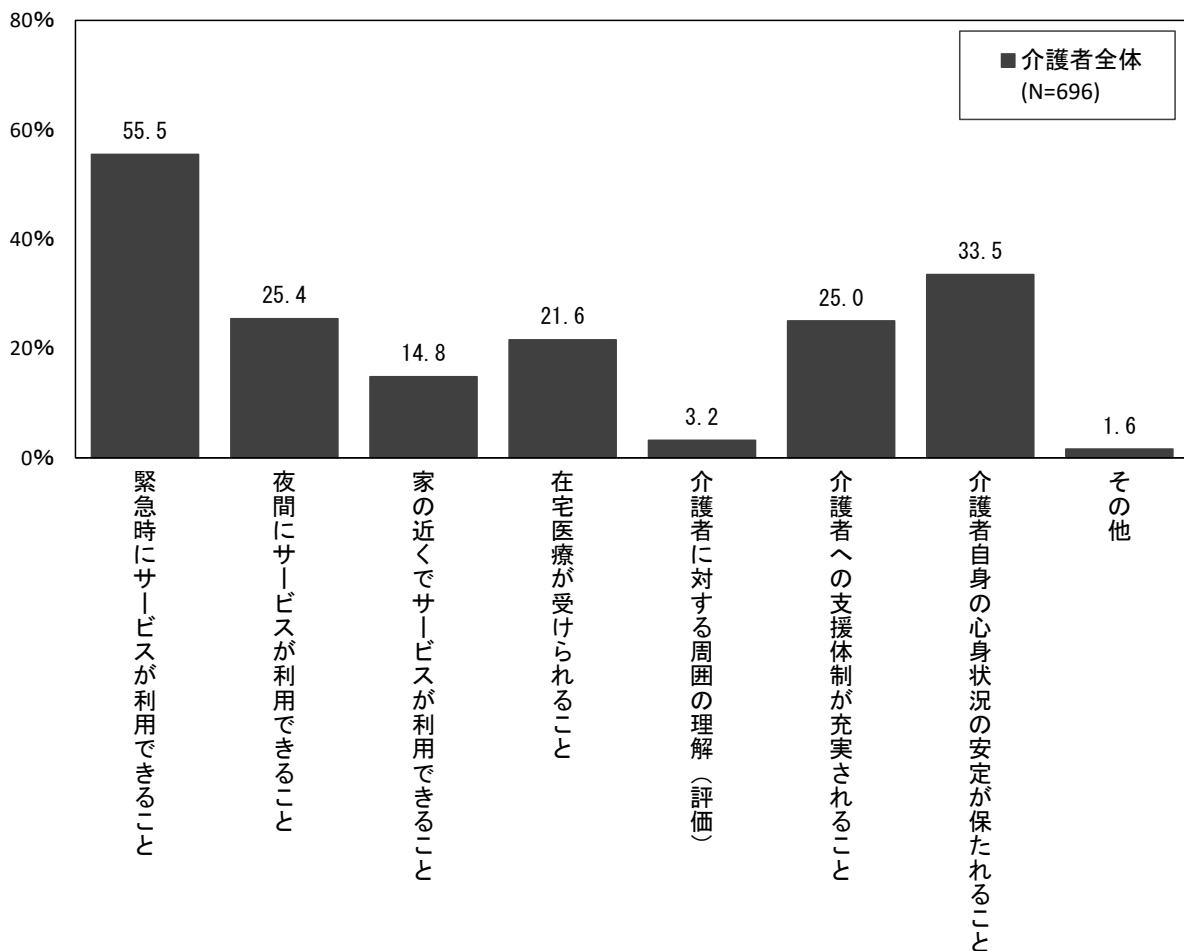
【不安を感じる介護等(主な介護者の施設等への入所・入居検討状況別)】



## (4) 在宅介護を続けていくために重要なこと

- 在宅介護を続けていくために重要なことは「緊急時にサービスが利用できること」が55.5%と最も高く、次いで、「介護者自身の心身状況の安定が保たれること」(33.5%)、「夜間にサービスが利用できること」(25.4%)、「介護者への支援体制が充実されること」(25.0%)の順に続く。
- 主な介護者の年齢別にみると、60歳代では「在宅医療が受けられること」が28.6%と他の年代に比べて高い。
- 主な介護者の勤務形態別にみると、フルタイム勤務はパートタイム勤務や無職に比べて、「夜間にサービスが利用できること」(34.0%)「家の近くでサービスが利用できること」(19.5%)「介護者への支援体制が充実されること」(32.7%)等の割合が高い。
- 主な介護者の就労継続見込別にみると、『就労継続困難』は『就労継続可能』に比べて「緊急時にサービスが利用できること」(87.2%)、「介護者への支援体制が充実されること」(41.0%)が高く、介護者に対する支援や理解の少なさが、就労継続に困難を生じていると推察される。
- 要介護者の要介護度別にみると、「緊急時にサービスが利用できること」は要介護1・2、要介護4・5で60%を超えて高い。

【在宅介護を続けていくために重要なこと】



【在宅介護を続けていくために重要なこと】

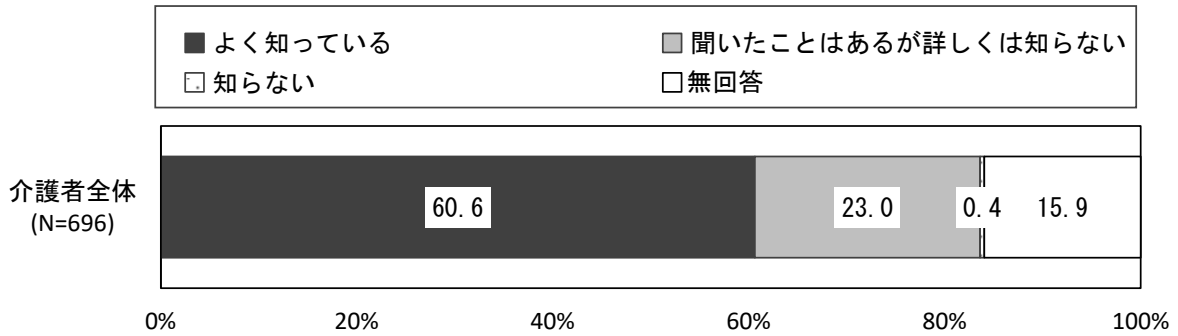
(主な介護者の性別・年齢別・勤務形態別・就労見込別・要介護者の要介護度別)

		調査数	緊急時にサービスが利用できること	夜間にサービスが利用できること	家の近くでサービスが利用できること	在宅医療が受けられること	介護者に対する周囲の理解(評価)	介護者への支援体制が充実されること	介護者自身の心身状況の安定が保たれること	その他
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
介護者全体		696	55.5	25.4	14.8	21.6	3.2	25.0	33.5	1.6
性別	(主な介護者) 男性	238	57.1	23.9	18.9	26.9	3.8	26.1	34.9	1.7
	(主な介護者) 女性	377	64.5	29.4	14.3	22.0	3.4	28.9	39.3	1.9
	(主な介護者) 無回答	81	8.6	11.1	4.9	3.7	0.0	3.7	2.5	0.0
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	6	100.0	33.3	16.7	16.7	16.7	33.3	66.7	0.0
	(主な介護者) 40歳代	23	69.6	47.8	30.4	21.7	13.0	30.4	47.8	0.0
	(主な介護者) 50歳代	133	66.9	28.6	20.3	15.0	3.8	33.8	37.6	0.8
	(主な介護者) 60歳代	168	69.0	34.5	11.9	28.6	4.2	25.6	42.9	3.0
	(主な介護者) 70歳代	138	49.3	16.7	13.8	24.6	2.2	23.2	33.3	2.2
	(主な介護者) 80歳代	150	57.3	26.0	17.3	26.0	2.0	29.3	32.0	1.3
	(主な介護者) 不明	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
形態	(主な介護者) フルタイム勤務	159	69.2	34.0	19.5	18.2	4.4	32.7	39.0	2.5
	(主な介護者) パートタイム勤務	102	70.6	32.4	11.8	26.5	3.9	30.4	37.3	2.9
	(主な介護者) 無職	315	59.0	24.1	17.5	26.3	3.2	26.7	37.1	1.3
見就込労	(主な介護者) 就労継続可能	208	68.3	34.6	18.8	22.1	4.8	31.3	39.4	3.4
	(主な介護者) 就労継続困難	39	87.2	35.9	7.7	23.1	2.6	41.0	33.3	0.0
要介護度別	(要介護者) 要支援1	137	44.5	20.4	14.6	18.2	1.5	13.9	19.0	0.7
	(要介護者) 要支援2	162	48.1	21.6	20.4	16.0	0.6	21.6	29.6	3.1
	(要介護者) 要介護1	214	62.1	29.0	13.6	22.0	5.1	27.1	37.9	0.5
	(要介護者) 要介護2	106	64.2	30.2	12.3	26.4	4.7	34.0	42.5	2.8
	(要介護者) 要介護3	48	54.2	20.8	12.5	29.2	6.3	29.2	45.8	2.1
	(要介護者) 要介護4	20	65.0	40.0	10.0	30.0	0.0	40.0	30.0	0.0
	(要介護者) 要介護5	9	77.8	22.2	0.0	44.4	0.0	44.4	55.6	0.0

(5) 認知症について

- 認知症の認知度は「よく知っている」が60.6%と最も高く、「聞いたことはあるが詳しくは知らない」(23.0%)を合わせると83.6%が、認知症という病気を知っている。
- 主な介護者の性別、年齢別にみても大きな差はみられない。

【「認知症」という病気の認知度】



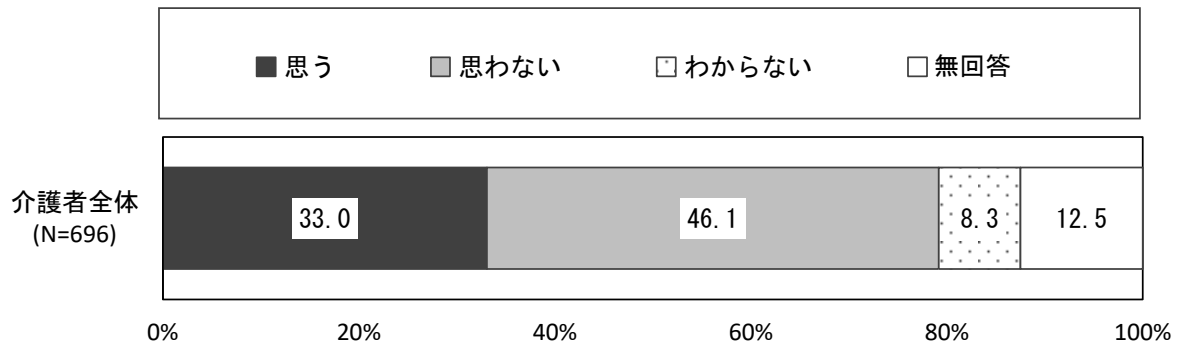
【「認知症」という病気の認知度(主な介護者の性別・年齢別)】

	調査数	よく知っている	聞いたことはあるが詳しくは知らない	知らない	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)
介護者全体	696	60.6	23.0	0.4	15.9	
性別	(主な介護者) 男性	238	63.0	26.1	1.3	9.7
	(主な介護者) 女性	377	69.8	24.7	0.0	5.6
	(主な介護者) 無回答	81	11.1	6.2	0.0	82.7
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	6	33.3	66.7	0.0	0.0
	(主な介護者) 40歳代	23	78.3	21.7	0.0	0.0
	(主な介護者) 50歳代	133	71.4	24.1	0.0	4.5
	(主な介護者) 60歳代	168	74.4	22.6	0.0	3.0
	(主な介護者) 70歳代	138	57.2	32.6	0.7	9.4
	(主な介護者) 80歳代	150	64.7	21.3	1.3	12.7
	(主な介護者) 不明	1	0.0	0.0	0.0	100.0

#### 第4章 在宅要介護認定者用調査

- 認知症の該当について「思わない」が46.1%とおよそ半数を占め、「思う」が33.0%となっている。
- 主な介護者の就労継続見込別にみると、『就労継続困難』は『就労継続可能』に比べて「思う」(51.3%)の割合が13.3ポイント高い。
- 要介護者の要介護度別にみると、「思う」は要介護1～3、要介護5が40%を超えている。

【あて名のご本人は認知症に該当すると思うか】



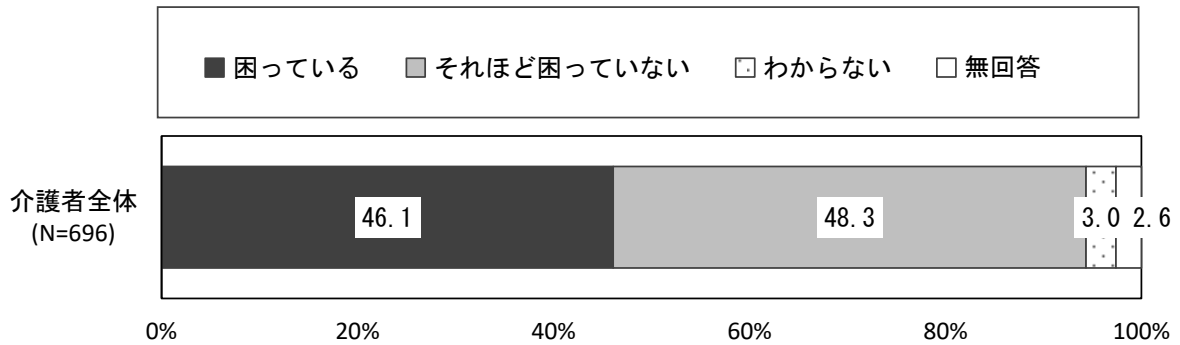
【あて名のご本人は認知症に該当すると思うか】

(主な介護者の性別・年齢別・就労見込別・要介護者の要介護度別)

		調査数	思う	思わない	わからない	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)
介護者全体		696	33.0	46.1	8.3	12.5
性別	(主な介護者) 男性	238	31.5	52.5	11.3	4.6
	(主な介護者) 女性	377	40.1	48.8	7.7	3.4
	(主な介護者) 無回答	81	4.9	14.8	2.5	77.8
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	6	33.3	66.7	0.0	0.0
	(主な介護者) 40歳代	23	43.5	52.2	4.3	0.0
	(主な介護者) 50歳代	133	45.9	39.1	9.8	5.3
	(主な介護者) 60歳代	168	32.1	56.0	8.9	3.0
	(主な介護者) 70歳代	138	29.7	53.6	12.3	4.3
	(主な介護者) 80歳代	150	38.7	50.0	8.0	3.3
	(主な介護者) 不明	1	0.0	0.0	0.0	100.0
	見就 込労	(主な介護者) 就労継続可能	208	38.0	51.0	9.6
(主な介護者) 就労継続困難		39	51.3	38.5	10.3	0.0
要 介 護 度 別	(要介護者) 要支援1	137	8.8	59.9	8.8	22.6
	(要介護者) 要支援2	162	14.2	63.0	6.2	16.7
	(要介護者) 要介護1	214	54.2	29.0	8.9	7.9
	(要介護者) 要介護2	106	47.2	32.1	10.4	10.4
	(要介護者) 要介護3	48	41.7	52.1	6.3	0.0
	(要介護者) 要介護4	20	25.0	60.0	10.0	5.0
	(要介護者) 要介護5	9	44.4	44.4	11.1	0.0

- 認知症の症状に困っているかについて「困っている」が46.1%となっている。
- 主な介護者の就労継続見込別にみると、『就労継続可能』は『就労継続困難』に比べて「困っている」(57.0%)の割合が17.0ポイント高い。
- 要介護者の要介護度別にみると、「困っている」は要介護1・3が50%を超えている。

【症状に困っているか】



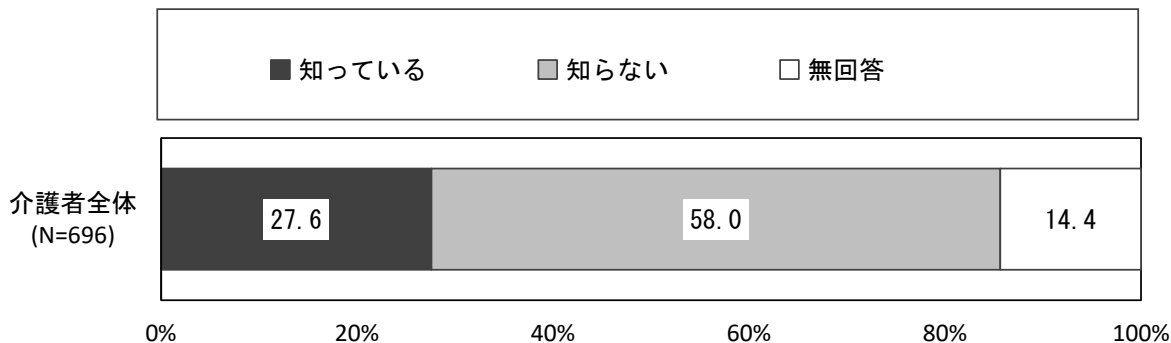
【症状に困っているか(主な介護者の性別・年齢別・就労見込別・要介護者の要介護度別)】

		調査数	困っている	それほど困っていない	わからない	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)
介護者全体		230	46.1	48.3	3.0	2.6
性別	(主な介護者) 男性	75	50.7	45.3	1.3	2.7
	(主な介護者) 女性	151	43.7	50.3	4.0	2.0
	(主な介護者) 無回答	4	50.0	25.0	0.0	25.0
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	2	50.0	50.0	0.0	0.0
	(主な介護者) 40歳代	10	60.0	30.0	10.0	0.0
	(主な介護者) 50歳代	61	57.4	32.8	8.2	1.6
	(主な介護者) 60歳代	54	46.3	51.9	1.9	0.0
	(主な介護者) 70歳代	41	43.9	53.7	0.0	2.4
	(主な介護者) 80歳代	58	34.5	60.3	0.0	5.2
	(主な介護者) 不明	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	見就 込労	(主な介護者) 就労継続可能	79	57.0	39.2	2.5
(主な介護者) 就労継続困難		20	40.0	60.0	0.0	0.0
要介護度別	(要介護者) 要支援1	12	33.3	66.7	0.0	0.0
	(要介護者) 要支援2	23	30.4	56.5	4.3	8.7
	(要介護者) 要介護1	116	51.7	41.4	5.2	1.7
	(要介護者) 要介護2	50	42.0	54.0	0.0	4.0
	(要介護者) 要介護3	20	55.0	45.0	0.0	0.0
	(要介護者) 要介護4	5	40.0	60.0	0.0	0.0
	(要介護者) 要介護5	4	25.0	75.0	0.0	0.0

(6) 認知症に関する相談窓口の認知度

- 認知症に関する相談窓口の認知度は「知っている」が27.6%、「知らない」が58.0%となっている。
- 主な介護者の性別では大きな差はみられない。
- 主な介護者の年齢別にみると、70歳代、80歳代は「知っている」の割合が30%以下と他の年代に比べて低い。

【認知症に関する相談窓口の認知度】



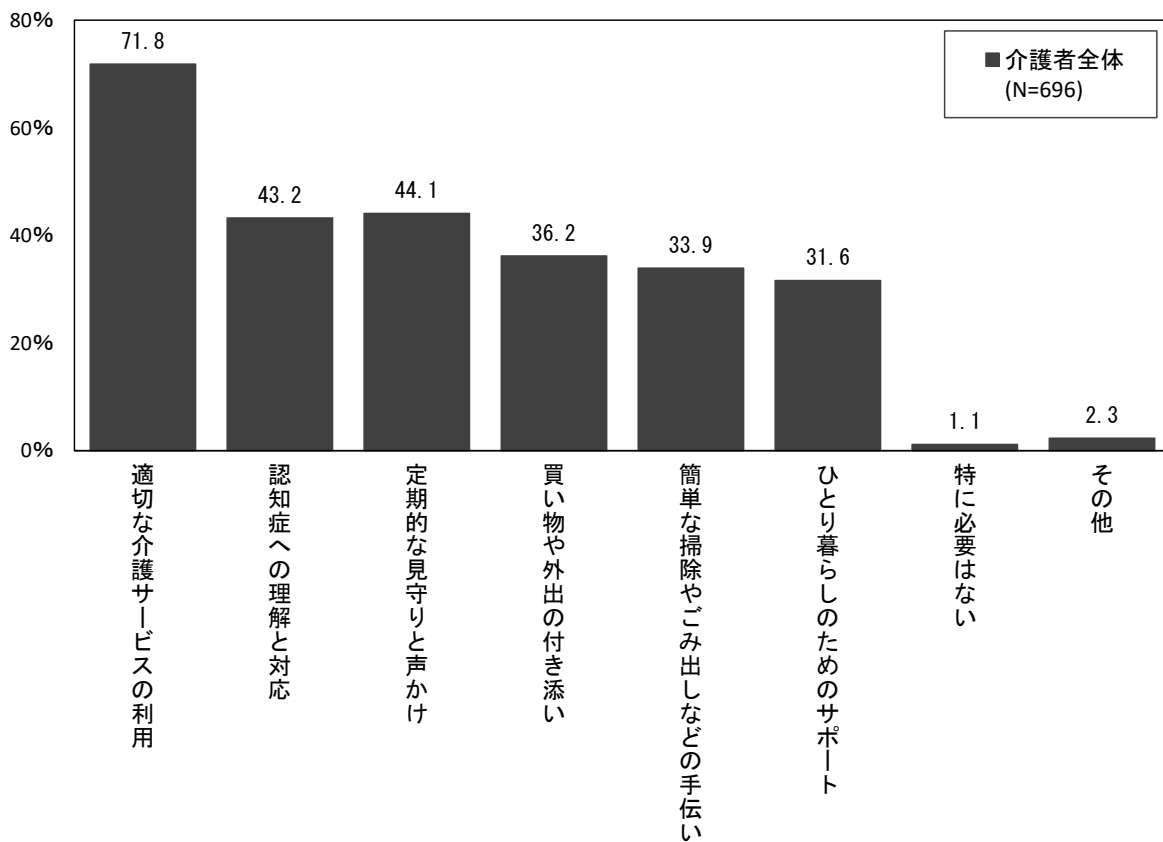
【認知症に関する相談窓口の認知度(主な介護者の性別・年齢別)】

		調査数	知っている	知らない	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)
介護者全体		696	27.6	58.0	14.4
性別	(主な介護者) 男性	238	29.8	62.6	7.6
	(主な介護者) 女性	377	31.3	62.9	5.8
	(主な介護者) 無回答	81	3.7	22.2	74.1
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	6	50.0	50.0	0.0
	(主な介護者) 40歳代	23	30.4	60.9	8.7
	(主な介護者) 50歳代	133	33.8	60.2	6.0
	(主な介護者) 60歳代	168	35.7	57.7	6.5
	(主な介護者) 70歳代	138	25.4	70.3	4.3
	(主な介護者) 80歳代	150	27.3	65.3	7.3
	(主な介護者) 不明	1	0.0	0.0	100.0

## (7) 認知症になっても自宅で暮らしていくために必要なこと

- 認知症になっても自宅で暮らしていくために必要なことは「適切な介護サービスの利用」(71.8%)がもっとも高く、次いで「定期的な見守りと声かけ」(44.1%)、「認知症への理解と対応」(43.2%)の順に続く。「特に必要はない」は1.1%となっている。
- 主な介護者の年齢別にみると、40歳代では「認知症への理解と対応」(65.2%)、「定期的な見守りと声かけ」(78.3%)、「買い物や外出の付き添い」(65.2%)等の割合が他の年代に比べて高い。
- 要介護者の要介護度別にみると、要介護5では「認知症への理解と対応」(77.8%)、「簡単な掃除やごみ出しなどの手伝い」(55.6%)、「ひとり暮らしのためのサポート」(44.4%)の割合が他の要介護度に比べて高い。

【認知症になっても自宅で暮らしていくために必要なこと】



第4章 在宅要介護認定者用調査

【認知症になっても自宅で暮らしていくために必要なこと】

(主な介護者の性別・年齢別・勤務形態別・就労見込別・要介護者の要介護度別)

		調査数	適切な介護サービスの利用	認知症への理解と対応	定期的な見守りと声かけ	買い物や外出の付き添い	簡単な掃除やごみ出しなどの手伝い	ひとり暮らしのためのサポート	特に必要はない	その他
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
介護者全体		696	71.8	43.2	44.1	36.2	33.9	31.6	1.1	2.3
性別	(主な介護者) 男性	238	77.3	44.5	46.2	42.0	38.2	31.1	0.8	2.9
	(主な介護者) 女性	377	80.4	49.1	50.1	37.7	36.6	36.6	1.6	2.1
	(主な介護者) 無回答	81	16.0	12.3	9.9	12.3	8.6	9.9	0.0	1.2
年齢別	(主な介護者) 40歳未満	6	100.0	50.0	50.0	50.0	16.7	50.0	0.0	0.0
	(主な介護者) 40歳代	23	87.0	65.2	78.3	65.2	52.2	39.1	0.0	0.0
	(主な介護者) 50歳代	133	78.9	44.4	48.9	45.9	41.4	43.6	0.0	2.3
	(主な介護者) 60歳代	168	79.8	48.8	48.8	32.7	35.1	42.9	0.6	4.8
	(主な介護者) 70歳代	138	75.4	44.2	44.2	33.3	29.7	24.6	2.9	0.0
	(主な介護者) 80歳代	150	81.3	49.3	46.7	42.7	41.3	24.0	2.0	2.7
	(主な介護者) 不明	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
形態別	(主な介護者) フルタイム勤務	159	83.6	52.2	54.1	48.4	44.0	44.0	0.0	3.1
	(主な介護者) パートタイム勤務	102	83.3	48.0	52.9	34.3	32.4	42.2	1.0	2.9
	(主な介護者) 無職	315	80.0	46.0	46.7	39.4	35.9	28.3	1.9	1.9
見就 込労	(主な介護者) 就労継続可能	208	84.1	50.5	52.9	41.8	38.0	43.3	0.5	2.4
	(主な介護者) 就労継続困難	39	87.2	51.3	56.4	51.3	48.7	48.7	0.0	5.1
要介護度別	(要介護者) 要支援1	137	56.2	33.6	29.2	24.1	23.4	25.5	1.5	0.7
	(要介護者) 要支援2	162	66.7	38.9	44.4	39.5	32.1	30.2	1.2	3.7
	(要介護者) 要介護1	214	79.9	48.1	53.3	40.2	40.2	31.3	1.4	1.9
	(要介護者) 要介護2	106	77.4	45.3	46.2	41.5	36.8	38.7	0.9	3.8
	(要介護者) 要介護3	48	79.2	54.2	39.6	35.4	33.3	37.5	0.0	0.0
	(要介護者) 要介護4	20	85.0	40.0	45.0	25.0	30.0	30.0	0.0	0.0
	(要介護者) 要介護5	9	77.8	77.8	44.4	33.3	55.6	44.4	0.0	11.1

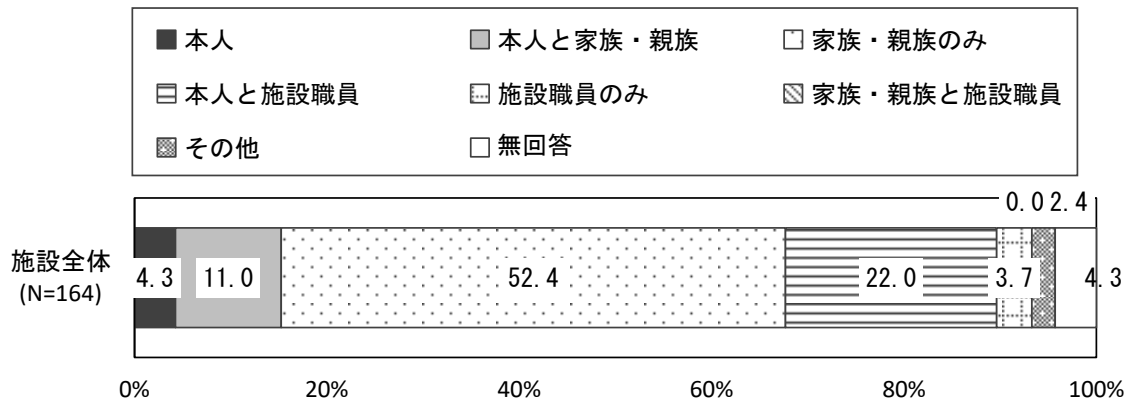
## 第5章 施設・居住系サービス利用者用調査

### 1. 回答者の基本属性

#### (1) 調査の回答者

- 「家族・親族のみ」が52.4%と最も高い。また、「本人」「本人と家族・親族」「本人と施設職員」を合わせた、本人を含む回答は37.3%となっている。

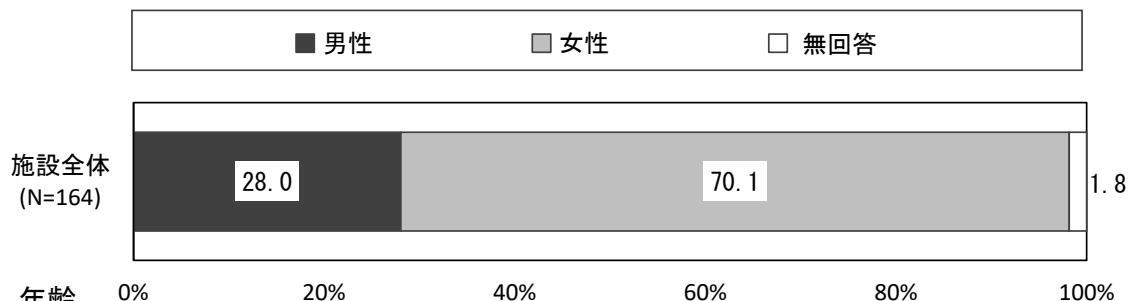
【調査の回答者】



#### (2) 性別

- 「女性」が70.1%と大多数を占めており、「男性」は28.0%となっている。

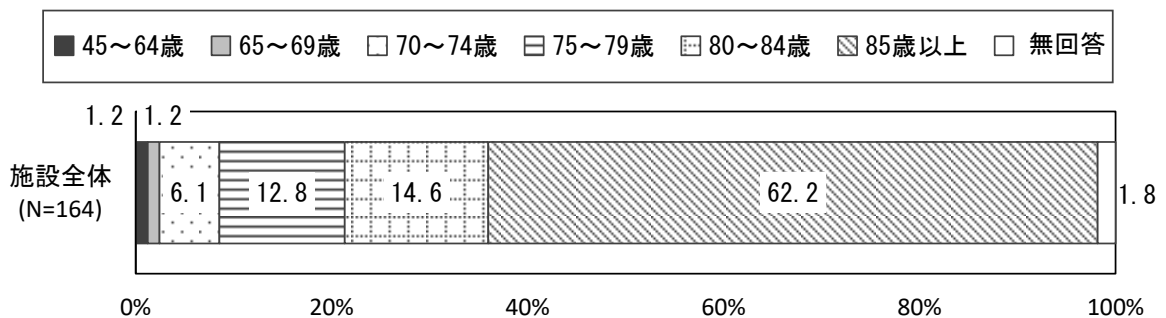
【性別】



#### (3) 年齢

- 「85歳以上」が62.2%と最も高く、次いで「80～84歳」(14.6%)、「75～79歳」(12.8%)と後期高齢者が89.6%を占めている。

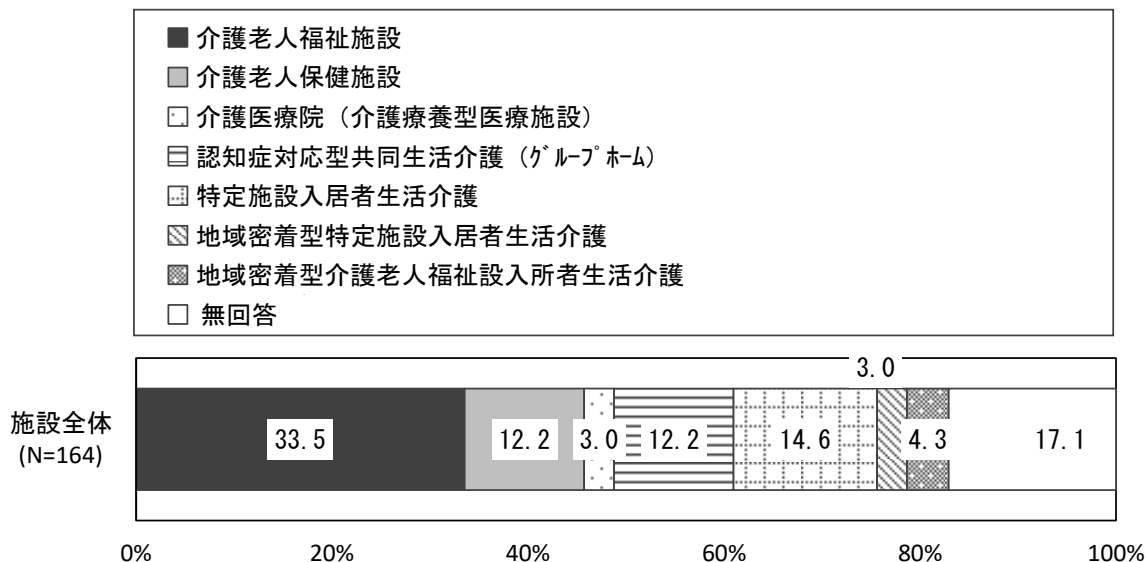
【年齢】



(4) 入所施設の種類の種類

- 「介護老人福祉施設」が33.5%と最も高く、次いで「特定施設入居者生活介護」(14.6%)、「介護老人保健施設」「認知症対応型共同生活介護(グループホーム)」が12.2%と同率で続く。

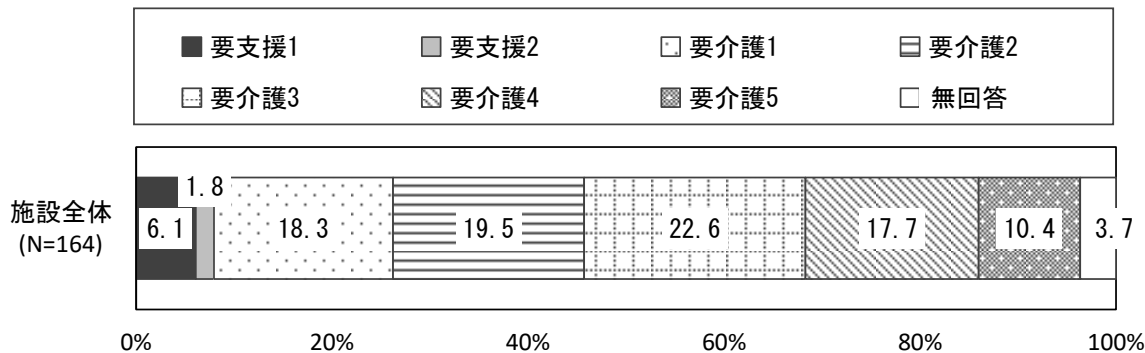
【入所施設の種類の種類】



(5) 要介護度

- 「要介護3」が22.6%と最も高く、次いで「要介護2」(19.5%)、「要介護1」(18.3%)となっている。また、要介護3以上が50.7%を占める。
- 入所施設別にみると、介護老人保健施設では要介護3以上の割合が70.0%を占める。

【要介護度】



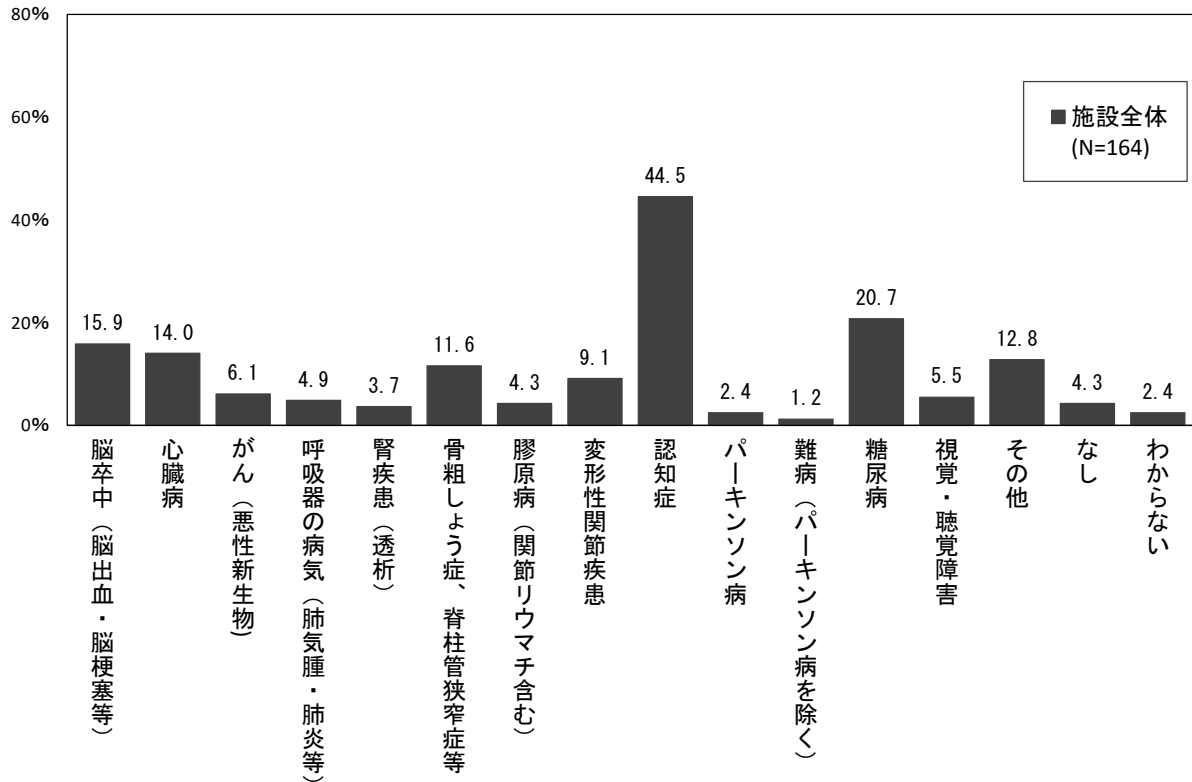
【要介護度(入所施設別)】

	調査数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
施設全体	164	6.1	1.8	18.3	19.5	22.6	17.7	10.4	3.7	
入所施設別	介護老人福祉施設	55	3.6	1.8	18.2	18.2	25.5	21.8	10.9	0.0
	介護老人保健施設	20	5.0	0.0	15.0	10.0	45.0	10.0	15.0	0.0
	介護医療院 (介護療養型医療施設)	5	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	60.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	20	0.0	0.0	30.0	15.0	20.0	15.0	20.0	0.0
	特定施設入居者生活介護	24	8.3	4.2	20.8	25.0	8.3	16.7	12.5	4.2
	地域密着型特定施設入居者生活介護	5	0.0	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	7	14.3	0.0	14.3	28.6	28.6	14.3	0.0	0.0

(6) 現在抱えている怪我、病気

- 現在抱えている怪我、病気は「認知症」が44.5%と最も高く、次いで「糖尿病」(20.7%)、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」(15.9%)、「心臓病」(14.0%)の順に高い。

【現在抱えている怪我、病気】



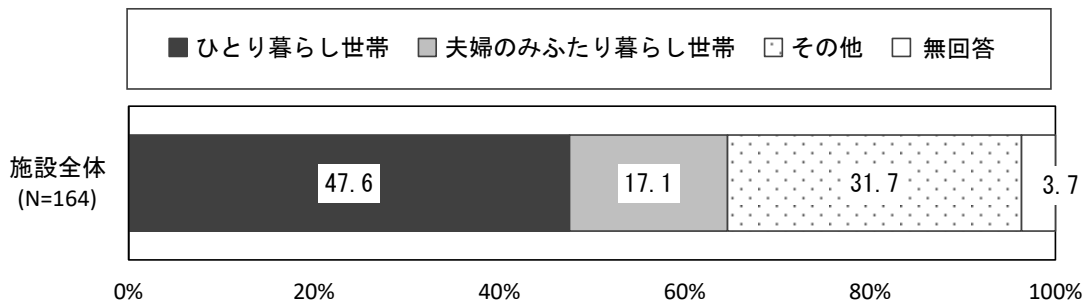
【現在抱えている怪我、病気(入所施設別)】

	調査数 (人)	脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	心臓病	がん(悪性新生物)	呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	腎疾患(透析)	骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等	膠原病(関節リウマチ含む)	変形性関節疾患	認知症	パーキンソン病	難病(パーキンソン病を除く)	糖尿病	視覚・聴覚障害	その他	なし	わからない		
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
施設全体	164	15.9	14.0	6.1	4.9	3.7	11.6	4.3	9.1	44.5	2.4	1.2	20.7	5.5	12.8	4.3	2.4		
入所施設別	介護老人福祉施設	55	18.2	7.3	1.8	3.6	3.6	12.7	5.5	10.9	36.4	1.8	1.8	20.0	5.5	10.9	7.3	5.5	
	介護老人保健施設	20	35.0	15.0	5.0	15.0	0.0	10.0	0.0	5.0	30.0	5.0	30.0	5.0	15.0	15.0	0.0	0.0	
	介護医療院(介護療養型医療施設)	5	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	20	5.0	10.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	5.0	80.0	0.0	0.0	20.0	0.0	10.0	0.0	5.0	
	特定施設入居者生活介護	24	8.3	20.8	12.5	4.2	4.2	4.2	4.2	12.5	54.2	0.0	0.0	20.8	16.7	16.7	0.0	0.0	
	地域密着型特定施設入居者生活介護	5	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	7	28.6	14.3	28.6	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	14.3	28.6	0.0	28.6	0.0	42.9	0.0	0.0	

(7) 施設入所前の世帯構成

- 施設入所前の世帯構成は、「ひとり暮らし世帯」が 47.6%と最も高く、次いで「その他」(31.7%)、「夫婦のみふたり暮らし世帯」(17.1%)の順に続く。
- 現在の入所施設別にみると、介護老人保健施設や認知症対応型共同生活介護（グループホーム）、地域密着型特定施設入居者生活介護、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護は「ひとり暮らし世帯」の割合が高い。

【世帯構成】



【世帯構成(入所施設別)】

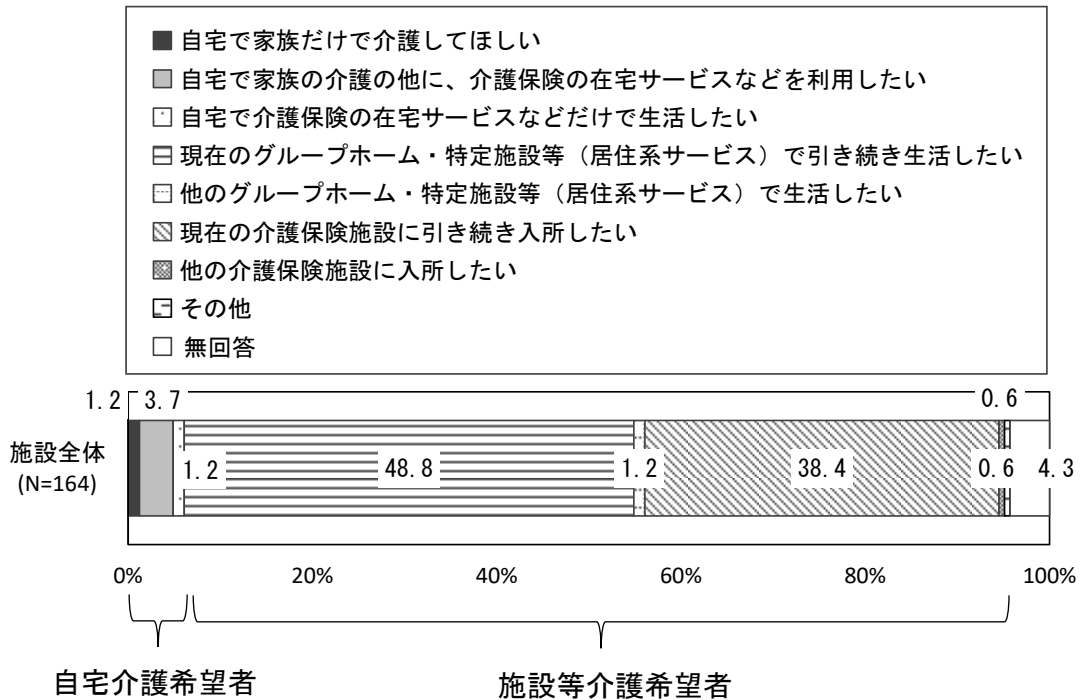
	調査数	ひとり暮らし世帯	夫婦のみふたり暮らし世帯	その他	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)
<b>施設全体</b>	164	47.6	17.1	31.7	3.7	
入所施設別	介護老人福祉施設	55	43.6	21.8	32.7	1.8
	介護老人保健施設	20	50.0	20.0	30.0	0.0
	介護医療院（介護療養型医療施設）	5	20.0	20.0	60.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	20	55.0	15.0	30.0	0.0
	特定施設入居者生活介護	24	33.3	25.0	41.7	0.0
	地域密着型特定施設入居者生活介護	5	100.0	0.0	0.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	7	85.7	0.0	14.3	0.0

## 2. 今後の介護希望について

### (1) 今後の介護希望

- 今後の介護希望は「現在のグループホーム・特定施設等（居住系サービス）で引き続き生活したい」が48.8%と最も高く、次いで「現在の介護保険施設に引き続き入所したい」(38.4%)となっており、現在の入所施設等での生活を継続したいと考える人は87.2%を占めている。『自宅での生活を希望』（「自宅で家族だけで介護してほしい」～「自宅で介護保険の在宅サービスなどだけで生活したい」）は6.1%となっている。

【今後の介護希望】



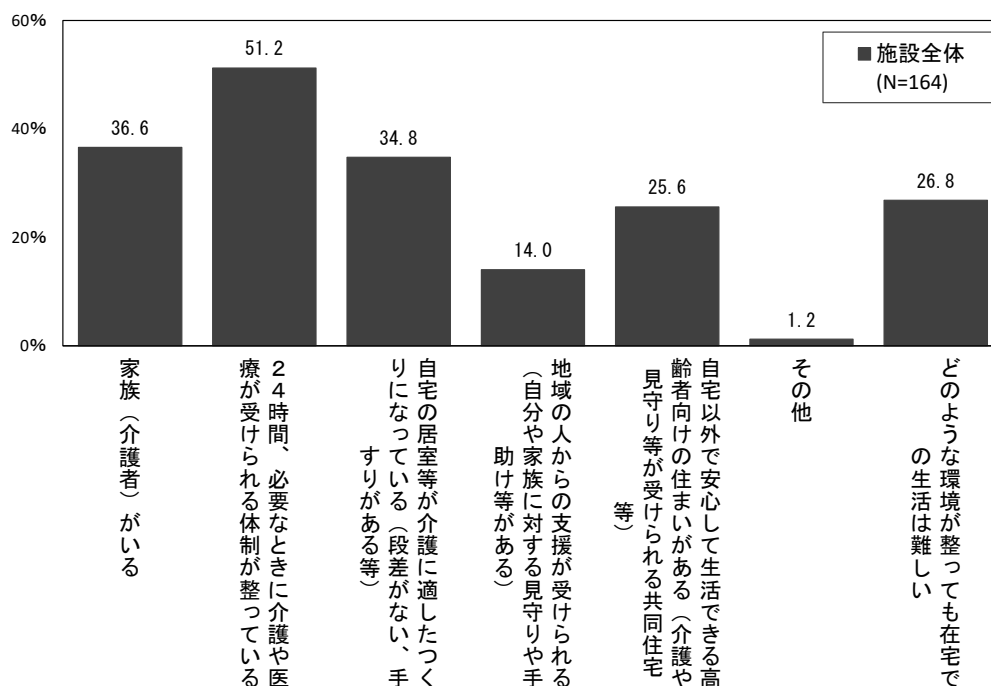
【今後の介護希望(入所施設別)】

入所施設別	調査数	自宅だけで介護してほしい	自宅での介護の他に、介護保険の在宅サービスなどを介	自宅で介護保険の在宅サービ	引き続き生活したい	現在のグループホーム・特定	他のグループホーム・特定施	現在の介護保険施設に引き続	い	その他	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
施設全体	164	1.2	3.7	1.2	48.8	1.2	38.4	0.6	0.6	4.3	
入所施設別	介護老人福祉施設	55	0.0	3.6	0.0	30.9	1.8	60.0	0.0	0.0	3.6
	介護老人保健施設	20	5.0	0.0	5.0	5.0	0.0	80.0	0.0	0.0	5.0
	介護医療院（介護療養型医療施設）	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	20	0.0	5.0	0.0	90.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0
	特定施設入居者生活介護	24	4.2	0.0	4.2	70.8	4.2	16.7	0.0	0.0	0.0
	地域密着型特定施設入居者生活介護	5	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	7	0.0	14.3	0.0	42.9	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0

(2) 在宅で生活するために必要なサービスや環境

- 在宅で生活するために必要なサービスや環境は「24時間、必要なときに介護や医療が受けられる体制が整っている」が51.2%と最も高く、次いで「家族(介護者)がいる」(36.6%)となっており、「どのような環境が整っても在宅での生活は難しい」が26.8%を占めている。
- 入所施設別にみると、介護老人保健施設は「どのような環境が整っても在宅での生活は難しい」(45.0%)が他の入所施設に比べて高い。

【在宅で生活するために必要なサービスや環境】



【在宅で生活するために必要なサービスや環境(入所施設別)】

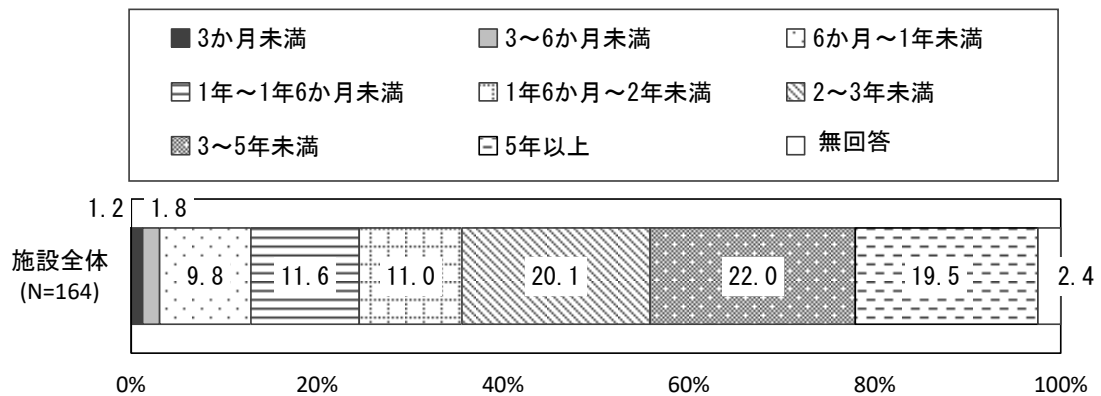
	調査数	在宅で生活するために必要なサービスや環境							
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
施設全体	164	36.6	51.2	34.8	14.0	25.6	1.2	26.8	
入所施設別	介護老人福祉施設	55	38.2	54.5	40.0	10.9	20.0	0.0	27.3
	介護老人保健施設	20	55.0	35.0	45.0	10.0	15.0	0.0	45.0
	介護医療院(介護療養型医療施設)	5	40.0	60.0	40.0	20.0	40.0	0.0	20.0
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	20	25.0	55.0	25.0	20.0	35.0	0.0	35.0
	特定施設入居者生活介護	24	37.5	45.8	37.5	25.0	29.2	4.2	16.7
	地域密着型特定施設入居者生活介護	5	60.0	80.0	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	7	42.9	57.1	28.6	14.3	28.6	0.0	42.9

### 3. 施設等でのサービスについて

#### (1) 施設等の入所期間

- 現在の入所施設等での入所期間は「3～5年未満」が22.0%と最も高く、次いで「2～3年未満」(20.1%)、「5年以上」(19.5%)となっている。また、『2年以上』は61.6%を占める。
- 入所施設別にみると、『2年以上』の割合は、介護老人保健施設(75.0%)や認知症対応型共同生活介護(グループホーム)(85.0%)が高い。

【施設等の入所期間】



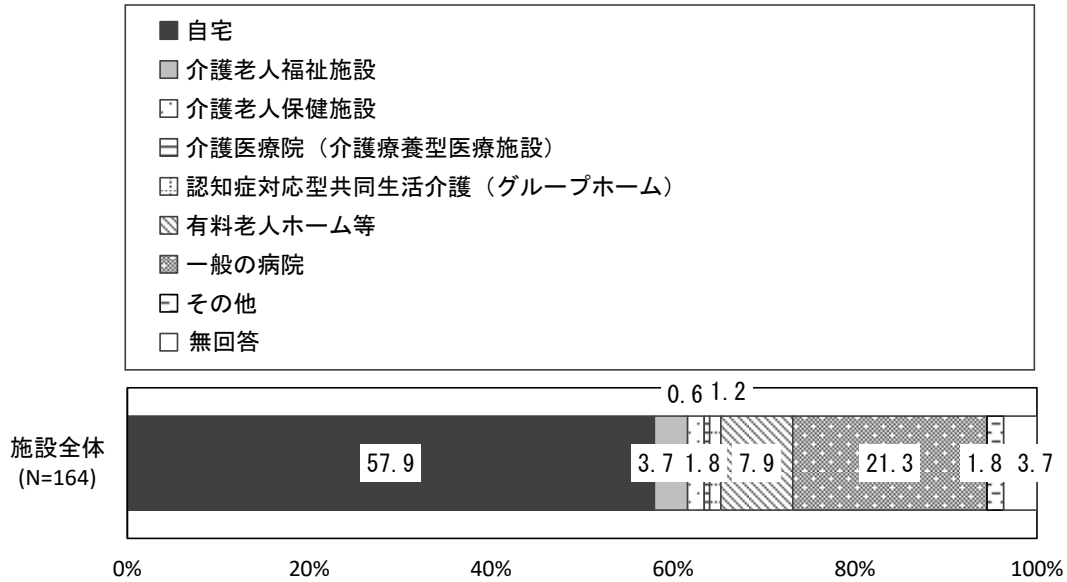
【施設等の入所期間(入所施設別)】

	調査数	3か月未満	3～6か月未満	6か月～1年未満	1年～1年6か月未満	1年6か月～2年未満	2～3年未満	3～5年未満	5年以上	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
施設全体	164	1.2	1.8	9.8	11.6	11.0	20.1	22.0	19.5	2.4	
入所施設別	介護老人福祉施設	55	0.0	1.8	9.1	16.4	18.2	12.7	23.6	18.2	0.0
	介護老人保健施設	20	5.0	0.0	0.0	10.0	10.0	30.0	30.0	15.0	0.0
	介護医療院(介護療養型医療施設)	5	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	40.0	20.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	20	0.0	0.0	5.0	5.0	5.0	35.0	40.0	10.0	0.0
	特定施設入居者生活介護	24	0.0	0.0	20.8	12.5	8.3	25.0	4.2	29.2	0.0
	地域密着型特定施設入居者生活介護	5	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	40.0	20.0	20.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	7	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	28.6	28.6	0.0

(2) 現在の施設等に入所する前の所在

- 現在の施設等に入所する前の所在は「自宅」が57.9%と最も高く、次いで「一般の病院」(21.3%)、「有料老人ホーム等」(7.9%)となっている。
- 入所施設別にみると、ほとんどの施設で「自宅」の割合が最も高い。

【施設等に入所する前の所在】



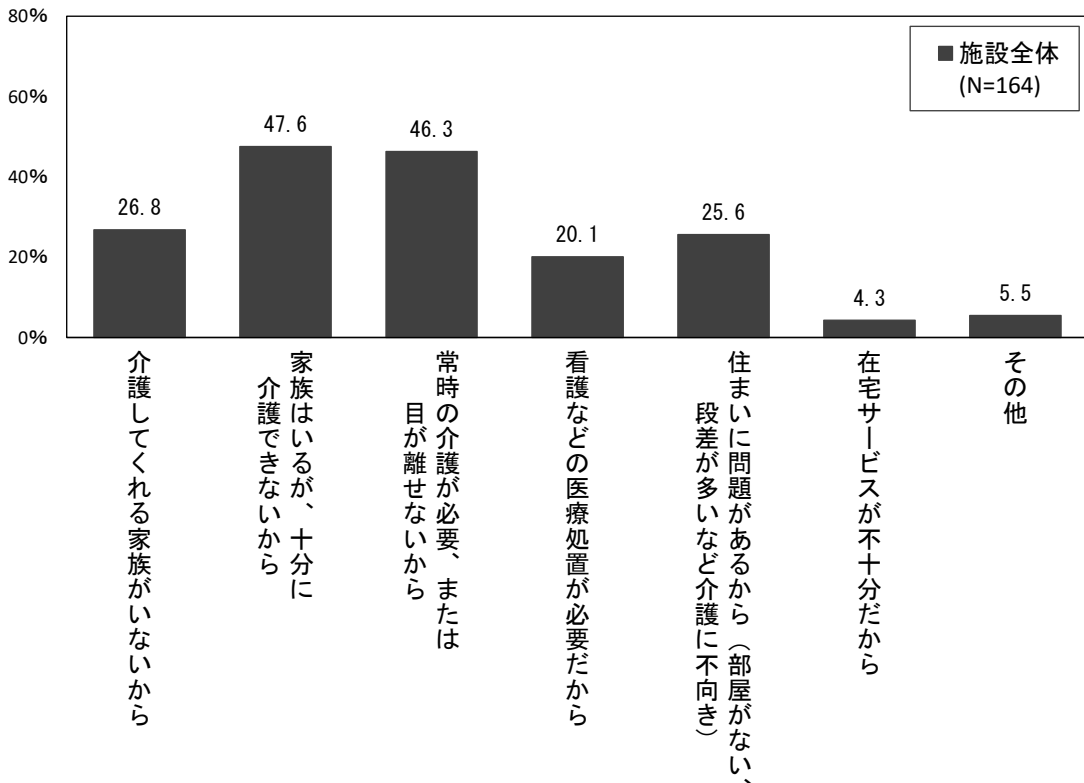
【施設等に入所する前の所在(入所施設別)】

	調査数	自宅	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護医療院 (介護療養型医療施設)	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	有料老人ホーム等	一般の病院	その他	無回答
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
施設全体	164	57.9	3.7	1.8	0.6	1.2	7.9	21.3	1.8	3.7
入所施設別	介護老人福祉施設	55	56.4	5.5	5.5	0.0	3.6	12.7	16.4	0.0
	介護老人保健施設	20	40.0	5.0	0.0	0.0	0.0	45.0	5.0	5.0
	介護医療院 (介護療養型医療施設)	5	60.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	20	60.0	5.0	0.0	0.0	0.0	20.0	15.0	0.0
	特定施設入居者生活介護	24	62.5	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	29.2	4.2
	地域密着型特定施設入居者生活介護	5	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	7	71.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0

(3) 施設等に入所している理由

- 施設等に入所している理由は「家族はいるが、十分に介護できないから」が47.6%と最も高く、次いで「常時の介護が必要、または目が離せないから」(46.3%)、「介護してくれる家族がいないから」(26.8%)の順に続く。
- 入所施設別にみると、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護は「介護してくれる家族がいないから」が50%を超えている。また、介護医療院では「家族はいるが、十分に介護できないから」(80.0%)が他の入所施設に比べて高い。

【施設等に入所している理由】



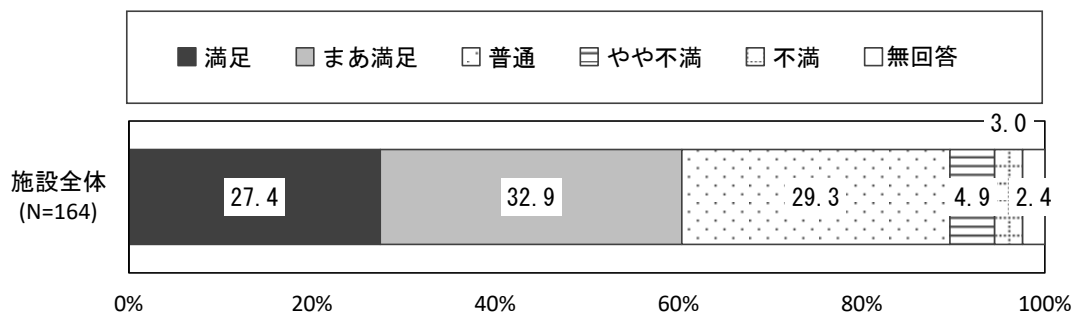
【施設等に入所している理由(入所施設別)】

	調査数	から	家族はいるが、十分に介護できないから	常時の介護が必要、または目が離せないから	看護などの医療処置が必要だから	住まいに問題があるから(部屋がない、段差が多いなど介護に不向き)	在宅サービスが不十分だから	その他	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
施設全体	164	26.8	47.6	46.3	20.1	25.6	4.3	5.5	
入所施設別	介護老人福祉施設	55	23.6	56.4	49.1	20.0	32.7	3.6	3.6
	介護老人保健施設	20	25.0	45.0	35.0	35.0	30.0	5.0	5.0
	介護医療院(介護療養型医療施設)	5	0.0	80.0	60.0	40.0	40.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	20	25.0	55.0	70.0	10.0	25.0	10.0	5.0
	特定施設入居者生活介護	24	25.0	45.8	41.7	16.7	29.2	8.3	4.2
	地域密着型特定施設入居者生活介護	5	40.0	20.0	100.0	40.0	20.0	0.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	7	57.1	28.6	14.3	0.0	28.6	0.0	14.3

(4) 施設等サービスの満足度

- 施設等サービスの満足度は「まあ満足」が32.9%と最も高く、これに「満足」(27.4%)を合わせると『満足』は60.3%となっている。一方、「やや不満」(4.9%)と「不満」(3.0%)を合わせた『不満』の割合は7.9%に留まり、満足度は高くなっている。
- 入所施設別にみると、『満足』の割合は、介護老人保健施設(80.0%)や認知症対応型共同生活介護(75.0%)が特に高い。

【施設等サービスの満足度】



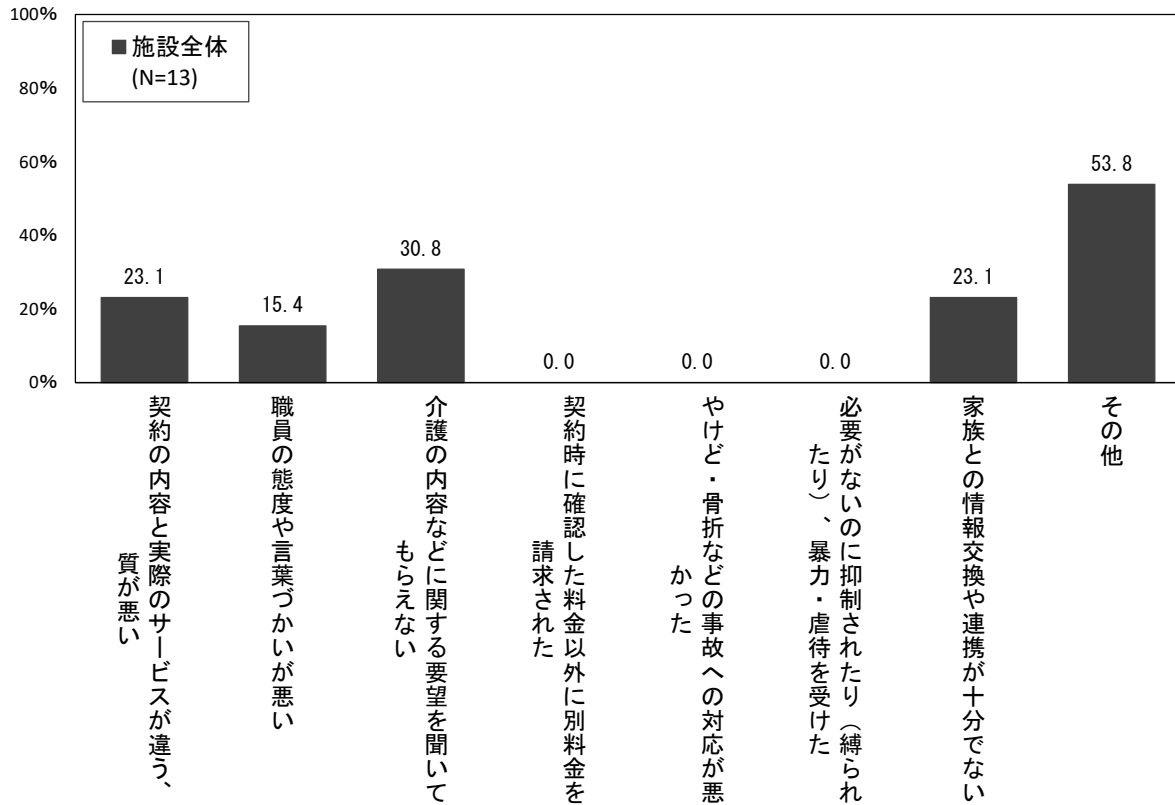
【施設等サービスの満足度(入所施設別)】

	調査数	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
施設全体	164	27.4	32.9	29.3	4.9	3.0	2.4	
入所施設別	介護老人福祉施設	55	21.8	32.7	43.6	1.8	0.0	0.0
	介護老人保健施設	20	45.0	35.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	介護医療院(介護療養型医療施設)	5	20.0	0.0	60.0	20.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	20	50.0	25.0	20.0	5.0	0.0	0.0
	特定施設入居者生活介護	24	12.5	45.8	25.0	8.3	8.3	0.0
	地域密着型特定施設入居者生活介護	5	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	7	14.3	28.6	28.6	0.0	28.6	0.0

(5) 施設等サービスに不満な理由

- 施設等サービスに不満な人は13人と少なく、その理由は「その他」(53.8%)のほか、「介護の内容などに関する要望を聞いてもらえない」(30.8%)、「契約の内容と実際のサービスが違う、質が悪い」「家族との情報交換や連携が十分でない」(23.1%)、「職員の態度や言葉づかいが悪い」(15.4%)となっている。

【施設等サービスに不満な理由】

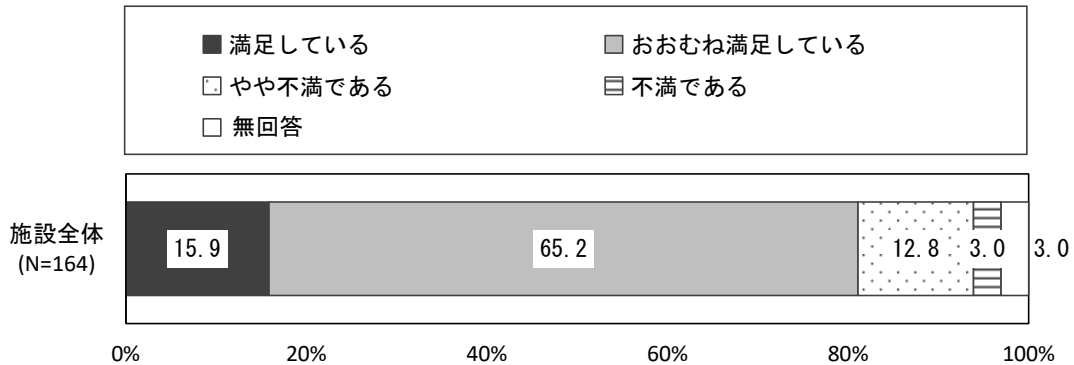


## 4. 介護保険制度について

### (1) 介護保険制度の満足度

- 介護保険制度の満足度は「おおむね満足している」が 65.2%と最も高く、「満足している」(15.9%)を合わせると 81.1%が『満足』と回答している。一方、「やや不満である」(12.8%)と「不満である」(3.0%)を合わせた『不満』の割合は 15.8%となっている。
- 入所施設別にみると、介護老人保健施設は『満足』(95.0%)が他の入所施設に比べて高い。

【介護保険制度の満足度】



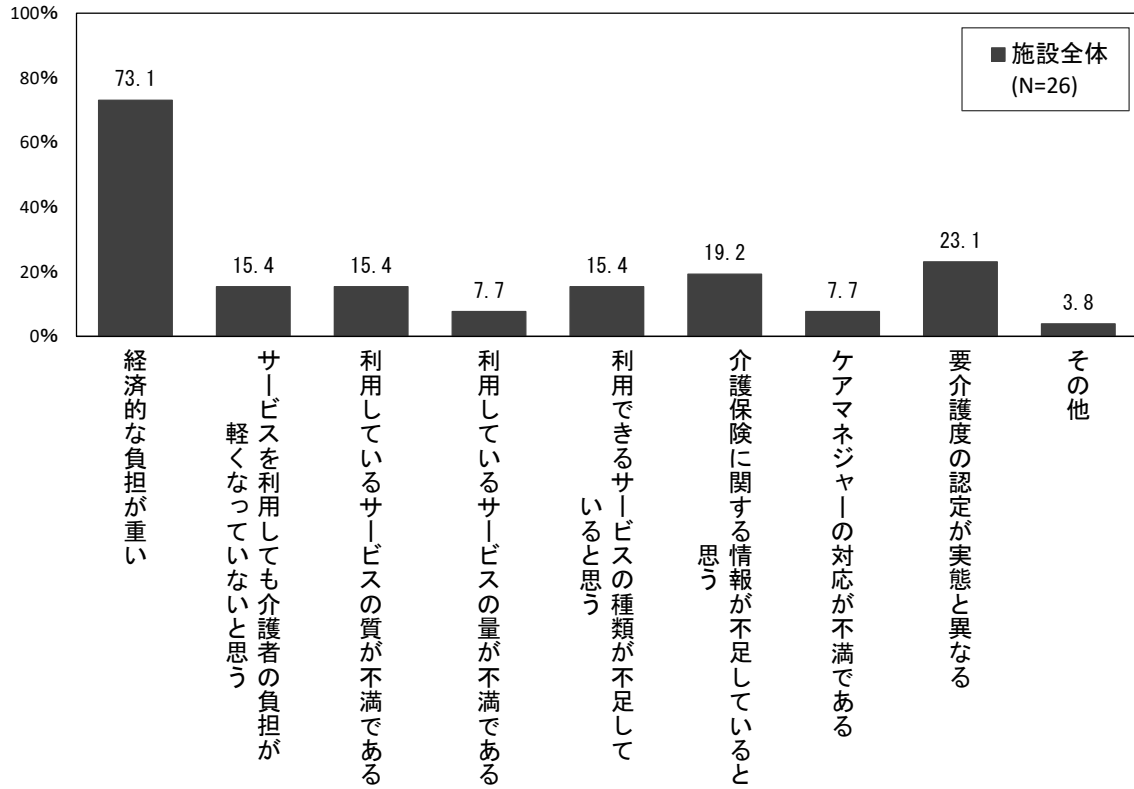
【介護保険制度の満足度(入所施設別)】

	調査数	満足している	おおむね満足している	やや不満である	不満である	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
施設全体	164	15.9	65.2	12.8	3.0	3.0	
入所施設別	介護老人福祉施設	55	14.5	70.9	9.1	3.6	1.8
	介護老人保健施設	20	30.0	65.0	5.0	0.0	0.0
	介護医療院(介護療養型医療施設)	5	0.0	20.0	60.0	20.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	20	20.0	60.0	20.0	0.0	0.0
	特定施設入居者生活介護	24	4.2	75.0	8.3	4.2	8.3
	地域密着型特定施設入居者生活介護	5	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	7	28.6	42.9	28.6	0.0	0.0

(2) 介護保険制度に満足していない理由

- 介護保険制度に満足していない理由は、「経済的な負担が重い」が73.1%と最も高く、次いで「要介護度の認定が実態と異なる」(23.1%)、「介護保険に関する情報が不足していると思う」(19.2%)の順に高い。

【介護保険制度に満足していない理由】



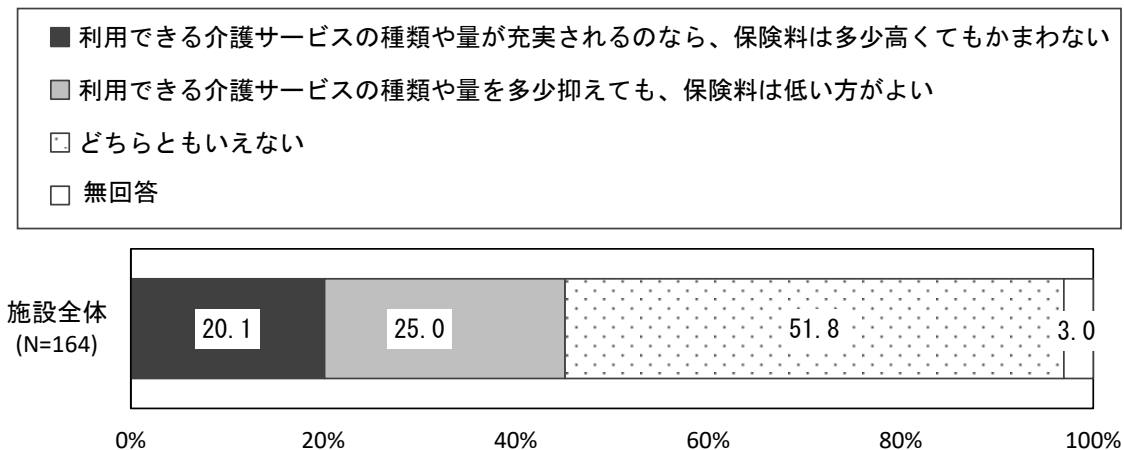
【介護保険制度に満足していない理由(入所施設別)】

	調査数	経済的な負担が重い	サービスを利用しても介護者の負担が軽くなっていないと思う	利用しているサービスの質が不満である	利用しているサービスの量が不満である	利用できるサービスの種類が不足していると思う	介護保険に関する情報が不足していると思う	ケアマネジャーの対応が不満である	要介護度の認定が実態と異なる	その他
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
施設全体	26	73.1	15.4	15.4	7.7	15.4	19.2	7.7	23.1	3.8
入所施設別	介護老人福祉施設	7	100.0	28.6	0.0	0.0	14.3	28.6	0.0	0.0
	介護老人保健施設	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	介護医療院 (介護療養型医療施設)	4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	4	100.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0
	特定施設入居者生活介護	3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
	地域密着型特定施設入居者生活介護	1	0.0	100.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(3) 介護保険料と介護サービスのあり方

- 介護保険料と介護サービスのあり方について「どちらともいえない」が51.8%と最も高く、次いで「利用できる介護サービスの種類や量を多少抑えても、保険料は低い方がよい」(25.0%)、「利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない」(20.1%)となっている。

【介護保険料と介護サービスのあり方】



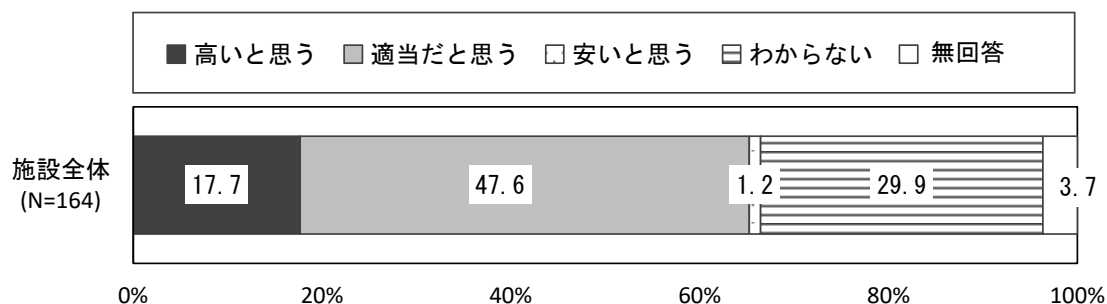
【介護保険料と介護サービスのあり方(入所施設別)】

	調査数	回答内容				
		利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない (%)	利用できる介護サービスの種類や量を多少抑えても、保険料は低い方がよい (%)	どちらともいえない (%)	無回答 (%)	
施設全体	164	20.1	25.0	51.8	3.0	
入所施設別	介護老人福祉施設	55	14.5	29.1	56.4	0.0
	介護老人保健施設	20	30.0	25.0	35.0	10.0
	介護医療院 (介護療養型医療施設)	5	0.0	40.0	60.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	20	30.0	30.0	40.0	0.0
	特定施設入居者生活介護	24	16.7	25.0	54.2	4.2
	地域密着型特定施設入居者生活介護	5	20.0	20.0	60.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	7	14.3	14.3	71.4	0.0

(4) 介護保険料の負担感

- 介護保険料の負担感について「相当だと思う」が47.6%と最も高く、次いで「わからない」(29.9%)、「高いと思う」(17.7%)の順に続く。

【介護保険料の負担感】



【介護保険料の負担感(入所施設別)】

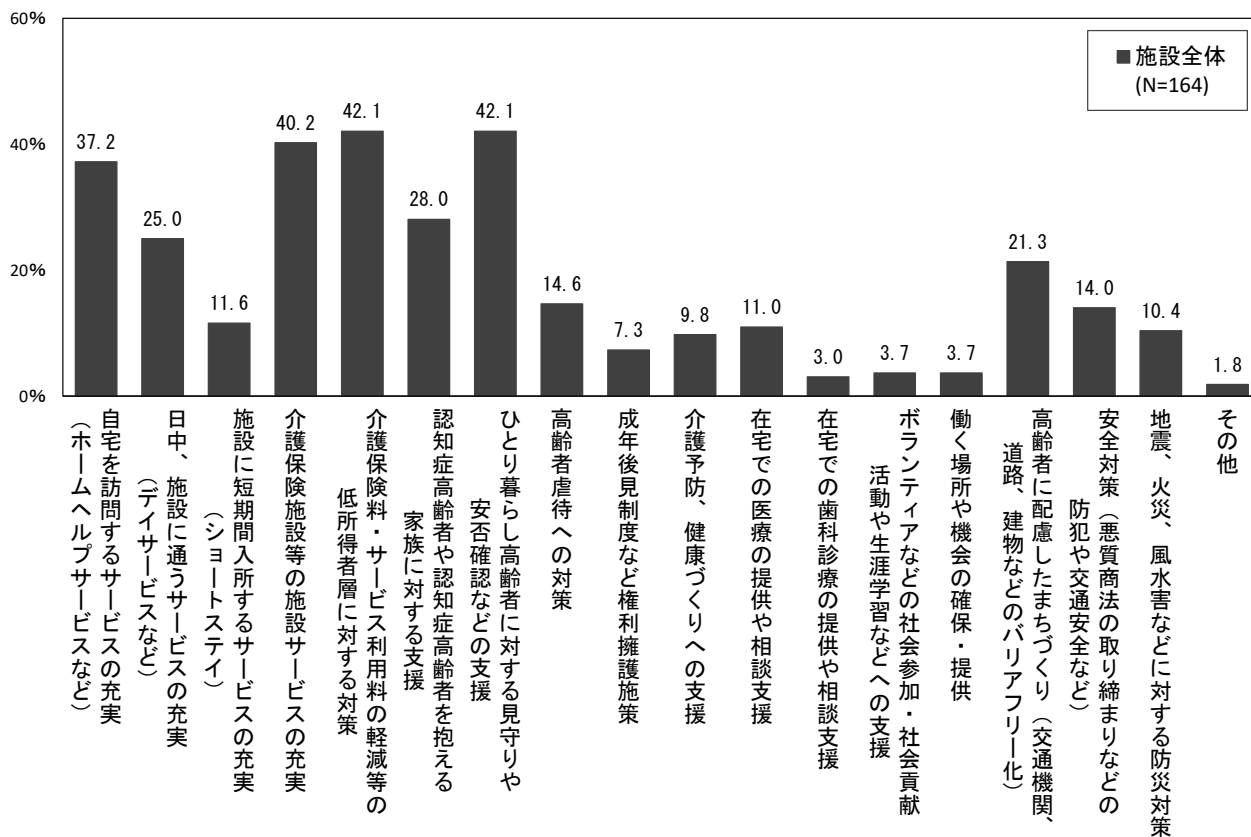
	調査数	高いと思う	相当だと思う	安いと思う	わからない	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
施設全体	164	17.7	47.6	1.2	29.9	3.7	
入所施設別	介護老人福祉施設	55	25.5	41.8	0.0	29.1	3.6
	介護老人保健施設	20	20.0	50.0	5.0	20.0	5.0
	介護医療院(介護療養型医療施設)	5	40.0	40.0	0.0	20.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	20	15.0	60.0	5.0	20.0	0.0
	特定施設入居者生活介護	24	12.5	37.5	0.0	45.8	4.2
	地域密着型特定施設入居者生活介護	5	0.0	60.0	0.0	40.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	7	28.6	28.6	0.0	42.9	0.0

## 5. 高齢者福祉施策全般について

### (1) 高齢者施策・支援で特に大切だと思うもの

- 高齢者施策・支援で特に大切だと思うものは同率で「介護保険料・サービス利用料の軽減等の低所得者層に対する対策」「ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援」が42.1%と最も高く、次いで「介護保険施設等の施設サービスの充実」(40.2%)、「自宅を訪問するサービスの充実(ホームヘルプサービスなど)」(37.2%)、「認知症高齢者や認知症高齢者を抱える家族に対する支援」(28.0%)が上位5項目にあがっている。

【高齢者施策・支援で特に大切だと思うもの】



【高齢者施策・支援で特に大切だと思うもの(入所施設別)】

		調査数	自宅を訪問するサービスの充実 (ホームヘルプサービスなど)	日中、施設に通うサービスの充実 (デイサービスなど)	施設に短期間入所するサービスの充実 (ショートステイ)	介護保険施設等の施設サービスの充実	介護保険料・サービス利用料の軽減等の 低所得者層に対する対策	認知症高齢者や認知症高齢者を抱える家 族に対する支援	ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安 否確認などの支援	高齢者虐待への対策	成年後見制度など権利擁護施策
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
施設全体		164	37.2	25.0	11.6	40.2	42.1	28.0	42.1	14.6	7.3
入所施設別	介護老人福祉施設	55	32.7	27.3	5.5	40.0	45.5	18.2	36.4	20.0	7.3
	介護老人保健施設	20	50.0	10.0	20.0	55.0	50.0	25.0	55.0	5.0	15.0
	介護医療院(介護療養型医療施設)	5	40.0	20.0	0.0	60.0	20.0	40.0	60.0	20.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	20	50.0	35.0	30.0	45.0	40.0	40.0	50.0	5.0	5.0
	特定施設入居者生活介護	24	37.5	29.2	12.5	12.5	33.3	50.0	41.7	16.7	8.3
	地域密着型特定施設入居者生活介護	5	40.0	20.0	20.0	80.0	0.0	40.0	40.0	20.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	7	28.6	14.3	0.0	42.9	57.1	28.6	57.1	42.9	28.6
		調査数	介護予防、健康づくりへの支援	在宅での医療の提供や相談支援	在宅での歯科診療の提供や相談支援	ボランティアなどの社会参加・社会貢献 活動や生涯学習などへの支援	働く場所や機会の確保・提供	高齢者に配慮したまちづくり(交通機 関、道路、建物などのバリアフリー化)	安全対策(悪質商法の取り締まりなどの 防犯や交通安全など)	地震、火災、風水害などに対する防災対 策	その他
			(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
施設全体		164	9.8	11.0	3.0	3.7	3.7	21.3	14.0	10.4	1.8
入所施設別	介護老人福祉施設	55	7.3	5.5	1.8	3.6	3.6	23.6	20.0	14.5	3.6
	介護老人保健施設	20	10.0	15.0	5.0	0.0	10.0	25.0	15.0	10.0	0.0
	介護医療院(介護療養型医療施設)	5	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0
	認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	20	20.0	15.0	0.0	5.0	5.0	20.0	0.0	5.0	5.0
	特定施設入居者生活介護	24	12.5	12.5	4.2	4.2	4.2	25.0	16.7	8.3	0.0
	地域密着型特定施設入居者生活介護	5	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	7	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	28.6	14.3	0.0

## 参考資料

### 1. 一般高齢者用調査票

# 行橋市 高齢者福祉に関するアンケート調査 (一般高齢者用)

## 調査ご協力をお願い

日頃から市政に多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

行橋市では、令和8年度に「行橋市老人保健福祉計画・介護保険事業計画」の見直しを行います。そのため、計画の見直しの基礎資料として、高齢者の健康状態や福祉・介護に対する考え方をおうかがいするためのアンケート調査を実施することになりました。

この調査は、要介護認定を受けていない65歳以上の市民の方から無作為に抽出した約1,900人を対象に行うものです。

ご回答いただきました内容は、統計的な分析等に使用するものであり、皆様にご迷惑をおかけすることは一切ありません。

お忙しい中、大変恐縮ですが、調査の目的をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年12月

行橋市長 工藤 政宏

## 記入にあたってのお願い

- ご本人による回答が困難な場合は、ご本人の立場にたって、ご家族や代理人の方が記入してください。
- 回答は令和7年12月1日現在でご回答ください。
- 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
- 記入された調査票は、**令和8年1月16日(金)**までに同封の返信用封筒に入れ、ポストに入れてください(切手は不要です)。
- この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

行橋市 介護保険課

電話 0930-25-1111 (内線1172)

FAX 0930-26-3017

◆ 回答者について ◆

○調査対象のご本人(宛名の方)の所在

調査対象のご本人(宛名の方)が何らかの事情により不在で回答できない場合には、その理由を下の枠内から選び、回答を終了してください。【○は1つだけ】

- 1. 病院に入院中
- 2. 施設に入所中
- 3. 転居・転出
- 4. 死亡
- 5. その他 ( )

回答終了です。  
同封の返信用封筒  
に入れ、ポストに  
入れてください。

○調査の回答者

この調査の回答者はどなたですか。【○は1つだけ】

- 1. 本人
- 2. 本人と家族・親族
- 3. 家族・親族のみ
- 4. その他 ( )

◆ あなたご自身のことについて ◆

問1 あなたの性別を教えてください。【○は1つだけ】

- 1. 男性
- 2. 女性

問2 あなたの年齢を教えてください。【○は1つだけ】

- 1. 65～69歳
- 2. 70～74歳
- 3. 75～79歳
- 4. 80～84歳
- 5. 85歳以上

問3 あなたの世帯は次のどれにあてはまりますか。【○は1つだけ】

- 1. ひとり暮らし世帯
- 2. 夫婦のみのふたり暮らし世帯
- 3. その他 ( )

問4 あなたのお住まいの地域(小学校区)を教えてください。【○は1つだけ】

- 1. 行橋校区
- 2. 行橋北校区
- 3. 行橋南校区
- 4. 今元校区
- 5. 養島校区
- 6. 仲津校区
- 7. 泉校区
- 8. 今川校区
- 9. 稗田校区
- 10. 椿市校区
- 11. 延永校区

◆ 健康について ◆

問5 あなたは、自分の健康状態をどう思いますか。【○は1つだけ】

- |             |                |
|-------------|----------------|
| 1. 健康だと思う   | 3. あまり健康だと思わない |
| 2. まあ健康だと思う | 4. 健康だと思わない    |

問6 あなたは、現在、治療中、もしくは生活に支障がある怪我、病気はありますか(風邪等の一時的な病気はのぞきます)。【○はいくつでも】

- |   |                    |
|---|--------------------|
| 1. 高血圧                                  | 11. がん(悪性新生物)      |
| 2. 脳卒中(脳出血・ <small>のうこうそく</small> 脳梗塞等) | 12. 血液・免疫の病気       |
| 3. 心臓病                                  | 13. うつ病            |
| 4. 糖尿病                                  | 14. 認知症(アルツハイマー病等) |
| 5. 高脂血症(脂質異常)                           | 15. パーキンソン病        |
| 6. 呼吸器の病気(肺炎・気管支炎等)                     | 16. 目の病気           |
| 7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気                         | 17. 耳の病気           |
| 8. 腎臓・前立腺の病気                            | 18. その他( )         |
| 9. 筋骨格の病気(骨粗しょう症・関節症等)                  | 19. 特にな            |
| 10. 外傷(転倒・骨折等)                          |                    |

問7 あなたは、健康診断を受けていますか。【○は1つだけ】

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 毎年、受けている      | 3. 受けていない ⇒問7-1へ |
| 2. 毎年ではないが、受けている |                  |

《問7-1は、問7で「3.受けていない」に回答された方のみお答えください》

問7-1 健康診断を受けていない主な理由はなんですか。【○は1つだけ】

- |                               |  |
|-------------------------------|--|
| 1. 健康に自信があるから                 |  |
| 2. 時間がないから                    |  |
| 3. 面倒だから                      |  |
| 4. 費用がかかるから                   |  |
| 5. 市の健康診断等を受けられる場所や日時がわからないから |  |
| 6. その他( )                     |  |



◆ 認知症について ◆

問10 あなたは、「認知症」という病気を知っていますか。【○は1つだけ】

- 1. よく知っている
- 2. 聞いたことはあるが詳しくは知らない
- 3. 知らない

問11 認知症は、早く見つけて治療することが必要な病気だと思いますか。【○は1つだけ】

- 1. そう思う
- 2. そうは思わない
- 3. わからない

問12 認知症(物忘れなど認知機能が低下している状態)について  
あなたの身近に、認知症と思われる方がいますか。【○は1つだけ】

- 1. いる
- 2. いない
- 3. その他 ( )

《問12-1、2は、問12で「1.いる」に回答された方のみお答えください》

→ 問12-1 その方はどなたですか。【○はいくつでも】

- 1. 自分
- 2. 家族
- 3. 知り合い、近所の人
- 4. その他 ( )

→ 問12-2 困っていることがありますか。【○は1つだけ】

- 1. 困っていることはない
- 2. 困っていることがある  
→具体的に教えてください。

( )

◆ 社会参加や生きがいづくりについて ◆

問13 あなたは、以下のような地域のグループや団体等の活動に参加していますか。

【〇はいくつでも】

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 1. 老人クラブ           | 7. 青少年育成団体          |
| 2. いきいきサロン         | 8. ボランティア活動・NPO 法人  |
| 3. 町内会・自治会         | 9. シルバー人材センター       |
| 4. 趣味のサークル・団体      | 10. 民間主催の趣味・スポーツクラブ |
| 5. 健康・スポーツのサークル・団体 | 11. 市主催の教室や講座       |
| 6. 学習・教養のサークル・団体   | 12. その他のグループや団体 ( ) |
|                    | 13. 参加していない         |

《問13-1は、問13で「13. 参加していない」に回答された方のみお答えください》

→ 問13-1 参加していない理由は何ですか。【〇はいくつでも】

1. 参加したい活動がないから
2. どのようなグループや団体等があるかわからないから
3. 参加するきっかけがないから
4. 一人の方が気楽だから
5. 経費がかかるから
6. 体力に自信がないから
7. 家庭の事情（家事や仕事等）で時間がとれないから
8. その他 ( )

問14 今後、どのようなことをやりたいと思いますか。【〇はいくつでも】

1. 働くこと（仕事）
2. 教養を高めること
3. サークル活動等で、スポーツや趣味・娯楽を楽しむこと
4. ボランティア活動に参加すること
5. 自治会等の地域活動に参加すること
6. 老人クラブやいきいきサロン等の、身近な地域で年齢が近い人とふれあえる活動に参加すること
7. 個人や家族でスポーツや趣味・娯楽を楽しむこと
8. 家族と一緒に過ごすこと
9. 若い世代と交流すること
10. これまでの友人や知人と交流すること
11. 新しい友人や知人を増やすこと
12. 家に閉じこもらないでできるだけ外にでること
13. 常に新しいことにチャレンジすること
14. その他 ( )
15. 特にない









問21 将来、あなた自身に介護が必要になったとしたら、どのように介護してほしいと思いますか。【○は1つだけ】

1. 自宅で家族だけで介護してほしい
2. 自宅で家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスなどを利用したい
3. 自宅で介護保険の在宅サービスなどだけで生活したい
4. グループホームや有料老人ホームなどの小規模で家庭的な雰囲気の施設を利用したい
5. 特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護保険施設を利用したい
6. その他（ ）

問22 あなたは、どこで人生の最期を迎えたいですか。【○は1つだけ】

1. 自宅
2. 子や孫などの親族の家
3. 特別養護老人ホーム等の施設
4. 病院等の医療施設（ホスピスや緩和ケア病棟含む）
5. その他（ ）

◆ 高齢者福祉制度全般について ◆

問23 介護保険制度では、介護サービスを利用する人が増えたり、利用できる介護サービスの種類や量が充実されれば、その費用をまかなうため、基本的には介護保険料が高くなることとなります。

介護保険料と介護サービスのあり方について、どのようにお考えですか。

【○は1つだけ】

1. 利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない
2. 利用できる介護サービスの種類や量を多少抑えても、保険料は低い方がよい
3. どちらともいえない

問24 ご自分の介護保険料について、どのように思いますか。【○は1つだけ】

1. 高いと思う
2. 適当だと思う
3. 安いと思う
4. わからない

問25 高齢者に対する施策や支援で、特に大切だと思うものは何ですか。【〇は5つまで】

1. 自宅を訪問するサービスの充実（ホームヘルプサービスなど）
2. 日中、施設に通うサービスの充実（デイサービスなど）
3. 施設に短期間入所するサービスの充実（ショートステイ）
4. 介護保険施設等の施設サービスの充実
5. 介護保険料・サービス利用料の軽減等の低所得者層に対する対策
6. 認知症高齢者や認知症高齢者を抱える家族に対する支援
7. ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援
8. 高齢者虐待への対策
9. 成年後見制度など権利擁護施策
10. 介護予防、健康づくりへの支援
11. 在宅での医療の提供や相談支援
12. 在宅での歯科診療の提供や相談支援
13. ボランティアなどの社会参加・社会貢献活動や生涯学習などへの支援
14. 働く場所や機会の確保・提供
15. 高齢者に配慮したまちづくり（交通機関、道路、建物などのバリアフリー化）
16. 安全対策（悪質商法の取り締まりなどの防犯や交通安全など）
17. 地震、火災、風水害などに対する防災対策
18. その他（ ）

問26 市の高齢者保健福祉施策や介護保険制度に対するご意見など、ご自由にお書きください。

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。  
同封の返信用封筒に入れ、ポストに入れてください。

## 2. 在宅要介護認定者用調査票

《在宅要介護認定者用》

### 行橋市 高齢者福祉に関するアンケート調査

#### 調査ご協力をお願い

日頃から市政に多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

行橋市では、令和8年度に「行橋市老人保健福祉計画・介護保険事業計画」の見直しを行います。そのため、計画の見直しの基礎資料として、高齢者の健康状態や福祉・介護に対する考え方をおうかがいするためのアンケート調査を実施することになりました。

この調査は、要介護認定を受けて在宅で生活されている市民の方約 2,500 人を対象に行うものです。

ご回答いただきました内容は、統計的な分析等に使用するとともに、「個人情報の取り扱いについて」(1ページの上段に記載)に基づき、適正に取り扱いますので、皆様にご迷惑をおかけすることはありません。

お忙しい中、大変恐縮ですが、調査の目的をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年12月

行橋市長 工藤 政宏

#### 記入にあたってのお願い

- 1 ご本人による回答が困難な場合は、ご本人の立場にたって、ご家族や代理人の方が記入してください。
- 2 回答は令和7年12月1日現在でご回答ください。
- 3 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
- 4 記入された調査票は、**令和8年1月16日(金)**までに同封の返信用封筒に入れ、ポストに入れてください(切手は不要です)。
- 5 この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

行橋市 介護保険課

電話 0930-25-1111 (内線1172)

FAX 0930-26-3017





◆ 介護保険サービスについて ◆

問4 あなたは、現在、住宅改修、福祉用具貸与、購入以外の介護保険サービスを利用していますか。【○は1つだけ】

1. 利用している

2. 利用していない ⇒問5へ

《問4-1、2は、問4で「1.利用している」に回答された方のみお答えください。》

→ 問4-1 介護保険サービスを利用したことにより、日常生活を送る中で「良くなった」と感じることもある場合は、当てはまるものに○を付けてください。【○は3つまで】

1. 自分でできることが増えた
2. 日々の生活の中に楽しみが増えた
3. 健康が維持・向上した
4. 筋力が維持・向上した
5. 穏やかに毎日を過ごせている
6. その他 ( )
7. 特にない

→ 問4-2 あなたは利用しているサービスに満足していますか。【○は1つだけ】

1. 満足

2. まあ満足

3. 普通

4. やや不満

5. 不満

《問4-3は、問4-2で「4.」「5.」に回答された方のみお答えください》

→ 問4-3 不満に思うことはどのようなことですか。【○はいくつでも】

1. 契約の内容と実際のサービスが違う、質が悪い
2. サービス担当者の態度や言葉づかいが悪い
3. 決められた日時にサービス担当者が来ない
4. サービス担当者の変更や解約などの要望を聞いてもらえない
5. 契約時に確認した料金以外に別料金を請求された
6. やけど・骨折などの事故に対応してもらえなかった
7. サービスの量（回数や時間）が足りない
8. 以前利用していたサービスが受けられなくなった
9. その他 ( )

《問5は、問4で「2. 利用していない」に回答された方のみお答えください》

→ 問5 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。【〇はいくつでも】

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. サービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他（ )

《ここからは、ふたたび全員におたずねします》

問6 今後利用したい(利用し続けたい)在宅サービスをすべて選んでください。

【〇はいくつでも】

1. 訪問介護（身体介護中心）
2. 訪問介護（生活援助中心）
3. 訪問入浴介護
4. 訪問看護
5. 訪問リハビリテーション
6. 居宅療養管理指導
7. 通所介護
8. 通所リハビリテーション
9. 短期入所生活介護
10. 短期入所療養介護
11. 福祉用具貸与（レンタル）・購入
12. 住宅改修
13. 認知症対応型通所介護
14. 小規模多機能型居宅介護
15. 看護小規模多機能型居宅介護（複合型サービス）
16. 地域密着型通所介護
17. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
18. 夜間対応型訪問介護
19. 介護予防・日常生活支援総合事業（訪問型サービス、通所型サービス）





◆ 日常生活等について ◆

問11 あなたは、日常生活の中で不安や困りごとがありますか。【〇はいくつでも】

- |                               |                                 |
|-------------------------------|---------------------------------|
| 1. 健康や病気、介護                   | 11. ペットの世話                      |
| 2. ひとり暮らしの生活                  | 12. 外出（手段、送迎、付き添い等）             |
| 3. 高齢者のみの生活                   | 13. 書類の理解や手続き                   |
| 4. 食事の確保や料理                   | 14. 財産やお金の管理                    |
| 5. 買い物                        | 15. 定期的な声かけや見守り                 |
| 6. 家事（掃除・洗濯・ごみ出し等）            | 16. 急病などの緊急時の対応                 |
| 7. 家具等の移動                     | 17. 災害時の手助け（情報伝達・避難・消火等）        |
| 8. 庭の手入れ                      | 18. 詐欺や悪質な訪問販売等                 |
| 9. 衣類の出し入れ（季節の模様替え）           | 19. 介護に適した住まいの環境                |
| 10. 電球の取り替えや電化製品の取り扱<br>いの手助け | 20. その他（ <input type="text"/> ） |
| 21. 特にない                      |                                 |

《問11-1、2は、問11で「1.」～「20.」に回答された方のみお答えください》

→問11-1 あなたは、その不安や困りごとを誰(どこ)に相談していますか。【〇はいくつでも】

- |                   |                                 |
|-------------------|---------------------------------|
| 1. 家族や親族          | 7. 高齢者相談支援センター（地域包括支援センター）      |
| 2. 友人や近所の人        | 8. かかりつけの医師・看護師等                |
| 3. ケアマネジャー        | 9. 弁護士等の専門家                     |
| 4. 民生委員・児童委員      | 10. その他（ <input type="text"/> ） |
| 5. 社会福祉協議会        | 11. 相談はしていない                    |
| 6. 市役所の窓口（介護保険課等） |                                 |

→問11-2 あなたは、問11のような不安や困りごとについて、身近な地域の人にしてほしいことや気にかけてほしいことがありますか。該当する番号を問11の中から選んで数字をお書きください。【番号は5つまで】

※順番は問いません。

--	--	--	--	--



◆ 高齢者福祉制度全般について ◆

問14 あなたやあなたの家族が認知症になっても自宅で暮らしていくためには、どのようなことが必要ですか。【〇はいくつでも】

1. 適切な介護サービスの利用
2. 認知症への理解と対応
3. 定期的な見守りと声かけ
4. 買い物や外出の付き添い
5. 簡単な掃除やごみ出しなどの手伝い
6. ひとり暮らしのためのサポート
7. 特に必要はない
8. その他 ( )

問15 高齢者に対する施策や支援で、特に大切だと思うものは何ですか。【〇は5つまで】

1. 自宅を訪問するサービスの充実（ホームヘルプサービスなど）
2. 日中、施設に通うサービスの充実（デイサービスなど）
3. 施設に短期間入所するサービスの充実（ショートステイ）
4. 介護保険施設等の施設サービスの充実
5. 介護保険料・サービス利用料の軽減等の低所得者層に対する対策
6. 認知症高齢者や認知症高齢者を抱える家族に対する支援
7. ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援
8. 高齢者虐待への対策
9. 成年後見制度など権利擁護施策
10. 介護予防、健康づくりへの支援
11. 在宅での医療の提供や相談支援
12. 在宅での歯科診療の提供や相談支援
13. ボランティアなどの社会参加・社会貢献活動や生涯学習などへの支援
14. 働く場所や機会の確保・提供
15. 高齢者に配慮したまちづくり（交通機関、道路、建物などのバリアフリー化）
16. 安全対策（悪質商法の取り締まりなどの防犯や交通安全など）
17. 地震、火災、風水害などに対する防災対策
18. その他 ( )

問16 市の高齢者保健福祉施策や介護保険制度に対するご意見など、ご自由にお書きください。



この先の設問（問17～問31）は、調査対象のご本人を介護されているご家族やご親族等を対象とした調査になります。  
介護・親族等の介護を受けていない方は、回答終了です。同封の返信用封筒に入れ、ポストに入れてください。ご協力ありがとうございました。

ここからは、調査対象のご本人を介護されているご家族やご親族等へお伺いします。  
ご家族やご親族のご回答が難しい場合は、調査対象のご本人が回答をお願いします。

◆ 主な介護者について ◆

問17 あて名の方からみた続柄を教えてください。【○は1つだけ】

- |        |          |                                |
|--------|----------|--------------------------------|
| 1. 配偶者 | 3. 子の配偶者 | 5. 兄弟・姉妹                       |
| 2. 子   | 4. 孫     | 6. その他（                      ） |

問18 主な介護者の性別を教えてください。【○は1つだけ】

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問19 主な介護者の年齢を教えてください。【○は1つだけ】

- |          |         |         |          |          |
|----------|---------|---------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 3. 30歳代 | 5. 50歳代 | 7. 70歳代  |          |
| 2. 20歳代  | 4. 40歳代 | 6. 60歳代 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

問20 主な介護者は、あて名の方と同居していますか。【○は1つだけ】

- |       |             |             |
|-------|-------------|-------------|
| 1. 同居 | 2. 別居（行橋市内） | 3. 別居（行橋市外） |
|-------|-------------|-------------|

問21 ご家族やご親族の中で、あて名の方の介護を主な理由として、過去1年間に仕事を辞めた方はいますか。（現在の就労状況や勤務形態は問いません）【○はいくつでも】

- |                               |
|-------------------------------|
| 1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）         |
| 2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く） |
| 3. 主な介護者が転職した                 |
| 4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した         |
| 5. 仕事を辞めた家族・親族はいない            |
| 6. わからない                      |

◆ 主な介護者の勤務形態について ◆

問22 主な介護者の現在の勤務形態について教えてください。【〇は1つだけ】

- 1. フルタイムで働いている
- 2. パートタイムで働いている（シルバー人材センターへの登録含む）
- 3. 働いていない
- 4. 主な介護者に確認しないと、わからない

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」「嘱託」「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」「パートタイム」のいずれかを選択してください。

《問22-1、2、3は、問22で「1.」「2.」に回答された方のみお答えください》

→ 問22-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていきますか。【〇はいくつでも】

- 1. 特に行っていない
- 2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
- 3. 介護のために「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
- 4. 介護のために「在宅勤務」を利用しながら、働いている
- 5. 介護のために、上記2～4以外の調整をしながら、働いている
- 6. 主な介護者に確認しないと、わからない

→ 問22-2 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。【〇は3つまで】

- 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
- 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
- 3. 介護休暇等の制度を利用しやすい職場づくり
- 4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
- 5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
- 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
- 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
- 8. 介護している従業員への経済的な支援
- 9. その他（）
- 10. 特にない
- 11. 主な介護者に確認しないと、わからない



問24 介護を行う上で、困っていることはなんですか。【〇はいくつでも】

1. 介護の方法がわからない
2. もっとサービスを利用させたいが、本人が嫌がる
3. もっとサービスを利用させたいが、希望するサービスがない
4. もっとサービスを利用させたいが、希望する事業者が利用できない
5. 利用限度額が低いので、十分にサービスを利用できない
6. 利用料の負担が大きい
7. 介護の身体的負担が大きい
8. 介護の精神的負担が大きい
9. 家族や近隣の方の理解・協力が足りない
10. その他 ( )
11. 特にない

問25 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について教えてください。

【〇は1つだけ】

1. 入所・入居は検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームのことを指します。

問26 あて名のご本人を在宅で介護するためには、どのようなことが重要だと思いますか。

【〇は3つまで】

1. 緊急時にサービスが利用できること
2. 夜間にサービスが利用できること
3. 家の近くでサービスが利用できること
4. 在宅医療が受けられること
5. 介護者に対する周囲の理解(評価)
6. 介護者への支援体制が充実されること
7. 介護者自身の心身状況の安定が保たれること
8. その他 ( )

問27 「認知症」という病気を知っていますか。【〇は1つだけ】

1. よく知っている
2. 聞いたことはあるが詳しくは知らない
3. 知らない

問28 あて名のご本人は「認知症」だと思いますか。【〇は1つだけ】

1. 思う                      2. 思わない                      3. わからない

→ 《問28-1は、問28で「1.」に回答された方のみお答えください》

問28-1 あて名のご本人の認知症の症状に困っていませんか。【〇は1つだけ】

1. 困っている                      2. それほど困っていない                      3. わからない

《ここからは、ふたたび全員におたずねします》

問29 認知症に関する相談窓口を知っていますか。【〇は1つだけ】

1. 知っている                      2. 知らない

問30 あなたやあなたの家族が認知症になっても自宅で暮らしていくためには、どのようなことが必要ですか。【〇はいくつでも】

- |                 |                                |
|-----------------|--------------------------------|
| 1. 適切な介護サービスの利用 | 5. 簡単な掃除やごみ出しなどの手伝い            |
| 2. 認知症への理解と対応   | 6. ひとり暮らしのためのサポート              |
| 3. 定期的な見守りと声かけ  | 7. 特に必要はない                     |
| 4. 買い物や外出の付き添い  | 8. その他（                      ） |

問31 介護をされているご家族として、市の高齢者保健福祉施策や介護保険制度に対するご意見など、ご自由にお書きください。

調査は以上です。ご協力ありがとうございました。  
同封の返信用封筒に入れ、ポストに入れてください。

### 3. 施設・居住系サービス利用者用調査票

## 行橋市 高齢者福祉に関するアンケート調査 (施設・居住系サービス利用者用)

#### 調査ご協力をお願い

日頃から市政に多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

行橋市では、令和8年度に「行橋市老人保健福祉計画・介護保険事業計画」の見直しを行います。そのため、計画の見直しの基礎資料として、高齢者の健康状態や福祉・介護に対する考え方をおうかがいするためのアンケート調査を実施することになりました。

この調査は、要介護認定を受けて介護保険施設やグループホーム等の居住系サービスを利用されている市民の方約600人を対象に行うものです。

ご回答いただきました内容は、統計的な分析等に使用するものであり、皆様にご迷惑をおかけすることは一切ありません。

お忙しい中、大変恐縮ですが、調査の目的をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年12月

行橋市長 工藤 政宏

#### 記入にあたってのお願い

- 1 ご本人による回答が困難な場合は、ご本人の立場にたって、ご家族や施設職員等の代理人の方が記入してください。
- 2 回答は令和7年12月1日現在でご回答ください。
- 3 回答は、あてはまる項目を選んで、その番号を○印で囲んでください。
- 4 記入された調査票は、**令和8年1月16日(金)**までに同封の返信用封筒に入れ、ポストに入れてください(切手は不要です)。
- 5 この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

行橋市 介護保険課


電話 0930-25-1111 (内線1172)

FAX 0930-26-3017

◆ 回答者について ◆

○調査対象のご本人(宛名の方)の所在

調査対象のご本人(宛名の方)が何らかの事情により不在で回答できない場合には、その理由を下の枠内から選び、回答を終了してください。【○は1つだけ】

1. 退所後、在宅で生活している 2. 他の施設・病院などに転所・転院 3. 死亡 4. その他 ( )		回答終了です。 同封の返信用封筒に入れ、ポストに入れてください。
---	--	-------------------------------------

○調査の回答者

この調査の回答者はどなたですか。【○は1つだけ】

1. 本人 2. 本人と家族・親族 3. 家族・親族のみ	4. 本人と施設職員 5. 施設職員のみ 6. 家族・親族と施設職員 7. その他 ( )
------------------------------------	--

◆ あなたご自身のことについて ◆

問1 入所されている施設(サービス)の種類は、どれですか。【○は1つだけ】

【介護保険施設】	【居住系サービス】
1. 介護老人福祉施設	4. 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)
2. 介護老人保健施設	5. 特定施設入居者生活介護
3. 介護医療院 (介護療養型医療施設)	6. 地域密着型特定施設入居者生活介護
	7. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

問2 あなたの性別を教えてください。【○は1つだけ】

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問3 あなたの年齢を教えてください。【○は1つだけ】

1. 40～64歳	4. 75～79歳
2. 65～69歳	5. 80～84歳
3. 70～74歳	6. 85歳以上

問4 あなたの現在の要介護度を教えてください(あてはまるものに○)。(○は1つだけ)

- |         |         |
|---------|---------|
| 1. 要支援1 | 2. 要支援2 |
| 3. 要介護1 | 4. 要介護2 |
| 5. 要介護3 | 6. 要介護4 |
| 7. 要介護5 |         |

問5 あなたが現在抱えている怪我、病気はなんですか。(○はいくつでも)

- |   |                     |
|---|---------------------|
| 1. 脳卒中 (脳出血・ <sup>のうこうそく</sup> 脳梗塞等)          | 9. 認知症              |
| 2. 心臓病  | 10. パーキンソン病         |
| 3. がん ( <sup>あくせいしんせいぶつ</sup> 悪性新生物)          | 11. 難病 (パーキンソン病を除く) |
| 4. 呼吸器の病気 ( <sup>はいきしゅ</sup> 肺気腫・肺炎等)         | 12. 糖尿病             |
| 5. 腎疾患 (透析)                                   | 13. 視覚・聴覚障害         |
| 6. 骨粗しょう症、 <sup>せきちゆうかんきょうさくしやう</sup> 脊柱管狭窄症等 | 14. その他 ( )         |
| 7. <sup>こうげんびやう</sup> 膠原病 (関節リウマチ含む)          | 15. なし              |
| 8. 変形性関節疾患                                    | 16. わからない           |

問6 現在の施設に入所する前はどなたと暮らしていましたか。(○は1つだけ)

- |                  |
|------------------|
| 1. ひとり暮らし世帯      |
| 2. 夫婦のみのふたり暮らし世帯 |
| 3. その他           |

◆ 今後の介護希望について ◆

問7 今後、どのように介護してほしいと思いますか。(○は1つだけ)

- |   |
|---|
| 1. 自宅で家族だけで介護してほしい                          |
| 2. 自宅で家族の介護の他に、介護保険の在宅サービスなどを利用したい          |
| 3. 自宅で介護保険の在宅サービスなどだけで生活したい                 |
| 4. 現在のグループホーム・特定施設等 (居住系サービス) で引き続き生活したい    |
| 5. <u>他</u> のグループホーム・特定施設等 (居住系サービス) で生活したい |
| 6. 現在の介護保険施設に引き続き入所したい                      |
| 7. <u>他</u> の介護保険施設に入所したい                   |
| 8. その他 ( )                                  |

問8 あなたが、在宅で生活するとしたら、どのようなサービスや環境が必要になると思いますか。【〇はいくつでも】

1. 家族（介護者）がいる
2. 24時間、必要なときに介護や医療が受けられる体制が整っている
3. 自宅の居室等が介護に適したつくりになっている（段差がない、手すりがある等）
4. 地域の人からの支援が受けられる（自分や家族に対する見守りや手助け等がある）
5. 自宅以外で安心して生活できる高齢者向けの住まいがある（介護や見守り等が受けられる共同住宅等）
6. その他（ ）
7. どのような環境が整っても在宅での生活は難しい  
⇒（理由： ）

◆ 施設等でのサービスについて ◆

問9 あなたは、現在の施設等にどのくらいの期間入所していますか。【〇は1つだけ】

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 3か月未満      | 5. 1年6か月～2年未満 |
| 2. 3～6か月未満    | 6. 2～3年未満     |
| 3. 6か月～1年未満   | 7. 3～5年未満     |
| 4. 1年～1年6か月未満 | 8. 5年以上       |

問10 あなたは現在の施設等に入所する前は、どちらにいらっしゃいましたか。【〇は1つだけ】

- |                         |                          |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 自宅                   | 5. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム） |
| 2. 介護老人福祉施設             | 6. 有料老人ホーム等              |
| 3. 介護老人保健施設             | 7. 一般の病院                 |
| 4. 介護医療院<br>（介護療養型医療施設） | 8. その他（ ）                |

問11 あなたが施設等に入所しているのはなぜですか。【〇はいくつでも】

1. 介護してくれる家族がないから
2. 家族はいるが、十分に介護できないから
3. 常時の介護が必要、または目が離せないから
4. 看護などの医療処置が必要だから
5. 住まいに問題があるから（部屋がない、段差が多いなど介護に不向き）
6. 在宅サービスが不十分だから
7. その他（ ）



ここからは再び全員におたずねします。

問14 介護保険制度では、介護サービスを利用する人が増えたり、利用できる介護サービスの種類や量が充実されれば、その費用をまかなうため、基本的には介護保険料が高くなることとなります。

介護保険料と介護サービスのあり方について、どのようにお考えですか。

【〇は1つだけ】

1. 利用できる介護サービスの種類や量が充実されるのなら、保険料は多少高くてもかまわない
2. 利用できる介護サービスの種類や量を多少抑えても、保険料は低い方がよい
3. どちらともいえない

問15 ご自分の介護保険料について、どのように思いますか。【〇は1つだけ】

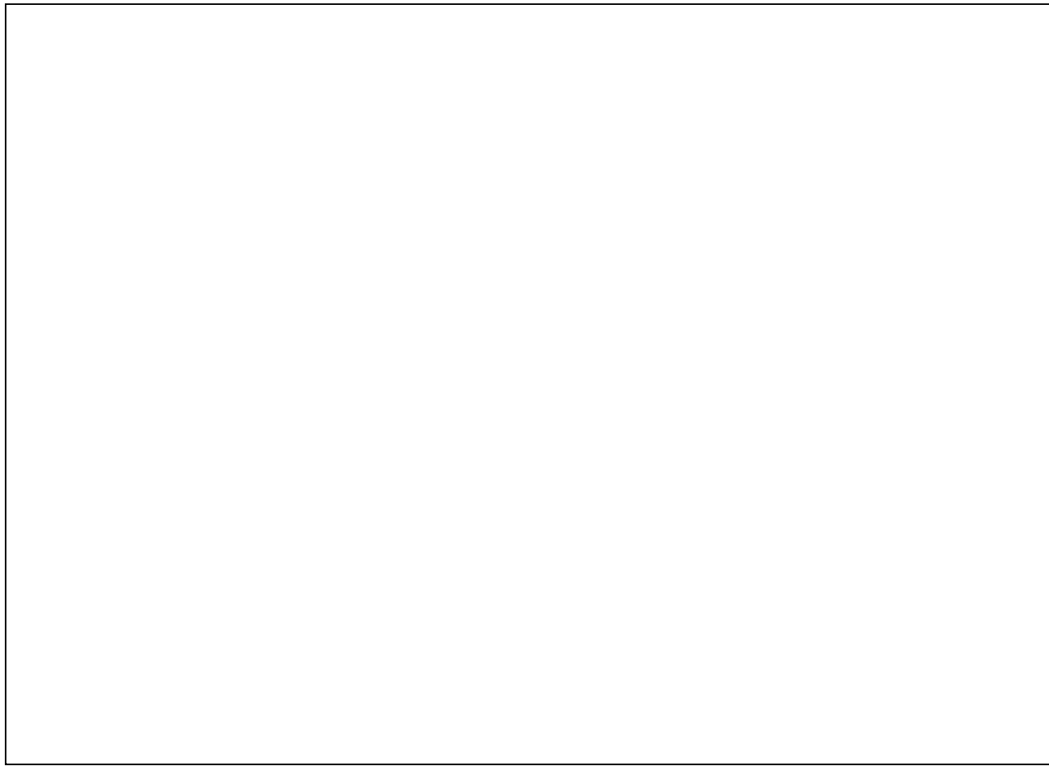
1. 高いと思う
2. 適当だと思う
3. 安いと思う
4. わからない

### ◆ 高齢者施策全般について ◆

問16 高齢者に対する施策や支援で、特に大切だと思うものは何ですか。【〇は5つまで】

1. 自宅を訪問するサービスの充実（ホームヘルプサービスなど）
2. 日中、施設に通うサービスの充実（デイサービスなど）
3. 施設に短期間入所するサービスの充実（ショートステイ）
4. 介護保険施設等の施設サービスの充実
5. 介護保険料・サービス利用料の軽減等の低所得者層に対する対策
6. 認知症高齢者や認知症高齢者を抱える家族に対する支援
7. ひとり暮らし高齢者に対する見守りや安否確認などの支援
8. 高齢者虐待への対策
9. 成年後見制度など権利擁護施策
10. 介護予防、健康づくりへの支援
11. 在宅での医療の提供や相談支援
12. 在宅での歯科診療の提供や相談支援
13. ボランティアなどの社会参加・社会貢献活動や生涯学習などへの支援
14. 働く場所や機会の確保・提供
15. 高齢者に配慮したまちづくり（交通機関、道路、建物などのバリアフリー化）
16. 安全対策（悪質商法の取り締まりなどの防犯や交通安全など）
17. 地震、火災、風水害などに対する防災対策
18. その他（ )

問17 市の高齢者保健福祉施策や介護保険制度に対するご意見など、ご自由にお書きください。



調査は以上です。ご協力ありがとうございました。  
同封の返信用封筒に入れ、ポストに入れてください。



